

# STUDENT HANDBOOK 2026

SAPPORO  
INTERNATIONAL  
UNIVERSITY





# INDEX

## STUDENT HANDBOOK 2026

SAPPORO INTERNATIONAL UNIVERSITY

ご挨拶	02
建学の礎・教育の基本的考え方	03
<b>01. キャンパスライフ</b>	
年間計画表	04
キャンパスマップ	06
1. 学生生活	14
①窓口案内	14
②学生証	16
③学生番号	16
④教室番号	16
⑤アドバイザー制度	16
⑥オフィスアワー	17
⑦学生サポートセンター	17
⑧健康診断について	18
⑨保険について	19
⑩学割・定期券	19
⑪学生への連絡	20
⑫学籍に関わる事項	24
⑬個人情報保護と利用	25
2. 大学生生活のルールとマナー	26
3. 気をつけてほしいこと	27
4. ハラスメントのないキャンパスを	29
5. ソーシャルメディア利用のためのガイドライン	30
<b>02. 学納金・奨学金</b>	
1. 学納金・諸会費	31
2. 奨学金等	33
①日本学生支援機構奨学金(貸与型)	33
②日本学生支援機構奨学金(給付型+高等教育の修学支援新制度)	33
③札幌国際大学の奨学金	34
④第二種奨学金(短期留学)日本学生支援機構	35
⑤地方自治体等の奨学金	35
⑥外国人留学生の奨学金	35
<b>03. 施設</b>	
1. 図書館	36
2. ラーニングcommons	38
3. 学生食堂・コンビニ	39
4. フィットネスジム	39
5. セミナーハウス	39
6. その他	39
<b>04. クラブ・同好会</b>	40
<b>05. キャリア支援</b>	42
<b>06. 留學制度・単位互換</b>	
1. 海外留学	43
①ダブルディグリープログラム	43
②交換留学	43
③認定留学	44
2. 国内留学	45
3. 札幌圏大学・短期大学間単位互換制度	46
4. 一般社団法人学修評価・教育開発協議会との「連携開設科目」の履修について	47
5. 放送大学との単位互換制度	47

<b>07. 履修ガイド</b>	
1. 大学での学び	48
①授業科目	48
②単位制度と学修時間	48
③卒業のために必要な条件	49
④学位の授与	49
2. 履修について	49
①履修相談	49
②履修登録の流れ	49
③履修計画の立て方	50
④履修登録	51
⑤履修登録期間	51
⑥第2クォーター履修変更期間	51
3. 授業について	52
①セメスター制・クォーター制	52
②授業時間	52
③授業の出席・欠席	52
④公認欠席について	53
⑤授業の実施方法	54
⑥休講、補講、教室変更	55
⑦受講上の注意	55
札幌国際大学学生受講心得2026	56
4. CampusPlan portal(キャンパスプランポータル)について	57
「CampusPlan portal」利用方法	57
CampusPlan portalでできること	57
お知らせ一覧	58
休講補講等一覧	59
履修時間割	60
シラバス	61
履修申請	62
外部サービス(WebClass)	66
出欠登録	70
成績	72
学生カルテ	74
5. 成績評価と単位の認定	75
①成績評価基準	75
②GPA制度	75
③試験について	77
④成績の確認方法	78
⑤成績評価についての問い合わせ	78
⑥入学前に修得した単位の認定について	78
⑦外部試験による単位の認定について	78
6. インターンシップ	79
①インターンシップとは?	79
②インターンシップの目的	79
③インターンシップ科目	79
④インターンシップ履修上の注意	80
⑤インターンシップの流れ	80
7. 数理・AI・データサイエンス	81
①文系系関わらず社会人必須の力	81
②SIU 未来創造 AIデータリテラシープログラム	81
8. 教職課程	82
①教員を目指す学生に求めること	82
②これからの時代の教員に求められる資質能力	82
③教職課程履修の条件等	83
④免許状の種類及び免許教科	83
⑤免許状を取得するための所用資格	83
⑥費用について	83
⑦教職課程履修等の手続き(中一種免許・高一種免許の例)	84
⑧履修科目	85
⑨介護等体験	91
⑩教育実習(中一種免・高一種免)	92
⑪教育実習(幼一種免)	93
⑫教職実践演習と教職履修カルテ	93

<b>08. 資格</b>	
1. 保育士	94
2. 学芸員	98
3. 2級考古調査士	98
4. 社会教育主事・社会教育士	99
5. 日本語教員養成課程	100
6. 公認心理師	101
7. 認定心理士	102
8. 児童指導員	102
9. 公益財団法人日本レクリエーション協会資格	103
10. 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格	103
11. 健康運動指導士	104
12. トレーニング指導者	105
13. NSCAジャパン資格	106
• CSCS	
• NSCA-CPT	
14. 図書館司書	107
15. 認定絵本士	107
16. 全国大学実務教育協会資格	108
① 実践キャリア実務士	108
② 観光実務士	109
③ こども音楽療育士	109
④ 園芸療法士	110
⑤ カウンセリング実務士	110
⑥ 上級ビジネス実務士(国際ビジネス)	111
⑦ 情報処理士	111
札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部資格取得奨励金	112
<b>09. 大学院</b>	
1. 授業科目の履修および単位修得	113
2. ダブルディグリー・プログラム	113
3. 学位の授与	114
4. 修士論文・課題研究審査要領	114
<b>10. 教育目標・教育課程の仕組み</b>	
札幌国際大学のポリシー	115
人文学部	116
観光学部	116
スポーツ人間学部	116
人文学部 国際教養学科	117
人文学部 心理学科 臨床心理専攻	118
人文学部 心理学科 子ども心理専攻	119
観光学部 観光ビジネス学科	120
スポーツ人間学部 スポーツビジネス学科	121
スポーツ人間学部 スポーツ指導学科	122
札幌国際大学大学院のポリシー	123
観光学研究科 観光学専攻修士課程	124
心理学研究科 臨床心理専攻修士課程	125
スポーツ健康指導研究科 スポーツ健康指導専攻修士課程	126
<b>11. 授業科目一覧</b>	
ナンバリング	127
全学共通教育科目	129
人文学部国際教養学科科目	135
人文学部心理学科臨床心理専攻科目	138
人文学部心理学科子ども心理専攻科目	140
観光学部観光ビジネス学科科目	143
スポーツ人間学部スポーツビジネス学科科目	146
スポーツ人間学部スポーツ指導学科科目	148
教職課程に関する科目	151
図書館司書課程に関する科目	151
社会教育主事に関する科目	152
観光学研究科教育課程表	153
心理学研究科教育課程表	154
スポーツ健康指導研究科教育課程表	156
<b>12. 沿革</b>	157
<b>13. 資料集</b>	
1. 学則・規程	160
2. 2026年度 研究室一覧	160
<b>履修登録票</b>	

# *STUDENT HANDBOOK 2026*

SAPPORO  
INTERNATIONAL  
UNIVERSITY



## 本学における学びと皆さんへの期待

札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部

学長 蔵満 保幸

本学は1969年開学の静修短期大学をその祖としており、2026年度で開学57年目を迎えます。開学以来一貫して教育改革に取り組んできましたが、その教育の礎を築いてきた短期大学部は、新たな段階を迎え、学生募集を停止いたしました。これまで多くの人材を社会へ送り出してきたその歩みに深く敬意と感謝を表するとともに、その教育理念と伝統は、今後も本学の教育の中に確かに受け継がれていきます。

こうした歩みを踏まえ、本学では学びのかたちをよりよいものにするため、2025年度から、春学期を春1・春2、秋学期を秋1・秋2とする4学期制(クォーター)とし、105分授業を導入しました。

この改革の背景には、皆さんに大学での教養・知識・技術を、楽しみながら身につけてほしいという願いがあります。大学は、小中高で培ってきた基礎をもとに更なる人間教育や高度な専門教育に向き合う場であり、皆さんにとって社会へ踏み出す前の大切な時間でもあります。

しかし、専門的な学びに取り組むことは決して簡単なことではありません。「大学生活は思ったより大変だ」「もっと楽しいものだと思っていた」「勉強ばかりで他の活動をする余裕がない」と感じることもあるかもしれません。そこで本学では、新しい学修制度のもとで、皆さんの学びがより深まり、大学生活がより充実したものとなることを期待しています。

クォーター制で短い期間に集中して学ぶことで、より効果的な学修が可能になります。そして、その成果を次の挑戦へとつなげることができ、また、年間スケジュールには、2か月間の夏季・春季休暇に加え、各クォーターの間に1週間のクォーターブレイクを設けています。この期間を活用して資格取得の準備や留学、インターンシップなど、さまざまな経験に挑戦することができます。学びと課外活動の両方に取り組むことで、より充実した大学生活が広がることでしょう。さらに、オンデマンド型授業など多様な授業形態を取り入れ、一人ひとりの学び方に合わせた柔軟な履修も可能となっています。

卒業の時に「どんな自分になりたいか」という理想を思い描きながら、大学生活ならではの貴重な経験や喜びを存分に味わってほしいと願っています。

「楽しくなければ大学じゃない」を合言葉に、皆さんが学ぶ楽しさを実感し、「楽しい大学生活」を実践して、社会に大きく羽ばたいていくことを期待しています。

●建学の礎・教育の基本的考え方

# 「自立」「自由」「自省」

## 建学の礎

- 真理を探ね、自由を愛し、自らを省みる自立した人間を育成する。
- 理想を求め、明日の地域社会を拓く創造性豊かな人間を育成する。
- 日本人としての自覚と誇りを持ち、自らの責任において行動する国際人を育成する。

## 教育の基本的考え方

- 個性を尊重し、多様な生き方に応える生涯学習を推進する。
- 学ぶ楽しさや表現する喜びを通し、真理を探究する心と豊かな感性を養う。
- 日本の歴史や文化を理解し、世界の動きに目を向け、すすんで社会に貢献する態度を養う。

## 学歌

### 札幌国際大学歌

作詞 青島広志  
作曲 青島広志

**A Allegretto**  
*mf*

1.し ら か ば の 一 業 が ひ か る  
2.ナ ナ カ マ ド の 実 が う の べ る  
3.あ た ら し い 陽 が の ほ る

き た の と そ ら す み わ た る に と り ど り の の し き せ の な め か が り ら い  
か が や く の と だ い す い ま こ こ に い ひ と の の お い の か け め り に い わ ち

**B**  
*mf*

の ち の こ ち ど う が ひ び い て く る あ な た た と ま だ な だ た と と を  
げ た の た み ぼ ら い せ い と び し ん び た た て ひ て く る あ わ な た た し と が ま で す な あ だ っ た こ こ と と を

札 幌 の こ の 地 で - {せり か そ こ いうろ ををに すずか こここののまななや  
3rd time }  
1. 札 幌 国 際 だ い が く

2. 札 幌 国 際 だ い が く  
3rd time (f) 札 幌 国 際 だ い が く

- 一、白樺の葉が 光る  
北国の空 透みわたる  
とりどりの 知らせの中から  
いのちの鼓動が 響いてくる  
あなたと 学んだことを  
札幌の この地で  
世界を結ぶ この学び舎  
札幌国際大学
- 二、ナナカマドの実が 熟れる  
実りのときが すぐそこに  
いくたびの 季節の巡りに  
わたしたちは 青春をひらく  
あなたと 出会えたことを  
札幌の この地で  
理想を築く この学び舎  
札幌国際大学
- 三、新しい陽が のぼる  
輝く時代 今ここに  
人々の想い かけめぐり  
無限の未来へ 飛び立ってゆく  
わたしが 巣立ったことを  
札幌の この地で  
心に誓う この学び舎  
札幌国際大学

年間計画表

2026年4月		
1	水	
2	木	
3	金	春学期入学式
4	土	
5	日	
6	月	新入生オリエンテーション①
7	火	新入生オリエンテーション②
8	水	新入生オリエンテーション③
9	木	新入生オリエンテーション④
10	金	在学生オリエンテーション
11	土	春1Q開始 1
12	日	
13	月	1
14	火	1
15	水	1
16	木	1
17	金	1
18	土	2
19	日	
20	月	2
21	火	2
22	水	2
23	木	2
24	金	2
25	土	3
26	日	
27	月	3
28	火	3
29	水	昭和の日 → 通常授業日 3
30	木	4/29 祝日の振替休日

春学期履修登録期間

5月		
1	金	開校記念日の振替休日
2	土	
3	日	憲法記念日
4	月	みどりの日
5	火	こどもの日
6	水	振替休日
7	木	3
8	金	3
9	土	4
10	日	
11	月	4
12	火	4
13	水	4
14	木	4
15	金	4
16	土	5
17	日	
18	月	5
19	火	5
20	水	5
21	木	5
22	金	5
23	土	6
24	日	
25	月	6
26	火	6
27	水	6
28	木	6
29	金	6
30	土	補講日 ㊦
31	日	

6月		
1	月	㊦
2	火	㊦
3	水	㊦
4	木	㊦
5	金	㊦
6	土	
7	日	
8	月	避難訓練 / 補講日
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	春2Q開始 1
14	日	
15	月	1
16	火	1
17	水	1
18	木	1
19	金	1
20	土	2
21	日	
22	月	2
23	火	2
24	水	2
25	木	2
26	金	2
27	土	開学記念日 / 清麗祭①
28	日	清麗祭②
29	月	3
30	火	3

春2Q履修変更期間

※4月29日は祝日ですが授業を行います。

10月		
1	木	秋学期入学式
2	金	秋学期オリエンテーション
3	土	
4	日	
5	月	秋1Q開始 1
6	火	1
7	水	1
8	木	1
9	金	1
10	土	1
11	日	
12	月	スポーツの日 → 通常授業日 2
13	火	2
14	水	2
15	木	2
16	金	2
17	土	2
18	日	
19	月	3
20	火	3
21	水	3
22	木	3
23	金	3
24	土	3
25	日	
26	月	4
27	火	4
28	水	4
29	木	4
30	金	4
31	土	4

秋学期履修登録期間

11月		
1	日	
2	月	5
3	火	文化の日 → 通常授業日 5
4	水	5
5	木	5
6	金	5
7	土	5
8	日	
9	月	6
10	火	6
11	水	6
12	木	6
13	金	6
14	土	補講日 6
15	日	
16	月	㊦
17	火	㊦
18	水	㊦
19	木	㊦
20	金	㊦
21	土	㊦
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	補講日
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	秋2Q開始 1

秋2Q履修変更期間

12月		
1	火	1
2	水	1
3	木	1
4	金	1
5	土	1
6	日	
7	月	2
8	火	2
9	水	2
10	木	2
11	金	2
12	土	2
13	日	
14	月	3
15	火	3
16	水	3
17	木	3
18	金	3
19	土	3
20	日	
21	月	4
22	火	4
23	水	4
24	木	4
25	金	4
26	土	4
27	日	
28	月	5
29	火	事務局休業
30	水	事務局休業
31	木	事務局休業

※10月12日は祝日ですが授業を行います。

※11月3日は祝日ですが授業を行います。

7月		
1	水	3
2	木	3
3	金	3
4	土	3
5	日	
6	月	4
7	火	4
8	水	4
9	木	4
10	金	4
11	土	4
12	日	
13	月	5
14	火	5
15	水	5
16	木	5
17	金	5
18	土	5
19	日	
20	月	海の日
21	火	6
22	水	6
23	木	6
24	金	6
25	土	補講日
26	日	
27	月	6
28	火	⑦
29	水	⑦
30	木	⑦
31	金	⑦

8月		
1	土	⑦
2	日	
3	月	⑦
4	火	補講日
5	水	夏季休業・夏季集中講義期間 ~ 9/30
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	山の日
12	水	
13	木	
14	金	事務局休業
15	土	事務局休業
16	日	事務局休業
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	単位確認日
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

9月		
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	春学期学位記授与式
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	国民の休日
23	水	秋分の日
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	再試験①
30	水	再試験②

2027年1月		
1	金	元日 / 事務局休業
2	土	事務局休業
3	日	事務局休業
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	5
13	水	5
14	木	5
15	金	5
16	土	5
17	日	
18	月	6
19	火	6
20	水	6
21	木	6
22	金	6
23	土	補講日
24	日	
25	月	⑦
26	火	⑦
27	水	⑦
28	木	⑦
29	金	⑦
30	土	⑦
31	日	

2月		
1	月	一般選抜①(入講禁止)
2	火	一般選抜②(入講禁止)
3	水	補講日
4	木	春季休業・冬季集中講義期間 ~ 3/31
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	建国記念の日
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	単位確認日
17	水	
18	木	
19	金	再試験①
20	土	再試験②
21	日	
22	月	
23	火	天皇誕生日
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	

3月		
1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	秋学期学位記授与式
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	春分の日
22	月	振替休日
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

1) 授業日程 春学期:4月11日から8月3日 秋学期:10月5日から1月30日 2) 日付欄の右端に記載している数字は、その曜日の授業回数を示しています。  
 3) スケジュールは変更になる可能性があります。変更になる場合はCampusPlan portal等に掲載いたします。

## キャンパスマップ

11F	研究室、2111会議室、展示室、特別会議室
10F	研究室、2101会議室、ラウンジ
9F	291・296演習室、295実習室、292～294実験室、心理検査実習準備室、研究室
8F	282教室、281演習室、研究室、283会議室
7F	272教室、271演習室、研究室、273会議室、ラウンジ
6F	261演習室、262実習室、ピアノ室、子どもの遊び演習室、研究室
5F	253教室、252・254・256演習室、251・255実習室、研究室
4F	242～246教室、241・244・247演習室
3F	231教室
2F	221・222教室、保健室、学生相談室、コンビニ、AED
1F	211教室、212・213実習室、調理実習準備室、特別実習準備室、短大ロッカー室、研究室、中央監視室

2F	男子更衣室、女子更衣室
1F	アリーナ、AED

第2体育館

2号館

3F	部室301～314
2F	部室201～212
1F	部室101～108

クラブ棟

1号館

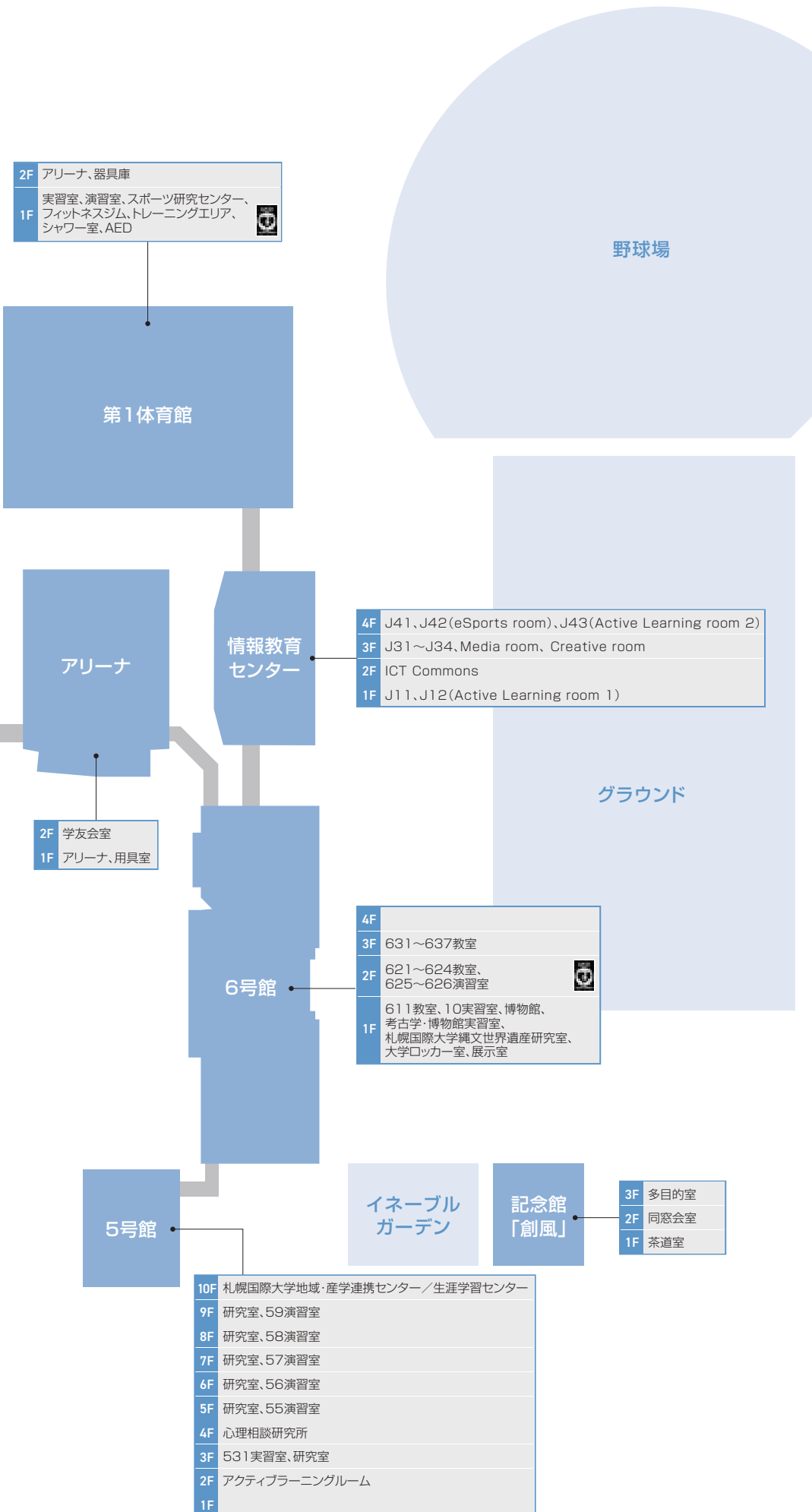
7号館

総合情報館

7F	多目的ホール
6F	多目的ホール
5F	大学院研究室・演習室
4F	141教室、142～145演習室、ライティングラボ、教職相談室
3F	131～135演習室、グループ学習室1・2、グローバル・commons、国際課
2F	キャリア支援センター、講師室、学生サポートセンター、ATM
1F	総務課、学生課、教務課、広報課、アドミッションセンター、情報システム課、会計課、AED

4F	ラウンジ、カフェテリア、ビデオコーナー、談話スペース
3F	図書館 本館、レストラン
2F	図書館 本館、第二閲覧室、視聴覚学習室
1F	プラザ
B1F	シアター

4F	日本文化演習室、生涯学習センター音楽療育部門
3F	ビジネス演習室
2F	ロビー
1F	



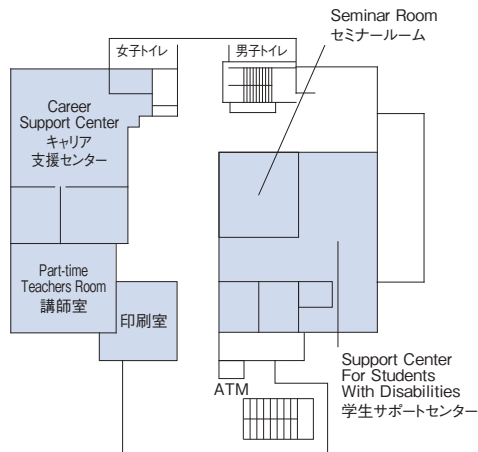
Building 1  
1号館

1階

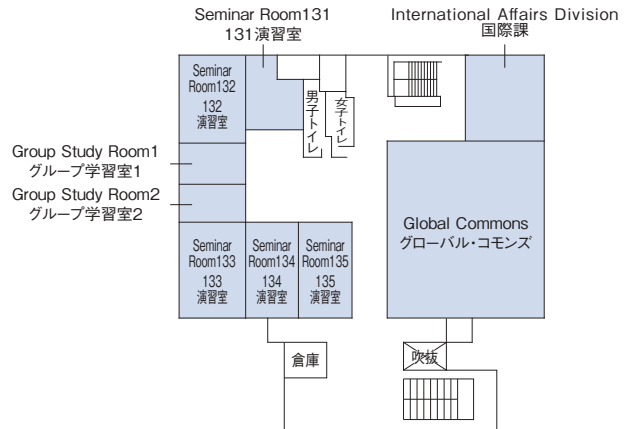
- Administration Division  
総務課
- Student Affairs Division  
学生課
- Academic Affairs Division  
教務課
- Public Relations Division  
広報課
- Admissions Center  
アドミッションセンター
- Information System Division  
情報システム課
- Management Strategy Planning office  
経営企画室
- Corporate office  
法人室
- Accounting Division  
会計課



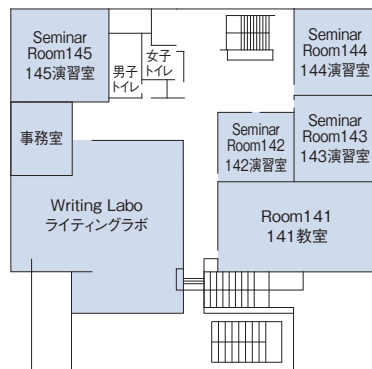
2階



3階



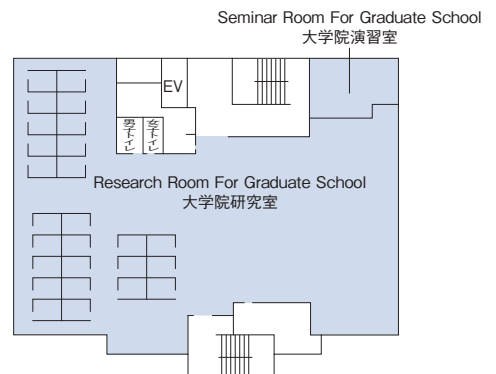
4階



Counselling Office for Teacher Training Course  
教職相談室

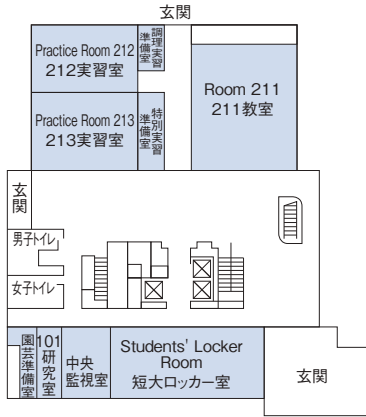
※6階・7階は省略

5階

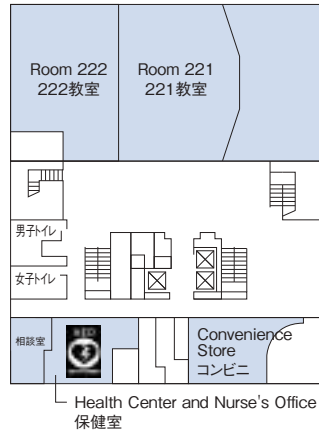


# Building 2 2号館

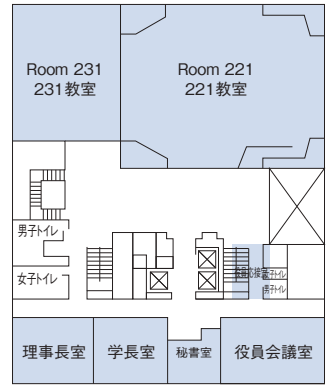
## 1階



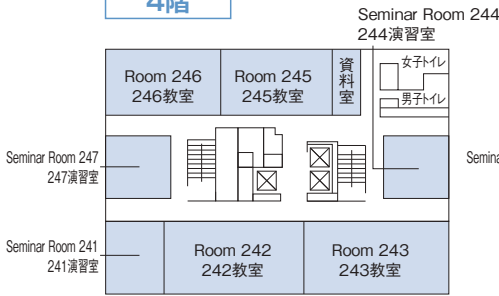
## 2階



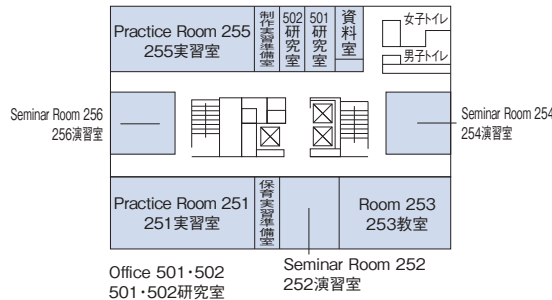
## 3階



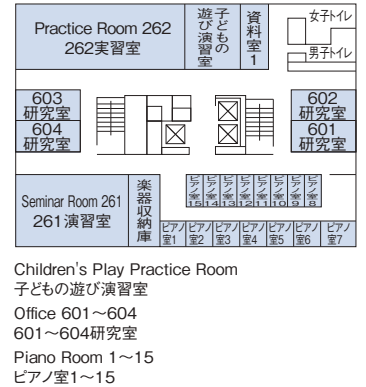
## 4階



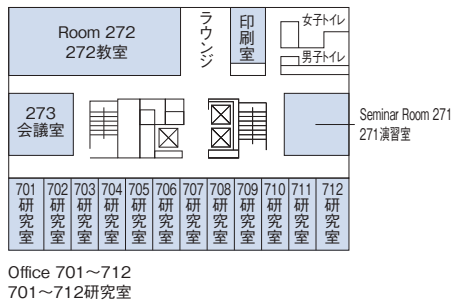
## 5階



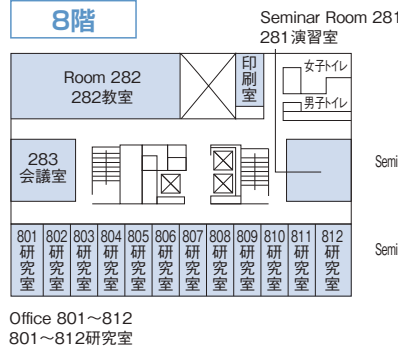
## 6階



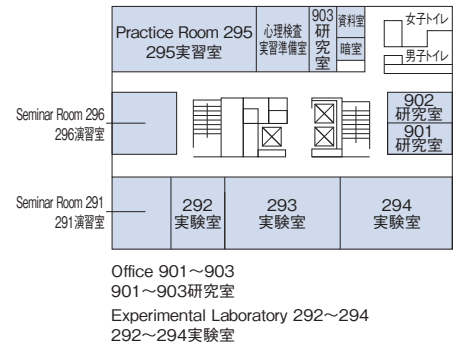
## 7階



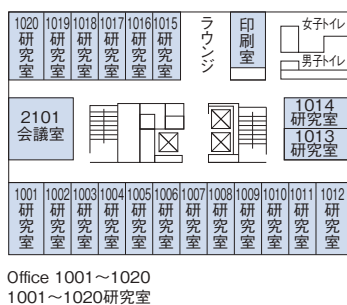
## 8階



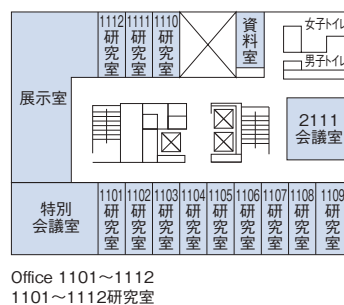
## 9階



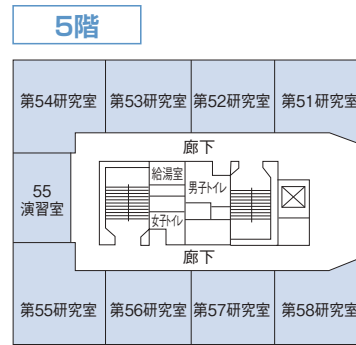
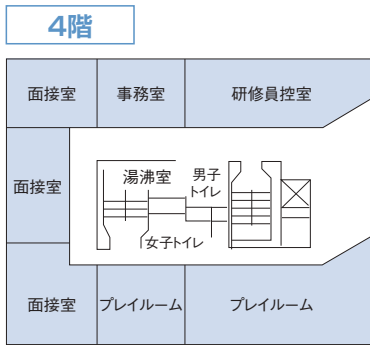
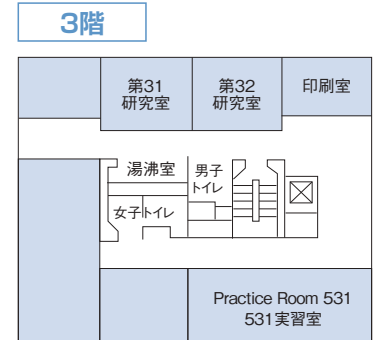
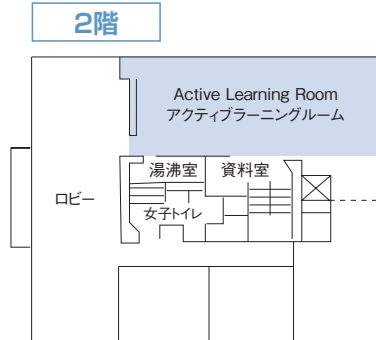
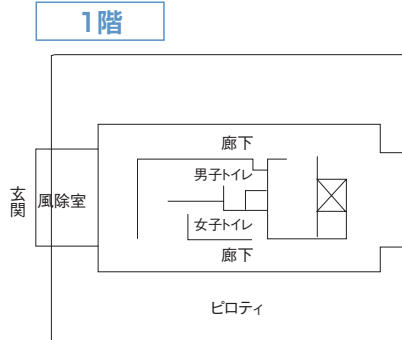
## 10階



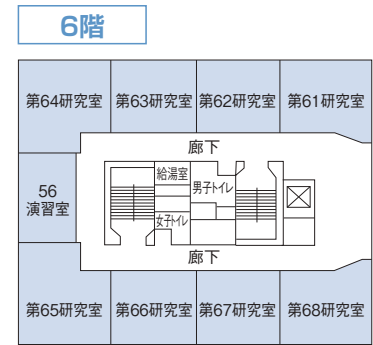
## 11階



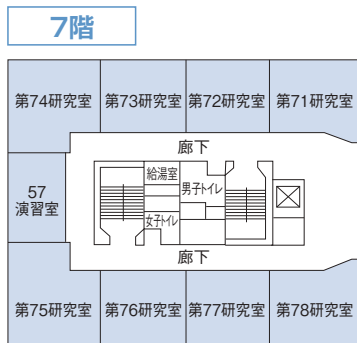
Building 5  
5号館



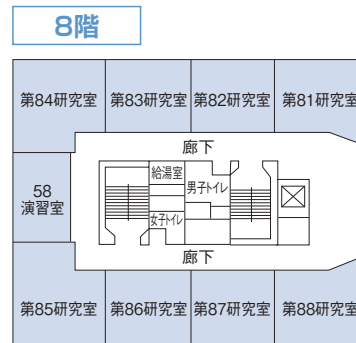
Office 51~58  
第51~58研究室  
Seminar Room 55  
55演習室



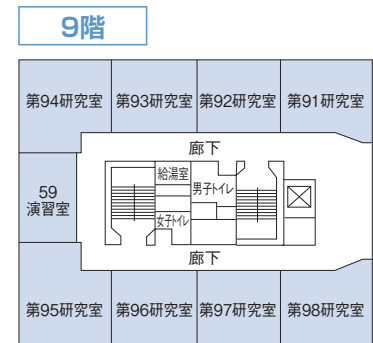
Office 61~68  
第61~68研究室  
Seminar Room 56  
56演習室



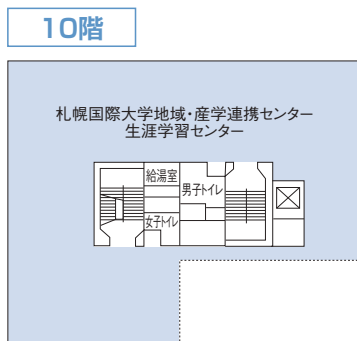
Office 71~78  
第71~78研究室  
Seminar Room 57  
57演習室



Office 81~88  
第81~88研究室  
Seminar Room 58  
58演習室

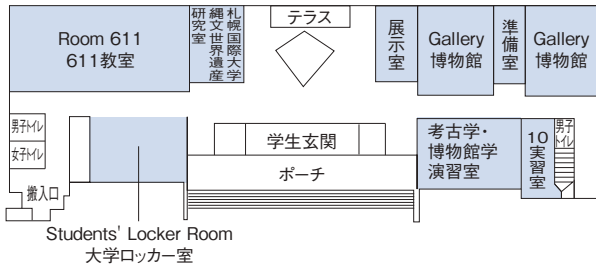


Office 91~98  
第91~98研究室  
Seminar Room 59  
59演習室

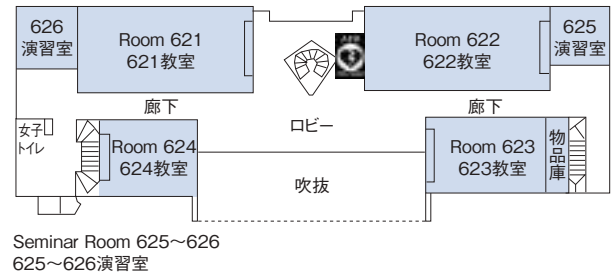


## Building 6 6号館

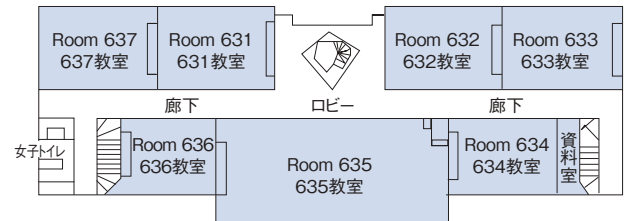
### 1階



### 2階



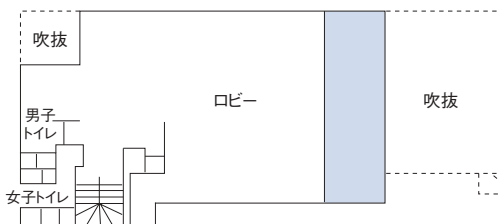
### 3階



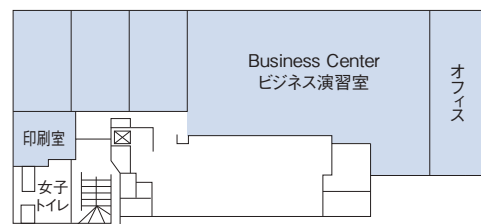
※4階は省略

## Building 7 7号館

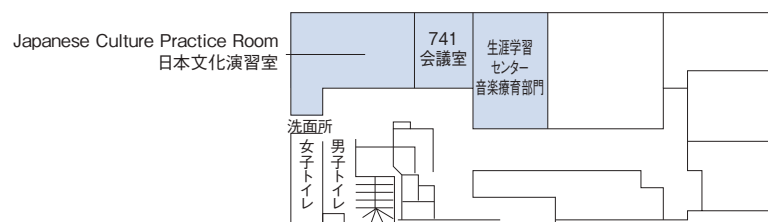
### 2階



### 3階



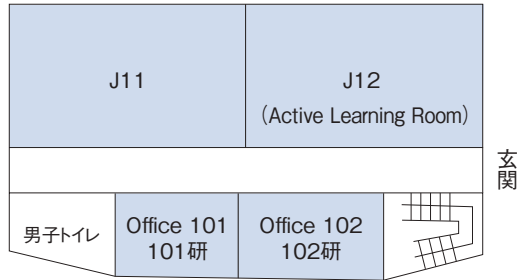
### 4階



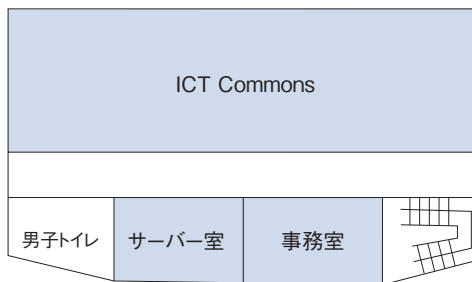
※1階は省略

## Information and Education Center 情報教育センター

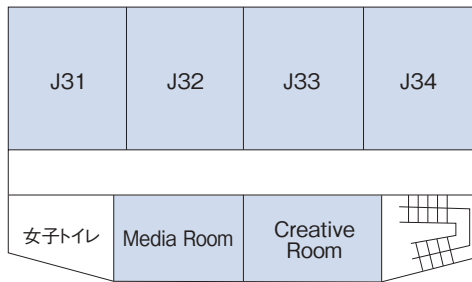
### 1階



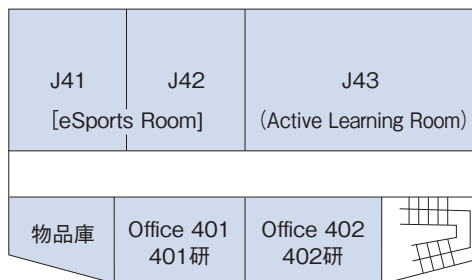
### 2階



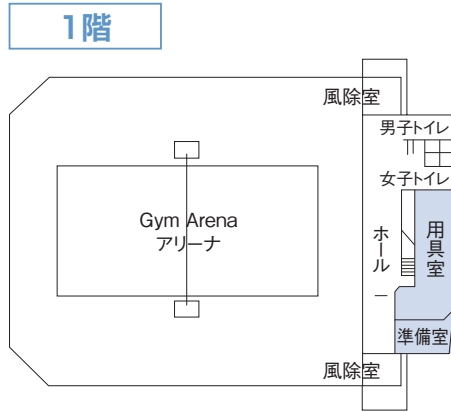
### 3階



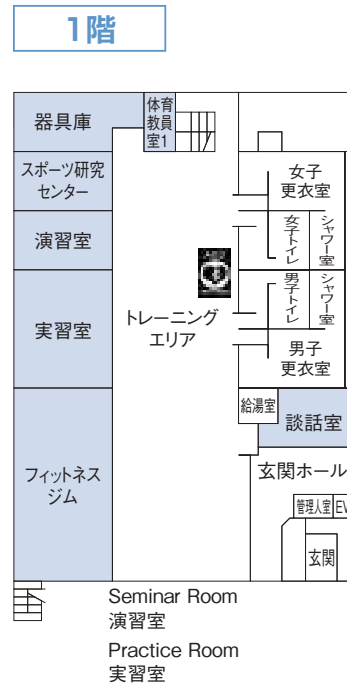
### 4階



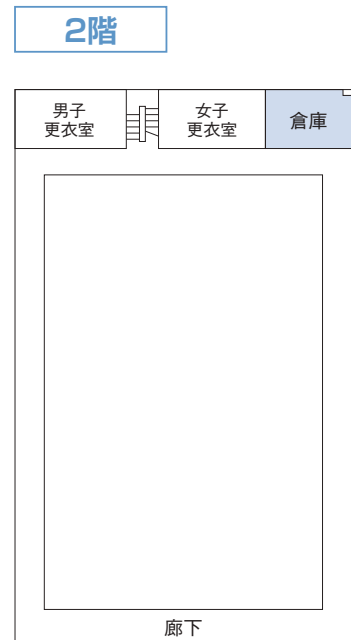
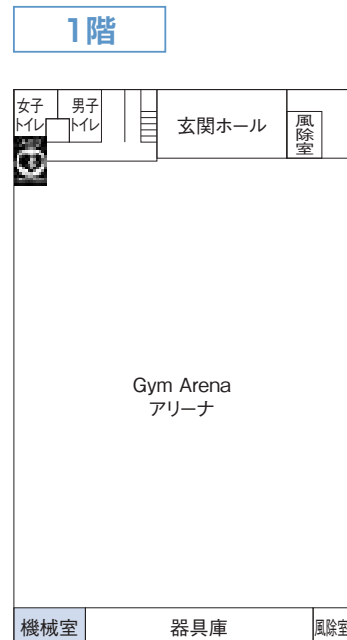
Gym Arena  
アリーナ



Gymnasium 1  
第1体育館



Gymnasium 2  
第2体育館



## 1 | 学生生活

## ① 窓口案内

## ● 窓口案内

困ったことがあったら聞いてみよう

窓 口	場 所	取扱業務	取扱時間
教務課	1号館1階	履修、試験、成績、時間割に関すること 教員免許に関すること 資格に関すること 各種検定に関すること 休学・退学・復学に関すること など	[平日] 授業期間中 9:00~18:00  授業期間外 9:00~17:00  [土曜日] 9:00~13:00  日曜日・祝日は休館  [連絡先(代表)] TEL (011)881-8844 FAX (011)885-3370
学生課		クラブ・同好会に関すること 遺失物・拾得物に関すること 奨学金・授業料減免に関すること 各種証明書の発行に関すること 住所・保証人変更に関すること その他、学生生活全般に関すること など	
国際課	1号館3階	留学に関すること 留学生支援全般に関すること など	
総務課	1号館1階	施設管理に関すること など	
会計課	1号館1階	授業料の納入に関すること など	
キャリア支援センター	1号館2階	就職に関する相談 就職支援全般に関すること など	
アドミッションセンター	1号館1階	入学試験に関すること オープンキャンパスに関すること 大学広報に関すること など	
広報課	1号館1階	大学広報に関すること など	

## ● 校舎使用時間

	平 日	土曜日		日曜日・祝日	授業期間外
		5~10月	11~4月		
1号館、2号館、5号館、6号館、 7号館、総合情報館(図書館以外)、 情報教育センター(下記施設以外)	8:00~21:30	8:00~20:00	8:00~19:00	9:00~17:00	左記に同じ
第1・2体育館、アリーナ、 クラブ棟、記念館	8:00~21:00	8:00~19:30	8:00~18:30	9:00~16:30	
情報教育 センター	8:30~20:00	8:30~13:00		休館	
2F ICT Commons		8:30~18:00		10:00~16:00	
図書館	本館	9:00~21:30	9:00~13:00	休館	平日 9:00~17:00
	第二閲覧室	9:00~18:00	9:00~12:00		

## ●各種証明書

申込用紙は事務室にあります。必要事項を記入し手数料分の証紙を貼付して申込みください。  
必ず本人が窓口に来て手続きをしてください。(証紙は1号館1階事務室内にある証紙販売機で購入)

種類	手数料	発行	備考	担当課
在学証明書	200円	翌日(13時)		学生課
卒業見込証明書	200円	翌日(13時)	大学:3年以上在学、84単位以上取得 短大:30単位以上取得	
単位修得成績証明書	200円	翌日(13時)		
健康診断証明書	200円	翌日(13時)	健康診断を受診した年度のみ発行可能	
推薦状	200円	翌日(13時)	就職、編入試験等	
人物調書	200円	約1週間	アドバイザーに調書記載を依頼したうえで申し込むこと	
学力に関する証明書	400円	約1週間	教員免許に関する単位の証明書	
資格・免許状取得見込証明書	200円	翌日(13時)	教員免許(中・高・幼)、保育士、図書館司書、学芸員 他	
各種英文証明書	1,000円	1週間~2週間	上記の英文証明書	

## ●各種願・届

各願・届の用紙は、各提出先窓口にありますので、必要事項を記入し、手続きを行ってください。

	願・届出の種類	提出期限	備考	担当課
学籍関係	休学願		事前にアドバイザーに相談し、承諾を得ることが必要です	教務課
	退学願			
	復学届		本学から期限記載の様式を送付します	
	転学部・転学科・転専攻願	学期開始2か月前	選考試験があります	
授業関係	成績確認願	5月末及び10月末	詳細はP78へ	教務課
	再試験願	再試験開始前まで	1科目につき1,000円	
	公認欠席届	事由による	Formsに申請、担当課および詳細はP53へ	
	公認欠席に伴う授業補充願	公認欠席承認後すみやかに		
身上関係	住所変更届	変更後すみやかに	変更を確認できる書類(戸籍抄本・住民票等)を添付してください	学生課
	保証人変更届	変更後すみやかに		
	氏名変更届	変更後すみやかに		
クラブ関係	学内団体継続願	4月末		学生課
	学内団体設立許可願	4月及び9月		
	大会等出場届	開催日の1週間前	大会要項またはパンフレットを添付	
	学内団体参加結果報告書	終了後1週間以内		
	学内団体助成費要求書A	開催日の2週間前	登録費・参加料・物品購入費	
	学内団体助成費要求書B	開催日の2週間前	遠征・合宿費用等	
	物品購入に関するお願い	その都度	見積書添付	
	許可願(使用・借用・入校)	使用日の1週間前	総合情報館使用の場合は図書館に提出	
学費関係	バス使用申込書	使用日の2週間前		会計課
	授業料等延納願	納入期限内	会計課の指示に従って手続きしてください	
就職関係	内定報告書	内定取得後すみやかに	内定取得した企業を全て報告 どのような採用試験が行われたかを報告	キャリア支援センター
	就職活動証明書	事由発生後2週間以内	就職活動で授業欠席した際、公認欠席届と一緒に提出	
	公認欠席届			
	就職用諸証明発行願	学内選考結果後直ちに	学内選考通過者はキャリア支援センターへ提出	

## ② 学生証

学生証は本学学生の身分を証明するものです。  
常に携帯し、求められたときはいつでも提示できるようにしてください。

## こんなとき学生証の提示が必要です

- ・授業を受けるとき
- ・授業内試験を受けるとき
- ・図書館で本を借りるとき
- ・通学定期券を購入するとき
- ・申し込みをした各種証明書を受け取るとき

## ● 学生証の再発行(紛失・破損・汚損・期限切れ・氏名変更)

以下の場合、学生証の再発行が必要です。すみやかに学生課にて再発行の手続きを行ってください。  
学生証の再発行には、手数料として1,000円がかかります。

- ・紛失した
- ・破損・汚損した
- ・学生証の有効期限が切れた
- ・氏名変更した

## ● 住所変更があったとき

すみやかに学生課にて手続きをしてください。  
住所変更届を提出し、学生証裏面の現住所欄に訂正印を受けてください(手数料無料)。

## ● 授業内試験時に学生証を忘れたとき

学生課で仮学生証の発行を受けてください。仮学生証は発行日のみ有効です(手数料無料)。

## ③ 学生番号

学生番号は、入学と同時に与えられ、卒業しても変わらない本人固有の番号です。

学生番号の意味

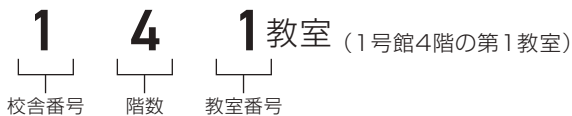


大学 1	11	国際教養学科
	12	心理学科(臨床心理専攻)
	13	心理学科(子ども心理専攻)
	31	観光ビジネス学科
	41	スポーツビジネス学科
大学院 2	42	スポーツ指導学科
	21	観光学研究科
	31	心理学研究科
短大 3	41	スポーツ健康指導研究科
	11	総合生活キャリア学科
	21	幼児教育保育学科

## ④ 教室番号

教室番号は次のように決まっています。

教室番号の意味



## ⑤ アドバイザー制度

学科のアドバイザー教員がみなさん一人ひとりをサポート

本学では、学科の教員がアドバイザーとして学生の皆さん一人ひとりを担当し、学習に関することはもちろん、学生生活全般に関することや将来の進路についての相談などに応え、皆さんの大学生活が有意義で充実したものとなるよう支援します。どんなことでも気軽に相談してみてください。

## ● 主な支援内容

## ＜学習に関すること＞

履修登録に関する相談、学習の進め方等に関する相談、資格取得に関する相談、留学に関する相談、GPA制度・CAP制についてなど

## ＜進路に関すること＞

就職に関する相談、進学に関する相談、休学・退学など学籍に関する相談、転学部・転学科・転専攻に関する相談など

## ＜学生生活に関すること＞

奨学金に関する相談、クラブ・同好会活動に関する相談、アルバイトや日常生活の諸問題についてなど

## ●アドバイザーとの面談

アドバイザーに相談したいときは教員が学内にいる時間を確認して研究室を訪ねてください。

### <履修登録時>

履修登録をする際にはアドバイザーの承認が必要です。各学期の履修登録期間中にアドバイザーと面談してから履修登録を行います。

### <成績不振の時>

前学期の成績が一定水準に達していない場合や、GPAを目安に成績が振るわないと判断された場合は、面談を行います。場合によっては保証人(父母など)にも連絡をとることがあります。

※アドバイザーとの相談の中で、自身のプライバシーに関わる事項について話すかどうかは、皆さんの意思が尊重されます。

話したくない場合には、遠慮なく断ることができます。もし話した場合についてもアドバイザーには守秘義務が発生し、皆さんのプライバシーは守られます。

※アドバイザーの助言や指導の内容について、第三者に相談したい場合は、他の教員や学生課、教務課、学生サポートセンターに相談することもできます。

## ⑥ オフィスアワー

本学では、授業科目等に関する学生の質問・相談に応じるための時間として、教員が予め示す、特定の時間帯である「オフィスアワー」を設けています。

学生は、基本的に予約なしで研究室を訪問することができます。

専任教員のオフィスアワーは、CampusPlan portalまたは研究室のドア等に掲示しています。非常勤講師については、授業終了後に教室で質問を受け付けます。

## ⑦ 学生サポートセンター

学生サポートセンターは、すべての学生が心身共に健康な学生生活を送るために、皆さんのさまざまな問題や悩みについて、福祉の国家資格をもつキャンパス・ソーシャルワーカーや公認心理師・臨床心理士の資格を持つ心理カウンセラーまたは看護師資格を持つ保健室担当者に相談することができる場所です。特別な事情を除いては、相談した内容が外部に漏れることはありませんので、ひとりで悩まずに気軽に相談してください。

### ● 学生サポートセンター 1号館2階(青い扉が目印)

#### <フリースペース>

飲食や読書、一人になりたいときや友人との語らいなど、思い思いの時間を過ごすことが出来る快適な空間を提供しています。

#### <修学支援>

障がいを抱える学生への合理的配慮を受け付けています。

#### <学生サポートスタッフの募集>

障がいを抱える学生の支援を行ってくれるボランティアを募集します。

#### <日常生活にかかる相談>

キャンパス・ソーシャルワーカー※1や心理カウンセラー※2が授業、成績、サークル、友達、恋愛、先生、進路などの人間関係や学生生活、将来に関する心配ごと等、どんな問題や悩みでも一緒に考え、課題の解決を目指します。

※1「キャンパス・ソーシャルワーカー」はどんな人？

社会福祉士、精神保健福祉士の国家資格を持ち、困りごとを抱える皆さんの生活上の問題に対して、さまざまな制度やサービス、資源を活用して福祉的なアプローチから解決を目指す専門家です。

※2「心理カウンセラー」はどんな人？

公認心理師、臨床心理士の資格を持ち、困りごとを抱える皆さんの心の悩みや問題に対して、臨床的なアプローチで心理的な課題に対するアドバイスをを行う専門家です。

### ● キャンパスソーシャルワーカーへの相談

月曜日～金曜日 9:00～17:00

※土・日・祝・臨時休業日はお休みです。

直接来室または電話でご相談ください。

相談は予約優先となりますので、あらかじめお電話、ホームページ相談受付フォームよりご予約ください。

▶▶ 学生サポートセンター TEL 011-887-6719(直通) メール support@ad.siu.ac.jp

## ●心理カウンセラーへの相談開設曜日・時間

曜日	時間 枠	
月 ・ 火 ・ 木	①	10:50～11:30(月・火)
	②	11:40～12:20(月・火)
	③	13:20～14:00(月・火)
	④	14:15～14:55(月・火・木)
	⑤	15:15～15:55(月・火・木)
	⑥	16:10～16:50(月・火・木)
	⑦	17:10～17:50(木)

※授業期間以外の開設日は、確認してください。

※心理カウンセラーへの相談はできるだけ予約をお取りください。  
【予約ページ: <https://airrsv.net/shinrisodan/calendar>】  
Eメール [g-sodan@ad.siu.ac.jp](mailto:g-sodan@ad.siu.ac.jp)

予約はこちら ▶▶



## ●保健室 2号館2階

看護師が一人一人に寄り添いながら、健康的な生活スタイルとは何かを共に考えていきます。

## &lt;健康相談&gt;

健康などに関して何か「困ったな」と思った時はいつでも声をかけてください。あなたにとって良い方法を一緒に考えます。また、特別な疾病を持つ学生や虚弱体質の学生は、あらかじめ保健室担当者に申し出てください。

## &lt;日常の応急手当&gt;

校内での急病やケガ、または静養が必要な時に利用してください。応急処置の上、必要な場合は病院等の医療機関を紹介します。

## &lt;インフルエンザなどの感染症にかかったら&gt;

学校が予防すべき感染症と診断した場合、出席停止となりますので、公認欠席届を提出してください。詳細はP53の「公認欠席について」を確認してください。

月曜日～金曜日 9:00～17:00 ※土・日・祝・臨時休業日はお休みです。  
直接来室または電話でご相談ください。

▶▶ 保健室 TEL 011-881-8844(代表) メール [hoken@ad.siu.ac.jp](mailto:hoken@ad.siu.ac.jp)

## ⑧健康診断について

## ●定期健康診断の受診

学校保健安全法に基づき、4月から6月にかけて定期健康診断を実施しています。毎年必ず受診してください。

受診場所: 北野医院(学校医)  
札幌市清田区北野1条1丁目6-30

受診期間: 2026年4月から6月末まで

受診費用: 無料(上記の受診期間のみ)

結果確認: 学生カルテの健康情報から確認できます。(受診してから約2週間後)

[CampusPlan portal]から「学生カルテ」→「学生カルテ参照」→「健康情報」を参照してください。

受付時間等の詳細は、CampusPlan portalで案内します。

診断結果は後日、学外実習や就職時に必要となる健康診断証明書の資料となります。また、結果等によっては保健室から呼び出し連絡をし、健康指導を行うことがあります。

## ⑨ 保険について

### ● 学生教育研究災害傷害保険(略称:学研災=がくけんさい)

学生の教育研究活動中の災害を補償救済するための保険です。本学では全員が加入しています。  
正課中・学校行事中の事故による医療保険金は通院1日目より補償されます。

### ● 学生教育研究災害付帯賠償責任保険(略称:学研賠=がくけんばい)

学生が教育研究活動中に事故の加害者になった場合、補償するための保険です。本学では全員が加入しています。

### ● 学研災付帯学生生活総合保険(略称:付帯学総=ふたいがくそう)

学研災に加入している学生が加入できる保険で、学研災では補償されていない正課中、学校行事中以外の事故(死亡・後遺障害)の補償や、正課・学校行事(インターンシップ、教育実習等)中でも通院・入院1日から補償される保険です。ケガだけでなく病気にも対応し、賠償責任、救済者費用等の補償もあり幅広い制度です。

任意加入ですので加入金額や詳しい内容は保険代理店へお問い合わせください。

※事故が発生したら、出来るだけ早く学生課へ連絡し、保険の手続きをしてください。

ほくよう保険サービス株式会社 (011) 204-7451

#### 交通事故・自転車の接触事故があった時

通学途中や実習先への往復時に事故があった時は、軽微な事故であっても、すぐに警察へ連絡してください。  
症状が軽くてもまずは病院を受診しましょう。その後、学生課か保健室に連絡してください。

清田交番 (011) 881-2151  
札幌市清田区清田1条4丁目3-1

札幌豊平警察署 (011) 813-0110  
札幌市豊平区豊平7条13丁目1-15

## ⑩ 学割・定期券

### ● 学割証(学校学生生徒旅客運賃割引証)

正課の教育活動・課外活動・就職活動・進学のための受験・帰省・旅行などの使用目的でJR各社路線を利用する場合に、乗車券が2割引になる学割証を発行します。必要とする学生は、学割交付願(事務室カウンターにあります)と学生証を学生課に提出してください。翌日発行します。

- 1) 適用範囲 JR各社路線に片道100kmを越えて乗車する場合、乗車券のみ2割引(急行券、特急券、グリーン券には適用されません)
- 2) 有効期限 発効日から3ヶ月
- 3) 注意事項 他人名義の学割証を使用して乗車券を購入することはできません。不正使用した場合は、鉄道旅客営業規則により学割証は無効となり罰せられます。不正使用は厳禁です。学割証による乗車券使用中は、学生証を必ず携帯してください。

### ● 通学定期券

通学定期券は、現住所の最寄り駅から本学の最寄り駅までの最短区間で、通学の目的に限り購入できます。各交通機関の定期券購入窓口で購入してください。

- ・学生証の提示で購入できます。
- ・JRの場合は、学生証裏面に住所と乗車区間を記入してください。

### ● 実習用定期券

長期間にわたり、本学以外の場所へ実習のために通う場合、実習用定期券を購入できます。

実習が始まる2週間前までに「交通機関利用届」を教務課に提出してください。

定期券の発行は1ヶ月単位となっているため、2～3週間程度の実習では割高になることもありますので確認してください。

## ⑪ 学生への連絡

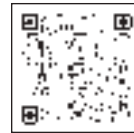
## 1. 学生用メールアドレス

大学から連絡することがあります。携帯電話への設定をして、まめにチェックしよう!

本学では学生全員にMicrosoft365(旧Office365)のOutlookを利用した「学生用メールアドレス」を発行しています。パソコンとインターネットが使える環境があれば大学内外を問わず、どのパソコンからも同じ画面、同じ操作方法で利用できます。Microsoft365は、パソコンでもスマートフォンでも利用できますが、主にメールの送受信に利用するのであれば、スマートフォン用の「Outlookアプリ」での利用が便利です。  
スマートフォンでOutlookを利用することを想定して、アプリのダウンロードから、メールの設定までの手順を示します。

① スマートフォン用「Outlookアプリ」をダウンロードしてインストールしてください。

【iOS版】



【Android版】



② インストールしたOutlookアプリを開きます。

③ 大学から配布されたメールアドレスを入力し、「アカウントの追加」を選択します。  
メールアドレスは「学生番号8桁@stu.siu.ac.jp」になります。  
学生番号は学生証を確認してください。

例: 26100100@stu.siu.ac.jp

(学生番号 26100100の場合)

すでにOutlookアプリを利用している場合は「アカウントの追加」から「メールアカウントの追加」を選択してください。



④ パスワードを入力し、「サインイン」を選択します。  
初期パスワードはSiu西暦生年月日(8桁)  
例: Siu20070501  
(2007年5月1日生まれの場合、Sは大文字、iulは小文字)



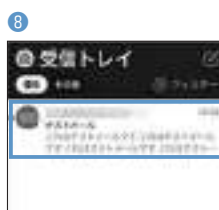
⑤ 次の画面が出た場合は「多要素認証の設定」を行ってください。「次へ」をタップします。  
設定画面が出たら適宜設定します。  
キャンセルをタップして後から設定しても構いません。

⑥ 「別のアカウントを追加」画面では、「後で」を選択します。



⑦ 通知の設定画面が表示された場合は「有効にする」「許可」を選択します。

⑧ 手順が完了したら、受信メールが表示されます。  
※機種変更した時は、必ず同様の手順でOutlookを設定してください。



### 優先受信トレイの解除

初期設定では届いたメールは受信トレイ内で自動的に「優先」と「その他」にメールが振り分けられます。時系列にメールを表示したい場合は優先受信トレイを解除します。

受信トレイをタップします



画面一番下の「歯車」アイコンをタップします



「メール」をタップします



「優先受信トレイ」をオフにします



## 2. CampusPlan portal(学内ポータルページ)

学内外どこからでもアクセスできる「CampusPlan portal」。学生生活に必要な情報をゲット!

「CampusPlan portal」はみなさんの大学生活に必要な情報にアクセスする窓口です。

大学からのインフォメーション、履修登録、成績照会、出欠登録、シラバス、履修時間割、LMS(授業支援システム)などにアクセスできます。

学内・学外どこからでもアクセス可能です。

### 1) 「CampusPlan portal」のアクセス(PC)

- 1) 札幌国際大学の公式ホームページ(アドレス: <https://www.siu.ac.jp/>)を開いて、画面右上の「CampusPlan portal」をクリックします。
- 2) Microsoft365のサインイン画面が表示されるので「サインイン」を選択します。



- 3) メールアドレスを入力して「次へ」  
メールアドレス: 学生番号(数字8桁)@stu.siu.ac.jp



- 4) パスワード: Siu西暦生年月日(8桁)を入力して「サインイン」  
(例)2007年5月20日生まれの場合...Siu20070520



- ⑤ 「CampusPlan portal」のメイン画面が開きます。「CampusPlan portal」の利用方法についてはP57「CampusPlan portal(キャンパスプランポータル)について」を参照してください。



## 2)「CampusPlan portal」のアクセス(モバイル)

- ① 「CampusPlan portal」のスマホアプリをインストールします(初回のみ)。  
※緑色のアプリは古いアプリのため利用できません。白いアプリをインストールしてください。

【iOS版】



【Android版】



- ② アプリと「CampusPlan portal」とのURL連携をするとログインできます(初回のみ)。

URL: <https://cplan-portal.siu.ac.jp/portal>

利用規約 > 通知の送信

【許可】をタップ

利用規約 > 同意

【同意する】をタップ

認証 > URL

上記URLを指定して  
【検索】をタップ

認証 > IDとパスワード

何も入力せず【ログイン】をタップ  
※デフォルトにチェックを入れると、  
ログイン情報が保存されます。

## ③ Microsoft365サインイン画面が表示されたら【サインイン】

④ メールアドレスを入力して「次へ」  
メールアドレス: 学生番号(数字8桁)@stu.siu.ac.jp⑤ パスワード: Siu西暦生年月日(8桁)を入力して「サインイン」  
(例)2007年5月20日生まれの場合・・・Siu20070520

## ③ ログイン後、「CampusPlan portal」のホーム画面に遷移します。「CampusPlan portal」の利用方法についてはP57「CampusPlan portal(キャンパスプランポータル)について」を参照してください。

Menuより履修申請などの各機能のメニューが表示されます。



## ⑫学籍に関わる事項

## ●休学について

疾病その他特別の理由により3月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができます。休学を希望する場合は、事前にアドバイザー教員に相談し、承諾を得ることが必要です。

## 休学期間の限度は？

- ・休学期間は1年以内とし、特別な理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認める場合があります。
- ・休学期間は、通算して[大学は4年、短大は2年]を超えることはできません。
- ・休学期間は、卒業に必要な在学期間に含まれません。

## 休学期間の授業料は？

## 休学期間と学納金

学期	「休学願」受理日	休学開始期間	授業料取り扱い
春学期	～3月31日	4月1日付	春学期分の学納金が全額免除
	4月1日～4月30日	4月1日付に遡及	
	5月1日～5月31日	5月の受理日から	春学期分の学納金全額納付
	6月1日～6月30日	6月の受理日から	
	7月1日～	春学期のみの休学は不可	
秋学期	～9月30日	10月1日付	秋学期分の学納金が全額免除
	10月1日～10月31日	10月1日付に遡及	
	11月1日～11月30日	11月の受理日から	秋学期分の学納金全額納付
	12月1日～12月31日	12月の受理日から	
	1月1日～	秋学期のみの休学は不可	

- ・学納金未納期間がある場合は休学を認めません。
- ・在学期間中の履修科目、修得した単位は認定することができます。  
例：第1クォーター終了後から休学する場合、第1クォーターの履修科目は全て認定する。
- ・学期初めに遡及して休学が認められた学生が、当該学期の学納金を全額納付している場合は、残額は返金せず預かり金とし復学時の学納金に充当します。

## ●復学について

- ・休学している学生が復学しようとする場合は、「復学願」を休学期間満了前までに提出する必要があります。
- ・手続きに関する書類は、保証人の住所に送付いたしますので、その指示に従ってください。
- ・休学予定期間を過ぎても復学または退学の手続きをしない場合は、復学として取り扱われ、授業料が請求されますので、必ず学籍異動の手続きを行ってください。

## ●退学について

- ・病気その他やむを得ない理由により退学しようとするときは、本学所定の「退学願」と学生証を教務課に提出する必要があります。退学を希望する場合は、事前にアドバイザー教員に相談し、承諾を得ることが必要です。
- ・退学を願い出るときは、その期までの授業料等納入金を納入していなければなりません。
- ・以下のいずれかに該当する場合、懲戒の退学となる場合があります。
  - (1) 非違行為の動機、態様及び結果
  - (2) 故意又は過失の別及びその程度
  - (3) 過去の非違行為の有無
  - (4) 日常における生活態度及び非違行為後の対応

## ●再入学について

- ・懲戒による理由以外で退学した者は、選考によって再入学することができます。
- ・再入学は学期始めとし、再入学試験の入試検定料を納入しなければなりません。

## ●除籍について

- ・次のいずれかに該当する場合は除籍となります。
  - (1) 学則に定める在学期間を超えた者
  - (2) 学則に定める休学期間を超えてなお修学できない者
  - (3) 授業料の納付を怠り督促してもなお納付しない者 ※授業料を2期分(1年間分)未納となった場合、2期目の末日をもって除籍となります。
  - (4) 長期にわたり行方不明の者

## ●復籍について

- ・授業料未納によって除籍となった者は、除籍日の翌日から起算して3年以内に、当該除籍の事由となった未納の授業料に相当する額を納付及び復籍願を提出し、学長の許可を得て復籍することができます。
- ・復籍の時期は、復籍の願い出があった日以降における最初の学期の始めとします。
- ・卒業要件等を既に満たしている場合の復籍の時期は、授業料を納入した後の直近の卒業日又は修了日とし、同日付で卒業又は修了することができます。
- ・復籍が許可された場合、復籍後の在学期間は除籍前の在学期間に通算し、また、認定が取り消された単位を再認定することができます。

## ● 転学部・転学科・転専攻について(大学のみ)

・所属学部・学科・専攻以外への転学部、転学科および転専攻を希望するときは、その学部・学科に欠員のある場合に限り選考のうえ、許可することがあります。

時 期	1年次秋学期以降の各学期の初めにすることができます。
出 願 書 類	以下の書類を各学期開始2ヶ月前までに教務課に提出してください。 1) 転学部・転学科願 2) アドバイザーの所見 3) 成績証明書
選 考 方 法	面接試験および書類審査を総合して選考します。
検 定 料	30,000円
単位の振替	転学部および転学科前の修得した単位の一部または全部を、許可された学部・学科の授業科目の単位として認めることができます。

## ● コース変更について(国際教養学科のみ)

コース変更を希望する場合は、アドバイザーとよく相談をしたうえで、「コース変更願」(教務課にあります)を学期の開始2週間前までに教務課に提出してください。コース変更に経費はかかりません。※専攻・コースの詳細は、各学科の「学科の教育目標・教育課程の仕組み」を参照してください。

## ● 進級について

休学や修得単位が少ない等の理由で原級留置(留年)することはありません。ただし、休学などによる学修中断の期間は、在学期間に含まれません。このため、半期休学した場合は最低半期、1年間休学した場合は最低1年間、卒業が遅れます。

## ⑬ 個人情報の保護と利用

### 1. 個人情報に対する本学の基本的姿勢

学校法人札幌国際大学は、個人情報の重要性を理解し、個人情報を適切に取り扱うことが教育機関としての重要な責務であることを認識し、以下の方針に基づき個人情報の保護に努めます。

#### 学校法人札幌国際大学個人情報保護基本方針

1. 本学は、個人情報の保護に関する法令及びその他の規範を遵守し、本学の入学志願者、学生・園児及び保護者並びに教職員等の個人情報を適切に取り扱います。
2. 本学が個人情報を取得する場合は、利用目的を明らかにするよう努力し、公正な手段によって、個人情報を取得します。
3. 本学が取得した個人情報は、あらかじめ示した利用目的もしくはそれと合理的な関連性のある範囲内で、業務の遂行上必要な限りにおいて利用します。また、個人情報を第三者との間で共同利用する場合、または、第三者に業務の一部を委託する場合には、個人情報保護の観点から適切な監督を行います。
4. 本学は、法令の定め等による場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく第三者に提供しません。ただし、保護者の皆様については、本学と連携して学生の健全で前向きな学業生活を支援するために、法令等を踏まえ、必要な情報の提供を適切に行ってまいります。
5. 本学は、個人情報への不正アクセスや個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどを防ぐため、必要かつ適切な安全措置を講じます。
6. 本学は、各自の個人情報の開示、訂正、削除等を文書により求められたときは、個人情報に関する個人の権利を尊重し、社会通念または教育上の配慮を踏まえて、合理的な期間、妥当な範囲で対応いたします。
7. 本学は、この個人情報保護基本方針を実行するため、個人情報保護規程を制定し、これをすべての教職員に、研修・教育を通じて周知徹底させ、必要に応じて体制や取り組みについての見直しを図り、改善してまいります。

### 2. 本学が保有する学生・保証人(保護者)の個人情報

#### 1) 入学時に取得する個人情報

氏名、性別、生年月日、国籍、顔写真、住所、電話番号、メールアドレス、学歴、職歴、高校での活動、趣味・特技・資格、健康状態、身体状態など ※保証人(保護者)の個人情報は氏名、住所、電話番号、緊急連絡先、入学者との続柄などです。

#### 2) 修学期間中に発生・取得する個人情報

学籍番号、学業成績、授業出席状況、履修登録科目、各種検定の受検状況及び合否結果、免許・資格等の取得状況、健康情報、課外活動、就職・進路先の合否結果、学内・外での写真・ビデオ撮影、音声録音、学納金等の請求・入金情報など。  
なお、このほかに傷害保険等の請求情報、留学生にかかる資格外活動、事件・事故情報、車輛ナンバー、賞罰・懲戒に関する情報、奨学金申請にかかる保証人(保護者)の所得・口座番号・家族構成、などを必要に応じて取得することもあります。

### 3. 個人情報の利用目的について

本学は、学生から直接書面等に記載された学生本人の個人情報を取得する場合、法令の定め等による場合を除き、あらかじめその利用目的を明示いたします。

本学は、学生の個人情報を、本学の業務又は教育研究活動の遂行上必要な範囲内で取り扱います。学生の事前の同意がある場合、または法令等に基づく場合以外には、利用目的の達成に必要な範囲を超えて、学生の個人情報を利用いたしません。ここでいう学生とは、現在及び過去の学生、大学院生、(特別)科目等履修生、単位互換協定に基づく国内・海外留学生、研究生等を指します。

#### 《利用目的の詳細》

- ①入学に関する業務
- ②学納金等に関する業務
- ③教務に関する業務
- ④学生生活に関する業務
- ⑤キャリア支援に関する業務
- ⑥図書館利用に関する業務
- ⑦その他の業務

### 4. 個人情報の第三者への提供・委託

本学では、上記の目的を達成するため、学生の個人情報を以下の第三者に提供いたします。委託先については、信頼のおける企業と契約し本学の個人情報保護基本方針の周知徹底を図ります。

以下に関して、個人情報の提供を望まない項目がありましたら学生課までご連絡ください。また、同意した後で変更を希望する場合も学生課または関係部署の窓口にていつでもお申し出ください。

## ①保証人(保護者)への成績通知

大学院生、社会人入学で入学した学生を除くすべての学生を対象とします。本学では、「個人情報保護基本方針」にもあるとおり、学生の健全で前向きな学業生活を保証人(保護者)と連携しながら支援していくため、成績をはじめ学生の修学情報を保証人(保護者)にも提供しています。また、成績不振の場合は、その実情を通知し、必要に応じて保証人(保護者)を交えた三者面談を行っております。

なお、学生が成年に達した日以降に拒否の申し出をした場合は、学生の申し出により成績を通知できない旨を保証人にお知らせすることになりますので、あらかじめご了承ください。

## ②保険会社への提供

## ③奨学金の申請先への提供

## ④実習先、インターンシップ先への提供

## ⑤通学定期券の特認発行に伴う公共交通機関への提供

## ⑥海外研修にかかる旅行会社及び研修先への提供

## ⑦資格等の認定団体への提供

## ⑧検定試験・模擬試験等実施団体への提供

## ⑨卒業アルバム制作・販売会社への提供

## ⑩求人開拓用パンフレットへの掲載

## ⑪学生募集用パンフレット・ホームページなどへの掲載

## ⑫高校訪問時の情報提供

## ⑬広報紙への掲載

## ⑭同窓会への提供

## ⑮後援会への提供

## ⑯委託について

\*学生証作成、学位記作成、履修登録票の入力などを外部企業に委託することがあります。

## 5.個人情報の開示・訂正等の請求について

学生および保証人(保護者)様の個人情報について以下のお申し出がありました際は、本学の個人情報保護規程に基づき適切に対応いたします。

## ①個人情報の開示請求(手数料1,000円)

## ②誤った情報が登録されている場合の訂正請求

③本学が利用目的の達成に必要な範囲を超えて個人情報を保有した場合、個人情報を適正に取得しなかった場合、又は利用目的以外の目的のために個人情報を利用した場合の利用停止

④本学が利用目的以外の目的のために個人情報を提供した場合の提供停止

⑤保有個人データに関する本学の取扱いについての異議申し出

⑥苦情やご相談に関しては、学生課および各部署の窓口にお申し出ください。

## 2 | 大学生活のルールとマナー

## ●入学時の誓約事項

みなさんは入学する際に以下のことについて誓約しています。

## 近隣の迷惑になる行為は絶対にしない

歩きながらの喫煙や飲食、スマホの操作、吸い殻やごみのポイ捨て、粗大ごみの放置、バス停など公共の場でのマナーに欠ける言動。このようなルール違反やマナーに欠ける行為は、近隣の方々へ大きな苦痛をあたえることとなります。それと同時に地域のみなさんからの信頼も失われてしまいます。

本学ではこのような行為を行う学生に対して厳しい処分を行います。

## 大学の敷地内、近隣の道路および私有地はすべて禁煙です

本学および大学周辺の路上は「全面禁煙」です。大学は多くの人々が集う公的機関です。タバコの煙のない快適な教育環境を確保し、喫煙による健康被害からみなさんの健康を守るために、ご理解とご協力をお願いします。

敷地内禁煙というと、「門を出た瞬間に喫煙できる」と思われるかもしれませんが、それはマナーに欠ける行為であり、大学の近隣道路および私有地についても禁煙としています。他の学生や近隣にお住まいの方々が快適に過ごせるよう、所定の場所以外での喫煙はやめてください。

## 自動車通学、バイク通学は禁止しています

本学は自動車、バイクでの通学を全面的に禁止しています。

近隣の住宅街に長時間車両を放置するなどの迷惑駐車や騒音、近隣の商業施設への不法駐車は、多くの方々に多大な迷惑をかける行為です。また、通学途上、交通事故に遭遇すれば学生生活の継続に深刻な影響を及ぼすこととなります。本学では、大学周辺を教職員が巡回し、迷惑駐車を取り締まりを行っています。通学には公共交通機関を利用してください。

## 学内の秩序を乱す言動および学習環境を損なう行為をしないでください

- ・乱暴な言動や威嚇的な行為、暴力行為、おどし、ストーカー行為
- ・他人に迷惑を及ぼしたり社会に有害となるパンフレット、図像、画像、メールなどの掲示、配布等
- ・無断で学内に掲示したり、掲示を故意に破ったり、落書きやいたずらをする行為
- ・無許可の勧誘活動
- ・不快感を与えたり、必要以上に華美と感じさせる服装、髪型、化粧など
- ・大学構内に家庭ごみを持ち込む行為

### ●清潔な校舎のために

- ・ゴミは、「一般ゴミ(燃えるゴミ)」・「紙類ゴミ(資源化用)」・「カン、ビン、ペットボトルゴミ」に分けて所定の箱に捨てましょう。
- ・教室や演習室等での飲食や歩きながらの飲食はやめましょう。飲食ができる場所は以下の場所です。
- 総合情報館 3階レストラン・4階カフェテリア・4階ラウンジ      ○2号館2階・3階 学生ホール
- 5号館 2階ロビー      ○6号館 2階ロビー・3階ロビー

### ●ロッカーの貸与と盗難防止

- ・希望者には個人用のロッカーを貸与しています(ただし、数に限りがあります)。必ず指定されたロッカーのみを使用してください。
- ・必ず施錠してください(大学生は鍵を各自で用意してください。短大ロッカーはダイヤル式の鍵がついています)。
- ・財布などの貴重品はロッカーに入れず、必ず身につける習慣をつけてください。
- ・卒業または退学時には必ずロッカーを空けて元の状態に戻してください。
- ・最終学年の秋学期授業終了以降、ロッカー内に残っている物品は処分します。

### ●紛失物・拾得物

- ・学内で物を紛失した場合は、学生課に届け出てください。
- ・キャッシュカードやクレジットカードなどを紛失した場合は、金融機関に連絡をして取引停止処置を行い、警察へ届け出てください。
- ・拾得物は、1号館1階学生課前のガラスケースで保管しています。貴重品(財布・時計・カード類等)については、学生課で保管しています。なお、保管期間は3ヶ月間です。

### ●呼び出し・問い合わせ

- ・電話による呼び出し、伝言依頼は一切応じません。ただし、緊急を要する場合(ご家族の事故、急病等)には、学生課が取り次ぎます。
- ・学外からの問い合わせに対して、学生の在籍の有無や住所等の個人情報を回答することは一切ありません。学生本人からの電話であっても回答できません。

### ●日常生活について

- ・授業に支障のある行為は行わないでください。特に翌日の授業に支障をきたさないよう睡眠時間を確保してください。
- ・健康を害するような生活はしないでください。
- ・法律上、問題となる行為は行わないでください。
- ・上記に反するようなアルバイトは行わないでください。
- ・著しく生活が乱れている学生については、個別指導の対象となります。

## 3 | 気をつけてほしいこと

転居や初めての一人暮らしなど、生活が大きく変わるときには心に隙ができやすいものです。このページでは、皆さんが有意義な大学生活を送るために、注意すべきいくつかのポイントを紹介しています。ぜひ参考にしてください。

### ●犯罪・トラブルの例

#### ・闇バイト

SNSやインターネットの掲示板には、仕事の内容を明らかにせず著しく高額な報酬の支払いを示唆するなどして犯罪の実行者を募集する投稿が掲載されていることがあります。

「高額バイト」「即日入金」「書類を受け取るだけ」等、一見好条件に見える求人情報に騙され、強盗や詐欺といった犯罪に加担することがないように注意してください。

#### ・架空請求

顧客情報漏洩や無作為に抽出された情報により、身に覚えのない請求書のメールや郵便が届くことがあります。実在の事業者名をかたって本物と思わせ、消費者の不安をあおるケースも見られます。連絡してしまうと個人情報が知られ、その情報を基にさらに金銭を要求される可能性がありますので、心当たりがなければ決して相手に連絡しないようにしましょう。心配な場合には、最寄りの消費生活センターや消費生活相談窓口にご相談ください。

#### ・マルチ商法・マルチまがい商法

「友達を勧誘したらマージンがもらえるよ。」「人生の勝ち組になろう。」など、いかにも儲かりそうな話をします。近年では、ベンチャービジネス講演会や起業家セミナーと称して会場を設け、勧誘することもあります。結局は儲かることはまずなく、商品とその代金が残ることとなります。また、自分自身が被害者になるだけでなく、加害者にもなりかねません。

#### ・現物まがい商法・おとり商法

実際には商品がないにもかかわらず、言葉巧みに契約を結ばせ代金だけを支払わせるような商法です。インターネット通信販売やオークション、悪質な不動産業者にも見受けられます。

#### ・かたり商法

「消防署から」や「保健所から」と偽って品物を売る商法です。「点検に来ました。」「古くなっている。」と言って、防犯ベルやガス漏れ警報器などを売りつける事例があります。近年では、「大学からの紹介」と称する場合もあるようです。

## ・キャッチセールス

駅前や街頭で「アンケートに教えてください。」「お肌の無料診断をさせていただきます。」と声をかけられ、少しでも話を聞くとお店に行く相手ペースに引き込まれて高価な化粧品や英会話教材の購入契約をさせられてしまうものです。あとになり、とても支払える金額でないことに気付くことになります。

## ・アポイントメント商法

はがき、電話や電子メール等で、「景品が当たった。」などと販売勧誘の意図を隠して呼び出され、景品とは関係ない英会話教材等の契約をさせられたり、「あなただけ特別割引します。」等と言って営業所に呼び出し、契約を結ばせたりするものです。また、「恋人商法」「デート商法」といって、親しくなってから商品売り付けられるケースもあります。

## ・ネットトラブル

### ●ワンクリック詐欺

Webサイトや電子メール、SMSなどのメッセージに記載されたURLを一度クリックしただけで、一方的に、サービスへの入会などの契約成立を宣言され、多額の料金の支払いを求められるという詐欺です。

### ●フィッシング詐欺

実在する銀行、クレジットカード会社やショッピングサイトなどを装ったメールを送り付け、「会員期間更新」などのもっともな理由で、本物そっくりの偽サイトにアクセスさせ、クレジットカード等の個人情報をかすめ取る詐欺です。

### ●SNS・マッチングアプリ・出会い系サイト

個人個人の匿名性が高いため犯罪の温床になりやすく、これまでもこれらを発端に殺人や詐欺など様々な事件が起きています。知らない間にトラブルに巻き込まれ、被害者になることがないように十分に注意してください。

※SNSでは、自分の友人・知人とのやりとりが多いため、ごく狭い世界で情報を書き込んでしまうと誤解しがちです。しかし実際には、自分の書き込みを全世界に公開する設定になっていることがあります。インターネット上に一度でも書き込まれた情報は半永久的に残ってしまい、削除が容易ではありません。自分自身の書き込みに気を付け、匿名性におごらず、普段の生活と同じく、責任ある行動や発言を心掛けましょう。

## ・カルト教団の勧誘

カルト教団は街頭だけでなく、大学で禁止されているにもかかわらずキャンパス内でも勧誘してくることがあります。最初はとても親しみやすく話しかけ、サークル紹介などをしますが、話をするうちに、「どこか落ち着いた場所で話の続きをしよう。」と巧みに誘い、数人で取り囲んで勧誘を断りづらい環境をつくっていきます。

また近年では、SNS上での勧誘活動も増加傾向にあります。

少しでも「怪しい」と感じたり、活動や思想に疑問をもったら、勇気を出して断ってください。

## ・アルコールハラスメント 被害者にも加害者にもならないように!

- 飲酒の強要
- 意図的な酔いつぶし
- イッキ飲ませ
- 飲めない人への配慮を欠くこと
- 酔ったうえでの迷惑行為

アルコールに対する自分の体質を知っておくためにも機会があればアルコールパッチテストを是非受けましょう。お酒とどうつきあうかが書かれた、チラシを保健室で配布しています。一度読んでみてください。

## ・薬物乱用

### ●騙されてはいけません

最近、若年者の薬物乱用が増加しており、ファッション感覚の軽い気持ちで使用したり、街角で薬物が簡単に手に入ったりと問題が深刻化・社会問題化しています。

ネット上でも、「危険はない」といった間違った情報を流し、薬物販売で私腹を肥やそうとする人たちが、甘い言葉でみなさんを狙っています。

### ●たった一度の使用でも乱用です

薬物乱用のおそろしさは、単に乱用者自身の精神や身体上の問題にとどまらず、家庭内暴力などによる家庭の崩壊、さらには、殺人、放火等悲惨な事件の原因にもなり、社会全体への問題と発展します。大麻や覚せい剤などの薬物は、使用しているうちにやめられなくなるという"依存性"と、乱用による"幻覚"、"妄想"に伴う自傷、他害の危険性があります。一度だけのつもりがいつの間にか中毒となり、乱用をやめても後遺症が残り、一度しかない人生が取り返しのつかないものとなるのです。

### ●薬物は人生をダメにします。興味本位で手を出してはいけません

## ・安全な暮らしのために

近年、日本の治安は残念ながら悪化しています。用心深さは自分の身を守るための知恵であり、自立した人生を歩むために必要な心の力ギとなるものです。特に一人暮らしをする学生は、次のことに気をつけましょう。

①補助錠などでカギを二重にする、厚手のカーテンでプライバシーを守る、就寝時間は2階でも窓を閉める、在宅時はドアチェーンも必ず掛ける、来訪者はドアスコープで確認する、宅配便や書留の場合はドアチェーンを掛けたまま伝票を確認した後にドアを開けるなど対策をしましょう。

②防犯ブザーを携帯し、夜間一人歩きをするときはバッグの中から防犯ブザーを取り出して手に持つようにする、暗い場所は避ける、夜間エレベーターで見知らぬ人と二人きりになることを避ける、夜間帰宅したときは周囲の安全を確認してから自分の部屋に入るなど日頃心がけましょう。万一、犯罪の被害に遭ってしまった場合は、その場で直ちに警察に通報しましょう。

## ・個人情報の管理

本人の気づかぬうちに、個人情報が収集、利用されていることがあります。インターネットでのショッピングやオークションなどの際に、気軽に入力した個人情報が悪用され、身に覚えのない請求書が届いたりクレジットカードを不正に使用されたりするといった事例が増えていきます。住所、電話番号、メールアドレス、金融機関の口座番号、クレジットカードの番号など、個人情報はそれを所有する個人の財産ですから、不特定多数の人に知られないように自分で管理をしましょう。他人の個人情報についても、本人の許可なく第三者に知らせてはいけません。個人情報をインターネット上で入力するときは、セキュリティ対策がとられているかどうかをしっかりと読んで判断してから行いましょう。また、郵便受けには鍵をかけて管理したり、個人情報が記載された書類を捨てるときは、シュレッダーにかけるか細かくちぎるなどの注意を払いましょう。

### 【本学における個人情報保護への取り組み】

本学では、個人情報保護基本方針および個人情報保護規程を制定し、法令に従って学生の個人情報を保護しています。本学は、学生の個人情報を、本学の業務または教育研究活動の遂行上必要な範囲で利用します。この利用目的を超えて利用することはありません(ただし、学生の事前の同意がある場合、または法令等に基づく場合を除きます)。

## ・緊急時に備えて

### 火災

①火災が発生した場合は、学内放送または教職員の指示に従い、勝手な行動はとらないでください。

②臨時に火気を使用する場合は、必要な手続きを取ってください。

**火災を発見したら……** 火災報知器のボタンを押す。大声で近くにいる人や教職員に知らせ、総務課に連絡する。

**火災報知器が鳴ったら……** 放送による指示を聞き、すみやかに落ち着いた行動をとる。

### 震災

①地震が発生した場合、まず火気の始末をし、机の下に身を寄せ、落下物から身を守るとともに、出口を確保してください。

②避難する場合、本学周辺の一時避難場所は清田かつこう公園(清田3条1丁目)、収容避難所は清田南小学校(清田5条2丁目)、また、本学も収容避難所に指定されています。

③学外で震災にあったときは、可能な限り大学へ連絡を入れてください。

## 4 | ハラスメントのないキャンパスを

ハラスメントは、人間の尊厳を否定し、人格、教育を受ける権利、働く権利等さまざまな人権を侵害するものです。本学では、ハラスメントに関する規程を制定しています。ハラスメントを受けたときは、一人で悩まずに相談員に相談しましょう。

## ・ハラスメント相談員

学生課長、教務課長 等

(相談員の名簿・連絡先は学内の掲示板に公開されています。どの相談員にでも相談できます。)

## ・ハラスメントとは？

セクシャル・ハラスメント	アカデミック・ハラスメント	パワー・ハラスメント
<ul style="list-style-type: none"> <li>・性的な冗談、からかい、質問</li> <li>・わいせつ図画の閲覧、配付、掲示</li> <li>・その他、他人に不快感を与える性的な言動</li> <li>・性的な噂の流布</li> <li>・身体への不必要な接触</li> <li>・性的な言動により学生・教職員等の修学・就業意欲を低下させ、能力発揮を阻害する行為</li> <li>・交際、性的な関係の強要</li> <li>・性的な言動に対して拒否等を行った者に対する不利益取扱いなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学に支障が出る程度に教育的指導を行わない</li> <li>・常識的に不可能な課題達成を要求する</li> <li>・成績に不当な評価を行う</li> <li>・教育指導や課外活動において人格や能力を否定するような発言をするなど不適切な指導を行う</li> <li>・指導的立場や権限を不当に利用して、退学や留年を勧める</li> <li>・研究論文の作成や発表等の研究活動を妨害する</li> <li>・教育研究内容について不当な評価・指示を行うこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体的な攻撃(暴行・傷害等)</li> <li>・人格を否定するような発言や精神的な攻撃(脅迫・名誉毀損・侮辱・ひどい暴言等)</li> <li>・本人の意に反して、業務をはずす、無視をする、挨拶をしないなど人間関係からの切り離し</li> <li>・業務上・修学上明らかに不要なことや遂行不可能なことの強要など過大な要求(学修・仕事の妨害)</li> <li>・業務上・修学上合理性なく、能力・経験とかけ離れた程度の低い仕事の命令、仕事を与えないなど過小な要求</li> <li>・私的なことに過度に立ち入る、プライバシーを暴露する等個の侵害をする</li> <li>・昇進に際して不当な扱いをする</li> <li>・指導的立場や権限を不当に利用して退職・退学を勧める</li> </ul>

## ・ハラスメントを起こさないために

互いに対等な人間であることを認識し、常に相手の人格を尊重するとともに、相手の立場に立って行動することは、社会生活の最も基本的なルールです。相手を力関係で支配し、精神的に圧迫したり、身体的に傷つけたりするようなことは絶対にしてはなりません。

行為者本人が意識していない場合でも、たとえそれが冗談や親しみのつもりであっても、相手にハラスメントだと受けとめられることがあります。また、あなたの行為を、ある人はハラスメントと受けとめなくても、他の人はハラスメントと受けとめることがあります。このようなことは、社会的・文化的・宗教的な違いによるだけでなく、育った環境や性別や年齢などの違いによっても起こります。ここに、ハラスメントの特徴があります。このように、私たちは誰でもハラスメントの被害者になる可能性があると同時に、だれでもハラスメントの加害者となる可能性があることにも注意しなければなりません。

もしも、相手の人があなたに「不快だ」という意思表示をしたときは、自分勝手な解釈をせず、相手の意思表示を素直に受け入れ、誠実に対応することが大切です。

ハラスメントは個人対個人で起こるとは限りません。サークルやゼミなどで、先輩やOB などの集団が新入生らに彼らが望まない行為を無理強いしたり、考え方を押し付けることでも起こります。集団の場合、「伝統」「ルール」などという名のもとに、悪しき慣習・環境に疑問を持たなくなる事が大きな障害となります。こうした場合、ハラスメントを受けた本人あるいは本人達が「ノー」と言うことを躊躇さしてしまう空気が作られてしまいます。気がかりなことがあれば、率直にサークルやゼミの運営を見つめ直し、すべての仲間が安心して活動が出来るよう環境作りにつとめましょう。

## 5 ソーシャルメディア利用のためのガイドライン

Instagram、LINE、X(Twitter)、Facebookといったソーシャルメディアを利用し、世界中で多くの人がオンライン上でのコミュニケーションを行っています。これらのサービスはとても便利なものですが、マナーやリスクを認識せずに安易に利用することで、思いがけないトラブルにつながる場合もあります。また、法令違反があれば刑事罰に問われることもあるほか、民事訴訟になることもあります。また、本学においてもSNSのトラブルにより、懲戒処分を受けた例が過去にありました。

ソーシャルメディアを利用する際には、そのようなトラブルから自分自身を守るために、以下の内容を十分理解し有効に活用してください。

### 1. 法令遵守

日本国の法令を遵守してください。また、留学や旅行など国外においては、諸外国の法令や国際法を遵守してください。特に著作権の公正な取扱いには注意してください。

——SNSも公共の場ということを忘れないでください

### 2. 個人の尊重

一人ひとりの個性や多様性を尊重し、他者を攻撃したり傷つけたりするような発言は慎み、良識ある態度を取ってください。

——匿名であっても個人特定されることがあります

### 3. 正確な情報

正確な情報を伝えるように努めてください。意図的かどうかにかかわらず、虚偽や不確かな情報を発信することは、あなた自身のみならず、札幌国際大学や他の学生の名誉と信頼を損なうことになります。

——デマの中継をしないように、まず冷静に確認を!

### 4. 守秘義務と機密保持

他人の個人情報、研究上の秘密、インターンシップや実習などの学外活動で知り得た情報など、立場上知り得た情報を不適切に発信することがないように十分注意してください。

——不用意な発言は将来にも被害が出ます

### 5. 個人情報・プライバシーの保護

個人情報を登録・公開する際には十分な注意を払ってください。いったん発信した情報は、削除しても第三者により保存・アーカイブ化され、消去できないことがあることに留意してください。

——その情報、世界中に見られても大丈夫ですか?

### 6. 札幌国際大学の一員としての自覚

札幌国際大学の学生であることを明らかにした上で、オンライン上でのコミュニケーションを行う場合は、あなた個人としてだけでなく、社会全体から本学の学生を代表したイメージで受け取られることを十分に自覚してください。

最近では就職活動において、雇用者が雇用希望者をWEBで検索することがあるようです。不用意に情報を発信することは、将来的にあなたを困らせることになりかねません。モラルを守り、公の場で早く共有できるような情報だけを発信するようにしましょう。

あなたの発信した情報から、個人特定は容易にできます!

あなたも、家族も、大切な人も、危険にさらされないようにリスクを十分に理解してください。

普段のSNS利用は大丈夫?  
一度チェックしてみましょう!

- 内容によってプライバシー保護設定をしたり、限定公開をしていますか?
- 個人情報を悪用されるリスクを考えたことがありますか?
- あなたの発信内容・写真などから、あなた自身が社会的に評価されても大丈夫ですか?
- 一度発信した情報は削除してもネット上に残るとことを知っていますか?
- つい、カッとなった勢いで情報発信をいませんか?
- いいね!ほしさに間違ったアピールをいませんか?
- あなたの発言で傷つく人はいませんか?

## 1 学納金・諸会費

## ●大学

科目	1年次		2年次		3年次		4年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
入学金	230,000円							
学納金	授業料	405,000円	405,000円	410,000円	410,000円	410,000円	410,000円	410,000円
	施設費	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円
	教育充実費	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円
	計	460,000円	460,000円	465,000円	465,000円	465,000円	465,000円	465,000円
年額	920,000円		930,000円		930,000円		930,000円	
諸会費	学友会入会金	2,000円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	学友会費	2,000円	1,000円	2,000円	1,000円	2,000円	1,000円	2,000円
	後援会入会金	3,000円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	後援会費	12,000円	12,000円	12,000円	12,000円	12,000円	12,000円	12,000円
	学研災保険料	3,300円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	学生研修費	13,500円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	同窓会費	0円	0円	0円	0円	0円	0円	15,000円
計	35,800円	13,000円	14,000円	13,000円	14,000円	13,000円	14,000円	
年額	48,800円		27,000円		27,000円		42,000円	
学納金・諸会費計	495,800円	473,000円	479,000円	478,000円	479,000円	478,000円	479,000円	
入学金・学納金・諸会費年額計	1,198,800円		957,000円		957,000円		972,000円	

注1:上記の金額および徴収方法は変更となる場合があります。

## ●大学院

科目	1年次		2年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
入学金	230,000円			
学納金	授業料	350,000円	350,000円	350,000円
	施設費	0円	0円	0円
	教育充実費	0円	0円	0円
	計	350,000円	350,000円	350,000円
年額	700,000円		700,000円	
入学金・学納金・年額計	930,000円		700,000円	

注:上記以外に学研災保険料(心理学研究科1,790円、観光学研究科・スポーツ健康指導研究科1,750円)を徴収します。

## ●納付方法

納付方法は、銀行振込です。以下のどちらかの口座にお振込みください。

振込先銀行	口座番号	口座名義人
北洋銀行 清田区役所前支店	普通預金 0096810	学校法人札幌国際大学
北海道銀行 清田支店	普通預金 0073540	

## ●納付期限

授業料の納付は2期に分かれています。ただし、春学期納付時に秋学期分も納付することができます(分納の場合は8月末に秋学期分の納付金通知書を送付します)。

	納付期限	納付金通知書の発送
春学期	4月20日まで	3月末
秋学期	9月末まで	8月末

## ●その他留意事項

- ①経済的に修学困難な場合、授業料等の延納を願い出ることができます。この場合「授業料等延納願」の届出が必要となります。早めに会計課に相談してください。
- ②当該学期の授業料等が納入されないと、その学期の単位は認定されません。

授業料等に関する問い合わせ  
会計課 (011)881-8844

## ●その他の費用

## 免許・資格取得に関する諸費用

	科目	納入金	学年	納入時期	備考
教員免許関係	教職課程科目履修費	22,500円	1年次	10月	中一種・高一種免許取得希望者45,000円を分納
		22,500円	3年次	4月	
	介護等体験実習費	10,000円	3年次	4月	中一種免許取得希望者
	教育実習費(中・高)	10,000円	4年次	4月	免許取得希望者
	教育実習指導費(中・高)	15,000円	4年次	4月	実習先により徴収あり
幼	幼稚園実習(学外)	25,000円	心理(子ども) 4年次	5月	幼稚園教諭一種免許取得希望者
	教育職員免許状申請	3,300円 (1免許種につき)	4年次	1月	北海道収入証紙
保育士関係	保育実習費	40,000円	心理(子ども) 3年次	5月	保育士資格取得希望者
	保育士登録手数料	4,200円	心理(子ども) 4年次	11月	日本保育協会へ申請
その他	図書館司書課程 履修費	60,000円	1年次	4月	資格取得希望者
	こども音楽療育 実習費	2,000円	心理(子ども) 2年次	10月	資格取得希望者
	全国大学実務教育協会 各種実務士資格申請	3,500円から 7,900円		6月・10月	詳細はP108参照
	博物館実習費	6,000円	国際教養学科 4年次	10月頃	学芸員資格取得希望者
	考古調査士 資格申請(2級)	25,000円	国際教養学科 3年次	2月頃	考古調査士資格取得希望者(個人申請)
	考古学実習費	5,000円	国際教養学科 3年次	7月頃	考古調査士資格取得希望者
	レクリエーション・ インストラクター資格申請	単一申請17,600円 複数申請23,100円	心理(子ども)4年次 スポーツ人間学部 3年次	申請した年の 12月頃	資格取得希望者
	心理実習 I 施設実習費	2,000円	心理学科臨床 心理専攻3年次	5月頃	公認心理師 資格取得希望者
	心理実習 II 施設実習費	2,000円	心理学科臨床 心理専攻3年次	10月頃	公認心理師 資格取得希望者

## 実習に関する諸費用

実習科目を履修する際には実習費がかかるものがあります。詳細は各授業科目のシラバスを参照してください。

## 2 奨学金等

奨学金制度は、人物・学業ともにすぐれ、かつ経済的理由のために修学が困難な学生に対し、教育の機会均等を図るとともに、学業に専念できる時間を確保し、安心して学生生活が送れるように支援することを目的としています。奨学金には、大きく分けて貸与奨学金(卒業後返還)と給付奨学金(返還不要)の2種類の奨学金があります。奨学金には、国が行う日本学生支援機構奨学金と本学独自の奨学金があり、また地方公共団体や民間育英団体などの奨学金があります。

### ①日本学生支援機構奨学金(貸与型)

意欲と能力のある学生が教育を受ける機会を保証し、できるだけ自分の力で学生生活を送れるよう貸与する奨学金です。この奨学金は貸与型制度のため、卒業後返還する必要があります。

この奨学金を希望する人は4月以降に奨学金申請書等を学生課窓口で受け取ってください。詳しい日程はCampusPlan portal等でご案内します。

#### ●第一種(無利子)

貸与月額	自宅	大学:2万円、3万円、4万円、5.4万円から選択 短大:2万円、3万円、4万円、5.3万円から選択 大学院:5万円、8.8万円から選択
	自宅外	大学:2万円、3万円、4万円、5万円、6.4万円から選択 短大:2万円、3万円、4万円、5万円、6万円から選択 大学院:5万円、8.8万円から選択

#### ●第二種(有利子 年利率上限3%)

貸与月額	大 学 短 大	2万円、3万円、4万円、5万円、6万円、7万円、 8万円、9万円、10万円、11万円、12万円から選択
	大学院	5万円、8万円、10万円、 13万円、15万円から選択

### ②日本学生支援機構奨学金(給付型+高等教育の修学支援新制度)

経済的に修学が困難な学生でも、しっかりとした進路への意識や学ぶ意欲があれば、安心して修学できるよう支援をする制度です。授業料等の減免と給付型奨学金の2つの支援を、家計に係る基準に応じて受けられます。

この奨学金を希望する人は4月以降に奨学金申請書等を学生課窓口で受け取ってください。詳しい日程はCampusPlan portal等でご案内します。

#### ●授業料等の減免

支援区分	授業料減免額		入学金 (大学・短大共通)
	大学	短大	
第I区分 (満額支援)	700,000円	620,000円	230,000円
第II区分 (2/3支援)	466,700円	413,400円	153,400円
第III区分 (1/3支援)	233,400円	206,700円	76,700円
第I~第IV区分かつ多子世帯 (満額支援)	700,000円	620,000円	230,000円
多子世帯 (満額支援)			

※授業料減免および給付奨学金の支援区分は毎月10月に審査があります。上記金額は年間を通じて同じ区分であった場合となります。

#### ●給付奨学金(返還の義務なし)

支援区分	自宅通学	自宅外通学
第I区分	38,300円 (42,500円)	75,800円
第I区分(多子世帯)		
第II区分	25,600円 (28,400円)	50,600円
第II区分(多子世帯)		
第III区分	12,800円 (14,200円)	25,300円
第III区分(多子世帯)		
第IV区分(多子世帯)	9,600円 (10,700円)	19,000円
多子世帯	月額支給金はありません	

※社会的養護を必要とする方はカッコ内の金額となります。

## —日本学生支援機構奨学金 申し込み後の諸手続き—

### 異動等届出

奨学生に休学・退学・保証人等の異動や変更が生じた場合には、速やかに学生課へ届け出てください。

### 奨学金適格認定

毎年1回「継続願」を提出しなければなりません。短大生は半期に一度、大学・大学院生は年度末に学業成績の審査があります。

### 家計が急変したとき

主たる生計維持者が失職、破産、事故、病気若しくは死亡または火災、風害の災害等により家計急変が生じ、緊急に奨学金が必要になった場合は日本学生支援機構の家計急変(給付)、緊急(第一種)、応急(第二種)の採用対象になりますので学生課にご相談ください。

## ③札幌国際大学の奨学金

## ●生活応援奨学金

**申請資格** 学業継続の意思があり、経済的に困窮している学生(全学年)。2年生以上の学生は前年の出席率が80%以上である事  
**減免金額** 240,000円(年額)  
**採用人数** 20名程度(大学・短大合わせて)

## ●学業応援奨学金

**申請資格** 学業成績優秀でかつ経済困窮している2、3年生の学生。前年度GPAが3.5以上で出席率が80%以上である事  
**減免金額** 100,000円(年額)  
**採用人数** 20名程度(大学・短大合わせて)  
 ※2期連続GPA4.0を維持した場合は上記に加え更に100,000円減免

## ●卒業応援奨学金

**申請資格** 11月までに内定を獲得し経済的に困窮している大学4年生及び短大2年生。但し、内定報告書を提出し卒業見込者である事  
**給付金額** 100,000円  
**採用人数** 10名程度(大学・短大あわせて)

## ※以下の項目は、上記3つの奨学金共通です。

**選考方法**／ 主たる家計維持者の所得総額および家族人数、状況などを総合的に判断して選考します。

**減免方法**／ ・【生活応援奨学金】および【学業応援奨学金】は2026年度秋学期の授業料納付時に減免します。  
 ※減免額には各奨学金の上限額があります。

・【卒業応援奨学金】は採用決定者に振込致します。

・採用決定後、既に別な制度により授業料が減免されている方は、別途ご案内いたします。

**連絡事項**／ ・日本学生支援機構奨学金の給付型奨学金採用者は申請できません。

・留学生・課外活動特待生・特別奨学生(一般選抜・共通テスト)・公募推薦特待生等の対象学生は応募できません。

## ●海外留学支援奨学金

本学の交換留学・認定留学へ参加する学生を対象にした奨学金制度です。

尚、奨学金月額額は2026年度のもので、次年度以降は変更する可能性があります。詳細は国際課にお問い合わせください。

ランク	認定留学 奨学金 月額	交換留学 奨学金 月額	G-TEC Academic	実用英語 技能検定	TOEFL iBT	TOEIC L&R	IELTS	中国語 検定 (HSK)	韓国語 能力試験 (TOPIK)
SS	20万円	8万円	770-1000	1級	100-120	880-990	7.0-9.0	—	—
S	15万円		660-769	準1級	83-99	750-875	6.0-6.5	6級	6級
A	10万円	4万円	570-659	—	62-82	600-745	5.0-5.5	5級	5級
B	8万円		490-569	2級	57-61	550-595	—	—	—
C	7万円	2万円	410-489	—	52-56	500-545	4.0-4.5	—	—
D	5万円		330-409	準2級	40-51	400-495	—	4級	4級

・本学への申請時点で、上記検定に合格している者のみ申請可能

・留学先の学修言語のみ申請可能 例)韓国へ交換留学→TOPIKで申請、英検を持っていても申請不可

・2つ以上スコアや検定を保有していても、どちらか優位な方を適用とし、併給は不可とする。

・1か月の内、留学先に10日未満滞在・・・月額0円

10日以上～20日未満滞在・・・月額×1/2円

20日以上滞在・・・月額満額支給とする。

※支給対象期間は、授業・研修期間のみとし、終了後の滞在(旅行など)は上記日数に含まない。

・母語の試験・検定等による申請は不可

## ④ 第二種奨学金(短期留学)日本学生支援機構

海外の短期大学・大学・大学院へ短期留学をするために奨学金を希望する人を対象に貸与される奨学金です。

貸与月額	大学等	2万円～12万円の中から1万円単位で選択
	大学院	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から選択
貸与期間	留学開始時期から留学期間(3ヶ月以上1年以内)	
募集時期	下記参照	
学業成績	出身校における成績が平均水準以上	
	学修に意欲があり学業を確実に修了できる見込みの者	
注意事項	留学開始に合わせて奨学金が振り込まれます。留学前に貸与することはできません。	

## 【募集時期】

	留学開始時期	募集締切	採用候補者決定時期
第1回目	8月～11月	5月中旬	6月下旬
第2回目	12月～3月	9月中旬	10月下旬

## ⑤ 地方自治体等の奨学金

地方自治体などの奨学金は採用時期が異なり、大学を通して行うものと、各団体が直接行うものがあります。

大学を通して募集を行うものは下記のとおりで、奨学金掲示板でお知らせします。その他の奨学金は各団体へ直接問合せ申請してください。

## ⑥ 外国人留学生の奨学金

下記奨学金への申請は学内選考後、大学を通じて行います。学内選考は学業成績、家計状況等を総合的に勘案し行います(本学の選考を行った後も、各種奨学金実施元の選考があります)。外国人留学生奨学金については国際課までお問い合わせください。

奨学金	種別	月額		給付期間
		大学院	大学	
北海道外国人留学生国際交流支援事業助成金	給付	50,000円	50,000円	1回のみ給付
(公財)平和中島財団外国人留学生奨学金	給付	150,000円	120,000円	1年間
(公財)ロータリー米山記念奨学会奨学金	給付	140,000円	100,000円	採用時の学年と在籍課程への入学月によって異なる
(公財)朝鮮奨学会奨学金	給付	40,000円	25,000円	1年間
(一社)北海道日中経済友好協会	給付	100,000円	100,000円	1回のみ給付
JEES留学生奨学金(修学)	給付	40,000円	40,000円	最長2年間
JEES日本語修学支援奨学金	給付	50,000円	50,000円	最長2年間
札幌IIンタクラブ女子奨学生奨学金	給付	100,000円	—	1回のみ給付

## 1 | 図書館

## 大学図書館は情報の宝庫

本学の図書館は総合情報館の2、3階にあり、本館と第二閲覧室の2施設に分かれています。学術的な図書・雑誌のほか、視聴覚資料やデータベースなども利用できますので、みなさんの学修の拠点として活用してください。図書等資料は館内設置の資料検索機（OPAC）やスマートフォンからも探すことができます。不明な点は気軽に図書館員に問い合わせください。

## 本館

曜日	開館時間
月～金曜日	9:00～21:30
	9:00～17:00（夏・冬・春季休業期間）
土曜日	9:00～13:00
	休館（夏・冬・春季休業期間）
日曜日・祝日	休館（開学記念日・年末年始等含）

学術書を中心として、辞書類、年鑑・白書、雑誌のバックナンバーなどを収める書架があります。また人気の小説・エッセイなどもあります。



## ○貸出・更新手続

借りたい資料に「学生証」を添えてカウンターで手続きしてください。

## ○返却手続

カウンターへ資料を返却してください。閉館している時は、本館入り口にある返却ポストへ入れてください。

## 第二閲覧室

曜日	開館時間
月～金曜日	9:00～18:00
	9:00～17:00（夏・冬・春季休業期間）
土曜日	9:00～12:00
	休館（夏・冬・春季休業期間）
日曜日・祝日	休館（開学記念日・年末年始等含）

視聴覚資料（DVD・ビデオ・CD）を中心として、新聞、最新号の雑誌、絵本があります。また新聞などの検索・データベース・インターネット用パソコンがあります。



## ○貸出・更新手続

借りたい資料に「学生証」を添えてカウンターで手続きしてください。パソコンの利用にも手続きが必要です。

## ○返却手続

カウンターへ資料を返却してください。

## ●貸出期間と冊数

	図書	雑誌(新刊除く)	視聴覚資料
大学生	14日間 5冊	7日間 5冊	開館時間中1回1本
短期大学生	14日間 5冊	7日間 5冊	
大学院生	90日間20冊	30日間10冊	

## 資料の返却日に遅れると・・・

返却日を過ぎた資料を借りたままの人、また返却日を過ぎて資料を返すと、一定期間は貸し出しを受けられなくなります。ご注意ください。



## ●図書館でできること

図書館では様々なサービスがあります。

### 資料の予約

貸出中の資料が返却された後、優先的に借りるための予約サービスです。予約は、図書館カウンターで受け付けているほか、OPAC（資料検索機）を通して受け付けています。

### 自分の利用状況を確認する

OPAC画面の「利用状況の確認」からログインし、次の内容を確認できます。

- ・ログイン（利用者認証）するには、利用者IDとパスワード欄に、学生証に記載のあるバーコード下の番号を入力してください。
- ・自分の借りている図書とその返却日
- ・予約状況　・リクエスト後の受付状況

### リクエスト

本学学生はリクエストすることができます。リクエストされた資料は最優先で借りることができます。

リクエストは所定の申込書に記入して図書館カウンターに申し込んでください（OPACから申し込むこともできます）。

※リクエスト受け付けには条件があります。事前に館内の掲示や館員に確認してください。

### 他大学所蔵の文献取り寄せ

図書館を通して、他の大学図書館等から論文等の必要な部分のコピー（文献複写）や本学に所蔵していない図書を借りることができます。文献の取り寄せは所定の申込書に記入して、第二閲覧室カウンターに申し込んでください。

※OPACを通して申し込むこともできます。但し初回は担当からの説明がありますのでカウンターでの受け付けとなります。

※OPACから申し込む場合はOPAC付近に設置しているマニュアルを参照してください。

### 北海道地区大学図書館協議会相互利用サービス

本学の学生は道内のほとんどの大学図書館を利用することができます。

利用に当たっては、学生証を必ず持参し、各大学図書館のホームページ等で開館日程や利用規則を確認してください。

- ◆図書館の蔵書を利用して静かなところで集中して本を読んだり、レポート作成、スキルアップをしましょう。
- ◆電源やWi-Fiが自由に使えます。

図書館HPは  
こちらから ▶▶



## ●図書館からのお願い

### 利用のマナー

1. 館内にはフタ付飲料以外の飲食物の持ち込みは行わないでください。
2. スマートフォンはマナーモード・パソコンはスピーカーオフとし、館内での通話をご遠慮ください。
3. 荷物を置いて席を離れる場合は、財布、スマートフォンなどの貴重品は必ず携帯してください。

### 貸出禁止期間について

返却期限を過ぎると延滞による貸出停止となり貸し出しを受けることができません。貸出停止期間は次の通りです。

★返却期限日から7日以内の返却の場合は、遅れた日数分だけの貸出停止。（例：3日間の延滞は3日間の貸出停止。）

★返却期限日から8日以上を過ぎた場合は、最長7日間の貸出停止。（例：15日間の延滞は7日間の貸出停止。）

資料を借りている人が延滞すると、資料を探している人、予約をした人が困ります。返却期限を守ることは図書館を利用している人同士のルールです。返却期限日までに更新手続きをするなどご協力をお願いします。

### 資料を紛失・破損・汚損した場合

まずは図書館員に相談してください。資料を破損・汚損してしまった場合は自分で修復せずにそのままカウンターへお持ちください。

資料の紛失・破損・汚損については、その程度によって弁償をいただく場合もあります。

### 又貸しの禁止

自分が借りた資料を他人に又貸ししないでください。又貸した相手が資料を延滞・紛失した場合、責任はデータ上資料を借りた本人にありますので、貸出停止や弁償をしていただくことがあります。（特にグループ学習の際は注意すること）

## ●総合情報館について

### 施設：プラザ・シアターの利用について

総合情報館の施設には、図書館の他に1階にプラザが、地下1階にシアターがあります。プラザ・シアターは講演やコンサート、演劇、発表会などの催しものに利用できる施設です。図書館では、授業利用のほか、クラブやサークルによるプラザとシアターの利用予約申し込みの受け付けを行なっています。詳しくは本館レファレンスカウンターまでお問い合わせください。

## 2 | ラーニングcommons

学ぶ楽しさを発見!ラーニングcommonsは在学中も卒業後も成長できる力が身につく場所です。一人でも、グループでも、快適に学習できる空間を用意しています。

## グローバルcommons

- ・楽しい雰囲気での学習をしたい
- ・異文化交流を楽しみたい
- ・語学の勉強に力を入れたい
- ・留学の相談をしたい

## 学習 × 交流



## ラーニングcommons



## ライティングラボ

- ・落ち着いた環境で静かに学習したい
- ・グループワークをしたい
- ・レポートや文章をサポートしてほしい
- ・履修の相談をしたい

## 学習サポート

## ICT commons

- ・PC を使用したい
- ・グループで発表準備をしたい
- ・レポートの印刷をしたい
- ・ICT スキルを向上させたい

## ICTサポート

## ●ライティングラボ 1号館4階

静かに学習したいときは個別の学習スペース、仲間と学習したいときは共同学習スペースやラウンジと、自由なスタイルで利用できる学習空間です。授業期間は学生スタッフも常駐します。文章作成のサポートや個別相談を受けることができるので、たくさん活用してスキルアップしていきましょう!

## 利用時間

曜日	時間
月～金曜日	8:00～21:30
土曜日	8:00～19:00
日曜日・祝日	9:00～17:00

- ◆数に限りはありますが、PCや文房具を借りることができます  
※貸出は平日9:00～17:00(学生証が必要です)
- ◆スキャナーやプリンターも自由に利用可能
- ◆学科の先輩やスタッフに履修相談
- ◆「書く力」を伸ばしたい方まずはご相談ください

詳しくはこちら ▶▶▶

【ライティングラボ WEB サイト】  
CampusPlan portalからも入れます



## ●グローバルcommons 1号館3階

イベント開催・自主学習・グループワークと、幅広い使い方ができるフリースペースです。

国際課が隣接しているため留学生の利用も多く、ここに来れば気軽に国際交流ができます。授業外で開講される無料の語学講座・海外を身近に感じることができる講演会やイベントもたくさん開催されています。

## 利用時間

曜日	時間
月～金曜日	8:00～21:30
土曜日	8:00～19:00
日曜日・祝日	9:00～17:00

- ◆完全個室の学習ブースが5室あります
- ◆電源やWi-Fiが自由に使えます
- ◆ゆっくり寛げるソファやモニター付きのグループ学習室があります
- ◆留学相談も随時受付中!気軽に相談に来てください



## ●ICTcommons 情報教育センター2階

ICT (Information and Communication Technology=情報通信技術) は今の時代に求められているスキルの一つです。決して難しくはありません。

ICTを身につけてより快適な学生生活を過ごしてください。

ICT commonsには、デスクトップ PC24台を設置している「共有 PC エリア」と持参したノート PC やタブレットを利用できる「BYOD (Bring Your Own Device) エリア」を用意しています。

## 利用時間

曜日	時間
月～金曜日	8:30～20:00
土曜日	8:30～18:00
日曜日・祝日	10:00～16:00

「共有 PC エリア」の PC はいつでも自由に利用することができます。

「BYOD エリア」には、電源や Wi-Fi を自由に使える環境が整備されています。ホワイトボードやプロジェクターも備えており、グループ学習の場としても利用できます。

- ◆自由に使える PC
- ◆電源や Wi-Fi を自由に使える環境
- ◆ホワイトボードやプロジェクターでグループ学習
- ◆プリンター 8 台設置

### 3 学生食堂・コンビニ

#### ●学生食堂 レストラン



栄養バランスを考えた定食、丼もの、ラーメン・うどん・そばなど、手頃な価格のメニューが充実しています。

場 所 総合情報館 3階  
営 業 日 月曜～金曜  
営業時間 11:30～14:30

※土・日・祝日は原則休業します。

#### ●コンビニ



おにぎりやパン、飲み物、デザートから文房具、履歴書なども購入できます。

場 所 2号館 2階  
営 業 日 月曜～金曜  
営業時間 9:00～16:30

※土・日・祝日および夏季・冬季休業中は原則休業します。

### 4 フィットネスジム

フィットネスジムには、パワーラックを中心としたフリーウエイト器具や、トレッドミル、エアロバイク、ワットバイク等の持久系、パワー系の設備が充実しています。トレーニング系資格団体の承認を得た最新の設備です。

#### 利用時間

曜日	時間	
月～金曜日	8:00～21:00	
土曜日	8:00～19:30(5月～10月)	8:00～18:30(11月～4月)
日曜日・祝日	9:00～16:30	

※土曜日13時以降、日曜日・祝日の使用については「許可願」を学生課に提出してください。

#### 利用上の注意

①フィットネスジム内にある物品は持ち出し禁止 ②ジム内にカバンを持ち込まない ③フィットネスジムおよび第1体育館トレーニングエリアは占有スペースではないので譲り合って利用すること。④更衣室のロッカーを使用する際は必ず施錠すること。



### 5 セミナーハウス

●ザ・ヴィレッジアルファ 本学の厚生施設として低価格で利用できます。

住 所 等 〒079-2204 北海道勇払郡占冠村トマム675番地2 TEL080-2863-4635  
料 金 1人1泊2,000円～  
申込方法 ・引率教員を通し、利用の7日前まで(予約は1ヶ月前から受付)に総務課に申し出てください。  
・学生のための利用不可、宿泊は8人までです。  
・チェックインは午後2時以降、チェックアウトは午前11時です。  
設 備 電化製品(冷蔵庫、電磁調理器、電子レンジなど)、食器類、調理用具など

### 6 その他

#### ●ATM

1号館2階に北洋銀行のATMを設置しています。

#### ●コピー機

図書館本館(白黒・カラー)、図書館第二閲覧室、7号館2階、6号館3階に各1台設置しています。

#### ●公衆電話

1号館2階に設置しています。

## ● クラブ・同好会一覧

	クラブ名	部室	活動日	活動場所
強化指定	硬式野球部	クラブ棟106/107	週6(月以外)	野球場
	硬式庭球部	クラブ棟102	週5(水・日以外)	テニスコート
	男子バスケットボール部	クラブ棟204	週5(火・木以外)	第1体育館・フィットネスジム
	女子バスケットボール部	クラブ棟212	週5(月・木以外)	第1体育館
	男子ハンドボール部	クラブ棟206	週6(日以外)	第1体育館・フィットネスジム
	女子ハンドボール部	クラブ棟210	週6(日以外)	第1体育館・フィットネスジム
	卓球部	クラブ棟105	週6(日以外)	第2体育館/アリーナ
	氷上部		週6(不定期)	第1体育館1階、学外
	陸上競技部	クラブ棟103	週5(木・日以外)	グラウンド、フィットネスジム、学外
	女子駅伝部		週6(月以外)	グラウンド学内コース、フィットネスジム、学外
	サッカー部	クラブ棟108	週4(火・木・金・土)	サッカーグラウンド
	女子硬式野球部	クラブ棟101	週6(火以外)	野球場、学外(札幌スタジアム)
	ハンドベルクワイア	クラブ棟309	週2~3(土・日・祝以外)	213実習室
	体育系	男子バレーボール部	クラブ棟205	週4(月・水・金・土)
女子バレーボール部		クラブ棟211	週3(月・水・金)	第1体育館
バドミントン部		クラブ棟208	週4(月・水・金・日)	第2体育館/アリーナ
チアリーディング部		クラブ棟311	週2(火・木)	第1体育館実習室
YOSAKOIソーラン部		クラブ棟201	週3~5(火・木以外)	アリーナ/プラザ/6号館前
ダンス部		クラブ棟303	週3(月・水・金)	第1体育館実習室
軟式野球部		クラブ棟202	週2(月・金)	(学外)平岡公園野球場、月寒公園野球場
水泳部		—	週1(水)	フィットネスジム、研究室、(学外)プール
女子サッカー部/ 女子フットサル部		クラブ棟209	週2~3(月・木・土)	グラウンド/第2体育館
文化系	軽音楽部	クラブ棟313/314	週1~5(月~金)	部室
	考古学研究会	クラブ棟307	週2(月・火)	考古学・博物館実習室
	吹奏楽部	クラブ棟312	週2(月・木)	261教室
	茶道部	クラブ棟306	週1(不定期)	日本文化演習室/記念館創風(茶室)
	ボランティアサークル いるか	クラブ棟301	週1(不定期)	市内福祉施設
	中華研究会	クラブ棟308	週1(火)	部室
	博物館研究会	クラブ棟307	週2(月・火)	考古学・博物館実習室
	劇団テアトロ部	クラブ棟303	週1(火)	部室
	エレクトーンサークル	クラブ棟302	週1(木)	シアター
	韓国文化研究会	クラブ棟308	週1(不定期)	部室/顧問研究室
	めりーごーらんど	クラブ棟310	週1(未定)	295教室

	クラブ名	活動日	活動場所
同好会	ピアノ連弾同好会れんだんず	不定期	261教室
	ポケモン同好会	週2(未定)	教室
	Teble Talk Geme同好会	週2(火・水)	2号館3階
	アルティメット同好会	週1(木)	第1体育館
	クリエイト分化同好会	不定期	
	BL研究会	月1(不定期)	総合情報館4階ラウンジ
	野外活動サークル	週2(金・土)	
	SIU Gaming	不定期	
	English24	週1	グローバルcommons
	SIU 旅と交通研究会		
	ビートボックス同好会		
	マラソンサークル		
	ネイルアート	週2(火・木変動あり)	55演習室
	お絵描きサークル		
	プラモサークル		
	文献購読会		

## キャリア支援センター

## 1年生からのキャリア支援を行っています!

学生のみなさんの就職支援や一人ひとりのキャリア支援を行っています。就職活動中の学生だけではなく、1年生から4年生・大学院生・外国人留学生を含めた全ての学生のみなさんを対象としています。

将来の進路や就職について困ったことがあれば気軽にキャリア支援センターにお越しください。

## 求人情報、先輩の就職活動情報など貴重な情報がたくさんあります!

過去の求人情報、先輩の就職活動の報告など、貴重な情報を得ることができます。

また、北海道新聞や日本経済新聞、就職に関する図書・雑誌も閲覧できます。

## 個別相談

随時、相談を受け付けています

- 将来の進路について
- 就職活動の流れについて
- 自己分析:自分の特徴・経験の整理
- 業界・企業研究:自分の適性を活かした企業選び
- 求人票の見方
- 履歴書・エントリーシート・企業への提出書類の添削
- 面接の練習
- 就職活動のマナーについて
- 筆記試験対策について
- 公務員試験対策について
- 各種資格の取得について



## 就職ガイダンス

- 就活サイトの使い方
- インターンシップ参加の必要性
- 自己分析
- 職務適性テスト
- 業界・職種研究
- 履歴書・エントリーシートの書き方
- 筆記試験対策講座
- Web適性試験対策企画
- 面接対策(基本・応用)
- 学内業界研究セミナー
- 学内合同企業説明会

※2027年3月卒業予定の学生向けガイダンス内容実績。



## 有料講座

- 公務員講座
- 旅行業務取扱管理者試験対策講座(総合・国内)
- ITパスポート講座

場 所	キャリア支援センター 1号館2階
連絡先	TEL:(011)881-2563 FAX:(011)881-1652
利用時間	月～金曜日 9:00～18:00 (※長期休業期間中は17:00まで) 土曜日 9:00～13:00 (※休館の場合あり) 日曜日・祝日 休み

## 1 海外留学

本学には、さまざまな海外留学制度があります。それぞれの制度の違いを確認したうえで準備をしてください。

	海外留学			④その他
	①長期留学 ダブルディグリープログラム	②交換留学	③認定留学	
制度	海外協定校へ留学 両大学の学位を取得可能	海外協定校へ留学	学生自身で留学計画を立案	休学して、海外の語学 学校や専門学校で学ぶ
派遣先	協定を締結している海外5大学	協定を締結している海外大学	自由に選択できる	自由に選択できる
留学期間	4学期	1または2学期	1または2学期	規定なし
修業年限	在学期間を含む			在学期間に含まない
単位認定	可能(1学期20単位上限)			不可
学費経費	・本学または協定大学学費のみ 納入 ・旅費、生活費等は別途必要	・本学学費のみ納入、 協定大学学費は免除 ・旅費、生活費等は別途必要	・本学学費及び留学先の学費、 旅費、生活費等全額必要	・休学期間は本学学費免除 ・研修先学費、旅費、生活費等 全額必要
奨学金	なし	海外留学支援奨学金あり		なし
手続き 方法	学内選考有 手続きは国際課でサポート	学内選考有 手続きは国際課でサポート	学内選考有 手続きは基本的にすべて 自分で行う(モデルプランを除く)	手続きはすべて自分で行う
その他	帰国後報告会での報告必須			

## ①ダブルディグリープログラム

ダブルディグリープログラムとは、本学と協定大学が連携協定に基づき、学生がそれぞれの大学に2年間、合計で4年間以上在学しながら双方の大学教育および研究指導を受け、単位互換によって、卒業時に2つの大学から同時に学位を取得することができるプログラムです。

## ●ダブルディグリープログラム提携大学

提携大学	所在地	対象学部	交換人数	派遣先の主な学部・学科
国立台湾体育運動大学 [国立]	台湾 台中市	全学部	3名まで	運動教育学部、競技運動学部、運動産業学部
国立高雄科技大学 [国立]	台湾 高雄市	全学部	5名まで	応用日本語学科、観光管理学科など
嶺東科技大学 [私立]	台湾 台中市	全学部	6名まで	管理学部観光レジャー事業管理学科 など
育達科技大学 [私立]	台湾 苗栗県	全学部	5名まで	応用日本語学科、観光レジャー管理学科、 レジャースポーツ管理学科、幼児保育学科 など
開南大学 [私立]	台湾 桃園市	全学部	5名まで	商学部、観光運輸学部、人文社会学部 など
景文科技大学 [私立]	台湾 新北市	全学部	5名まで	観光ホスピタリティ学部、人文設計学部 など

## ②交換留学

本学では、海外の大学と提携を結び、交換留学制度を実施しています。留学期間は在学期間に含まれ、提携大学で修得した単位は、本学の卒業要件に含めることができます。

国・地域	提携大学	所在地	国・地域	提携大学	所在地
中国	華東師範大学	上海市	中国	河北旅游職業学院	河北省承德市
	吉林師範大学	吉林省四平市		惠州経済職業技術学院	広東省惠州市
	深川大学	広東省深圳市		深川職業技術学院	広東省深圳市
	長春財経学院	吉林省長春市		桂林旅游学院	広西省桂林市
	保定学院	河北省保定市		福建技術師範学院	福建省福清市
	遼寧石油化工大学	遼寧省撫順市		西安明德理工学院	陝西省西安市
	長春師範大学	吉林省長春市		嶺南師範学院	広東省湛江市
	牡丹江師範学院	黒龍江省牡丹江市		吉林財経大学	吉林省長春市
	渭南師範学院	陝西省渭南市		雲南財経大学	雲南省昆明市
	大連工業大学 芸術と情報工程学院	遼寧省大連市		雲南経貿外事職業学院	雲南省昆明市
	瀋陽大学	遼寧省瀋陽市		雲南大学填池学院	雲南省昆明市
	濰坊科技学院	山東省寿光市		広東海洋大学	広東省湛江市
	吉林工商学院	吉林省長春市		長春早期教育職業学院	吉林省長春市
	南京工業職業技術大学	江蘇省南京市		四川旅游学院	四川省成都市
台湾	台湾首府大学	台南市	韓国	済州国際大学	済州市
	高雄科技大学(高雄第一科技大学)	高雄市		大邱大学校	慶山市
	台湾体育運動大学	台中市		慶州大学校	慶州市
	嶺東科技大学	台中市		明知大学校	ソウル特別市/龍仁市
	開南大学	桃園市		釜山外国語大学校	釜山広域市
	育達科技大学	苗栗県		国立釜慶大学校	釜山広域市
	台南応用科技大学	台南市		マレーシア	マラヤ大学
景文科技大学	新北市	ベトナム	FPT大学		ホーチミン/ダナン
				フエ大学外国語大学	フエ

## ③認定留学

- (1) 学生自身が開拓した学位授与権のある大学への留学  
 (2) 大学が有益と認めた海外での専門領域の調査研究、資格取得、大学での語学研修などを目的とした留学

認定留学	概要	期間
大学学部留学	学位授与権のある大学学部へ留学	1学期 または2学期
資格取得留学	専門学校など高等教育機関での資格取得を目的とする留学	
専門領域の研究調査	在籍する学科に関連した内容の研究や調査を目的とした留学	
語学留学	大学付属の語学研修機関で、外国語学修を主たる目的とする留学	

## ●出願資格他

**出願資格** 以下全てを満たすこと

- ①本学に1年以上在学し、協定で定めた年次であること。 ⑤学業成績のみならず、協調性や順応性に富み、派遣先で支障なく  
 ②学業成績が良好であること。(通算GPA1.0以上) 勉学に専念できる資質と意欲をもっていること。  
 ③外国語レベルが所定のレベル以上であること。 ⑥留学の目的が明確であること。  
 ④心身ともに健康であること。 ⑦その他、派遣先大学の募集資格を有すること。

**選考方法** 選考は、書類審査(申請書類・学業成績)および面接審査(当該外国語・日本語)により総合的に勘案し、行います。

**単位認定** 留学先で取得した単位は本学の卒業要件として1学期で20単位、1年間で40単位まで認定することができます。ただし、一部の認定留学では単位の認定を行うことができません。詳細はお問い合わせください。留学終了後は、2週間以内に以下の書類を国際課まで提出してください。

- ①留学先大学の発行する成績証明書 ②既修得単位認定申請書 ③科目の内容、講義時間数等を示す資料(シラバス等)  
 ※留学先大学で修得した単位は、最高40単位まで卒業要件に含めることができますが、他学部・他学科、短期大学部、札幌圏大学・短期大学間単位互換協定および他留学等で修得した単位と併せて60単位が上限です。

## ●留学個別相談

国際課では、随時留学相談を受け付けております。

留学プランや履修、費用面など、小さなことでも何でも構いませんので、海外留学に興味のある方は、ぜひお気軽にご相談ください。

- ①メールでの相談 [送信先] siu-ec@ad.siu.ac.jp(国際課メールアドレス)  
 ※メールを送る際には、学生番号と名前を明記して送信するようお願いします。  
 ②対面での相談 1号館3階国際課カウンターまでお越しください。(予約不要ですが、事前にメールを頂ければ、待ち時間なく相談ができます)

## ●海外留学支援奨学金

本学の交換留学・認定留学へ参加する学生を対象にした奨学金制度です。詳細は国際課にお問い合わせください。尚、奨学金月額は2026年度のもので、次年度以降は変更する可能性があります。P34参照

## 2 国内留学

## ● 提携大学への交換留学

本学では、国内の大学と提携を結び、交換留学制度を設けています。

留学期間は本学での在学期間に含まれます。なお、留学中の授業料は本学に納め、留学先大学の授業料は免除されます。

## ・ 提携大学

提携大学	所在地	提携年月	交換人数	受入れ学年	備考
名城大学	沖縄県名護市	2000年5月	5名以内	2年次以上	・学生寮あり
大手前大学	兵庫県西宮市	2000年3月	5名以内	2年次または3年次	
福島学院大学	福島県福島市	2003年3月	適宜協議	適宜協議	
横浜商科大学	神奈川県横浜市	2003年3月	若干名	2年次以上	
東京国際大学	埼玉県川越市	2003年11月	5名以内	2年次または3年次	
大阪国際大学	大阪府守口市	2004年3月	5名以内	2年次または3年次	
大阪国際大学短期大学部					
富山国際大学	富山県富山市	2005年2月	5名以内	2年次または3年次	
富山短期大学					
新潟青陵大学	新潟県新潟市	2010年11月	5名以内	2年次または3年次	
新潟青陵短期大学					
開智国際大学	千葉県柏市	2013年12月	5名以内	2年次以上	
共愛学園前橋国際大学	群馬県前橋市	2024年3月	若干名	適宜協議	・開講科目によりTOEICの受講条件があります。
関西国際大学	神戸山手キャンパス 兵庫県神戸市	2024年3月	5名以内	適宜協議	・経営学部の科目は専攻によって各キャンパスで履修できる科目が異なります。
	尼崎キャンパス 兵庫県尼崎市				
	三木キャンパス 兵庫県三木市				
宮崎国際大学	宮崎県宮崎市	2024年3月	5名以内	原則3・4年次	・受講資格：TOEIC600点以上

・ 留学期間 1年間(2学期)または半年間(1学期)

- ・ 出願資格 ①本学に1年以上在学し、協定で定めた年次であること。  
 ②学業成績が良好であること。(通算GPA1.0以上)  
 ③心身ともに健康であること。  
 ④学業成績のみならず、協調性や順応性に富み、派遣先で支障なく勉学に専念できる資質と意欲を持っていること。  
 ⑤留学の目的が明確であること。  
 ⑥その他、派遣大学の募集資格を有すること。

・ 選考方法 選考は、書類審査(申請書類・学業成績)および面接審査により総合的に勘案を行います。

- ・ 単位の認定 交換留学先で修得した単位は本学の卒業要件単位として、半年間(1学期)で20単位、1年間(2学期)で40単位まで認定することができます。  
 原則として、所属学科に設置された科目に相当するもの及び関連科目で認定します。すべての科目の単位が本学で認定されるわけではありませんので注意してください。  
 交換留学終了後、2週間以内に以下の書類を教務課まで提出してください。  
 ①留学先大学の発行する成績証明書  
 ②既修得単位認定申請書  
 ③科目の内容、講義時間等を示す資料(シラバスなど)  
 ※留学先大学で修得した単位は、40単位まで卒業要件単位に含めることができますが、他学部・他学科、短期大学部、札幌圏大学・短期大学間単位互換協定および他留学で修得した単位と合わせて60単位が上限です。

春学期・秋学期それぞれの学期初めに、国内留学に関する説明会を実施しますので、必ず参加してください。  
 説明会の案内は、CampusPlan portalを確認してください。

## 3 札幌圏大学・短期大学間単位互換制度

本学は、以下の大学、短期大学と単位互換協定を結んでいます。

この制度は、協定大学が提供する単位互換科目を履修し、それを本学の単位として認定する制度です。この制度では、各大学の特色ある科目が単位互換科目として提供されていますので、自分の専攻を深めるために活用してください。

札幌圏大学・短期大学単位互換制度協定校	
大 学	札幌学院大学
	札幌国際大学
	札幌大学
	東海大学札幌キャンパス
	藤女子大学
	北翔大学
	北星学園大学
	北海道科学大学
	酪農学園大学
	北海道情報大学
	北海道文教大学
短 期 大 学	札幌国際大学短期大学部
	北翔大学短期大学部

- ・ **単位の認定** 1年間に履修できる単位数は10単位までです。履修する科目は最高履修登録単位に含みません。修得した単位は、他学部・他学科・短期大学部・および留学等で修得した単位と併せて60単位まで卒業要件単位数に含めることができます。
- ・ **提供科目** 単位互換科目については、CampusPlan portal等で公開します。
- ・ **出願手続き**
  - ① 出願資格  
本学2年次以上に在学し、原則として通算GPA1.0以上であること。
  - ② 出願方法  
出願は、春学期および秋学期履修分と原則として春学期に一括して行います。  
履修希望者は、「札幌圏大学・短期大学間単位互換協定履修生許可願」を履修登録締切日前までに教務課に提出してください。複数の大学に出願する場合は、履修を希望する大学ごとに書類を作成してください。
  - ③ 履修許可と仮受講  
本学から履修を許可された学生の出願書類は、受入大学に送付されます。  
受入大学からの選考結果は、本学から出願者に通知します。なお、出願してから受入大学の許可が届くまでに授業が進むことがあります。本学から履修許可を受けた時点で、当該科目を仮受講することができます。
- ・ **単位互換履修生**
  - ① 履修手続きが完了した学生は、受入大学における「単位互換生」となります。
  - ② 単位互換生は、履修許可された科目を受講し、所定の試験に合格すれば単位の認定を受けることができます。
  - ③ 授業や試験については、受入大学の定める方法に従ってください。
- ・ **注意事項**
  - ① 出願に当たっては、しっかりと履修計画を立て、許可を受けた後に取りやめることがないように心がけてください。
  - ② 本学が開設する授業科目と同一名称および同一内容の単位互換科目は履修することができません。
  - ③ 上位学年に配当されている単位互換科目は履修することができません。

## 4 一般社団法人学修評価・教育開発協議会との「連携開設科目」の履修について

### 一般社団法人学修評価・教育開発協議会とは

関西国際大学、共愛学園前橋国際大学、富山国際大学、宮崎国際大学、創価大学、松本大学、新潟工科大学、宮崎学園短期大学、松商短期大学部、札幌国際大学の計8大学2短大が加盟する、日本各地の中小規模大学ネットワークです。

### 連携開設科目

本協議会に加盟する大学で開設されている授業科目を、本学で開設する授業科目として履修し、単位認定をすることができます。連携開設科目の履修は、各学期の履修上限単位数には含みません。

#### ・2026年度の連携開設科目

提供	科目名	方法	開講学期
関西国際大学	コミュニティ防災	オンデマンド	春学期
	データサイエンス	オンデマンド	秋学期
共愛学園 前橋国際大学	キリスト教と多文化社会	オンデマンド	春学期
	現代社会と聖書	オンデマンド	秋学期
富山国際大学	人工知能とその活用	オンライン	秋学期
	ジェンダー論	オンライン	秋学期
宮崎国際大学	観光概論	オンデマンド	春学期
	政治学概論	オンデマンド	秋学期
松本大学	スポーツと法	オンデマンド	春学期
新潟工科大学	くらしの化学技術	オンデマンド	春学期
	ユニバーサルデザイン	オンデマンド	秋学期

授業概要はシラバスにて確認ください。

履修方法、履修登録期間は本学の授業科目とは異なります。詳細はCampusPlan portalで確認ください。

問い合わせ先:教務課

## 5 放送大学との単位互換制度

本学は放送大学と単位互換協定を結んでいます。

この制度は、放送大学が提供する単位互換科目を履修し、それを本学の単位として認定する制度です。

### 履修できる放送大学の授業科目

開設科目は、「授業科目案内」を教務課で受け取り確認してください。

履修費:1科目2単位につき、12,000円

問い合わせ先:教務課

## 1 | 大学での学び

## ① 授業科目

本学では、建学の礎に基づき、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を制定し、ここに示された人材の養成を実現するために、教育課程(カリキュラム)を編成しています。

## ・科目区分

科目区分	
全学共通教育科目	学部の枠を超えて履修する科目。
学科専門科目	各学部・学科別に設置された科目。
教職課程に関する科目	教育職員免許状を取得するための科目。卒業要件単位にはカウントされません。
図書館司書課程に関する科目	図書館司書資格を取得するための科目群。卒業要件単位にはカウントされません。
社会教育主事に関する科目	社会教育主事になるための基礎資格(任用資格)を取得するための科目群。卒業要件単位にはカウントされません。

## ・科目分類

科目分類	
必修科目	卒業までに必ず履修し修得しなければならない科目。
選択必修科目	指定された科目群の中から科目を選択し、決められた科目数(単位数)以上を修得しなければならない科目。
選択科目	自由に選択し単位を修得することが出来る科目。

## ・授業形態

授業形態	
講義	教員が学生に対し、学問の内容を説明することにより知識を授ける授業形態。
演習	教員の指導のもとに学生も討議・研究活動を行い発表する授業形態。
実験	見出した理論や仮説が正しいか、一定の条件で試してみる授業形態。
実習	学んだ知識をもとに実際の場で学習する授業形態。
実技	学んだ知識をもとに実地の技術や演技を行う授業形態。

## 授業科目の詳細

各授業科目の具体的な情報はシラバスで確認します。

シラバスには、授業の概要、講義の方法、各週の授業計画、成績評価の方法、使用するテキストなどの情報が記載されています。

## ② 単位制度と学修時間

## 1単位は45時間の学修時間で構成

単位の計算に当たっては、各授業科目について、授業時間のほか、授業時間外の学修(事前学修及び事後学修)も含めて、1単位当たり標準45時間の学修を必要とする内容をもって適切に構成することになります。

例えば、2単位の講義科目であれば、授業時間と授業時間外の学修で90時間の学修が求められます。

各授業科目のシラバスに記載されている授業計画と事前事後学修の内容を確認し、予習・復習を行ってください。

### ③卒業のために必要な条件

卒業のためには、次の3つの要件を充たさなければなりません。

#### ・修業年限4年以上

4年間の在学年数が必要です。休学期間は在学年数に含まれません。

在学年限(学生として本学に在籍できる最長年数)は休学期間を除き8年です。

#### ・卒業要件単位を124単位以上修得する

各学科で定められた教育課程および履修方法によって、124単位以上を修得すること。

科目区分ごとに修得単位数などの履修要件が定められていますのでしっかり確認してください。

#### ・授業料を納付する

定められた授業料を在学期間中に完納すること。

### ④学位の授与

本学の卒業者には、学士の称号を授与します。学士の種類は次の通りです。

専攻区分		学士の名称
人文学部	国際教養学科	学士(人文学)
	心理学科臨床心理専攻	学士(人文学)
	心理学科子ども心理専攻	学士(教育学)
観光学部	観光ビジネス学科	学士(観光学)
スポーツ人間学部	スポーツビジネス学科	学士(スポーツビジネス)
	スポーツ指導学科	学士(スポーツ指導学)

## 2 | 履修について

### ①履修相談

履修に関する相談、質問などは学科のアドバイザー教員が担当します。

履修登録をする際にはアドバイザーの承認が必要です。各学期の履修登録期間中にアドバイザーとの面談を行い、今後の学習の進め方などの相談をしてください。

履修科目の選択、登録は、アドバイザーとの面談を参考にし、卒業要件および希望する免許・資格に必要な要件をしっかり理解したうえで、自らの責任において行ってください。

### ②履修登録の流れ

#### 準備

この「STUDENT HANDBOOK」、「授業時間割」、「シラバス」などを準備します。  
開講時間、授業概要などをしっかり確認してください。

#### 履修計画

自分のキャリアプランを考え履修計画を立てます。  
卒業要件、希望する免許・資格要件をチェックしてください。  
履修登録単位数には上限が設定されていますので、何単位まで履修できるかを確認してください。  
履修科目を決定したら、巻末の「履修登録票」に記載しアドバイザーの承認を受けてください。

#### 履修登録

履修登録は「CampusPlan portal」によるWeb履修で行います。  
履修登録エラーの警告メッセージがないことを確認してください。  
クォーター科目は学期開始時に第1クォーター・第2クォーター両方を登録してください。  
指定された期間内に必ず登録をしてください。

**履修登録は学内・学外どこのPCからでも登録ができます。**

#### 確認

「CampusPlan portal」で計画通りの科目が間違いなく履修されているかを確認してください。  
履修登録期間中は「CampusPlan portal」にて自由に履修変更することができます。

履修科目の間違いや漏れがあると、授業に出席し、試験を受けても単位修得は認められません。この手続きは単位修得において最も重要な手続きです。細心の注意を払い、自分の責任で正確に行うようにしてください。

登録期間等は、オリエンテーション資料やCampusPlan portal等で確認してください。

各第2クォーター開始前には履修登録を変更する期間があります。指定された期間内・方法で手続きしてください。

### ③履修計画の立て方(大学)

#### ●CAP制

各学期の履修登録単位数の上限を**24単位**とします。

※ 通年科目等2学期連続で履修が続く科目は単位を按分します。

※ 累計GPAが3.00以上の者は、CAP制の上限を超えて履修することができます。

#### CAP制の最高履修登録単位数に含まれない科目

##### 【全学共通教育科目】

海外ボランティア・インターンシップI・II、海外研修I～IV、インターンシップI～III、留学生教育科目(日本語I～VI)

##### 【学科科目】

卒業研究、海外研修科目、子ども心理専攻の子ども心理専攻専門科目

##### 【その他】

夏季・冬季集中講義科目、教職課程に関する科目、図書館司書課程に関する科目、社会教育主事に関する科目、札幌圏大学・短期大学間単位互換科目、放送大学との単位互換科目、他大学との連携開設科目

※在学期間4年以上を経過した学生は、CAP制を適用しません

#### ●時間割を考える 巻末の履修登録票に履修希望科目を記入します。

##### ・卒業要件を確認する

①自分の所属する学科、入学年度の卒業に必要な単位数を確認する。(124単位以上)

②各科目領域(共通科目、専門科目など)から卒業までに取得しなければならない単位数を確認する。

##### ・必修科目の履修

①必修科目の開講日程を時間割で確認し、選択する。

②空いている時間に選択科目の中から希望科目を選択する。

##### ・免許・資格要件の履修

①自分が希望する免許、資格要件科目を確認してください。(P82「教職課程」、P94「資格」参照)

免許・資格の要件科目によっては、卒業要件単位にならないものもありますので、計画的な履修が必要です。

②免許・資格課程の科目を履修するには別途履修費がかかるものがあります。詳細は教務課へ問い合わせください。

##### ・講義内容の確認

①シラバスで講義の概要、授業計画、到達目標、評価方法などを確認しましょう。

②授業の第1回目はその科目の講義内容や授業計画をより詳しく説明しますので必ず出席しましょう。

## ・その他 履修上のルール

配当年次	すべての科目は、履修可能な学年が指定されています。時間割、シラバスで確認してください。(自分より上の学年に配当されている授業科目を履修することはできません。)各年次に配当されている授業科目は、基本的にその年次で履修するようにしましょう。特に必修科目については、必ず当該年次で履修してください。
学科・クラス指定	科目によって、履修可能な学科・クラスが指定されています。時間割に従い履修してください。また、科目によっては、科目独自のクラス編成で開講する場合がありますので、時間割を確認しましょう。
再履修	過年度に「不可」の科目は、再度履修登録することができます。すでに修得済みの科目を、再度履修登録することはできません。
他学部・他学科の科目履修	他学部・他学科および短期大学部で履修できる科目は、時間割・シラバスに表示しています。大学は最高60単位まで、修得した単位を卒業要件に加えることができます。
改正された所属学科の下の学年の科目を履修する場合の取扱い	下の学年のカリキュラムが改正されて、科目名や単位数、科目の領域区分(例:学科基礎科目、専門科目等)などが変わることがあります。自分の入学年度カリキュラムの科目と同じ名称の科目を履修する場合は、科目領域、単位数ともに自分の入学年度カリキュラムのものとして適用されます。自分の入学年度カリキュラムにない下の学年の科目は履修できません。
「中国語」「韓国語」の履修	「中国語」・「韓国語」はIを修得したあとⅡ・Ⅲと段階を踏んで履修・単位修得してください。
留学生	留学生は母語の科目を履修できません。

### ・履修登録できない科目(自分で履修登録しなくても良い科目)

インターンシップ科目、札幌圏単位互換科目、放送大学単位互換科目、海外研修関係科目：受講決定後、教務課で登録します  
その他：教務課から指示のある科目

## ●シラバスの見方

### ・シラバスとは

シラバスとは、各授業科目の概要(講義方法、授業計画、到達目標、試験・成績評価方法、テキスト・参考文献、事前事後学習など)が記されたものです。

シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

### ・シラバスの見方

シラバスはインターネットで閲覧できます。

いずれかの方法でアクセスできます。

- ①本学HP(<https://www.siu.ac.jp/>)→「学生生活」→「シラバス」
- ②CampusPlan portal

## ④履修登録

履修登録は「CampusPlan portal」を利用して行います。学内・学外どこからでもアクセスして登録ができます。登録方法はP62からの「履修申請」で確認してください。

## ⑤履修登録期間

春学期：4月6日(月)～4月17日(金)

秋学期：10月2日(金)～10月10日(土)

## ⑥第2クォーター履修変更期間

春学期：6月9日(火)～6月19日(金)

秋学期：11月25日(水)～12月5日(土)

※セメスター科目・通年科目の取り消しはできません

## 3 | 授業について

## ① セメスター制・クォーター制

本学ではセメスター制(2学期制)を維持しつつ、春1・2クォーター、秋1・2クォーターの4学期に分けて授業を行う「クォーター制」を導入しています。

4年間で計画的に単位を修得していくことにより、授業以外の活動(留学、ボランティア、就職活動等)に時間をあてることが可能です。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春学期(4/1~9/30)						秋学期(10/1~3/31)					
春1クォーター (4/11~6/5)		春2クォーター (6/13~8/3)		集中講義 夏季休業		秋1クォーター (10/5~11/21)		秋2クォーター (11/30~1/30)		集中講義 春季休業	

## ② 授業時間

1講目	9:00~10:45
2講目	10:55~12:40
昼休み	12:40~13:20
3講目	13:20~15:05
4講目	15:15~17:00
5講目	17:10~18:55
6講目	19:25~21:10

## ③ 授業の出席・欠席

## ● 単位認定の原則

科目の単位は、原則として授業のすべてに出席し、事前事後の自己学習を含めた学習に対して認められます。

病気などによりやむを得ず欠席したとしても、学習内容の理解と習得には3分の2以上の出席が必要です。

欠席回数が3分の1を超えると、その授業科目の単位は認定されません。〔不可〕

## ④公認欠席について

授業を欠席する場合、窓口への届出は必要ありません。授業担当教員には、必要に応じて直接欠席理由等を説明してください。病気・就職活動などの理由による欠席であっても、公認欠席にはなりませんので注意してください。

### ●公認欠席

公認欠席とは、以下の理由により授業を欠席する場合に、必要な手続きを行うことで公認欠席とする取り扱いをいいます。ただし、公認欠席として認められた理由により欠席した場合が含まれていても、3分の2以上の出席がなければ単位は認定されません。学生から授業担当教員へ所定の手続きによって補充措置を願い出ることができ、担当教員が認めた場合のみ出席扱いとしていますが、授業内容等によっては補充措置が難しいこともあるため、必ず認められるわけではなく、その都度担当教員が判断します。

### [公認欠席事由と手続き]

以下の表に該当する理由で授業を欠席する場合のみ、所定の提出フォームから届け出てください。  
特別な事情等により公認欠席が多くなる場合はあらかじめご相談ください。

欠席理由	必要書類	届出期日	提出先
学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症にかかった場合(※1)	傷病証明書(本学様式)または感染症名と療養期間が入った診断書等	出席停止解除日より1週間以内	学生サポートセンター
正課中・学内行事・通学中部活動中の怪我(※2)	傷病証明書(本学様式)または傷病名と療養期間が入った診断書等	再登校日より1週間以内	
障がいや病弱等に関わる定期検診・通院(※3)	通院時の病院領収書	再登校日より1週間以内	
裁判員候補者として裁判所に出向く場合及び裁判員として職務に従事する場合	裁判所が発行する証明書	事前	教務課
忌引き(※4)	香典返しの葉書き等	欠席日より1週間以内	
天災・交通機関の障害による場合	公共交通機関の遅延証明書 JRの場合は当日の各利用駅の列車運行状況	欠席日より1週間以内	
学外における授業としての実習(教育実習、保育実習、介護等実習、心理実習、博物館実習、インターンシップ等)		事前	学生課
その他特別な事情によるもの(教務部の審査により認めるもの)	教務部の求める証明書	事前	
課外活動(試合・公演・発表など)(※5)	大会等出場届、開催要項等	事前	
就職試験(※6)	就職活動証明書	欠席日より2週間以内	キャリア支援センター

- ※1 学校保健安全法施行規則第18条において第1種～第3種の学校が予防すべき感染症(自身の疾病が対象となるかは保健室にお問い合わせください)  
 ※2 授業の出席に著しく困難を伴う場合で、軽症のものは含みません。学生教育研究災害傷害保険(学研災)に全員が加入していますので、事故に遭った場合は速やかに学生課に届け出ることが必要です。傷病証明書(本学様式)は大学ホームページからダウンロードすることができます。  
 ※3 入学時健康調査、または在籍中に新たに判明した障がいや病弱・虚弱等で本人より大学へ配慮申請のあったもの  
 ※4 配偶者10日、1親等(父母、子)7日、2親等(祖父母、兄弟姉妹等)3日、3親等(曾祖父母、おじ、おば等)1日 ※休日を含み連続した期間  
 ※5 学内団体の顧問が、年度当初に提出した活動に限り、「大会等出場届」と一緒に参加学生分を一括して大会開催前に提出する必要があります。  
 ※6 就職試験を理由に欠席する場合は、あらかじめ「就職活動証明書」の用紙を受験する企業に持参して証明印をもらう必要があります。

### ●公認欠席届の提出方法

公認欠席届はWEB上でフォームから申請します。

- ①公認欠席届WEBサイトにアクセスします。  
(CampusPlan portalの指定リンクからも入ることができます)
- ②該当の提出フォームから公認欠席届を送信します。
- ③数日後に「承認」か「非承認」のメールが届きます。

- ◆承認の場合はそのまま出席状況に反映されるのをお待ちください。(反映までは1～2週間程度)
- ◆非承認(拒否)の場合は、その理由がメールに記載されていますので確認してください。  
書類の不備などがあれば指示に従い用意してください。

公認欠席届WEBサイト



### ●公認欠席で補充措置を求める場合の流れ

- ①公認欠席事由によって授業を欠席する場合は、その事由の提出期限内に手続きを行う。
- ②補充措置を希望する場合は、所定の様式「公認欠席に伴う授業補充願」に記入し、教務課へ持参、確認印を押印してもらう。
- ③教務課で押印された「公認欠席に伴う授業補充願」を学生から授業担当教員へ提出し、補充措置を希望していることを伝える。
- ④授業担当教員の判断により、課題等による補充措置を実施された場合、その条件を達成した場合には認定出席(出席扱い)とする。

## ⑤ 授業の実施方法

授業は、基本的に大学の教室内で受講する「対面授業」で実施しますが、一部の科目では遠隔システム（Zoom）を用いて自宅等で受講する「遠隔授業」や動画等を視聴して課題に取り組む「オンデマンド授業」を実施する授業もあります。担当教員からの授業内の説明やWebclass等での指示に従ってください。

### 【Zoomによる遠隔授業の準備】

初めてZoomを利用するときは、以下の手順に従いZoomアカウントのアクティベート、インストール及びサインアップを行ってください。

#### 1) Zoomアカウントのアクティベート

学生のZoomアカウントは大学から配付された学生用メールアドレス（学生番号@stu.siu.ac.jp）です（P20「学生用メールアドレス」ページ参照）。

- ① 学生用メールアドレスにZoomのアカウント招待メールが届いています。
- ② メール本文の「Zoomアカウントのアクティベート」をクリックします。
- ③ 「パスワードでサインアップ」をクリックします。
- ④ Zoomのサイトに繋がります。必要事項を記入し、「続ける」をクリックします。

※「名」欄には学生番号、「姓」欄にはフルネーム、パスワードには学生用メールアドレスのパスワード（SiU西暦生年月日）を入力します。

#### 2) Zoomクライアントのインストールとサインイン

- ① Zoomのサイト（<https://Zoom.us/ja/download>）にアクセスします。
- ② Windows向けZoom Workplaceから使用するパソコンに合うものをダウンロードします。



- ③ ダウンロードされたファイルを開いてインストールします。



- ④ Zoom Workplaceを起動し、「サインイン」をクリックします。



⑤「SSO」をクリックします。



⑥「会社のドメインを入力してください」と表示されたら  
□をクリックします。



⑦「[siu-ac.jp](http://siu-ac.jp)」と入力して「続行」



### 【Zoomによる遠隔授業の入り方】

遠隔授業へは「CampusPlan portal > 履修時間割 > WebClass」から入室します。(P66参照)。

## ⑥ 休講、補講、教室変更

- ・やむを得ない事情により授業をおこなえない場合は休講とします。
- ・授業開始後20分を経過して、科目担当者から連絡がない場合は休講とします。
- ・授業が休講となった場合は補講を行います。補講日は別途お知らせします。

休講、補講、教室変更の連絡方法

**CampusPlan portal** (P59参照)

※毎日できれば複数回確認する習慣をつけてください。

※急な変更については情報提供が間に合わない場合があります。

## ⑦ 受講上の注意

授業を活性化させるためには、教員だけではなく学生のみなさんも主体的にかかわることが必要です  
受講マナーを身につけ、互いに快適な学習環境をつくりましょう!

### ・学習へ主体的・能動的に取り組む

- ①単位制度を理解し、事前学修、事後学修をしっかり行いましょう。
- ②自分の意見を述べる、理解できなかったことは授業内で質問するなど、授業に集中し積極的に参加しましょう。

### ・受講マナー

- ①席席は特に指定がない場合、前から詰めて座りましょう。
- ②必要のない私語をしない。
- ③指示とは異なる言動をして授業を妨げない。
- ④居眠りをしない。
- ⑤授業にふさわしい服装、身だしなみで授業に臨みましょう。
- ⑥授業中の飲食はしない。
- ⑦授業中は、教員が許可した場合を除き、携帯電話・スマートフォンなどの電源を切るかマナーモードにすること。
- ⑧教室内の整理整頓に努めること。
- ⑨ゴミは所定の場所に分別して捨てましょう。
- ⑩机、椅子などに落書きをしない。

### ・授業評価アンケート

本学では、教育内容・教授方法を改善・向上させることを目的に各学期ごとに授業評価を行なっています。

学生が教員の評価を行うと同時に学生自身についての自己評価を行います。調査は、統計的に処理され、自分の名前が教員に知られたり、成績上不利に扱われたりすることはありません。

(P56.札幌国際大学学生受講心得 参照)

## [札幌国際大学学生受講心得 2026]

(目的)

第1条 本心得は札幌国際大学及び札幌国際大学短期大学部(以下「本学」という。)の授業等の受講にあたり、学生が留意すべき事項を定める。  
(授業出席)

第2条 学生は原則としてすべての授業に出席し、遅刻、無断退席をしないこと。

特別な事情があって遅刻や途中退出する場合は、必ず科目担当教員に説明し、許可を得てから入退室すること。

2 出席確認に際しては、原則として科目担当教員の指示する方法(Web 学生出席登録等)に従うこと。

(1) 出席確認に際して、不正を行うこと(たとえば、ワンタイムパスワードの不正入手、代返行為をするなど)は許されない。

(2) 学生が出席確認に際して不正に関わった場合は、懲戒処分等の厳しい措置を受けることがある。

(受講上の遵守事項)

第3条 学生は授業の受講に際し、目的とする知識・技能の習得のため次の事項を遵守すること。

(1) 授業は履修登録をした科目を受講することができる。

(2) 机上には学習用品および担当教員が許可した以外のものを置かず、授業に集中する環境をつくる。

(3) 講義を受ける際にはノートテイクやポイントメモなどを使い積極的な受講をすること。

(4) 講義内容に関して疑問点がある場合は積極的に行うこと。ただし質問のタイミングは他の受講生の妨げにならないよう適切な時間に行うこと。授業後に質問する場合は WebClass を通じて行うことができる。

(5) テキストが指定されている授業においては、テキストを用意して受講する。その他、授業で使用する用具が指示されている場合には持参し授業に臨むこと。

(6) 対面授業、遠隔授業に関わらず、レポート等課題の提出物は、期日を守り提出すること。

課題における不正行為(盗用・剽窃、許可されていない AI の使用など)は行わないこと。

(7) オンデマンド授業については、本学のガイドライン及び、担当教員の指示に従って受講すること。

(8) 学修における生成 AI の活用については、本学のガイドライン及び担当教員の指示に従うこと。

(9) 授業中に他の受講者の迷惑になる行為は禁止する。注意してもやめない場合には退室を命ずることがある。

(10) 授業中に教員の許可なく授業を録画・録音・スクリーンショットを撮るなどしてはならない。

また、配布された資料等やオンデマンド授業の教材、映像等を許可なく第三者に提供したり、SNS に拡散してはならない。

(11) Microsoft Office、CampusPlan portal、WebClass 等のログインを他者のアドレスやパスワードで行ってはならない。また自身のパスワードは厳重に管理し、友人等にも教えないこと。

(12) 教室の座席は指定がある場合にはその場所に着席する。指示がない場合は前の席から詰めて座る。

(13) 教室内では携帯電話の着信音やバイブレーションで騒音を立てない設定にし、通話はしない。

(14) 授業では特別に許可されている場合を除き、イヤホンの使用を禁止する。

(15) かばんや荷物は椅子の下などに置く。非常時の安全のためにも、通路には置かない。

(16) 授業にふさわしい服装及び身だしなみで受講すること。

2 学生が前項に抵触しその行為の程度が悪質な場合は、当該授業の受講停止を含めた厳しい措置を受けることがある。

(事前学修・事後学修)

第4条 学生は単位制の本旨に則り授業等の受講に際し、事前学修、事後学修を行わなければならない。

2 事前学修、事後学修に対し、科目担当教員の特別な指示がある場合には、それに従うこと。

(教員遅刻時)

第5条 科目担当教員が事前に連絡がなく教室に現れない場合でも、最低 20 分は待機しなければならない。

(20 分以上来ない場合は休講となり、日を改めて補講が実施される)。

(授業評価)

第6条 学生には授業評価アンケートその他により各授業の評価および意見を、成績に影響しない形で表明する機会が適宜与えられる。

(成績評価への疑義申し立て)

第7条 正当な評価が与えられていないと思われる場合に学生は疑義を呈することができるが、その際、別途定められている方法

(履修規程等を参照)で、疑義を呈すること。

(ハラスメント)

第8条 授業等において教員や他の受講者からのハラスメントを受けたと思われる場合は、ハラスメント相談員に相談することができる。

## 4 CampusPlan portal(キャンパスプランポータル)について

### 「CampusPlan portal」利用方法

学内外どこからでもアクセスできる「CampusPlan portal」は、皆さんの学生生活に必要な情報を得るための窓口です。重要な情報が常時更新されるので、毎日アクセスする習慣をつけてください。

**モバイル**

**PC**

**メニュー**  
各メニューを押すとそれぞれの機能に遷移します。

**カレンダー**  
学校行事のカレンダーが表示されます。

**通常のお知らせ**  
大学からの新着のお知らせが表示されます。

**授業に関するお知らせ**  
授業からのお知らせが表示されます。

**指定リンク**  
修学上必要な外部サイト等へのリンクを用意します。

### CampusPlan portalでできること

- ・**お知らせ一覧** すべてのお知らせの一覧が表示されます。カテゴリーやキーワードで絞り込むことができます。(P58参照)
- ・**休講補講等一覧** 自分が受講している授業科目の休講、補講及び教室変更の一覧が表示されます。(P59参照)
- ・**履修時間割** 履修時間割を表示することができます。授業科目名をクリックするとWebClassが開きます。(P60参照)
- ・**シラバス** 公開されている授業科目のシラバスを閲覧できます。検索条件を指定して抽出することができます。(P61参照)
- ・**履修申請** 履修の申請や履修状況の確認をすることができます。(P62参照)
- ・**外部サービス(WebClass)** 授業で使う教材やテスト、レポート提出などで利用するWebClassのトップページを開きます。(P66参照)
- ・**出欠登録** 授業内の出席登録で利用します。授業科目を選択して教員から示されたコードを入力します。(P70参照)
- ・**成績** 当該学期の成績やこれまでの成績を確認することができます。年度・学期を絞り込みこともできます。(P72参照)
- ・**学生カルテ** 大学に登録されている連絡先や健康診断などの個人情報を確認できます。出欠情報も確認できます。(P74参照)

## お知らせ一覧

すべてのお知らせの一覧が表示されます。カテゴリやキーワードで絞り込むことができます。

**メニュー**  
「お知らせ一覧」を押すと、お知らせ一覧画面に移動します。

**年度切り替え**  
表示するお知らせの年度を切り替えます。

**お知らせ一覧**  
配信されているお知らせの一覧が表示されます。

**お知らせ詳細**  
お知らせの詳細を確認する場合は、タイトルを押します。

**絞り込み条件**  
お知らせを配信元・カテゴリ・キーワードで絞り込みます。

日付	タイトル	配信元	カテゴリ
2025年03月07日 17:07	キャンパスプラン「単一タムテスト」の開催	情報システム課	大学より
2025年03月05日 18:05	春季休業中の授業「配内書が送付されず」の対応について	総務課	大学より
2025年03月05日 18:03	2025年4月からの「クォーター制・105分授業」の導入について	総務課	大学より
2025年03月05日 17:57	【重要】3学期の授業に向けた準備について	常勤 教員	講義コース
2025年03月03日 13:06	1月28日6時の大雪・コンビニの閉鎖について	総務課	大学より

※全学生向けの情報提供の場としてWebClassのコースに「大学からのお知らせ」を用意しています。こちらにも定期的にアクセスして、最新の情報を確認してください。(P66「WebClass」参照)

WebClass: 大学からのお知らせ

検索: マイリスト | 検索 | お知らせ | コース

タイムライン

授業に関する情報

- オリエンテーション情報 2時
- 授業に関する情報 2時
- リスニング2 2時
- 学生生活 2時
- 英語基礎 2時
- 基礎英語 2時
- 数学Ⅰ 2時
- 日本文化と英語 2時

## 休講補講等一覧

自分が受講している授業科目の休講、補講及び教室変更の一覧が表示されます。

**ページ内移動**  
各一覧にジャンプします。

**メニュー**  
休講補講等一覧を押すと、休講・補講・教室変更情報の一覧に移動します。

ホーム
お知らせ一覧
休講補講等一覧
履修時間割
アンケート
キャビネット
外部サービス
ログアウト

履修申請
シラバス
検索
学生カルテ
出欠登録
成績

○ 2016年度 休講・補講・教室変更情報

休講一覧へ ▾    補講一覧へ ▾    教室変更一覧へ ▾

● 休講一覧

日付	曜日	学期	講義名	担当教員	連絡事項
2016年11月10日	木	4	高齢化人間研究		休み
2016年11月22日	火	4	情報リテラシー	青山 正一	補講日程は未定です。
2016年11月23日	金	1	ポラシニア語A	長野 真一	
2017年01月17日	火	4	情報リテラシー	青山 正一	
2017年01月24日	火	4	情報リテラシー	青山 正一	補講日程は未定です。

○ 絞り込み条件

自分の履修講義のみ

● 補講一覧

日付	曜日	学期	講義名	担当教員	教室	連絡事項
2016年11月04日	金	5	高齢化人間研究	青山 正一・武田 正一	201	
2016年11月05日	土	1	情報活用1	込藤 登利	103	11/05補講

● 絞り込み条件

自分の履修講義の休講・補講・教室変更情報のみに絞り込みます。

● 教室変更一覧

日付	曜日	学期	講義名	担当教員	変更前	変更後	連絡事項
2016年11月04日	金	4	人間と思考	長野 美奈子	103	議室	
2016年11月17日	木	5	高齢化人間研究	青山 正一・武田 正一	201	114	
2016年11月29日	火	4	演習IV	藤堂 三郎	演習室3	視聴覚室2	

● 絞り込み条件

教室が変更となった講義の一覧が表示されます。

## 履修時間割

自分が受講している授業科目の一覧が表示されます。授業科目名をクリックするとWebClassが開きます。

The screenshot shows the '履修時間割' (Class Schedule) page. The top navigation bar includes 'メニュー' (Menu) and '履修時間割' (Class Schedule). The main content area displays a calendar for the year 2025, with a '学期切り替え' (Change Semester) button. The calendar shows classes for '哲学 (原部 太郎 TEST101)' and '日本国憲法 (原部 太郎 TEST102)'. A '集中講義' (Concentration Course) table is also visible, showing 'マンガ学' (Manga Studies) by '原部 太郎 TEST102'. The '時間割表' (Class Schedule Table) shows the weekly schedule for these classes.

**メニュー**  
履修時間割 を押すと、時間割表に移動します。

**学期切り替え**  
表示する時間割の学期を切り替えます。

**集中講義**  
履修登録した集中講義を表示します。

**時間割表**  
履修中の通常講義の時間割を表示します。

講義名	担当教員
マンガ学	原部 太郎 TEST102

日	月	火	水	木	金	土	日
1	哲学 (原部 太郎 TEST101)		哲学 (原部 太郎 TEST101)				
2		日本国憲法 (原部 太郎 TEST102)		日本国憲法 (原部 太郎 TEST102)			
3							
4							
5				キャリアデザイン I (原部 太郎 TEST101)			
6							
7							

## シラバス

シラバスは、各授業科目の概要（講義方法、授業計画、到達目標、試験・成績評価方法、テキストなど）が記載されたものです。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

シラバスは、CampusPlan portalのホーム画面からアクセスできます。メニューから「シラバス検索」選択するとシラバス検索画面が開きます。

### メニュー

シラバス検索を押すと、シラバス検索の画面が別ウィンドウで開きます。



### 1 検索

シラバスをキーワード又は検索条件を設定して検索します。

### 2 検索条件を表示/非表示

検索条件を展開または折りたたみます。

### 3 以上の条件で検索

【以上の条件で検索】ボタンを押すと対象科目の一覧が表示されます。

### 4 科目選択

科目一覧から科目の[選択]ボタンを押すとシラバスが表示されます。

### 5 シラバスPDF出力

シラバスをPDFで出力することができます。

選択	講義コード	講義名称	講義開講時期	代表教員	必要単位数	学年	授業方法	履修形態	単位数	ナンバリング	PDF印刷出力	PDF一頁検索
<input type="checkbox"/>	0999081	数学	春学期第1クォーター	佐藤 直也	選択	3年	講義	対面授業	2単位	LA592104L	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	0999082	社会学	春学期第2クォーター	佐藤 直也	選択	3年	講義	対面授業	2単位	LA682104L	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	0999083	ビジネス実務英語	春学期第1クォーター	佐藤 直也	選択	2年	講義	対面授業	2単位	LA693319L	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	0999087	社会心理学	春学期第2クォーター	佐藤 直也	選択	2年	講義	遠隔授業	2単位	LA682187L	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

検索年度: 2025  
 検索科目: ビジネス実務英語  
 講義開講時期: 春学期第1クォーター  
 代表教員: 佐藤 直也  
 必要単位数: 2単位  
 学年: 2年  
 授業方法: 講義  
 履修形態: 対面授業  
 単位数: 2単位  
 ナンバリング: LA693319L

所在地設定  
 名称: 英語  
 所属: 大学・人文学部・英米文化学科

授業内容の概要  
 この授業では、経済や社会の発展の歴史の中で、ビジネス実務がどのように行われてきたのかを解説します。そして、ビジネス実務に関与する人々の役割や責任、ビジネス環境において、どのように行動し、働くのか、これからの働き方について考察することを目的とします。

授業目標  
 本授業の目標は以下の通りです。  
 ・ビジネス実務の歴史を学ぶ。  
 ・ビジネス実務の発展の歴史を学ぶ。  
 ・ビジネス実務の発展の歴史を学ぶ。

授業の進め方  
 授業時に講義形式の授業を行います。授業の進行、ワーク等を随時行い、最終的に卒業論文の作成を促します。また、最新記事を添読します。

アクティブ・ラーニング  
 ・グループワーク

履修上の留意事項  
 ・履修上の留意事項は、履修案内に記載されています。履修案内を必ず読んでください。履修案内に記載されていない事項については、お問い合わせください。

授業計画表  

日	授業内容	授業形態
第1回	ビジネス実務の歴史と発展	

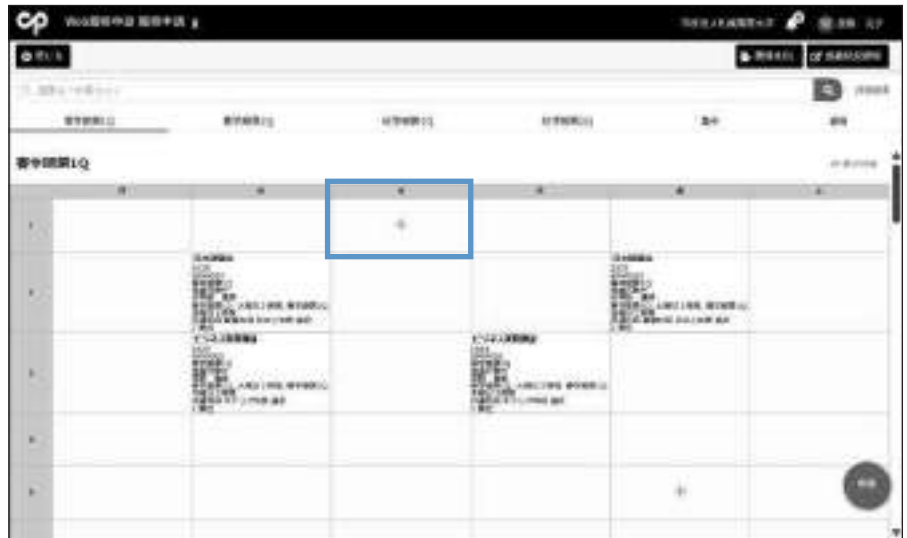
## 履修申請

P50の「履修計画の立て方」をよく読んでください。履修科目が決定したら、巻末の「履修登録票」へ記入し、アドバイザーの承認を得てください。履修申請は、CampusPlan portalのメニューから「履修申請」を選択します。



## (1) 履修講義を追加する

時間割画面が表示されます。科目を追加したいコマの[+]をクリックすると、選択したコマ内で履修可能な科目一覧が表示されます。



追加する科目をクリックします。



科目情報画面から[追加]をクリックして科目を追加します。ここからシラバスを確認することもできます。



メッセージが表示され、科目が追加されます。

この時点では、まだ申請処理が完了していません。ブラウザやタブの閉じるボタンを押すとデータは保存されません。



### (2)追加した科目を削除する

追加した科目を削除するには、時間割画面の講義をクリックして科目情報画面から[削除]をクリックします。



### (3)申請を行う

履修する科目が決まったら[申請]をクリックします。



履修チェック処理が始まります。



履修登録処理が完了します。右図の画面が表示されれば履修申請は終了です。

履修制限エラーが表示された場合は、内容を確認してエラーを解消してください。

[履修申請に戻る]をクリックすると時間割画面に戻ります。



[閉じる]をクリックするとCampusPlan portalのメイン画面に戻ります。



**(2) 履修エラーを確認する**

履修制限エラーが表示された場合は、エラー内容を確認し、[履修申請に戻る]をクリックしてください。



履修制限エラーを解消してから申請処理をしてください。



履修申請が終了したら再度履修申請画面に戻り、登録内容を確認してください。  
履修登録期間内であれば自由に履修申請内容を変更することができます。

## 外部サービス(WebClass)

授業では、担当教員とのメッセージのやり取りや講義資料の確認、レポート提出、小テストなどに利用できるクラウド型授業支援ツールの「WebClass」を利用します。CampusPlan portalのホーム画面から「WebClass」を選択します。

※「WebClass」の操作方法の詳細はオンラインマニュアルを参照してください。



### コースリストについて

WebClassが起動すると、下図のようなコースリスト画面が表示されます。この画面には受講できるコースやお知らせなどの情報が表示されます。



- ・画面右上のアイコンをクリックすると、お知らせ・メッセージ画面が開き、未読数が表示されます。
- ・時間割表は年度と学期で切替可能です。
- ・締切が近い課題はコースに「締切が近い課題があります。」と表示されます。
- ・その他のコースには、集中講義の他、全学生向けの特別コースとして「大学からのお知らせ」が用意されています。(P58参照)
- ・eポートフォリオ・コンテナは、学習成果を蓄積し、自律的な学習を支援するツールです。  
詳細は、「eポートフォリオ・コンテナユーザマニュアル」を確認してください。

### 教材一覧について

コースリスト画面からコース名をクリックすると教材一覧画面が表示されます。コースリスト画面に戻るには「WebClass」リンクをクリックします。



### メッセージでやりとりする

メッセージ機能では、メールソフトのようにコース上でコース管理者(授業担当教員)とのやりとりができます。

「お知らせ・メッセージ」アイコンでメッセージ画面を開き、作成、送受信、管理ができます。



### メッセージを送信する

メッセージ画面から「メッセージ作成」をクリックするとメッセージ作成画面が表示されます。

この画面ではメッセージの作成や送受信および管理ができます。



- ・「宛先」、「件名」、「メッセージ」を入力してください。なお、メンバーリストが公開されていないコースでは、学生はコース管理者(授業担当教員)にしかメッセージを送信できません。
- ・ファイルを添付することもできます。
- ・最後に[送信]ボタンをクリックします。

## 資料について

授業用スライドやテキスト、授業で配布される参考資料などの教材は、資料教材で閲覧することができます。



ページを移動するには、[前のページ]や[次のページ]ボタン、または目次のボタンをクリックします。資料を閉じるには[資料を閉じる]ボタンを、途中で終了するには[しおりをつけて閉じる]ボタンを使用します。

## レポートを提出する

コース管理者(授業担当教員)が指定したファイル形式(ファイルサイズの上限が設定されている場合もあります)のレポートファイルを提出します。

再提出を指示された教材を実行する時は、すべての設問に対して回答し直す必要があります。前回の回答や先生からのコメントを確認してから再提出しましょう。



- ・提出できるファイル形式やサイズの上限などの注意事項を確認します。
- ・提出するファイルを選択し、[レポート提出]ボタンをクリックします。
- ・提出が完了したら、[終了]ボタンをクリックします。

### テスト/アンケートについて

選択式問題や記述式問題などで構成されたテストや自習用教材やアンケートに取り組みます。

それらの課題は採点、分析され、今後の学習に役立てることができます。

実行できる回数や制限時間、合格点などが設定されている場合は教材の開始画面に表示されます。

確認してから、課題に取り組みましょう。

回答途中でブラウザを閉じるなど、[終了]および[採点]ボタン、[回答を保存]ボタンをクリックせずに教材を終了した場合、回答は保存されませんので注意してください。



- ・問題形式に従って解答します。制限時間が設定してある場合は、残り時間が表示されます。
- ・問題を解答したら、[次のページ]ボタンをクリックしてください。次の問題に移ります。
- ・解答が完了したら、[終了]ボタンをクリックします
- ・自習用教材の場合、解答画面には[終了]ボタンではなく、[採点]ボタンが表示されます。解答が完了したら、[採点]ボタンをクリックすると得点や配点、得点率などの成績や解説が表示されます。

## 出欠登録

授業の出席確認は、CampusPlan portalから「出欠登録」機能を利用します。授業担当者が口頭などで行う場合もありますので授業担当者の指示に従ってください。

CampusPlan portalのホーム画面から「出欠登録」を選択します。



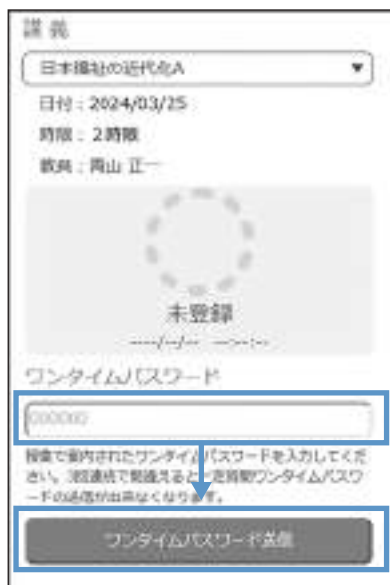
## 登録の手順

## ① 講義選択



プルダウンから講義を選択します。

## ② ワンタイムパスワード入力



教員から提示されるワンタイムパスワードを入力し、ワンタイムパスワード送信をクリックしてください。ワンタイムパスワードには制限時間があります。

## ③ 登録完了



出席登録が完了します。送信後、出席登録が完了した時刻が表示されます。

## 誤ったコードを入力した場合

誤ったパスワードを入力・送信してしまった場合、出席登録は完了しません。

3回連続で誤ったコードを入力した場合、入力ができなくなります。10分間後に再度入力してください。

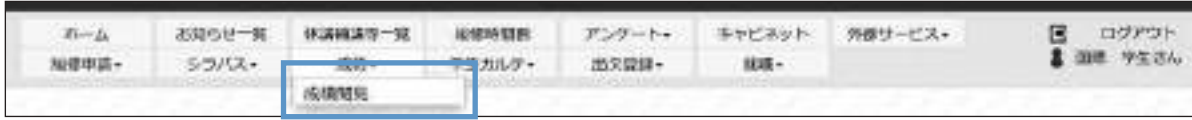
正しいワンタイムパスワードを再入力し、ワンタイムパスワード送信をクリックしてください。

※選択している講義が正しいか、パスワードが正しいかよく確認の上入力してください。

出欠情報は学生カルテ(P74参照)から確認できます。

## 成績

CampusPlan portalのホーム画面から「成績」を選択して、自分の成績情報を閲覧することができます。



## 今回成績

当年度・学期の成績が表示されます。

講義名称	本試験	再試	教員名	学期	講義コード
アーク研究	良		中野川 雅也	春学期	2600213
卒業論文	良		小林 浩二	春学期	9990000
経済学概論	良		藤川 大輔	春学期	1140000
多文化共生	良		青木 直樹	春学期	1134000

これまでの成績

▼ 学期 ▲ 科目

学年科目名称	単位	評定	卒業	成績 確定年度	成績 確定時期	教員名	学年科目 コード
<b>前期共通教育科目</b>							
<b>前期共通教育科目</b>							
英語の読み	2.00	優	合格	7671	春学期	藤川 大輔	0010
英語の書き	2.00	良	合格	2811	秋学期	藤川 大輔	0011
<b>後期教育科目</b>							
経済学	2.00	平均	合格	7672	春学期	北山 隆夫	0004
心理学	2.00	優	合格	3910	秋学期	藤川 大輔	0007
現代メディア論	2.00	良	合格	2812	春学期	青木 直樹	0070
国際関係論	2.00	平均	合格	7673	秋学期	北山 隆夫	7000

## 卒業要件集計欄

各分野の必要単位数・修得した単位数などが表示されます。

卒業要件	卒業要件集計欄													
	専攻 所要単位数 対	全学共 通教育 科目	必修 (総合 教育)	必修 (教養 科目)	必修 (キャリア 教育科目)	学修内 選択科目 必修	学修内 選択科目 選択	学修外 選択科目 必修	学修外 選択科目 選択	卒業 要件 科目 必修	卒業 要件 科目 選択	社会科 学系 必修	社会科 学系 選択	諸学 士に 関する 科目
卒業 単 位	114.00	43.00	4.00	8.00	6.00	54.00	34.00	18.00	12.00	14.00				
修 得 単 位	112.00	44.00	4.00	8.00	6.00	52.00	32.00	18.00	12.00	14.00	2.00	0.00	0	0
履 修 中 単 位	2.00	0	0	0	0	2.00	2.00	0	0	0	0	2.00	0	0
未 履 修 単 位	112.00	44.00	4.00	8.00	6.00	52.00	32.00	18.00	12.00	14.00	2.00	0.00	0	0

※GPAは学生カルテ(P74)の[成績情報]から確認してください。

### ●卒業要件集計欄について

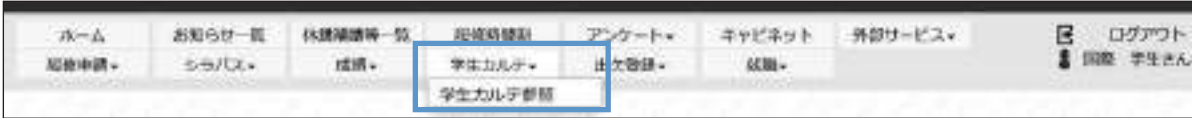
卒業までに必要な単位数や取得した単位数、履修中の単位数について表示しています。それぞれの内容は右表のとおりです。

なお、履修申請により登録した科目の単位は、履修登録期間終了後に卒業要件集計欄に反映されます。

項目	内容
要件必要	卒業要件を満たすために必要な単位数
修得済	既に修得した単位数
履修中	現在履修している単位数
認定済	修得した単位のうち認定される単位数
認定可能履修	現在履修している単位数のうち認定単位数に含まれる単位数
修得済振替	既に修得した単位で他の領域から振替られた単位数 (本学では使用しません。0が入ります。)
履修中振替	現在履修中の単位で他の領域から振替られる単位数 (本学では使用しません。0が入ります。)
判定用	認定済単位数に修得済振替単位数と履修中振替単位数を 足した単位数(本学では認定済単位数と同一です。)
不足	要件必要単位数から判定用単位数を引いた単位数

## 学生カルテ

学生カルテは、各自の届け出情報(本人の住所、保護者の連絡先など)の参照が可能です。CampusPlan portalのホーム画面から「学生カルテ」を選択して学生カルテメイン画面を開きます。学生カルテから授業の出欠情報を確認することもできます。



「学生カルテメイン画面」で画面右側にある関連情報の参照したい項目をクリックしてください。関連情報の参照画面が表示されます。

例)「学生カルテメイン画面」から「出欠情報」をクリックすると「出欠情報画面」が表示されます。



「出欠情報画面」の科目一覧から、確認したい科目の[参照]ボタンをクリックします。



選択した科目の出欠状況が確認できます。

出欠区分は次のとおりです。

- : 出席
- × : 欠席
- 公欠: 公認欠席(欠席扱い)
- 認定: 認定出席(出席扱い)



## 5 | 成績評価と単位の認定

### ① 成績評価基準

成績評価は、優+、優、良、可、不可をもって表し、優+、優、良、可を合格とし単位を認定します。不可は単位が認定されません。成績の評価は、それぞれ科目で示された方法により判定された総合点に従って決まります。それぞれの科目の評価基準は「シラバス」で確認してください。

	成績評価	総合点	判定内容	GP	備考
合格	優+	90~100	特に優れた成績	4.0	
	優	80~89	優れた成績	3.0	
	良	70~79	妥当と認められる成績	2.0	
	可	60~69	合格と認められる最低限度の成績	1.0	
	認定	—		(対象外)	他大学等で取得した単位の認定等
不合格	不可	0~59	不合格	0.0	

不合格になった科目は、次年度以降に再履修することができます。  
再試科目に合格した場合、結果に関わらず成績評価は「可」(GPは1.0)になります。

#### 目標は「良」以上

合格点は60点以上になりますが、これは合格と認められる最低の成績であって、70点以上がその科目の達成目標を満たす成績と考えています。みなさんが「良」以上の成績を修めればその科目を概ね理解できていると考えられ、次の学びにつながるようになります。みなさんが常に「良」以上の成績を修めることを期待します。

### ② GPA制度

GPAは科目毎の成績評価に対し0.0~4.0点のグレードポイント(GP)をつけ、1単位当たりの平均成績評価点を算出したものです(履修を途中で放棄した場合も不合格科目と同様の扱いとします)。

GPA制度は学習を効果的に進め、その質を高めるため導入されました。学生の成績を数値化することで、客観的に学習結果をモニターすることができます。

学生にとってのメリットは、自分の能力や意欲に合わせて履修を行い、学習効果をあげることができることです。また、大学側にとっては学生のGPAを参考にし、各学生の目標に応じた学修指導や進路指導を効果的に行うことができます。

GPA制度のもとでは、学生は一度登録した科目は責任を持って履修することが求められます。

#### GPA対象科目について

本学で開講する授業科目のうち、卒業要件に算入できる全ての授業科目をGPAの対象授業科目としますが、次に掲げる授業科目については、GPAの対象外とします。

- (1) 合否等により判定する授業科目
- (2) 入学前に修得し、本学で単位認定された授業科目
- (3) 他大学等で履修し、本学で単位認定された授業科目(単位互換協定に基づく授業科目を含む。)
- (4) 大学以外の教育施設等において学修し、本学で単位認定された授業科目
- (5) 履修登録取消の手続きを行った授業科目
- (6) その他、別に定める授業科目

#### GPAの活用方法

●本学ではGPA制度を履修登録単位数の上限を定めたCAP制、奨学金貸与資格、教職課程履修資格、留学の選抜などに利用しています。

#### ●学修支援プログラム

成績不振の学生は、学修支援プログラムの対象になります。

成績不振とは、学期のGPAが1.0未満になるか、あるいは修得単位数が著しく少ない(1・2年生は12単位以下)ことを指します。

内容:定期的に本学の担当教職員と面談を行い、学習・学生生活に対する助言及び指導を行います。

2年(4学期)終了時に通算GPAが1.0未満、あるいは総修得単位数が50単位未満の場合、保証人を含めた三者面談を行います。学業継続が極めて困難と判断される場合は、退学を含めた進路再考を促すことがあります。(札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部GPA運用規定による)

### GPAの算出方法

GPAはGPと履修単位数によって算定されます。GPAは該当する学期で履修登録した科目のGPに単位数をかけたものの総和を履修登録した科目の総単位数で除したものです。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{A科目GP} \times \text{A科目単位数}) + (\text{B科目GP} \times \text{B科目単位数}) \cdots + (\text{n科目GP} \times \text{n科目単位数})}{\text{A科目単位数} + \text{B科目単位数} \cdots + \text{n科目単位数}}$$

### GPAの算出例

履修登録科目	単 位	成績評価	G P	GP × 単位	GPA
学びの技法I	2	優+	4.0	8	2.0
哲学	2	優+	4.0	8	
社会学	2	優	3.0	6	
人文地理学	2	良	2.0	4	
世界史	2	可	1.0	2	
日本国憲法	2	不可	0	0	
環境学	2	不可	0	0	

$$\text{GPA} = \frac{(4 \times 2) + (4 \times 2) + (3 \times 2) + (2 \times 2) + (1 \times 2) + (0 \times 2) + (0 \times 2)}{2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2} = \frac{28}{14} = 2.00$$

### 学期ごとのGPAと累積GPA

GPAには、①学期ごとのGPA(各学期の履修登録科目を対象として算出)と②累積GPA(入学時からの履修登録科目を対象として算出)があります。

### ③ 試験について

試験は、授業内で実施される試験(筆記試験、実技試験、レポート、発表など)、授業期間終了後に行う期末試験、授業科目によっては再試験があります。

試験の方法、実施日程や評価基準等については、授業科目のシラバスで確認してください。

#### (1) 授業内で行われる試験

授業科目担当教員が任意で平常授業時間内に行う試験です。筆記試験、実技試験、レポートなどの方法があります。それぞれ科目担当者の指示に従ってください。

##### ● 授業内で行われる筆記試験の主な注意事項

- ① 机上には原則として学生証を提示してください。忘れた場合、学生課で当日限りの仮学生証の発行を受けてください。
- ② 机上には、筆記用具以外のものは置くことができません。(ペンケースも不可)。
- ③ 試験の際は授業担当者の指示に従ってください。
- ④ やむを得ない事由で遅れた場合は授業担当教員の指示に従ってください。
- ⑤ 答案用紙は、白紙の場合でも、学生番号と名前を記入して必ず提出してください。
- ⑥ 携帯電話等の情報機器は電源を切ってカバンの中にしめてください。

##### ● レポートの提出について

授業科目において、レポート提出を求められた際には、所定の期限までに指定された場所に提出してください。

#### (2) 再試験

春学期:9月29日・30日      秋学期:2月19日・20日

大学の下記科目および短期大学部開講科目のみ該当します。授業の出席不足を除き、総合点が59点以下の者に対して行う試験です。「単位確認日」に再試験時間割をCampusPlan portalで確認してください。

所定の期間内に、「再試験願」に再試験手数料(1科目につき1,000円)の証紙を貼付し教務課に提出してください。

大学対象科目:(2022年度以降入学生カリキュラム)

学びの技法、学生と社会、基礎ゼミI、基礎ゼミII、日本語表現I、日本語表現II、英語I、英語II、情報機器操作、キャリア形成論、キャリアデザイン、日本語表現入門

### [試験、論文等における不正行為に対する処分]

#### ● 試験における不正行為

- ① カンニング(持ちこみを許可されたもの以外を使用すること、他の受験者の答案等を見ること、他の者から答えを教わることなど)
- ② 試験時間中に、答えを教えるなど他の者を利するような行為をすること。
- ③ 受験者以外の者が受験者本人になりすまして試験を受けること。
- ③ 答案用紙を試験場外に持ち出すこと。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、不正な手段を用いて受験すること。

#### ● 論文、レポート課題における不正行為

- ① 剽窃(ひょうせつ)行為:他人の文章や着想などをあたかも自分のものであるかのように用いること。
- ② 代筆依頼:他人のレポートを代筆すること(代筆を依頼した者および代筆した者の双方とも不正行為として取り扱われます)。
- ③ 特に指示がないにもかかわらず、共同でレポート作成し、そのレポートが酷似していた場合
- ④ データの捏造、改竄
- ⑤ その他

#### ● 不正行為への処分

授業担当者等から不正行為の疑いの報告を受けた場合、教務部・教務課は報告された事案についての調査を行います。不正行為と認定された場合、当該科目の不認定だけでなく、学期の単位を全て無効にするなど、学則に基づき厳しい懲戒を行うことがあります。

## ④成績の確認方法

自分の成績は単位確認日以降に「CampusPlan portal」から確認することができます。詳細はP72を参照ください。

## ⑤成績評価についての問い合わせ

正当な理由によって、成績に疑問や質問を持った場合は、次の通り確認することができます。

- ①科目担当教員に直接問い合わせる。
- ②教務課にて「成績確認願」(所定様式)に質問事項を記入し提出する。

確認の申し出期限は、単位確認日から1ヶ月以内です。

※成績確認の前にまずシラバスで評価方法を確認してください。  
授業の2/3以上出席していない科目や所定の試験を受けていない、所定のレポートを提出していない科目についての確認はできません。

## ⑥入学前に修得した単位の認定について

本学入学以前に他の短期大学、大学等で修得した単位等は、2年次編・転入の場合は30単位、3年次編・転入の場合は62単位を上限として、本学で修得した単位として認める場合があります(認定科目という)。当該科目の成績は「認定」と表記されます。該当する場合は、入学後4月下旬までに教務課に申し出てください。

## ⑦外部試験による単位の認定について

2022年度以降に入学した学生で、外部試験の対象資格を取得した場合は、その資格の対象となる科目の単位を認定します。単位認定申請書・取得を証明する書類とともに教務課に申し出てください。

言語	試験の種類・認定スコア		認定科目	認定単位数
英語	実用英語検定	準2級	英語I	2単位
		2級	英語I~II から選択	2単位
		準1級・1級	英語I~IV から選択	2単位
	TOEIC	450-545	英語I	2単位
		550-735	英語I~II から選択	2単位
		740以上	英語I~IV から選択	2単位
	TOEFL iBT	45-59	英語I	2単位
		60-79	英語I~II から選択	2単位
		80以上	英語I~IV から選択	2単位
	IELTS	4.0-4.5	英語I	2単位
		5.0-5.5	英語I~II から選択	2単位
		6.0以上	英語I~IV から選択	2単位
中国語	HSK	1級	中国語I	2単位
		2級	中国語I~II から選択	2単位
		3級・4級・5級	中国語I~IV から選択	2単位
	中国語検定	準4級	中国語I	2単位
		4級	中国語I~II から選択	2単位
韓国語	TOPIK	3級・2級	中国語I~IV から選択	2単位
		1級・2級	韓国語I~II から選択	2単位
		3級・4級	韓国語I~IV から選択	2単位
	ハングル能力検定	5級・4級	韓国語I~II から選択	2単位
		3級・準2級	韓国語I~IV から選択	2単位

※同一認定基準による複数回申請は認めません。ただし、前回申請時より上位の認定基準による申請は認めます。  
※申請が許可された場合、認定科目の評価は「認定」となります。本学入学以前の取得についても単位を認定します。

## 6 インターンシップ

### ① インターンシップとは？

インターンシップとは、在学中に企業などで就業体験をする事です。夏季休暇や春季休暇を中心に数日から数週間、実際に仕事を体験し仕事の現実味を理解します。志望の業界や企業と自分の向き、不向きがわかりミスマッチを回避できるメリットがあります。

### ② インターンシップの目的

インターンシップを経験することにより、職業意識の醸成や社会人基礎力の育成につながります。自分の希望する職場で実際に働いてみることで、その仕事内容を具体的に認識することになります。また、現在学んでいる大学の学びの内容と社会とがどのようにつながるのかを確認することにもなります。

#### ● 高い職業意識の醸成

- ・インターンシップは自分の職業適性や将来設計について考える機会となります。
- ・主体的な職業選択や高い職業意識の醸成が図られます。
- ・就職後の職場への適応力や定着率の向上につながります。

#### ● 社会人基礎力の育成

##### ・「社会人基礎力」の養成

経済産業省は「社会人基礎力」として、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力、12の能力要素を示しています。職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力として12の能力要素のうち、以下の7つの力を身に付けます。

(1) 主体性	自分から取り組む力	(5) 傾聴力	相手の話を理解する力
(2) 働きかけ力	他者と協働する力	(6) 状況把握力	自分の役割や状況を理解する力
(3) 実行力	積極的に取り組む力	(7) 規律性	指示を守り集団行動ができる力
(4) 発信力	説明する力		

### ③ インターンシップ科目

#### (1) インターンシップの応募方法

- ① 本学が企業と提携して準備している企業リストから授業科目として申し込む
  - ② 企業のホームページやマイナビ、リクナビのサイトから申し込む
  - ③ 自分が参加したいインターンシップを用意している企業に自らコンタクトして申し込む
- ※②、③は単位認定についての条件があります。

#### (2) インターンシップの種類

- ① 期間
  - ・短期・・・5～7日間
  - ・長期・・・3週間～4週間
- ② 報酬
 

インターンシップはアルバイトではなく、あくまで就業体験が目的です。  
ただし、有償インターンシップといって日当などの報酬が支払われる場合があります。
- ③ 課題解決型
 

単なる就業体験ではなく、受け入れ先企業が抱える課題等について、就業体験をしながら、その課題等に対する解決案をまとめ、インターンシップ最終日にその成果プレゼンを実施する内容のインターンシップです。

## (3) 授業科目

授業科目名	配当年次	単位数	日数
インターンシップI (就業体験型)	1年春・秋	2	5～7日間
インターンシップII (課題解決型)		2	
インターンシップIII (長期型)		4	3～4週間
海外ボランティア・ インターンシップI	2年春・秋	2	2週間以上
海外ボランティア・ インターンシップII		2	

※インターンシップは「実習」という授業科目に分類され、授業時間30時間+自主学修15時間=45時間で1単位となります。従って就業体験の総時間は、5日間のインターンシップの場合、1日6時間の就業が(6時間×5日間=30時間)必要となります。事前指導8回と合わせて2単位が認められます。

## (4) 単位認定

- ①事前指導、事後報告会、報告書、インターンシップ日誌、インターンシップ受入れ先からの評価をもとに成績評価します。
- ②インターンシップ科目の単位は事後報告会終了後に認定されます。  
(春学期10月以降、秋学期次年度4月以降)

## (5) 実施時期

原則として、夏季休暇、春季休暇に実施しますが、受入れ先の都合により別の時期に行う場合もあります。

## ④ インターンシップ履修上の注意

## ・ガイダンス

インターンシップを希望する学生は、初回ガイダンスに出席してください。初回ガイダンスの告知は、学期始まりの各学部学科のオリエンテーションとCampusPlan portalにて案内いたします。

## ・履修登録

初回ガイダンス後、教務課で一括して登録します。

## ・インターンシップ受け入れ企業からの条件

インターンシップには、参加学生の所属学科指定、学年の制限、語学力などの受け入れ条件が設定されている場合があります。また事務手数料などが必要な場合もありますので、事前に確認するようにしてください。

## ⑤ インターンシップの流れ

春学期	秋学期		
4月	10月	受入確認事項登録	担当教員が受入企業と条件等を確認して登録
		ガイダンス①	選考方法やスケジュールの説明、前年の参加者による体験発表
		受入企業情報公開	受入企業(団体)の情報を公開
5月	12月	選考作業	大学が責任をもって派遣するため、本学で書類・面談による選考を行う
		結果発表	申込学生に受入可否結果発表(WEB等で)
		参加者説明会②③	諸手続等の説明を行う
6月		事前学修④⑤⑥⑦	自己分析・業界・企業研究・エントリーシート記入添削、マナー講習などを実施 (エントリーシートの添削はキャリア支援センターで行います)
7月	1月	覚書締切	本学所定の様式にて覚書を締切
8月	2月	インターンシップ実習	夏季休暇・春季休暇の1～2週間程度(5日以上)
10月	次年度 4月	参加学生の評価	企業担当者による学生評価(評価シート)
		事後学修⑧	実習で得た知識・体験を発表し全体で共有化

## 7 | 数理・AI・データサイエンス

### ① 文系理系問わず社会人必須の力

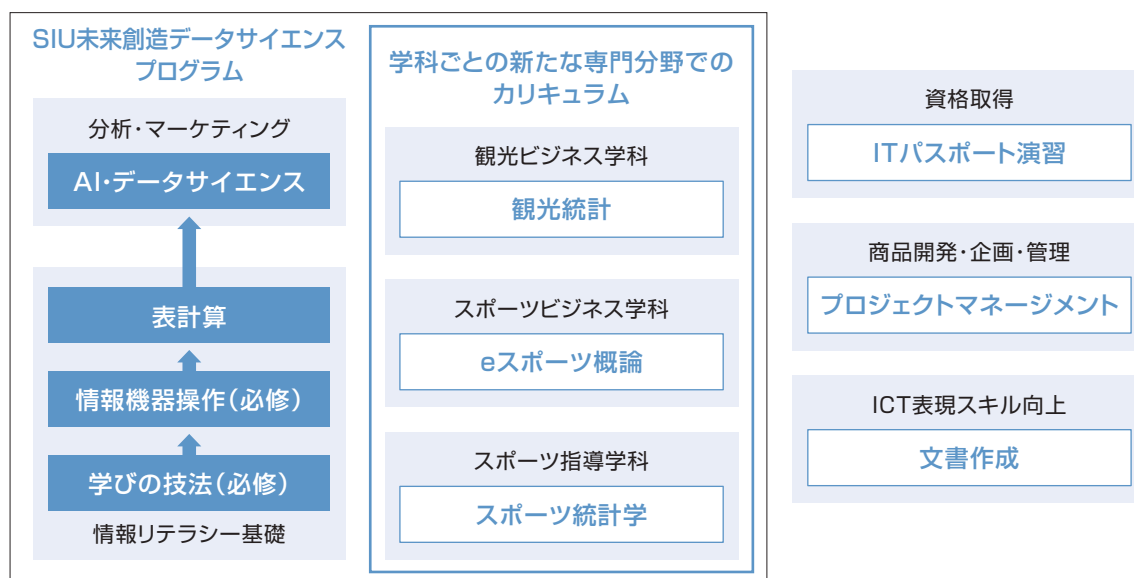
スマホなどを使っていて、自分の好みに近いおすすめの商品や動画が出てきたことはありませんか？

これらは、その人の興味についての情報を分析して出てくるものです。このようにビッグデータやAI(人工知能)の技術は、すでに私たちの生活を変えており、今後、急速に進展していくことが予測されています。膨大な情報がサイバー空間に集積され、このビッグデータを人間の能力を超えたAIが解析します。その結果が人間にフィードバックされ、これまでには出来なかった新たな価値が産業や社会にもたらされる。それが Society 5.0時代です。

このような社会で働き、生活することになる皆さんにとって数理・AI・データサイエンスの知識や技術は、「読み・書き・そろばん」といった社会人の基礎能力として必須なものとなります。その能力を本学でぜひ身に付けてください。ITパスポート資格取得のための科目も開設します。

### ② SIU 未来創造 AIデータリテラシープログラム

札幌国際大学では2022年度から学部生を対象としたリテラシーレベルの数理・データサイエンス・AI教育プログラム「SIU 未来創造 AIデータリテラシープログラム」を実施しています。2024年8月27日付で、「SIU 未来創造 AIデータリテラシープログラム」が文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に認定されました。(有効期限:令和11年3月31日) 本学在学中に所定の修了要件を満たした学生には、本プログラムを修了したことを認定します。



- ・上記科目の学習内容については、シラバスをご参照ください。
- ・所定の科目(入学年次による)を優秀な成績で修了した学生には、「SIU未来創造AIデータリテラシープログラム修了証」を交付します。詳しくは、これらの科目のオリエンテーションで説明を行います。

### まずは、必修の学びの技法・情報機器操作

本学では「学びの技法」と「情報機器操作」を必修として、すべての学生にこれからの社会で必要な情報スキルを身に付けます。BYOD(Bring Your Own Device)により、一人一人が自分の端末を使いこなして、いつでもどこでも学ぶことができる情報活用能力を育成します。

実社会のデータを活用しつつ、各種アプリ(Microsoft officeアプリ等)の活用を通して、社会に必要なスキルと情報セキュリティー・情報モラルについて学びます。

実社会の情報を活用したり、情報を整理分析したりしながら、相手へ伝えるための表現(文章化、グラフ化など)やプレゼンの方法などを体験的に学びます。また、生成AI(ChatGPTなど)を学修に活かす方法も学びます。

## 8 教職課程

## ① 教員を目指す学生に求めること

## ● はじめに

教員を志す学生諸君には、将来、日本の新しい時代を創り上げていく人材を育成する、最も重要な職業である教員として活躍できることを願っています。そのためには、教職に関する専門的知識や技術、教科指導力は勿論のこと、一人の人間としての高い資質能力を十分に兼ね備えていなければなりません。

教育者としての使命感、人間の成長・発達についての深い理解、生徒に対する教育的愛情、広く豊かな教養、そしてそれらを基盤とした実践的指導力が従来にも増して必要です。しかし、このような教員の資質能力は、ある日突然瞬時に形成される訳ではありません。特に大学における養成段階が大切です。日頃から積極的に授業等に参加するとともに、教育に関心を持って、新聞、雑誌の特集記事やテレビのニュース、ドキュメントを見るなど知識を身に付けることが必要です。

## ● 教員養成と教育課程

教育課程は、教員としての資質能力を養うことを目的として設けられたものです。教員免許状を取得しようとする者は、この課程を履修しなければなりません。

教育課程の履修を通して、教職に課せられた責任と使命を自覚し、教職に対する自己の適性について吟味することが必要です。

また、今日のように情報化、高齢化、グローバル化が進む中であっては、教員には新しい課題に適切に対応できる力量も求められます。これらをふまえて、情報技術やボランティア、語学力の学習にも努めなければなりません。

## ● 教員の資格

教員になるには、免許状を取得しなければなりません。それには、教員免許法に定められた科目の単位の修得が必要です。

この単位の1つである「教育実習」は大学を離れ、中学校や高等学校の教壇に立って実際に教えるものです。この場合、実習を行う学校は原則として中学校、高等学校であり、これらの手続きは各自で行ってください。大学は実習校を斡旋しません。

## ● 教育職員免許取得に関する動向

## 1) 「教育実習」

中一種免は5単位、高一種免は3単位(うち1単位は事前・事後指導)が必修であり、2～3週間の学校現場での実習が求められます。

## 2) 「介護等体験特例法」の制定

小・中学校の免許状を取得しようとする者は、特別支援学校で2日以上、社会福祉施設で5日以上、計7日以上介護・交流等の体験を義務づけられます。

## ② これからの時代の教員に求められる資質能力

## 中央教育審議会教員養成部会「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」より

## 「使命感、責任感、教育的愛情、専門的知識、指導力」

教員が備えるべき資質能力の第一は、使命感や責任感、教育的愛情、教科や教職に関する専門的知識、実践的指導力、総合的人間力等です。これらは時代が変化したとしても変わらない不易の資質能力であり、これからも引き続き教員に求められます。

## 「学び続ける教員 ～ キャリアステージに応じた資質能力を高める自律性」

第二に、これからの教員は、高度専門職に就く者として「学び続ける教員像の確立」が強く求められます。つまり、自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を、生涯にわたって高めしていくことのできる力が必要です。

## 「情報を収集・選択・活用する能力や深く知識を構造化する力」

第三に、変化の激しい社会を生き抜いていける人材を育成していくためには、教員自身が時代や社会、環境の変化を的確につかみ取り、その時々状況に応じた適切な学びを提供していくことが求められます。これに対応するため、教員は、常に探究心や学び続ける意識を持ち、情報を適切に収集し、選択し、活用する能力や深く知識を構造化する力を身につけることが求められます。

## 「子どもたちの「生きる力」を育成する力」

第四に、子どもたち一人一人がそれぞれの夢や目標の実現に向けて、自らの人生を切り開くことができるよう、また、これからの時代に生きる子どもたちをどう育成すべきかについての目標を組織として共有し、その育成のために確固たる信念をもって取り組んでいく姿勢が必要です。

## 「学校を取り巻く新たな教育課題に対応できる力量」

第五に、学校現場が抱える教育課題に対応できる力量が求められます。「チーム学校」の考え方のもと様々な専門性を持つ地域の人材と効果的に連携しつつ、チームを組んで組織的に諸課題に対応するとともに、保護者や地域の力を学校運営に生かしていく力量を身につけることが必要です。

### ③教職課程履修の条件等

教育職員(教員)は、我が国の将来を担い、国際社会において活躍する人材の育成に当たるといふ大切な使命を担っています。やりがいのある職業ではありますが、それだけに大きな責務もともなうものであります。

「教育は人なり」といわれるように、教員の児童生徒の教育に果たすべき役割は極めて大きく、そのため、教員には高い専門性や豊かな人間性、実践的な指導力などが強く求められています。

本学においては、このような「教職」の重要性や責任の大きさに鑑み、履修に当たっては希望する学生すべてに履修を認めるのではなく、次に掲げるように教職適性や学業成績等によって履修を制限したり、また、履修に当たっての条件を設けています。

- 1)原則として、教育実習を中学校又は高等学校等で実施できる者(各自で教育実習校を確保する)であること。
- 2)教職適性等から履修を認めない場合もあること。
- 3)研究生・科目等履修生の教職に関する科目「教育実習(事前事後指導)」及び「介護等体験」は認めないこと。
- 4)教育実習を修得していない者の「教職実践演習」は認めないこと。
- 5)中学校、高等学校の免許については以下の条件が設けられています。
  - ① ある学期において、GPAの得点が1.0ポイント未満の場合は、それ以降の学年・学期における「教育の基礎的理解に関する科目等」の履修を認めないこと。
  - ② 大部分の「各教科の指導法」「教育の基礎的理解に関する科目等」は、卒業に必要な単位数に含まれないこと。

### ④免許状の種類及び免許教科

開設学部・学科・専攻		免許状の種類	免許教科
人文学部	心理学科 子ども心理専攻	幼稚園教諭一種免許状	
スポーツ人間学部	スポーツ指導学科	中学校教諭一種免許状	保健体育
		高等学校教諭一種免許状	保健体育

#### ●小学校教諭一種・二種免許状

聖徳大学との協定に基づき、通信教育で小学校教諭免許状を取得するための教育課程を履修することができます。詳細については、12月(予定)に行われる説明会に参加してご確認ください。受講には別途費用がかかりますが、助成金制度があります。(受講対象:幼稚園教諭または中学校教諭免許状取得予定の学生)

#### ●特別支援学校教諭一種・二種免許状

星槎大学との協定に基づき、通信教育で特別支援学校教諭免許状を取得するための教育課程を履修することができます。詳細については、12月(予定)に行われる説明会に参加してご確認ください。受講には別途費用がかかりますが、助成金制度があります。(受講対象:幼稚園教諭、中学校教諭、高等学校教諭いずれかの免許状を取得予定の学生)

### ⑤免許状を取得するための所用資格

所要資格		免許状の種類	中学校教諭	高等学校教諭	幼稚園教諭
		一種免許状	一種免許状	一種免許状	一種免許状
基礎資格		学士の学位を有すること			
大学において 修得することを 必要とする 最低単位数	教科及び教科の指導法に関する科目(領域及び保育内容の指導法に関する科目)	28	24	16	
	教育の基礎的理解に関する科目等	27	23	21	
	大学が独自に設定する科目	4	12	14	
	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	8	8	8	
合計単位数		67		59	

### ⑥費用について

- ・「教職課程に関する科目」を履修する場合は教職課程履修費がかかります。  
中学校教諭一種免許状(保健体育)、高等学校教諭一種免許状(保健体育)  
金額:45,000円(在学中有効) 納付時期:大学1年次10月22,500円、大学3年次4月22,500円  
※上記金額は今後改定されることがあります。
- ・そのほか、教育実習費、介護等体験の費用などが別途かかります。

## ⑦教職課程履修等の手続き(中一種免許・高一種免許の例)

1年次	4月	オリエンテーション	教職課程履修についての説明	
		教職科目履修開始	教職科目の履修が始まります	
	10月	教職課程履修費の納入 (1回目)	教職課程履修費納入1回目	中・高一種免許 22,500円
2年次		教職科目の履修		
3年次	4月	教育実習 オリエンテーション	教育実習についての説明	
		介護等体験 オリエンテーション	介護等体験についての説明 (中学校免許状取得希望者のみ必須です)	
		介護等体験申込	介護等体験申込書提出	実習費10,000円
		教職課程履修費の納入 (2回目)	教職課程履修費納入2回目	中・高一種免許 22,500円
	4~8月	教育実習校の確保	教育実習校の確保	
	5~12月	介護等体験実施	7日間の介護等体験の実施	
4年次	4月	教育実習 オリエンテーション	教育実習の事前指導	
		教育実習申込	教育実習費納入(教務課)	実習費10,000円程度 実習校により指導費納入
	5~11月	教育実習	教育実習	
	1月	免許状の授与申請	免許状の申請(教務課)	申請免許1件につき 3,300円

## ⑧履修科目

## スポーツ人間学部 スポーツ指導学科

## (1)教科及び教科の指導法に関する科目

中一種免(保健体育)・高一種免(保健体育)

施行規則に定める科目区分等			本学で開講する授業科目			備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単 位	授業科目	単 位	年 次		
教科に関する 専門的事項	体育実技		柔道	2	3	いずれか1科目 選択必修	
			剣道	2	3		
			○ダンス	2	2		
			○体づくり・器械運動	2	3		
			○陸上競技	2	3		
			○水泳	2	3		
			○冬季スポーツ	2	2	いずれか1科目 選択必修	
			テニス	2	2		
			バレーボール	2	3		
						バスケットボール	2
				ハンドボール	2	3	
	「体育原理、体育心理学、 体育経営管理学、体育社会学、体育史」・ 運動学(運動方法学を含む。)	中 28  高 24		○スポーツ理論	2	1	学部共通科目
				○体カトレーニング論	2	1	学部共通科目
				○スポーツ社会学	2	1	学部共通科目
				○コーチング論	2	2	学部共通科目
○生涯スポーツ論				2	1	学部共通科目	
生理学(運動生理学を含む。)			○人体構造基礎	2	1		
			○運動生理学	2	2		
衛生学・公衆衛生学			○衛生学及び公衆衛生学	2	2		
学校保健(小児保健、精神保健、 学校安全及び救急処置を含む。)			○学校保健	2	3		
			○運動機能と救急処置	2	1		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)			○保健体育科指導法I	2	2	教職課程に関する科目	
			○保健体育科指導法II	2	2	教職課程に関する科目	
			保健体育科指導法III	2	3	中免のみ必修・ 教職課程に関する科目	
			保健体育科指導法IV	2	3	中免のみ必修・ 教職課程に関する科目	
本学において免許状取得に必要な最低単位数(中一種免)				44			
本学において免許状取得に必要な最低単位数(高一種免)				40			

注:① ○は必修科目。

注:② 中一種免希望者は44単位以上修得すること。28単位を超えて修得した単位は「大学が独自に設定する科目」の単位に充当できる。

高一種免希望者は40単位以上修得すること。24単位を超えて修得した単位は「大学が独自に設定する科目」の単位に充当できる。

## (2)教育の基礎的理解に関する科目等

中一種免(保健体育)・高一種免(保健体育)

施行規則に定める科目区分等			本学で開講する授業科目			備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単 位	授業科目	単 位	年 次	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	○教育原理	2	1	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		○教師論	2	1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		○教育行財政	2	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○発達心理学	2	3	
	特別の支援と必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		○特別支援教育	2	3	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		○教育課程論	2	2	
道徳、総合的な学習の時間の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育の理論と指導	2	2	中免のみ必修
	総合的な学習の時間の指導法 ※中免 総合的な探求の時間の指導法 ※高免		○総合的な学習の時間	2	2	
	特別活動の指導法		○特別活動	2	1	
	教育の方法及び技術		○教育方法論	2	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		○ICTを活用した教育	1	2	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		○生徒指導・進路指導	3	2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		○教育相談(カウンセリングを含む)	2	2	
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	○教育実習(事前事後指導)	1	4	中免のみ必修
			教育実習I	2	4	
			○教育実習II	2	4	
	教職実践演習	2	○教職実践演習(中・高)	2	4	
本学において免許状取得に必要な最低単位数(中一種免)				33		
本学において免許状取得に必要な最低単位数(高一種免)				29		

注:① ○は必修科目。

注:② 中一種免希望者は33単位以上修得すること。27単位を超えて修得した単位は「大学が独自に設定する科目」の単位に充当できる。

高一種免希望者は29単位以上修得すること。23単位を超えて修得した単位は「大学が独自に設定する科目」の単位に充当できる。

### (3) 大学が独自に設定する科目

#### 中一種免(保健体育)

施行規則に定める科目区分等	本学で開講する授業科目			備考
科目区分	授業科目	単位	年次	
大学が独自に設定する科目	○介護等体験	2	3	
本学において免許状取得に必要な最低単位数		4		

注:① ○は必修科目。

注:② 施行規則に定める最低単位数を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」と併せて4単位以上修得すること。

#### 高一種免(保健体育)

施行規則に定める科目区分等	本学で開講する授業科目			備考
科目区分	授業科目	単位	年次	
大学が独自に設定する科目	道徳教育の理論と指導	2	2	
本学において免許状取得に必要な最低単位数		12		

注:① 施行規則に定める最低単位数を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」と併せて12単位以上修得すること。

## スポーツ人間学部 スポーツ指導学科

### (4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

施行規則に定める科目区分等	本学で開講する授業科目			備考
科目区分	授業科目	単位	年次	
日本国憲法	○日本国憲法	2	2	
体育	スポーツI スポーツII	2 2	1 1	} いずれか1科目 } 選択必修
外国語 コミュニケーション	○英語II	2	1	
情報機器の操作	○情報機器操作	2	1	
免許状取得に必要な最低単位数		8		

注:① ○は必修科目。

## 人文学部 心理学科子ども心理専攻

## (1) 領域及び保育内容の指導法に関する科目

## 幼一種免

施行規則に定める科目区分等			本学で開講する授業科目			備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単 位	授業科目	単 位	年 次	
領域に関する 専門的事項	健康	16	○幼児と健康	2	1	
	人間関係		○幼児と人間関係	2	2	
	環境		○幼児と環境	2	1	
	言葉		○幼児と言葉	2	2	
	表現		○幼児と表現	2	2	
保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)			○保育内容指導法	2	2	
			○保育内容(健康)	1	3	
			○保育内容(人間関係)	1	3	
			○保育内容(環境)	1	3	
			○保育内容(言葉)	1	3	
		○保育内容(表現)	1	3		
本学において免許状取得に必要な最低単位数				17		

注:① ○は必修科目。

注:② 17単位以上修得すること。16単位を超えて修得した単位は「大学が独自に設定する科目」の単位に充当できる。

## (2) 教育の基礎的理解に関する科目等

## 幼一種免

施行規則に定める科目区分等			本学で開設する授業科目			備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授業科目	単位	年次	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	○教育原理	2	1	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		○教職入門	2	1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		○教育行財政	2	4	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○発達心理学	2	2	
	特別の支援と必要とする幼児、児童及び 生徒に対する理解		○特別支援教育	2	4	
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		○教育課程論I ○教育課程論II	2 2	3 4	
道徳、総合的な 学習の時間の 指導法及び 生徒指導、 教育相談等に 関する科目	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	4	○教育方法論	2	2	
	幼児理解の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		○子ども理解の理論と 方法	2	3	
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法		○教育相談	2	4	
教育実践に 関する科目	教育実習	5	○幼稚園実習指導 ○幼稚園実習	1 4	4 4	
	教職実践演習	2	○保育・教職実践演習 (幼稚園)	2	4	
本学において免許状取得に必要な最低単位数				27		

注:① ○は必修科目。

注:② 27単位以上修得すること。21単位を超えて修得した単位は「大学が独自に設定する科目」の単位に充当できる。

## (3) 大学が独自に設定する科目

## 幼一種免

施行規則に定める科目区分等	本学で開講する授業科目			備考
科目区分	授業科目	単位	年次	
大学が独自に設定する科目	○子ども心理フィールドワークI	2	1	
	○子ども心理フィールドワークII	2	1	
	○障害者・障害児心理学	2	2	
	○保育表現(身体・言葉)	1	1	
本学において免許状取得に必要な最低単位数		14		

注:① ○は必修科目。

注:② 施行規則に定める最低単位数を超えて修得した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」と併せて14単位以上修得すること。

## 人文学部 心理学科子ども心理専攻

## (4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

施行規則に定める科目区分等	本学で開講する授業科目			備考
科目区分	授業科目	単位	年次	
日本国憲法	○日本国憲法	2	2	
体育	スポーツI	2	1	これらのうち 1科目2単位 または2科目 2単位以上選択必修
	スポーツII	2	1	
	運動I	1	2	
	運動II	1	2	
外国語 コミュニケーション	○英語II	2	1	
情報機器の操作	○情報機器操作	2	1	
免許状取得に必要な最低単位数		8		

注:① ○は必修科目。

## 「こども性暴力防止法」について

教育・保育などのこどもに接する場での、こどもへの性暴力を防ぎ、こどもの心と身体を守るため、2024年6月「こども性暴力防止法」(正式名称:学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律)が成立しました。この法律で定められている取組は、2026年12月25日に施行される予定です。

「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」の施行日(2026年12月25日を予定)以降、実習を行う前に、実習を履修する学生に対して、法に基づく犯罪事実確認が行われる可能性があります。この手続を通じて特定性犯罪前科が確認された学生については、児童対象性暴力等のおそれがあるとの判断の下、児童等に接する実習を行うことができません。

実習を行うことができない場合は、原則として教員養成課程を修了して大学等を卒業することにより得られる教員免許状及び保育士養成課程を修了して指定保育士養成施設を卒業することにより得られる保育士資格の取得要件を満たすことができません。

## ⑨介護等体験

### (1) 介護等体験制度

- |                 |   |
|-----------------|---|
| 1) 介護等体験の義務化    | 小学校・中学校の普通免許を取得しようとする場合、原則として7日間(社会福祉施設等5日間、特別支援学校2日間)の介護等体験が義務づけられています。  |
| 2) 介護等体験の内容     | 障がい者、高齢者等に対する介護や介助、交流の体験のほか、受け入れ施設の職員に必要とされる業務の補助等です。   |
| 3) 介護等体験の受け入れ施設 | 実施する施設については希望調査を実施しますが、必ずしも希望通りにならない場合もあります。  |
| 4) 介護等体験の実施     | 受け入れ施設と同様に調整しますが、必ずしも希望通りにならない場合があります。3年次の5月から翌年の2月頃までの間に予定されています。  |
| 5) 介護等体験に係る費用   | ・社会福祉施設等に支払う受入調整費用や体験費用 10,000円<br>費用については、実施年度(3年次)に徴収します。   |
| 6) 健康診断の受診      | 介護等体験の受け入れを北海道教育委員会や社会福祉協議会に依頼する場合には、該当年度(3年次)における健康状況を報告する必要があります。<br>したがって、介護等体験を希望する者は3年次の4月中旬に健康診断を受け、その証明書をすみやかに本学に提出してください。 |

### (2) 介護等体験に当たっての注意事項

道内の盲学校、聾学校若しくは養護学校又は社会福祉施設その他で介護等体験を行う学生は、法律の趣旨を十分理解し、次の点に十分注意してください。

- 介護等体験は、将来教員となる強い熱意を持った小学校及び中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者のために設けられた制度であり、単に免許状を取得するためだけの手段ではありません。障がい者や高齢者と触れ合うことで、その体験を通して理解を一層深め、知識を身に付ける機会となるものです。
- 介護等体験に当たっては、日本国憲法及び教育基本法に示されている教育の理念や目的を深く認識し、人権尊重の精神に徹して、障がい者や高齢者と接するように心掛けてください。  
障がい者や高齢者の健全な発達や日常活動等を阻害するような言動などがないように注意してください。
- 介護等体験中は、実施施設の方針に従い、目的を持って積極的に取り組んでください。実施施設の規則は、必ず守ってください。
- 介護等体験中に知り得た障がい者や高齢者の個人情報、漏らしたりすることのないよう厳守してください。
- 実施施設の長は必要により、健康状態に関する診断書の提出や細菌培養検査の実施を求めることがあります。  
また、介護等体験中は、特に健康・安全に注意し、始終良好な体調のもとで取り組んでください。
- 介護等体験の実施期日については、実施施設の受入準備の都合等もあり、原則として変更できません。  
なお、実施期日の決定後、やむを得ない事情によりその期日に介護等体験を行うことができなくなった場合は、大学を通じ、速やかに当該実施施設へ連絡してください。
- 介護等体験の証明書は1学生1枚ですので、介護等体験終了後、1枚の証明書用紙に介護等体験を行ったそれぞれの特別支援学校及び福祉施設の長から証明を受けてください。  
また、この証明書は、教育職員免許状授与願の添付書類として使用しますので、紛失することのないよう大切に保管してください。
- 介護等体験を希望する学生は、介護等体験に係る事故等に対応した保険に加入してください。  
上記の点に著しく違反し、実施施設の正常な活動に支障を来すと当該施設の長が判断したときは、介護等体験の中止又は介護等体験の証明が行われないことがあります。

(北海道教育委員会資料より)

### (3) 一般的留意事項

- ピアス、マニキュア、指輪などの装飾品はつけないこと(介護等体験を行う場合に利用者などに危険なことがあるため)
- 慣れない環境で過ごすので健康管理に気をつけること
- あいさつ、返事は大きな声ですること
- あらかじめどういった施設なのか(どのような方が利用する施設なのか)知っておくこと
- 決められた時間は必ず守ること
- 病気等でやむを得ず欠席、又は遅れる場合には必ず連絡をすること
- ただ単に証明書をもらうために5日間を過ごすのではなく、貴重な機会なので積極的に目的意識を持って、体験に臨むこと
- 介護等体験の証明は、当該施設長が行うが、体験の態度が著しく良くない場合は、証明をしない場合もあるので注意すること

(北海道社会福祉協議会資料より)

## ⑩教育実習(中一種免・高一種免)

教育実習については、4年次の教職に関する科目「教育実習(事前事後指導)」で配布する「教育実習の手引」(北海道私立大学・短期大学教職課程研究連絡協議会編)を熟読し、しっかりした心構えを身に付けてください。  
 なお、「教育実習日誌」についても、同上連絡協議会発行のものを使用します。

### (1)教育実習時期

4年次の5月から10月頃を予定していますが、実施日については当該実習校の指示に従うこととなります。

### (2)教育実習期間

中学校一種免許状取得希望者 3週間

高等学校一種免許状取得希望者 2週間

なお、中学校及び高等学校の両方の免許状の取得を希望する者は、中学校又は高等学校どちらかで教育実習を3週間実施することにより、所定の単位を修得することができます。

### (3)教育実習校

中学校又は高等学校等において実施することとなります(各自の責任で教育実習校を確保すること)。

### (4)教育実習校決定の手順

- 1) 学生自らが、2年次中に中学校又は高等学校を訪問し、教育実習の内諾を得るための手続(手順)を確認し、それに従い内諾を得ること。(訪問時に口頭の内諾を得ることが望ましい)
- 2) 学生自らが、3年次の春学期又は夏季休業中に、別途指示する文書を持って教育実習予定校を訪問し、正式に教育実習を依頼すること。
- 3) 教育実習の内諾等の状況について、その都度教育実習担当教員に報告すること。
- 4) 当該学校から本学に「内諾書」が送付されると、本学から教育実習承諾の依頼文を当該学校に送付します。
- 5) 当該学校からの「承諾書」の受理により教育実習校が決定します。

### (5)教育実習にかかる費用

教育実習に行くにあたり、以下の費用がかかります。教育実習に行く4年次に徴収します。

- 1) 教育実習費:10,000円程度
- 2) 教育実習指導費・事務費(実習校により徴収):15,000円または実習校が指定する費用

### (6)教育実習を行うための条件

教育実習は中学校、高等学校の実際の教育現場で行う実習です。  
 本学では教育実習の派遣にあたり以下の通り条件を定めています。

- 1) 将来教員になることを希望する者であること
- 2) 3年次終了までに本学の指定する教職課程科目を修得していること  
 (各教科の指導法をすべて修得していない者の教育実習の派遣は認めない。)
- 3) 心身の状態が健康であること

これらの条件を満たしていないと判断される場合は、教育実習の派遣を認めないことがあります。

## ⑪教育実習(幼一種免)

幼稚園実習については、1年次に配布する「実習ガイドブック」(札幌国際大学人文学部心理学科子ども心理専攻実習委員会発行)を熟読し、外部実習に必要とされる健全な心と身体、そして知識と技能の準備をして臨んで下さい。

### (1)幼稚園実習時期及び期間

4年次の8月から9月の4週間を予定していますが、実際の実習期日についてはそれぞれの実習園の指示に従うことになります。

### (2)幼稚園実習までに必要な単位

幼稚園実習指導の単位を取得し、4年次春学期までに配当された免許必修科目を履修済みであることが必要です。

### (3)実習ガイドライン

子ども心理専攻実習委員会では、学外実習を行う際の判断基準を「実習ガイドライン」(実習ガイドブック)に定めています。この「実習ガイドライン」に照らして、現場で必要となる知識や技能が修得できているか(学習的側面)、心身の状態が健康であるか(身体的側面)、社会人としての基本的な行動様式が身についているか(社会的側面)といった観点から、学外実習の可否を4年次の春学期に審査します。ここで、学外実習の準備が不足していると判断される場合には、個別に不足している部分を補うための指導を受けることになります。その指導においても改善がみられない場合は、学外実習を認めないことがあります。

### (4)実習に当たっての一般的な留意事項

実習では、学生であっても教育者としての自覚とそれにふさわしい行動が求められます。入学時から、以下の諸点を怠らないことが大切です。

- 1) 規則正しい生活を旨とし、心身の安定をはかること。
- 2) 授業には休まず出席すること。やむを得ず休む場合には、担当教員に事由を含め、直接連絡し、授業内容の補充方法について指示を受けること。
- 3) レポートや課題等の提出物は、所定の書式・形式、期日を守ること。

### (5)実習園の決定

3年次の10月頃、実習期間中の住所や本人の希望などを確認した上で、諸事情を勘案して幼稚園に実習の受け入れを依頼します。依頼先の幼稚園より「承諾書」が本学に届いた段階で実習園が決定したことになります。但し、実際に学外実習が開始する4年次の8月までに、上記の実習ガイドラインに照らして、問題が生じた場合は、予定通りに実習を行うことができなくなる可能性があります。

### (6)幼稚園実習にかかる費用

幼稚園実習にあたり、実習費(25,000円)が必要になります。これらの費用は4年次に徴収します。

## ⑫教職実践演習と教職履修カルテ

### (1)教職実践演習(4年次秋学期必修科目)

この科目は、教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じ、教員として必要な資質能力を修得したことを最終的に確認するための科目で、いわば全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置付けられます。

この科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることを目指します。

### (2)教職履修カルテ

教員免許を希望する学生は、教職課程の履修を始めてから教職実践演習の授業を受けるまでの間に、「教職履修カルテ」を作成しなければなりません。「教職履修カルテ」とは、教員として必要な資質能力を高めるために、自分の学習状況を把握し、その目標の実現に向けての振り返りを支援するものです。Semester毎に自分自身で作成します。

4年次秋学期の「教職実践演習」を履修するためには、教職履修カルテの作成と提出が必要です。

## 1 | 保育士

心理学科子ども心理専攻において、所定の科目を履修し単位を修得すると、保育士の資格を取得することができます。

なお、保育士を取得するためには、次の費用がかかります。

・保育実習費:40,000円(3年次) ・保育士登録手数料:4,200円(4年次)

## 保育士資格取得のために必要な最低修得単位数

教科目の種別	必要最低修得単位数
教養科目	10単位
告示別表第1による教科目(必修科目)	53単位
告示別表第2による教科目(選択必修科目)	9単位
小 計	72単位
保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として設定されている教科目(必修科目)	26単位
合 計	98単位

※上記単位数を含め、卒業要件を満たす必要があります。

## ◆教養科目

(心理学科 子ども心理専攻)

告示による教科目				本学における教科の開設状況等			開講時期			
系列	教科目	授業形態	履修単位数	授業科目	単位数		1年次	2年次	3年次	4年次
					必修	選択				
教養科目	外国語、 体育以外の科目	不問	6以上	人間と哲学		2		○		
				芸術論I		2			○	
				人間と心理		2		○		
				人間と歴史		2	○			
				日本国憲法		2			○	
				日本文化演習(茶道)		2			○	
				日本文化演習(華道)		2			○	
				日本文化演習(書道)		2			○	
				情報機器操作	2		○			
				日本語表現I	2		○			
				日本語表現II	2		○			
				キャリア形成論	2		○			
	外国語	演習		英語II	2		○			
	体 育	講義 実技	1	運動I	1			○		
1			運動II	1				○		
				合 計	12	16				
必修科目を含め10単位以上修得すること。										

※開講時期は上表のとおり予定していますが、やむを得ず変更になる場合があります。各年度の時間割で確認してください。以下のページについても同じです。

## 保育士

◆告示別表第1による教科目（必修科目）

（心理学科 子ども心理専攻）

告示別表第1による教科目				左に対応して開設されている教科目			開講時期							
系列	教科目	授業形態	履修単位数	授業科目	授業形態	単位数 必修	1年次	2年次	3年次	4年次				
											保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2
教育原理	講義	2	教育原理	講義	2	○								
子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2		○							
社会福祉	講義	2	社会福祉論	講義	2	○								
子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	2		○							
社会的養護I	講義	2	社会的養護I	講義	2		○							
保育者論	講義	2	教職入門	講義	2	○								
保育の対家の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義	2	○							
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	2		○						
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	演習	1	○							
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2		○						
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養(基礎)	演習	1				○				
				子どもの食と栄養(応用)	演習	1				○				
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	教育課程論I	講義	2				○				
				保育内容指導法	演習	2		○						
	保育内容総論	演習	1	5	保育内容(言葉)	演習	1				○			
					保育内容(環境)	演習	1				○			
					保育内容(表現)	演習	1				○			
					保育内容(人間関係)	演習	1				○			
					保育内容(健康)	演習	1				○			
	保育内容の理解と方法	演習	4	4	音楽II(ピアノ基礎)	演習	1		○					
					音楽II(ピアノ応用)	演習	1				○			
					子どもの図画工作(基礎)	演習	1	○						
	乳児保育I	講義	2	2	保育表現(身体・言葉)	演習	1	○						
					乳児保育I	講義	2		○					
					乳児保育II	演習	1		○					
					子どもの健康と安全	演習	1		○					
					障害児保育	演習	2	2	障害児保育I	演習	1	○		
									障害児保育II	演習	1		○	
社会的養護II					演習	1					○			
子育て支援					演習	1					○			
保育実習					実習	4	4	保育実習I	実習	4				○
								保育実習指導I	演習	2				○
総合演習	演習	2	2	保育実践演習(幼稚園)	演習	2				○				
合計		51単位		53			全科目53単位修得すること。							

## ◆告示別表第2による教科目（選択必修科目）

(心理学科 子ども心理専攻)

告示別表第2による教科目				左に対応して開設されている教科目			開講時期							
系列	教科目	授業形態	履修単位数	授業科目	授業形態	単位数		1年次	2年次	3年次	4年次	備考		
						必修	選択							
保育の本質・目的に関する科目 保育の理解に関する科目 保育の内容・方法に関する科目	各指定保育士養成施設において設定		6単位以上											
				子ども理解の理論と方法	講義	2						○		
				教育相談	講義	2							○	
				児童文化	講義	2	○							
				幼児と言葉	講義	2		○						
				幼児と環境	講義	2	○							
				幼児と表現	講義	2		○						
				幼児と人間関係	講義	2		○						
				幼児と健康	講義	2	○							
				特別支援教育	講義	2								○
				音楽I(歌唱・理論基礎)	演習	1		○						
				音楽I(歌唱・理論応用)	演習	1						○		
				子どもの図画工作(応用)	演習	1						○		
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ	実習	2				○		1科目 2単位 選択 必修		
				保育実習Ⅲ	実習	2				○				
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	演習	1				○		1科目 1単位 選択 必修		
				保育実習指導Ⅲ	演習	1				○				
				合計		27								
保育実習2単位および保育実習指導1単位を含め9単位以上修得すること。														

## ◆学校独自の科目

(心理学科 子ども心理専攻)

	本学における教科の開設状況等			開講時期			
	授業科目	単位数		1年次	2年次	3年次	4年次
		必修	選択				
	学びの技法	2		○			
	学生と社会	2		○			
	基礎ゼミI	2		○			
	基礎ゼミII	2		○			
	英語I	2		○			
	キャリアデザイン	2			○		
	人文学概論	2		○			
	基礎演習I	2			○		
	基礎演習II	2			○		
	応用演習I	2				○	
	応用演習II	2				○	
	テーマ研究I	2					○
	テーマ研究II	2					○
	卒業研究		4				○
	心理学概論	2		○			
	教育・学校心理学	2			○		
	知覚・認知心理学	2			○		
	発達心理学	2			○		
	学習・言語心理学	2			○		
	感情・人格心理学	2			○		
	健康・医療心理学	2				○	
	社会・集団・家族心理学(社会・集団心理学)	2				○	
	社会・集団・家族心理学(家族心理学)	2				○	
	色彩心理学	2			○		
	心理調査概論	2				○	
	心理学実験I(基礎)	2		○			
	心理学実験II(応用)	2			○		
	心理学統計法	2			○		
	障害者・障害児心理学	2			○		
	対人関係論	2			○		
	発達心理診断法	2					○
	ガーデニング演習	2		○			
	生活と園芸	2		○			
	教育課程論II	2					○
	教育行財政	2					○
	教育方法論	2			○		
	子ども心理フィールドワークI	2		○			
	子ども心理フィールドワークII	2		○			
	幼稚園実習指導	1					○
	幼稚園実習	4					○
	レクリエーション理論(子ども)	2			○		
	レクリエーション実技(子ども)	2				○	
	レクリエーション実習(子ども)	1					○
	保育英語(基礎)	2			○		
	保育英語(応用)	2			○		
	多文化保育論	2			○		
	保育フィールドワーク(海外研修)	2			○		
	子ども音楽療育概論	2				○	
	子ども音楽療育演習	1				○	
	子ども音楽療育実習	1				○	
	合 計	26	72				

保育士資格取得科目  
ではないが、学校独自の  
科目として開設されている  
教科目

## 2 | 学芸員

学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業を行う「博物館法」に定められた、博物館におかれる専門的職員です。学芸員補は学芸員の職務を補助する役割を担います。

国際教養学科において、下記の要件を充たした者は、学芸員資格を取得できます。

なお、学芸員資格を取得するためには、次の費用がかかります。

・博物館実習費：6,000円

次の科目を履修し、所定の単位を修得すること。

博物館法施行規則に定める科目	単位数	左記に対応する本学の開講授業科目	単位数	備 考
必修	生涯学習概論	生涯学習論	2	19単位必修
	博物館概論	博物館概論	2	
	博物館経営論	博物館経営論	2	
	博物館資料論	博物館資料論	2	
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	
	博物館展示論	博物館展示論	2	
	博物館教育論	博物館教育論	2	
	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	
	博物館実習	博物館実習	3	
選択		日本文化論	2	12単位選択
		文化人類学	2	
		比較文化論	2	
		芸術論I	2	
		先史文化論	2	
		考古学	2	
		北海道ミュージアム	2	
		考古学実習	2	
		北海道の文化I(歴史と文化遺産)	2	
	文化資源学	2		

## 3 | 2級考古調査士(考古調査士認定機構)

2級考古調査士とは、遺跡の発掘調査における調査補助員、あるいは発掘調査時の諸作業で、調査担当者を補佐することができるものと認められ、技術的には遺構の発掘と、記録保存における遺構測量や細部測量、作図、写真撮影などの業務を遂行することができるものが条件になります。また整理作業において、図面整理作業や遺物の実測作業などを担当でき、報告書の作成においては、事実記載の一部を執筆することができるものと認められます。

国際教養学科において、下記の要件を充たした者は、2級考古調査士資格を取得できます。

資格申請に必要な単位を修得後、所定の期間内に個人で申請してください。(審査料有料)

なお、2級考古調査士資格を取得するためには、次の費用がかかります。

・考古学実習費：5,000円

次の科目を履修し、所定の単位を修得すること。

標準科目群	左記に対応する本学の開講授業科目	単位数	開講学年	備 考
第1科目群 考古学の概説	先史文化論	2	1	第1～7群の中の最低3群から10単位以上を修得すること。「考古学実習」は必修。一つの群から4単位以内しか申請できない。
第2科目群 考古学の基礎的方法論を扱う科目群	考古学	2	2	
第3科目群 考古学の個別分野を特論的に扱う科目群	該当科目なし			
第4科目群 考古学調査の技術的実習分野	考古学実習(必修)	2	3	
第5科目群 埋蔵文化財を扱う科目群	北海道の文化I(歴史と文化遺産)	2	1	
第6科目群 文化財科学を扱う科目群	該当科目なし			
第7科目群 その他の関連科目群	文化人類学	2	1	
	日本文化論	2	1	

## 4 社会教育主事・社会教育士(養成課程)

社会教育主事は、都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的職員で社会教育を行う者に対する専門的技術的な助言・指導に当たる役割を担います。

本学において、次に示す必修及び選択科目合わせて24単位以上を修得することで、社会教育主事になるための基礎資格(任用資格)を取得することができます。社会教育主事は、大学において基礎資格(任用資格)を修得した後、1年以上の実務経験を積んでから初めて社会教育主事の資格を取得することができます。

また、本学で社会教育主事になるための基礎資格(任用資格)を取得した者は、「社会教育士(養成課程)」と称することができます。

「社会教育士」には、大学での学習成果を活かし、NPOや企業等の多様な主体と連携・協働して、社会教育施設における活動のみならず、環境や福祉、まちづくり等の社会の多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる役割が期待されます。

次の科目を履修し、所定の単位を修得すること。

種別	法令上の科目	単位数	左記に対応する本学の開講授業科目	単位数	備考
必修	生涯学習概論	4	生涯学習論	2	8単位選択必修
			社会教育論	2	
	生涯学習支援論	4	生涯学習支援論I	2	
			生涯学習支援論II	2	
	社会教育経営論	4	社会教育経営論I	2	
			社会教育経営論II	2	
	社会教育特講	8	社会と経済	2	
			国際事情	2	
			社会学	2	
			地域学	2	
			キャリア形成論	2	
			キャリアデザイン	2	
			生涯スポーツ論	2	
スポーツ政策・行政論			2		
社会教育実習	1	社会教育実習	1		
		社会教育実習	1		
選択	社会教育演習、社会教育実習又は社会教育課題研究のうち一以上の科目	3	社会教育演習I	1	
			社会教育演習II	2	

## 5 日本語教員養成課程

日本語教員とは、日本語を母語としない人々に対して日本語を教える教師のことです。日本語教育に関する知識を、言語・教育・社会・文化・地域に関わる領域から体系的に学ぶことにより、多様な日本語教育の現場に対応した教師としての資質を磨きます。

本学は法務省の出入国在留管理庁が定めた「日本語教育機関の告示基準(第1条第1項第13号イ)」である「大学又は大学院において日本語教育に関する教育課程を履修して所定の単位を修得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者」に該当するカリキュラムを設置しています。

また、令和6年4月からは、国家資格「登録日本語教員」が誕生し、文部科学大臣により認定を受けた認定日本語教育機関で働く場合、この国家資格が求められます。

国際教養学科において、下記の要件を満たした者は「日本語教員養成課程」の修了証明書を取得することができ、「登録日本語教員」試験の基礎試験が免除されます。(令和15年3月31日までの経過措置)

日本語教員は、多文化共生および国際交流の進む現代社会において活動の選択肢を広げるとともに、国際化を担う役割が期待されています。

種別	法令上の科目	左記に対応する本学の開講授業科目	単位数	備考
必修	言語と教育	日本語教育概論	2	必修科目20単位 修得すること。
		日本語教授法I	2	
		日本語教授法II	2	
		日本語教育実習	2	
	言語と心理	心理言語学	2	
	言語	言語学	2	
		言語学特論	2	
		日本語教育文法I	2	
		日本語教育文法II	2	
	言語と社会	異文化コミュニケーションI	2	
選択		社会言語学	2	選択科目20単位から 6単位以上修得すること。
		日本文化論	2	
		異文化コミュニケーションII	2	
		コミュニケーション論	2	
		コミュニケーション演習	2	
		比較文化論	2	
		多文化共生論	2	
		文化人類学	2	
		人間と文学	2	
		国際ビジネス事情I	2	

## 6 公認心理師(心理学科臨床心理専攻のみ)

公認心理師とは、公認心理師登録簿への登録を受け、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者をいいます。

- (1) 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
- (2) 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
- (3) 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
- (4) 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

### 必修科目

科目名	単位数	開講学年	備考
公認心理師の職責	2	1	
心理学概論	2	1	
臨床心理学概論	2	1	
心理学研究法	2	1	
心理学統計法	2	2	
心理学実験I(基礎)	2	1	
心理学実験II(応用)	2	2	
知覚・認知心理学	2	2	
学習・言語心理学	2	2	
感情・人格心理学	2	3	
神経・生理心理学	2	3	
社会・集団・家族心理学(社会・集団心理学)	2	3	
社会・集団・家族心理学(家族心理学)	2	3	
発達心理学	2	2	
障害者・障害児心理学	2	2	
心理的アセスメントI(質問紙法)	2	2	
心理学アセスメントII(投映法)	2	3	
心理学的支援法	2	2	
健康・医療心理学	2	3	
福祉心理学	2	3	
教育・学校心理学	2	2	
司法・犯罪心理学	2	2	
産業・組織心理学	2	2	
人体の構造と機能及び疾病	2	1	
精神疾患とその治療	2	2	
関係行政論	2	3	
心理演習	2	4	
心理実習I(施設実習)	2	3	GPA履修制限などあり 定員 2023年度入学生 30名 2024・2025・2026年度入学生 15名程度
心理実習II(施設実習)	2	3	

### 本学独自の必修科目(2科目)

	科目名	単位数	開講学年	備考
1	心理実習指導I	1	2	心理実習I、IIを履修するために必要
2	心理実習指導II	1	2	

※上記の単位を大学入学から卒業までに修得し、かつ公認心理師の指定科目を開講している大学院を修了すると受験資格が得られる。(区分A、第7条第1号)

※上記の単位を大学入学から卒業までに修得し、省令5条で定める施設で省令6条で定める期間以上の実務経験を積むと受験資格が得られる。(区分B、第7条第2号)

※上記の他に、1～2の本学独自の必修科目(2科目)についても修得しなくてはならない。

## 7 認定心理士(社団法人日本心理学会)

日本心理学会認定心理士とは大学における心理学関係の学科名が学際性を帯びてきて、必ずしも「心理学」という、直接的名称が使われていない場合が多いことから、心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している、と日本心理学会が認定した人のことです。

心理学科において、下記の要件を充たした者は、認定心理士資格を取得できます。

資格申請に必要な単位を修得後、各自で「認定心理士資格認定申請の手引き」を取り寄せ、申請手続きを行ってください。(申請料有料)  
社団法人日本心理学会 <http://www.psych.or.jp/index.html>

### 1. 基礎科目 下記領域について、a・bは4単位、cは3単位以上を含む基礎科目合計12単位以上であること

必要単位数	領域		必修	本学開設科目	単位数	備考	
12単位以上	4単位以上	(a)	心理学概論	基本主題	心理学概論	2	必須 学科共通
				副次主題	臨床心理学概論	1	臨床心理
					社会心理学概論	1	臨床心理
	4単位以上	(b)	心理学研究法	基本主題	心理学統計法	2	必須 学科共通
					心理学研究法	2	必須 学科共通
					心理学実験I(基礎)	2	必須 学科共通
4単位以上	(c)	心理学実験・実習	基本主題	心理学実験II(応用)	2	必須 学科共通	

### 2. 選択科目 下記5領域中3領域で各4単位以上(うち2単位は基本主題の単位)を含み、合計16単位以上であること

必要単位数	領域		必修	本学開設科目	単位数	備考
4単位以上	(d)	知覚・学習心理学	基本主題	知覚・認知心理学	2	学科共通
				学習・言語心理学	2	学科共通
4単位以上※	(e)	生理・比較心理学	基本主題	神経・生理心理学	2	臨床心理
4単位以上	(f)	教育・発達心理学	基本主題	教育・学校心理学	2	学科共通
				発達心理学	2	学科共通
			副次課題	保育の心理学	1	子ども心理
				子ども家庭支援の心理学	1	子ども心理
				子ども理解の理論と方法	1	子ども心理
4単位以上	(g)	臨床・人格心理学	基本主題	心理的アセスメントI(質問紙法)	2	臨床心理
				心理的アセスメントII(投映法)	2	臨床心理
				心理学的支援法	2	臨床心理
				認知行動療法	2	臨床心理
				力動的心理学	2	臨床心理
				感情・人格心理学	2	学科共通
				健康・医療心理学	2	臨床心理
				社会・集団・家族心理学(家族心理学)	2	学科共通
				障害者・障害児心理学	2	学科共通
				福祉心理学	2	臨床心理
				教育相談	2	子ども心理
				発達心理診断法	2	学科共通
				副次課題	精神疾患とその治療	1
4単位以上	(h)	社会・産業心理学	基本主題	社会・集団・家族心理学(社会・集団心理学)	2	学科共通
				対人関係論	2	学科共通
				司法・犯罪心理学	2	臨床心理
				産業・組織心理学	2	臨床心理

※「生理・比較心理学」の領域の科目は、本学では2単位分しか開講されません。「生理・比較心理学」を除く3領域で各4単位以上を修得する必要があります。

### 3. その他の科目 基礎科目と選択科目の合計単位数が36単位以上の場合は必ずしも必要ではない

必要単位数	領域		主題	本学開設科目	単位数	備考
4単位まで	(i)	心理学関連科目、卒業論文・卒業研究		卒業研究	4	学部共通

注「基礎科目(12単位)」および「選択科目(16単位)」の各領域で指定されている履修単位数を満たし、かつ「その他の科目」も含めた履修総単位数が36単位以上であることが資格申請の要件となります。  
注) 単位数の欄に記載されている数値は、認定心理士認定委員会が認定する単位数です。本学の履修認定単位数とは異なる科目もあるので注意してください。

## 8 児童指導員

心理学科の卒業生には、児童指導員任用資格が与えられます。

児童指導員任用資格は、児童指導員として児童福祉施設に採用されて初めて、かつその期間のみ、児童指導員になります。

児童指導員は、児童福祉施設などで生活する子どもたちを援助、育成、指導します。

## 9 公益財団法人日本レクリエーション協会資格

### (1)レクリエーション・インストラクター

※心理学科子ども心理専攻及びスポーツ人間学部対象  
人々の余暇生活やレクリエーションに関する理論と実技を学び、充実した楽しいレクリエーションの手助けをする支援者です。本学において次に示す3科目全てを修得し、所定の申請手続きを行うことで取得することができます。  
申請の際には資格登録費用として17,600円が必要となります。また、資格の有効期限は2年間です。

本学開設科目		単位数	開講学年	備考
心理専攻 子ども	レクリエーション理論(子ども)	2	2	3科目すべて履修すること ※子ども心理専攻 専門科目
	レクリエーション実技(子ども)	2	3	
	レクリエーション実習(子ども)	1	4	
人間学部 スポーツ	レクリエーション理論	2	2	3科目すべて履修すること ※スポーツ人間学部 学部共通科目
	レクリエーション実技	2	2	
	レクリエーション実習	2	3	

### (2)スポーツ・レクリエーション指導者

※スポーツ人間学部対象  
運動やスポーツが苦手な人、スポーツへの興味や関心の低い人たちの気持ちによりそいながら、同じ目線でスポーツの楽しさと効果を自ら発揮できるように促し、全ての人々が主体的にスポーツに親しめるようにする支援者です。レクリエーション・インストラクターと同様に3科目全てを修得し、所定の申請手続きを行うことで取得することができます。  
申請の際には資格登録費用として17,600円(単一資格の登録の場合)となり、レクリエーション・インストラクターと同時に登録する場合は23,100円が必要となります。また、資格の有効期限は2年間です。

## 10 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格

スポーツ人間学部の学生は、所定の科目を履修し単位を修得すると、日本スポーツ協会公認の以下の資格を取得することができます。

### (1)スポーツコーチングリーダー

地域におけるスポーツグループやサークルなどにおいて、上位資格を補佐する者として、基礎的な運営にあたる方のための資格です。  
共通科目Ⅱの科目全てを履修し申請する事で取得できます。  
(基本登録料10,000円、初期登録手数料3,300円)

### (2)ジュニアスポーツ指導員

地域スポーツクラブや地域の公共施設、商業スポーツ施設等で、健康・体力づくりの実技指導や活動プログラムの提供などにあたっている方、またこれから指導者になろうと考えている方におすすめの資格です。ジュニアスポーツ指導員は、幼・少年期の子どものために遊びを通した身体づくり、動きづくりの指導を行います。  
この資格を取得するには、日本スポーツ協会が実施する講習会を受講し検定試験に合格しなければなりません。本学では指定した科目(共通科目Ⅱ+ジュニアスポーツ指導員科目)の単位を修得することによりこの講習会受講を免除され、検定試験の受験資格を取得することができます。  
検定試験は卒業年度の2月頃に実施されます。(検定料3,300円)。  
この他に、初期登録料3,300円が別途かかります。資格の有効期限は4年間で、4年毎に更新手続きが必要となります。

### (3)アシスタントマネジャー

総合型の地域スポーツクラブなどでマネジメントを担当している方や、これから担当しようと考えられている方におすすめの資格です。アシスタントマネジャーは、総合型の地域スポーツクラブにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブ経営のための諸活動をサポートします。  
この資格を取得するには、日本スポーツ協会が実施する講習会を受講し検定試験に合格しなければなりません。本学では指定した科目(共通科目Ⅱ+アシスタントマネジャー科目)の単位を修得することによりこの講習会受講を免除され、検定試験の受験資格を取得することができます。  
検定試験は卒業年度の2月頃に実施されます。(検定料3,300円)。  
この他に、初期登録料3,000円が別途かかります。資格の有効期限は4年間で、4年毎に更新手続きが必要となります。

### 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格

本学開設科目	単位数	開講学年	共通科目Ⅱ	ジュニアスポーツ指導員(新)	アシスタントマネジャー	備考
生涯スポーツ論	2	1	○		○	スポーツ人間学部共通科目
体カトレーニング論	2	1	○	○		スポーツ人間学部共通科目
栄養学	2	1	○	○		スポーツ人間学部共通科目
発育発達論	2	1		○		スポーツ人間学部共通科目
スポーツ心理学	2	3	○	○		スポーツ人間学部共通科目
スポーツ社会学	2	1	○		○	スポーツ人間学部共通科目
コーチング論	2	2	○	○		スポーツ人間学部共通科目
スポーツ政策・行政論	2	4	○		○	スポーツ人間学部共通科目
レクリエーション実技	2	2		○		スポーツ人間学部共通科目
レクリエーション実習	2	3		○		スポーツ人間学部共通科目
運動機能と救急処置	2	1	○	○		スポーツ指導学科専門科目
スポーツビジネス論I	2	1			○	スポーツビジネス学科専門科目

## 11 健康運動指導士(財団法人健康・体力づくり事業財団)

スポーツクラブや保健所・保健センター、病院・介護施設などにおいて、人々の健康を維持・改善するために、安全かつ適切な運動プログラムを提案・指導する専門家が健康運動指導士です。

厚労省が認定する健康増進施設に配置されるほか、生活習慣病予防を中心とした特定健診・特定保健指導(メタボ検診)における運動指導や介護予防、運動と食育を組み合わせたスポーツ栄養などの分野で注目されています。

この資格を取得するには、以下の指定科目の単位を修得し、健康運動指導士認定試験に合格した上で、健康運動指導士台帳に登録されなければなりません。

健康運動指導士養成講習会科目		科目名
講座名	内 容	
1 健康管理概論	1-1 健康の概念と制度 1-2 生活習慣病(NCD)概論と特定健診・保健指導 1-3 介護予防概論	人のからだと健康
2 健康づくり施策概論	2-1 健康づくり施策と健康運動指導士の社会的役割 2-2 健康づくりのための身体活動基準2013とアクティブガイド 2-3 健康日本21(第二次)における社会環境の整備	衛生学及び公衆衛生学
3 生活習慣病(NCD)	3-1 メタボリックシンドローム 3-2 肥満、肥満症 3-3 高血圧 3-4 脂質異常症 3-5 耐糖能異常・糖尿病 3-6 虚血性心疾患とリハビリテーション 3-7 ロコモティブシンドローム 3-8 運動器退行性疾患 3-9 呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患) 3-10 がん(悪性新生物) 3-11 経度認知障害、認知症	人のからだと健康
4 運動生理学	4-1 呼吸器系と運動 4-2 循環器系と運動(1)(2) 4-3 脳・神経系と運動(1)(2) 4-4 骨格筋系と運動(1)(2) 4-5 内分泌系と運動 4-6 運動と免疫能 4-7 環境と運動(1)(2)	運動生理学
5 機能解剖とバイオメカニクス(運動・動作の力源)	5-1 バイオメカニクス:力学の基礎 5-2 バイオメカニクス:エネルギー論 5-3 機能解剖学概論(1)(2) 5-4 陸上での運動・動作各論 5-5 水泳・水中運動	バイオメカニクス
6 健康づくりの運動の理論	6-1 運動条件と反応・運動強度 6-2 筋力と筋量を増強するための運動条件とその効果 6-3 筋パワーと筋持久力を高めるための運動条件とその効果 6-4 全身持久力を高めるための有酸素性運動 6-5 障がい者の運動能力の特徴と運動 6-6 青少年期の成長発育と運動 6-7 女性の体力・運動能力の特徴と運動 6-8 加齢に伴う体力の低下と運動	体カトレーニング論
7 運動障害と予防	7-1 内科的障害と予防(1)(2) 7-2 外科的傷害(頭部、頸部、上肢、体幹) 7-3 外科的傷害(腰部、下肢)	スポーツ医学と運動処方
8 体力測定と評価	8-1 体力と運動能力の測定法 8-2 フィールドテストの実習 中年者(1)(2) 8-3 高齢者の体力測定法(全身持久力) 8-4 介護予防に関する体力測定法とその評価 8-5 身体組成の測定 8-6 体力測定および身体組成測定法と評価に関する実習	測定と評価
9 健康づくり運動の実際	9-1 ウォームアップとクールダウン 9-2 ストレッチングと柔軟体操の実際	体カトレーニング演習
	9-3 ウォーキングとジョギング(1)(2)	ダンス
	9-4 エアロビックダンス(1)(2)	健康運動指導演習
	9-5 水泳・水中運動(1)(2)	ストレングス・コンディショニング
	9-6 レジスタンス運動	健康運動指導演習
9-7 介護予防と運動(1)(2) 9-8 健康産業施設等現場実習		
10 救急処置	10-1 救急蘇生法(1)(2) 10-2 外科的処置(1)(2)	スポーツ医学と運動処方
11 運動プログラムの管理	11-1 運動プログラム作成の基本(1)(2)	スポーツ傷害と予防
	11-2 健診結果・安静時心電図の読み方(1)(2)	スポーツ医学と運動処方
	11-3 メディカルチェックの重要性	
	11-4 服薬者の運動プログラム作成上の注意	
	11-5 生活習慣病に対する適切な運動療法プログラム作成実習 (1)包括的プログラム作成	生涯スポーツ演習
11-6 生活習慣病に対する適切な運動療法プログラム作成実習 (2)過体重(肥満)・肥満症と高血糖・糖尿病		
11-7 生活習慣病に対する適切な運動療法プログラム作成実習 (3)高血圧と脂質異常症		
11-8 生活習慣病に対する適切な運動療法プログラム作成実習 (4)ロコモティブシンドロームと運動器退行性疾患		
12 運動負荷試験実習	12-1 運動負荷試験の実際 12-2 運動負荷試験の実習(1)トレッドミル編 12-3 運動負荷試験の実習(2)自転車エルゴメーター編	スポーツ医学と運動処方
13 運動行動変容の理論と実際	13-1 行動変容の理論 13-2 行動変容理論の実践的適用 13-3 実習:行動変容を意図したプログラム開発及びカウンセリング	スポーツ心理学
14 運動とこころの健康増進	14-1 ストレスの考え方と評価法 14-2 ストレスマネジメントとカウンセリング 14-3 運動の健康行動(禁煙など)への影響	スポーツ心理学
15 栄養摂取と運動	15-1 食生活と健康運動 15-2 消化と吸収の機構 15-3 栄養素の機能と代謝 15-4 身体活動量の定量法とその実際 15-5 栄養・食事アセスメント(低栄養対策を含む) 15-6 栄養・食事指導の基本(1)(2)	栄養学

## 12 日本トレーニング指導者協会(JATI)認定トレーニング指導者

一般人からトップアスリートまで、あらゆる対象や目的に応じて、科学的根拠に基づく適切な運動プログラムの作成と指導ができる専門家であることを証明する資格です。

対象や目的に応じて、科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得したと認められた方に授与されます。スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導の専門家として活動するための基礎資格として位置づけられます。

この資格を取得するには、日本トレーニング指導者協会が実施する養成講習会(一般科目・専門科目)を受講し認定試験に合格しなければなりません。本学では指定した科目の単位を修得することによりこの養成講習会受講を免除され、認定試験の受験資格を取得することができます。

### 1. 一般科目

領域	科目名	左記に対応する本学の開講授業科目
A. 体力学総論	体力学総論	「スポーツ理論」「体カトレーニング論」
B. 機能解剖	機能解剖(1) 上肢	「人体構造基礎」「運動機能と救急処置」
	機能解剖(2) 脊柱と胸郭	
	機能解剖(3) 骨盤と下肢	
C. バイオメカニクス	バイオメカニクス(1) 基礎理論	「バイオメカニクス」
	バイオメカニクス(2) スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス	
D. 運動生理学	運動生理学(1) 呼吸循環器系・エネルギー代謝と運動	「運動生理学」
	運動生理学(2) 骨格筋系・神経系・内分泌系と運動	
E. 運動と栄養	運動と栄養(1) 基礎理論	「栄養学」
	運動と栄養(2) スポーツ選手の競技力向上と栄養	
	運動と栄養(3) 一般人の健康増進と栄養	
F. 運動と心理	運動と心理(1) 基礎理論	「スポーツ心理学」
	運動と心理(2) スポーツ選手の競技力向上への活用	
	運動と心理(3) 一般人の健康増進への活用	
G. 運動と医学	運動と医学(1) 救急処置法	「運動機能と救急処置」
	運動と医学(2) スポーツ選手の整形外科的傷害と予防	「スポーツ傷害と予防」「スポーツ医学と運動処方」
	運動と医学(3) 生活習慣病とその予防	「人のからだと健康」
H. 運動指導の科学	運動指導の科学	「スポーツ理論」「コーチング論」

### 2. 専門科目

領域	科目名	左記に対応する本学の開講授業科目
A. トレーニング指導者論	トレーニング指導者の役割	「コーチング論」
B. 各種トレーニング法の理論とプログラム	トレーニング計画の立案(総論)	「スポーツ理論」 「体カトレーニング論」 「体カトレーニング演習」 「スポーツ傷害と予防」
	筋カトレーニングのプログラム作成	
	パワー向上トレーニングの理論とプログラム作成	
	有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成	
	スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成	
	ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの理論とプログラム作成	
C. 各種トレーニング法の実際	特別な対象のためのトレーニングとプログラム	「体カトレーニング演習」 「ストレングス・コンディショニング」
	傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム	
	筋カトレーニングの実際	
	パワー向上トレーニングの実際	
	有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの実際	
D. トレーニング効果の測定と評価	スピード向上トレーニングの実際	「測定と評価」「スポーツ統計学」
	ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの実際	
	トレーニング効果の測定と評価の実際	
E. トレーニングの運営と情報活用	測定データの活用とフィードバックの実際	「体カトレーニング論」「ストレングス・コンディショニング」 「コーチング論」
	トレーニングの運営	
	運動指導のための情報収集と活用	

## 13 特定非営利活動法人NSCAジャパン(日本ストレングス&amp;コンディショニング協会)

## CSCS(認定ストレングス&amp;コンディショニングスペシャリスト)

傷害予防とスポーツパフォーマンス向上を目的とした、安全で効果的なトレーニングプログラムを計画・実行する知識と技能を有する人材を認定する資格です。指導対象は主にアスリート、スポーツチームです。筋力トレーニングや他の体力要素の指導だけでなく、施設を運営、管理することも重要な職務となります。また、栄養、ドーピング、生活習慣に関する指導など、教育者の側面も併せ持っています。

資格取得には、NSCAジャパン認定校特別認定試験に合格することが必要です。  
出願条件 ・ 本学の指定した以下の科目の単位を修得または修得見込であること  
・ 有効なCPRおよびAEDの認定を保持していること

受験料: 39,710円

## CSCS(NSCA認定ストレングス&amp;コンディショニングスペシャリスト)

指定科目内容	左記に対応する本学の開講授業科目	単位	開講学年	備考
人体解剖学&生理学	人体構造基礎	2	1	
運動生理学	運動生理学	2	2	
キネシオロジー&バイオメカニクス	バイオメカニクス	2	1	
栄養学(スポーツ栄養学を推奨)	栄養学	2	1	
ストレングス&コンディショニングの科学的原則	スポーツ理論	2	1	
レジスタンストレーニングとコンディショニング(実技)	ストレングス・コンディショニング	2	2	
エクササイズテクニック/無酸素性エクササイズを中心とした運動処方	体カトレーニング論	2	1	
ストレングス&コンディショニングに関連したプログラムデザイン	体カトレーニング演習	2	2	
緊急処置(ファーストエイド、CPR、AED)	運動機能と救急処置	2	1	
指導実習	ストレングス・コンディショニング実習	2	3	※2023年度以前入学生
	健康運動指導演習	2	3	※2024年度以降入学生

## NSCA-CPT(NSCA Certified Personal Trainer)

健康と体力のニーズに関して、評価・動機づけ・教育・トレーニングやコンディショニング全般の指導を行う、優れた専門的能力をもつ人材を認定する資格です。

指導対象者はアスリートだけでなく、年齢・性別・経験を問わず幅広い層に対してトレーニング指導を行います。そのため、NSCA-CPTはトレーニングの知識に加え、医学的、運動生理学的な専門知識とトレーニングの指導技術が必要となります。

出願条件 ・ 本学の指定した以下の科目の単位を修得または修得見込みであること  
・ 有効なCPRおよびAEDの認定を保持していること

受験料: 35,530円

指定科目内容	左記に対応する本学の開講授業科目	単位	開講学年	備考
人体解剖	人体構造基礎	2	1	
人体生理学	運動生理学	2	2	
運動科学/生理学	スポーツ理論	2	1	
栄養学(スポーツ栄養学を推奨)	栄養学	2	1	
パーソナルトレーニングの基礎	体カトレーニング論	2	1	
バイオメカニクス/身体動作/運動学	バイオメカニクス	2	1	
エクササイズテクニック&レジスタンストレーニング技術と指導テクニック	ストレングス・コンディショニング	2	2	
クライアントとの面談及び体力評価	測定と評価	2	2	
緊急時の対応/パーソナルトレーニングにおける法的諸問題	運動機能と救急処置	2	1	
エクササイズ指導実習	ストレングス・コンディショニング実習	2	3	※2023年度以前入学生
	健康運動指導演習	2	3	※2024年度以降入学生
心理学/スポーツ心理学	スポーツ心理学	2	3	

## 14 図書館司書

札幌国際大学に設置されている図書館司書資格取得に関する科目(以下、図書館科目)において、所定の単位を修得し、大学(短大を含む)を卒業することで、図書館司書資格が与えられます。なお、図書館科目の履修には60,000円の履修費がかかります。

次の科目を履修し、所定の単位を修得すること。

図書館法施行規則に定める科目		単位数	左記に対応する本学の開講授業科目	単位数	開講学年	備考
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習論	2	2	13科目 22単位 必修科目
	図書館概論	2	図書館概論	2	1	
	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2	1	
	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2	1	
	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2	1	
	情報サービス論	2	情報サービス論	2	2	
	児童サービス論	2	児童サービス論	2	2	
	情報サービス演習	2	情報サービス演習I	1	1	
			情報サービス演習II	1	2	
	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2	1	
	情報資源組織論	2	情報資源組織論	2	1	
	情報資源組織演習	2	情報資源組織演習I	1	2	
情報資源組織演習II			1	2		
選択科目	図書館基礎特論	1	図書館基礎特論	1	2	2科目 2単位以上
	図書館サービス特論	1				
	図書館情報資源特論	1	図書館情報資源特論	1	2	
	図書・図書館史	1	図書・図書館史	1	2	
	図書館施設論	1				
	図書館総合演習	1				
	図書館実習	1				
資格取得のための最低単位数				24単位		
合計				25単位		

※講義科目7回の科目は、図書館基礎特論、図書館情報資源特論、図書・図書館史です。

## 15 認定絵本士(心理学科子ども心理専攻のみ)

独立行政法人国立青少年教育振興機構絵本専門士委員会が認定する資格です。絵本に関する知識・技能・感性を身につけることができ、保育者として、子育てする社会人として、地域貢献する人材として講座で学んだ幅広い知識を活かし、絵本の魅力や可能性を伝え、読書活動を充実させる役割を担うことができます。次の科目を全て履修し、所定の単位を修得した者に付与されます。

科目名	単位数	開講学年	備考
絵本の世界I	2	1	4単位必修
絵本の世界II	2	2	

## 16 全国大学実務教育協会資格

全国大学実務教育協会とは、全国181校の大学・短期大学が加盟する協会で、21世紀の社会が必要とする人材の育成を支援するために、大学における主として実務教育に係る教育課程を認定し、履修した学生にその証として資格を発行しています。資格の申込み手続きは6月と10月の予定で、1件あたり3,500円～7,900円程度の費用が必要となります。

## ①実践キャリア実務士(全学部・全学科)

キャリアデザインやキャリアプランニング、および、それらにともなう能力開発についての知識・技能を修得するとともに、幅広い知識・技能を活用しながら、チームで課題を解決する能力を身につけ、多様かつ刻々と変化する社会環境において、自らキャリアをひらいていける人材を養成します。次に示す必修科目および選択科目を合わせて16単位以上を修得し、「到達目標達成度評価表」の総合評価が「C」以上の者に付与されます。

## 「到達目標達成度評価表」とは…

全国大学実務教育協会資格教育課程の一連の授業を受講して、この資格の到達目標を総合的に評価するための評価表です。これによって、個々の到達目標をどれだけ達成できたのかを確認します。その後、総合的な達成度を自己評価して、達成度をさらに高めるためにどのような課題が残されているのか、これからの学修の目標を明確にします。学生による学修成果の総合評価(自己評価)と、教員による学修成果の総合評価を行い、「F」評価の場合、資格認定することはできません。具体的な記入方法については、別途指示します。

	科目名	開発能力(A)	学修目標(B)	単位数	開講学科	年次	備考	履修方法
領域1	キャリア形成論	1-2	③⑥	2	全学共通教育科目	1	全学共通必修科目	領域1、領域2から16単位以上修得
	キャリアデザイン	1-3	⑥	2	全学共通教育科目	2	全学共通必修科目	
	学びの技法	1-1	①	2	全学共通教育科目	1	全学共通必修科目	
	基礎ゼミI	1-1	①	2	全学共通教育科目	1	全学共通必修科目	
	基礎ゼミII	1-1	①	2	全学共通教育科目	1	全学共通必修科目	
	情報機器操作	1-1	①	2	全学共通教育科目	1	全学共通必修科目	
	ビジネス実務総論	1-3	⑥	2	全学共通教育科目	2	必修	
ビジネス実務演習	1-1	②	2	全学共通教育科目	2			
領域2	インターンシップI	2-1	⑦	2	全学共通教育科目	1		
	インターンシップII	2-1	⑦	2	全学共通教育科目	1		
	インターンシップIII	2-1	⑦	4	全学共通教育科目	1		
	地域アクティビティI(ボランティア)	2-1	⑦	2	全学共通教育科目	1	必修	
	地域アクティビティII(清田)	2-1	⑦	2	全学共通教育科目	1		
	地域アクティビティIII(北海道)	2-1	⑦	2	全学共通教育科目	2		
	SIU特講	2-1	⑧	2	全学共通教育科目	2		

領域1	働くための基礎能力とキャリア教養の領域	
資格到達目標	働くために必要な基礎能力を身につけ、社会と自分の関係を理解している。	
開発する能力(A)	能力の内容	具体的な学修目標(B)
1-1 働く基礎能力	学修や就業の場面で必要な社会人基礎力を発揮する能力	① 理解力(読む・聞く力)や表現技術(文章表現・口頭表現)などの基本スキルを発揮して主体的に調べ、考察できる。 ② 職業生活・社会生活に必要なマナーやルールに沿った行動をとり、自らを律して、責任感をもって行動することができる。
1-2 自分を知る力	学修の実践体験を省察し、自分の持ち前を発揮して活動する能力	③ 就業への問題意識と協働意識をもって実践的に学修活動に取り組み、自分の行動を振り返り、自らの能力や資質を明確にできる。 ④ 自ら学びの目標を設定し、達成状況をもとに目標を再設定し、改善に向けた活動ができる。
1-3 社会を知る力	社会の一員として課題を理解し、他者と議論し、当事者意識をもって考察する能力	⑤ 市民社会や組織の一員としての自覚をもって課題を捉え、人への思いやりと責任感のある行動がとれる。 ⑥ 社会の問題を多面的に理解し、建設的に対話や議論をして、実社会と自らのキャリアを関連づけて考えることができる。

領域2	総合的学修体験と能力開発の領域	
資格到達目標	総合的学修の体験を通して、キャリアと能力開発の方向性を明確にすることができる。	
開発する能力(A)	能力の内容	具体的な学修目標(B)
2-1 就業の中でキャリアを考える力	総合的学修体験を通じて、就業力を自己評価と他者評価し、キャリアや能力開発の方向性を明確にする能力	⑦ 学んだ、知識・スキル・態度を活かして、周りの人とともに課題を明確にし、創意工夫をして総合的な課題解決ができる。 ⑧ 職業生活・社会生活のあり方を主体的に設計し、実務実践の体験を通じて学びを継続することができる。

## ②観光実務士(観光学部のみ)

観光を成立させている旅行業・宿泊業・交通業についての知識、付加価値の高いツアープランニング・コーディネートや添乗・接客のしかた、外国人観光客のための英会話などを習得し、観光客と観光業界に大いに貢献できる人材を養成します。次に示す必修科目および選択科目を修得した者に付与されます。

	科目名	単位数	開講学科	年次	備考	履修方法
領域1	観光概論	2	観光ビジネス学科科目	1	観光ビジネス学科必修科目	必修
	観光サービス論	2	観光ビジネス学科科目	2		
	観光文化論	2	観光ビジネス学科科目	1		
	観光まちづくり論	2	観光ビジネス学科科目	2		
	ホスピタリティ論	2	観光ビジネス学科科目	2		
	観光ビジネスマナー	2	観光ビジネス学科科目	2		
	ビジネスコミュニケーション	2	観光ビジネス学科科目	3		
領域2	観光調査法入門	2	観光ビジネス学科科目	2		
	観光ビジネス論	2	観光ビジネス学科科目	2		
	観光交通	2	観光ビジネス学科科目	1		
	観光事業論	2	観光ビジネス学科科目	1	観光ビジネス学科必修科目	必修
	観光マーケティング	2	観光ビジネス学科科目	2		必修
	観光統計	2	観光ビジネス学科科目	2		
	旅行業法・約款	2	観光ビジネス学科科目	1		
	ホテルビジネス実務	2	観光ビジネス学科科目	2		
	航空ビジネス実務	2	観光ビジネス学科科目	2		
旅行ビジネス実務	2	観光ビジネス学科科目	1			
領域3	海外観光研修	2	観光ビジネス学科科目	1		
	観光実践演習	4	観光ビジネス学科科目	2		
	観光論特別講義	2	観光ビジネス学科科目	1		必修

領域1、領域2、領域3から20単位以上修得

## ③こども音楽療育士(心理学科子ども心理専攻のみ)

保育、児童福祉、社会福祉等の各施設で音楽療育を実践できる人材を養成します。次に示す必修科目および選択科目を合わせて20単位以上を習得した者に付与されます。

	科目名	単位数	開講学科等	年次	備考	履修方法
領域1	音楽I(歌唱・理論基礎)	1	心理学科(子ども)	1		必修
	音楽I(歌唱・理論応用)	1	心理学科(子ども)	3		必修
	音楽II(ピアノ基礎)	1	心理学科(子ども)	2		必修
	音楽II(ピアノ応用)	1	心理学科(子ども)	3		必修
	子ども家庭福祉	2	心理学科(子ども)	2		
	保育表現(身体・言葉)	1	心理学科(子ども)	1		
	保育内容(表現)	1	心理学科(子ども)	3		
	幼児と表現	2	心理学科(子ども)	2		
	保育の心理学	2	心理学科(子ども)	1		
	子どもの理解と援助	1	心理学科(子ども)	1		
	子ども理解の理論と方法	2	心理学科(子ども)	3		
	子どもの保健	2	心理学科(子ども)	2		
	障がい児保育I	1	心理学科(子ども)	1		
	障がい児保育II	1	心理学科(子ども)	2		
	特別支援教育	2	心理学科(子ども)	4		
領域2	子ども音楽療育概論	2	心理学科(子ども)	3		必修
	子ども音楽療育演習	1	心理学科(子ども)	3		必修
領域3	子ども音楽療育実習	1	心理学科(子ども)	3		必修

領域1、2、3から20単位以上

## ④園芸療法士

心・身体・園芸の相互関係、園芸にもちいる植物、土壌づくり～繁殖～収穫のしかた、園芸機材の取り扱いなど、リハビリテーションとしての園芸に関する知識・技術を修得し、障がい者や高齢者の心身の発達・回復をサポートできる人材を養成します。次に示す必修科目および選択科目を合わせて20単位以上を修得した者に付与されます。

※子ども心理専攻の学生で保育士資格取得見込みの場合は、必修科目8単位のみでの修得で付与されます。ただし、認定証の申請手続きは4年次3学期となります。

科目名		単位数	開講学科等	年次	備考	履修方法
領域1	生活と園芸	2	心理学科	1		必修
	社会福祉論	2	心理学科	1		
	認知行動療法	2	心理学科(臨床)	2		
	対人関係論	2	心理学科	2		
	精神疾患とその治療	2	心理学科(臨床)	2		
	心理学概論	2	心理学科	1	心理学科必修科目	
	臨床心理学概論	2	心理学科(臨床)	1	心理学科(臨床)必修科目	
	障害者・障害児心理学	2	心理学科	2		
	健康・医療心理学	2	心理学科(臨床)	3		
	知覚・認知心理学	2	心理学科	2		
	色彩心理学	2	心理学科	2		
	福祉心理学	2	心理学科(臨床)	3		
アロマセラピー	2	心理学科(臨床)	1			
領域2	園芸療法論	2	心理学科(臨床)	1		必修
	ガーデニング演習	2	心理学科	1		必修
	フラワーアレンジメント	2	心理学科(臨床)	1		
領域3	イネーブルガーデン実習	2	心理学科(臨床)	2		必修

領域1、2、3から20単位以上

## ⑤カウンセリング実務士(心理学科のみ)

人間の心理メカニズムとはどういうものかを理解するとともに、カウンセリングの場面で用いられる様々な技法を修得し、心の問題を解決したり、人間関係を改善するなど、現代のストレス社会におけるよきアドバイザーを養成します。次に示す必修科目および選択科目を合わせて所定の単位を修得した者に付与されます。

科目名		単位数	開講学科	年次	備考	履修方法
領域1	臨床心理学概論	2	心理学科(臨床)	1	心理学科(臨床)必修科目	必修
	心理学的支援法	2	心理学科(臨床)	2		必修
	認知行動療法	2	心理学科(臨床)	2		
	力動的心理学	2	心理学科(臨床)	3		
	遊戯・芸術療法	2	心理学科(臨床)	3		
領域2	カウンセリング演習	2	心理学科(臨床)	2	心理学科(臨床)必修科目	必修
	心理的アセスメントI(質問紙法)	2	心理学科(臨床)	2		
	心理的アセスメントII(投映法)	2	心理学科(臨床)	3		
	発達心理診断法	2	心理学科	4		
	発達心理学	2	心理学科	2		
	障害者・障害児心理学	2	心理学科	2		
	特別支援教育	2	心理学科(子ども心理)	4		
	教育・学校心理学	2	心理学科	2		
	子ども家庭支援の心理学	2	心理学科(子ども心理)	2		
	福祉心理学	2	心理学科	3		
	精神疾患とその治療	2	心理学科(臨床)	2		
社会・集団・家族心理学(社会・集団心理学)	2	心理学科	3			
教育相談	2	心理学科(子ども心理)	4			
領域3	グループワーク	2	心理学科	1	心理学科(臨床)必修科目	必修
	カウンセリング実習	2	心理学科	3		
	集団心理療法	2	心理学科	3		

領域1、領域2、領域3から24単位以上修得

## ⑥ 上級ビジネス実務士(国際ビジネス)(国際教養学科のみ)

国際的なビジネス実務の基本について理解を深めるとともに、さまざまな母国語を持つ相手と英語で意思疎通する語学力、異文化の中で相互理解や新しい価値創造を行うコミュニケーション能力、その他の実務に即した実践的技能を習得し、グローバルな環境でも即戦力となる人材を養成します。

次に示す必修科目および選択科目を合わせて24単位以上を修得した者に付与されます。

科目名	単位数	開講学科	年次	備考	履修方法	
領域1	ビジネス実務総論	2	全学共通教育科目	2		必修
	コミュニケーション論	2	国際教養学科科目	1		
	コミュニケーション演習	2	国際教養学科科目	1		
	社会とメディアの倫理	2	全学共通教育科目	2		
	情報機器操作	2	全学共通教育科目	1	全学共通必修科目	
	ビジネス実務演習	2	全学共通教育科目	2		
	事例で学ぶマーケティング	2	国際教養学科科目	1		
	グローバルマーケティング	2	国際教養学科科目	3		
領域2	国際関係論	2	国際教養学科科目	2		必修
	国際ビジネス事情I	2	国際教養学科科目	2		必修
	ConversationI	2	全学共通教育科目	1		必修
	TOEIC	2	全学共通教育科目	2		
English CommunicationI	2	全学共通教育科目	1			
領域3	インターンシップI	2	全学共通教育科目	1		
	インターンシップII	2	全学共通教育科目	1		
	インターンシップIII	4	全学共通教育科目	1		
	海外ボランティア・インターンシップI	2	全学共通教育科目	2		
	地域アクティビティI(ボランティア)	2	全学共通教育科目	1		必修
	地域アクティビティII(清田)	2	全学共通教育科目	1		
	地域アクティビティIII(北海道)	2	全学共通教育科目	2		
	キャリア形成論	2	全学共通教育科目	1	全学共通必修科目	
キャリアデザイン	2	全学共通教育科目	2	全学共通必修科目		

領域1、領域2、領域3から24単位以上修得

## ⑦ 情報処理士(全学部・全学科)

変革する社会へのアプローチ。業務の課題を解決するための最新の情報活用能力を身につけます。

次に示す必修科目および選択科目を合わせて10単位以上を修得した者に付与されます。

科目名	単位数	開講学科	年次	備考	履修方法	
領域1	情報機器操作	2	全学共通教育科目	1	全学共通必修科目	必修
	文書作成	2	全学共通教育科目	1		
	表計算	2	全学共通教育科目	1		
	社会とメディアの倫理	2	全学共通教育科目	2		
領域2	AI・データサイエンス	2	全学共通教育科目	2		必修
	ITバスポート演習	2	全学共通教育科目	2		
領域3	地域アクティビティI(ボランティア)	2	全学共通教育科目	1		必修
	地域アクティビティII(清田)	2	全学共通教育科目	1		
	地域アクティビティIII(北海道)	2	全学共通教育科目	2		

領域1、領域2、領域3から10単位以上修得

## 札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部 資格取得奨励金

札幌国際大学及び札幌国際大学短期大学部の学生の資格取得を奨励し、本学学生の資質向上に資するために、以下の資格を取得した学生に奨励金を給付します。

対象：本学在学期間中に受験し、合格又は所定の基準点に達した者

申請方法：教務課に以下の書類を提出すること

(1) 資格取得奨励金給付申請書(所定様式)

(2) 別表に定める資格を取得したこと(合格又は所定の基準点に達したこと)を証明する書類

申請期間：春学期(7月1日～7月31日)

秋学期(12月20日～1月20日)

(資格取得奨励金 対象資格)

	資格名称	基準	奨励金
1	TOEIC(L/R) (IPテストは不可)	880点以上	¥50,000
		750点以上	¥30,000
		550点以上	¥10,000
2	実用英語技能検定	1級	¥50,000
		準1級	¥30,000
3	IELTS(Overall Band Score)	7.0-9.0	¥50,000
		6.0-6.5	¥30,000
		5.0-5.5	¥10,000
4	中国語検定(HSK)	6級	¥50,000
		5級	¥30,000
		4級	¥10,000
5	韓国語能力試験(TOPIK)	6級	¥50,000
		5級	¥30,000
		4級	¥10,000
6	日本語能力検定	N1	¥30,000
7	BJTビジネス日本語能力テスト	530点以上	¥50,000
8	ITパスポート		¥10,000
9	総合旅行業務取扱管理者		¥50,000
10	国内旅行業務取扱管理者		¥30,000
11	リテールマーケティング(販売士)検定	1級	¥30,000
		2級	¥10,000
12	日商簿記検定	1級	¥50,000
		2級	¥30,000

・語学資格については、当該言語を母語とする者は対象外とする。

・過去に奨励金の給付を受けた資格の上位の資格(合格又は基準点)を取得した場合は、下位の資格の奨励金額を差し引いた金額を給付する。

## 1 授業科目の履修および単位修得

### 修了の要件

本研究科を修了するためには、次の要件を充たさなければなりません。

- ① 2年以上在学すること。休学等による学修中断の期間は在学期間に含まれません。在学可能な期間は、休学期間を除き4年間を限度とします。ただし、長期履修生については別途定めます。
- ② 各研究で定められた教育課程によって、所定の単位数を修得すること。(教育課程表参照)
- ③ 各研究科の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格すること。
- ④ 定められた授業料を完納すること。

### 学期

春学期:4月1日から9月30日まで 秋学期:10月1日から3月31日まで

### 授業科目の区分

授業科目は次の3つに分けられています。

必修科目	履修を義務付けられた科目で、大学院修了の要件となります。
必修選択科目	研究テーマによって修了するように定められた科目で、指定された科目を選択し履修しなければ修了は認められません。選択必修の科目は研究テーマによって異なるので注意してください。
選択科目	研究テーマに沿って選択する科目で、修了要件に数えることができます。

### 履修登録

履修したい授業科目は、学期の初めに履修登録する必要があります。登録方法は学部と同様です。P62をご覧ください。

### 授業時間

1講目	9:00～10:45
2講目	10:55～12:40
昼休み	12:40～13:20
3講目	13:20～15:05
4講目	15:15～17:00
5講目	17:10～18:55
6講目	19:25～21:10

### 単位の認定

履修科目の単位は授業回数の3分の2以上出席し、試験やレポート等の総合評価で合格した場合に与えられます。

### 修士論文又は課題研究

- ① 修士論文又は課題研究の提出  
本大学院を修了するためには所定の単位を取得するほかに、修士論文又は課題研究を提出して試験に合格しなければなりません。
- ② 修士論文又は課題研究の指導  
修士論文又は課題研究の指導は主専攻にかかわる分野の指導教員によって行われます。研究水準を確保するためには、入学時からセメスター毎に指導を受けることが求められます。修士論文又は課題研究作成までの指導はおおむね以下のように進められます。

I期	修了までの研究計画を立てたうえで、研究テーマに関連する基礎知識を修得するように努める。
II期	研究テーマに関連する文献、資料を十分に消化し、修士論文又は課題研究にかかわる調査研究計画を確定する。
III期	研究テーマに関連する基礎研究、専門研究を深化させつつ、研究テーマにかかわる調査研究を推進する。
IV期	研究成果を生かしながら修士論文又は課題研究を完成させ、審査に備える。

- ③ 修士論文又は課題研究の審査  
修士論文又は課題研究の審査は大学院研究科に設置される審査委員会で行う。

## 2 ダブルディグリー・プログラム

本学大学院に在籍する学生が、本学と協定を結ぶ以下の大学院の双方で学び、所定の単位を修得することで、両大学院の学位を取得することができる制度です。

- 派遣先**
- 嶺東科技大学大学院 (台湾・台中市)
  - 国立台湾高雄科技大学大学院 (台湾・高雄市)

- 条件等**
- ・ 派遣先で支障なく勉学に専念できる資質と意欲をもっていること。
  - ・ 派遣先大学での在学年数は1年以上、最大2年とする。
  - ・ そのほか詳細は国際課までお問合せください。

## 3 学位の授与

本学大学院の卒業者には、修士の称号を授与します。修士の種類は次の通りです。

専攻区分		修士の名称
観光学研究科	観光学専攻	修士(観光学)
心理学研究科	臨床心理専攻	修士(臨床心理)
スポーツ健康指導研究科	スポーツ健康指導専攻	修士(スポーツ健康指導)

## 4 修士論文・課題研究審査要領

## 観光学研究科

事項	修士論文	課題研究論文
ページ数	本文50ページ以上 (1ページはA4横書き40字×30行 フォントMS明朝11ポイント)	本文30ページ以上 (1ページはA4横書き40字×30行 フォントMS明朝11ポイント)
構成要素	先行研究(文献研究) 必須 調査研究(質問紙調査・ヒアリング調査・その他の現地調査) 必須 なお、理論研究の場合は先行研究を十分踏まえること	調査研究 (質問紙調査・ヒアリング調査・その他の現地調査) 必須
執筆要領	日本観光研究学会機関誌に準ずる	日本観光研究学会機関誌に準ずる
審査項目	独創性・明確性・信頼性・妥当性・将来性について各10点満点、計50点満点で評価する。 一論文に対して審査員2名	明確性・信頼性・妥当性・実用性・将来性について各10点満点、計50点満点で評価する。 一課題研究に対して審査員2名
面接試験	作成した論文に対する面接員と作成者間での30分間の口頭発表・質疑を行う。15点満点 面接員2名	作成した課題研究に対する面接員と作成者間での30分間の口頭発表・質疑を行う。15点満点 面接員2名

審査委員及び日程などの詳細は別途決定する。

## 心理学研究科

## (1) 論文審査

・提出された課題研究報告書毎に審査委員を3名選出する。

・当該学生の指導教員以外の1名を主査とし、残り2名を副査とする。

・以下の3つの審査基準について5段階評価を行う。

- ① 構想力: 臨床心理学的テーマに基づき、先行研究を十分吸収し、これを発展させて独自性を示せたか。
- ② 実証性: 研究テーマの理論仮説及び問題提起に対して、統計資料、事例資料、観察資料などを活用して十分に実証したか、また考察しているか。
- ③ 構成力・表現力: 論旨、文章構成、記述、図表の活用などが研究論文として説得力のある構成・表現となっているか。主査はさらに次の基準について5段階評価を行う。
- ④ 論述及び倫理性: 内容の展開及び議論など、研究発表として読者に配慮した適切なものであるか。

## (2) 論文面接審査

・提出された研究報告書毎に審査委員を3名選出する。

・審査委員は(1)の論文審査と同じメンバーとする。

・面接審査は、研究目的、方法、結果、考察及び今後の課題などについて質問し、それに基づき以下の3つの審査基準について5段階評価を行う。

- ① 説明能力: 当該研究の目的、方法、結果、考察、今後の課題を簡潔にかつ説得力をもち説明できたか。
- ② 知識力: 当該研究テーマの考察、分析に必要な学術領域の知識を十分習得しているか。
- ③ 臨床能力: 研究結果が臨床心理学の実践に際して十分応用可能な成果を生み出しているか、また研究報告で取り上げた手法・技能を臨床現場で活かす力は備わっているか。それらについてどのように認識しているか。主査はさらに次の基準について5段階評価を行う。
- ④ 質疑応答: 質疑応答、内容説明が研究発表者として適切な態度であるか。  
・審査委員及び日程などの詳細は別途決定する。

## スポーツ健康指導研究科

## (1) 論文審査

提出された課題研究論文毎に審査委員を2名選出する。当該学生の指導教員以外の1名を主査とし、指導教員を副査とする。

以下の4つの審査基準について5段階評価を行う。

- ① 独自性: 着眼点や仮説などに独創的な要素があるか。
- ② 構成力: 課題設定が明確になっているか。
- ③ 表現力: 論旨・文章構成が説得力のある展開となっているか。
- ④ 論証力: 既存の研究成果をふまえ、調査や資料にもとづいて展開しているか。

## (2) 論文面接審査

提出された課題研究論文毎に審査委員を2名選出する。審査委員は(1)論文審査と同じメンバーとする。

面接審査は、研究目的、方法、結果、考察及び今後の課題などについて質問し、それにもとづき上記の①独自性、②構成力、③表現力および

- ④論証力の基準について、5段階評価を行う。

審査委員及び日程などの詳細は別途決定する。

## 札幌国際大学のポリシー

### 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

札幌国際大学は「教育理念」を踏まえて、次のように学位授与の方針を定める。「専門知識・技能を活用する力」「コミュニケーション能力」「課題を発見し、解決する力」「多様性の理解と協働する力」「能動的に学び続ける力」「社会に貢献する姿勢」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された各学科、各専攻の教育課程において、所定の単位を修得した者に対して学位規則に従い学士の学位を授与する。

#### 【専門知識・技能を活用する力】(知識・技能・判断力)

(DP1) 各学科・専攻の専門分野に関する知識・技能を修得し、活用することができる。

#### 【コミュニケーション能力】(思考力・表現力・主体性・多様性・協働性)

(DP2) 資料やレポート等の内容理解・作成・発表ができ、相手や状況に合わせて適切に自らの考えを伝えることができる。

#### 【課題を発見し、解決する力】(技能・思考力・判断力・表現力・主体性)

(DP3) 現状を分析し、課題を明らかにした上で、適切な手段で計画的にその解決に取り組むことができる。

#### 【多様性の理解と協働する力】(知識・主体性・多様性・協働性・関心)

(DP4) 他者との円滑な関係を築く力を有し、目標達成のために協調して物事に取り組むことができる。

#### 【能動的に学び続ける力】(思考力・主体性・意欲)

(DP5) 自ら計画し、行動し、評価し、改善を図りながら継続的に学ぶことができる。

#### 【社会に貢献する姿勢】(主体性・多様性・協働性・意欲・関心)

(DP6) 地域社会に貢献する姿勢を身に付け、その意欲を有する。

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

札幌国際大学は、学生が卒業認定・学位授与の方式(ディプロマ・ポリシー)で示した資質・能力を身に付けることができるように、以下の方針に基づき教育過程を編成する。

#### 【CP1】【初年次教育】

高等学校から大学への円滑な移行を図るため、能動的に学び続ける力を身に付けることができるように、全学共通教育科目として初年次教育科目を配置する。

#### 【CP2】【教養教育】

幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、全学共通教育科目として人文、社会分野を中心に教養教育科目を配置する。

#### 【CP3】【専門教育】

専門教育において、各学科・専攻のディプロマ・ポリシーに基づき専門性を身に付けることができるように、順次性のある体系的な科目配置を行う。

#### 【CP4】【教育方法】

コミュニケーション能力や他者と協働する力の向上のため、PBLやグループワーク、フィールドワーク等のアクティブラーニング型の科目を配置し、主体的・対話的で深い学びを実現する。

#### 【CP5】【教育方法・評価方法】

CAP制により十分な学修時間を確保し、授業時間外の学習を促すことで単位の実質化を図るとともに、明確で客観的な評価基準に基づく厳格な成績評価を実施する。

## 人文学部

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

人文学部は人間の理解をテーマに真理を探究する心と感性を養い、人文学の基礎的知識を修得するだけでなく知識の活用能力を持った自立して行動できる人材を育成することを目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき設定する。

- ①高大接続の観点から、大学教育への円滑な移行を促すため、初年次教育の充実を図る。
- ②人間の理解をテーマに真理を探究する心と感性を養うことを目的とし、自主、自律、協同の精神修得のための科目を設定する。
- ③人文学の基礎的知識の修得のために「学部共通科目」に配置している「人文学概論」を中心に人間理解のための基礎知識に関する科目を設定する。
- ④「学部共通科目」に配置している「基礎演習Ⅰ」、「基礎演習Ⅱ」を中心に知識の活用能力を修得するための科目を設定する。
- ⑤自立して行動できる人材を育成することを目的とし、「教養科目」、「言語情報科目」、「キャリア科目」を中心に幅広い教養を修得するための科目を設定する。
- ⑥専門的な知識、技能および論理的思考力を育成することを目的として、各学科に学科専門科目を設定し、各学科の教育目標を達成するための教育課程を体系的に編成する。
- ⑦演習、実習、フィールドワーク、インターンシップ等を通じた実践的・体験的な学びを重視し、能動的・自主的な学修の充実を図る。
- ⑧キャリア形成の観点から、社会人基礎力修得のためのキャリア科目を設定し、社会的・職業的自立に必要な能力を育む。
- ⑨成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

## 観光学部

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

観光学部は観光に関する専門的知識・実践的な知識を有し、観光を通じた地域振興と国内・国際観光の分野で活躍できる人材の育成を目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき設定する。

- ①高大接続の観点から、大学教育への円滑な移行を促すため、初年次教育の充実を図る。
- ②「観光学部基幹科目」に配置している「観光概論」を中心に観光学の基礎知識に関する科目を設定する。
- ③「観光学部基幹科目」に配置している「2年演習(基礎)」、「3年演習(基礎)」を中心に観光学の基礎的知識の活用能力を修得するための科目を設定する。
- ④「観光学部基幹科目」に配置している「ホスピタリティ論」、「観光実践演習」を中心に自立して行動できる姿勢を養う科目を設定する。
- ⑤専門的な知識、技能および論理的思考力を育成することを目的として、各学科に学科専門科目を設定し、各学科の教育目標を達成するための教育課程を体系的に編成する。
- ⑥演習、実習、インターンシップ等を通じた実践的・体験的な学びを重視し、能動的・自主的な学修の充実を図る。
- ⑦キャリア形成の観点から、キャリア科目を体系的に設定し、社会的・職業的自立に必要な能力・態度を育む。
- ⑧成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

## スポーツ人間学部

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

スポーツ人間学部は、生涯学習社会への移行とともに高まっているスポーツや健康に対する社会の要請に応え、地域スポーツの振興と個人の健康づくりに貢献できる有為な人材の育成を目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき設定する。

- ①高大接続の観点から、大学教育への円滑な移行を促すため、初年次教育の充実を図る。
- ②「学部共通科目」に配置している「体力トレーニング論」、「スポーツ心理学」、「生涯スポーツ論」などを中心にスポーツ健康分野の基礎知識に関する科目を設定する。
- ③「学部共通科目」に配置している「スポーツ政策・行政論」、「コーチング論」、「テニス」などを中心にスポーツ健康分野の基礎知識の活用能力を修得するための科目を設定する。
- ④専門的な知識、技能および論理的思考力を育成することを目的として、各学科に学科専門科目を設定し、各学科の教育目標を達成するための教育課程を体系的に編成する。
- ⑤演習、実習、インターンシップ等を通じた実践的・体験的な学びを重視し、能動的・自主的な学修の充実を図る。
- ⑥キャリア形成の観点から、キャリア科目を体系的に設定し、社会的・職業的な自立に必要な能力・態度を育む。
- ⑦成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

## 人文学部 国際教養学科

### 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

国際教養学科は、所定の期間在学し、所定の単位数を修得し、下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。

#### 【専門知識・技能を活用する力】(知識・技能・判断力)

(DP1) 多言語コミュニケーション、地域づくり、グローバルビジネスの各分野において、社会、文化、言語、歴史、産業についての知識・技能を修得し、活用することができる。

#### 【コミュニケーション能力】(思考力・表現力・主体性・多様性・協働性)

(DP2) 他者の文化や価値観を尊重し、外国語や情報通信技術を適切に活用し対話することができる。

#### 【課題を発見し、解決する力】(技能・思考力・判断力・表現力・主体性)

(DP3) 適切な情報収集と客観的な分析から課題を明らかにし、具体的な解決策を考え出すことができる。

#### 【多様性の理解と協働する力】(知識・主体性・多様性・協働性・関心)

(DP4) 対話を通して多様な人々と相互理解を深め、共通の目標に向かって協力して活動することができる。

#### 【能動的に学び続ける力】(思考力・主体性・意欲)

(DP5) 変化する社会に広く関心を持ち、新たな知識を意欲的に学び続けることができる。

#### 【社会に貢献する姿勢】(主体性・多様性・協働性・意欲・関心)

(DP6) 多文化共生社会の実現と発展に貢献するため、積極的に行動する意欲を有する。

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

人文学部国際教養学科は、学生が卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)で示した資質・能力を身に付けることができるように、以下の方針に基づき教育課程を編成する。

#### (CP1) 【初年次教育】

高等学校から大学への円滑な移行を図るため、能動的に学び続ける力を身に付けることができるように、全学共通教育科目として初年次教育科目を配置する。

#### (CP2) 【教養教育】

幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、全学共通教育科目として人文、社会分野を中心に教養教育科目を配置する。

#### (CP3-1) 【専門教育】

人文学領域の基礎知識の修得を図るために、学科基礎科目を配置する。

#### (CP3-2) 【専門教育】

幅広い知識の修得を図るため、国際・産業社会、言語、文化・地域、コミュニケーション、学芸員に関する5分野について、学科専門科目を配置する。

#### (CP3-3) 【専門教育】

専門的な知識・技能を身に付けることができるように、系統性と順次性を踏まえ、期別及び学年配置を行う。

#### (CP3-4) 【専門教育】

多文化理解を深め、言語コミュニケーション能力の向上を図るため、学外学修の充実を図る。

#### (CP4-1) 【教育方法】

国際的な視野を獲得し実践力を高めるため、フィールドワークにより、主体的・対話的で深い学修を展開する。

#### (CP4-2) 【教育方法】

コミュニケーション能力や他者と協働する力の向上を図るために、PBL・グループワーク等のアクティブラーニングを展開する。

#### (CP4-3) 【教育方法】

教え学び協働する意義を体得させるため、異学年間のコミュニケーションを深める学修を展開する。

#### (CP5) 【教育方法・評価方法】

CAP制により十分な学修時間を確保し、授業時間外の学習を促すことで単位の実質化を図るとともに、明確で客観的な評価基準に基づく厳格な成績評価を実施する。

### 取得を推奨する資格

- 学芸員 ●図書館司書 ●社会教育士 ●社会教育主事任用資格 ●日本語教師(日本語教育能力検定)
- 2級考古調査士 ●園芸療法士 ●情報処理士 ●上級ビジネス実務士(国際ビジネス) ●実践キャリア実務士

## 人文学部 心理学科 臨床心理専攻

### 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

心理学科臨床心理専攻は、所定の期間在学し、所定の単位数を修得し、下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。

#### 【専門知識・技能を活用する力】(知識・技能・判断力)

(DP1) 心理学領域及び臨床心理学領域の基礎的な知識・技能を修得し、活用することができる。

#### 【コミュニケーション能力】(思考力・表現力・主体性・多様性・協働性)

(DP2) 心理学的な知識・技能に基づいて他者を理解し、相手や状況に応じて自らの考えを伝え、建設的な議論ができる。

#### 【課題を発見し、解決する力】(技能・思考力・判断力・表現力・主体性)

(DP3) 心理学的観点を踏まえて現状を客観的に分析し、課題を明らかにした上で、見通しを立ててその解決に取り組むことができる。

#### 【多様性の理解と協働する力】(知識・主体性・多様性・協働性・関心)

(DP4) 様々な人の立場や背景を理解した上で円滑な関係を構築し、協働して物事に取り組むことができる。

#### 【能動的に学び続ける力】(思考力・主体性・意欲)

(DP5) 幅広い教養に基づいて広く社会に関心を持ち、継続的に知識・経験を積み上げることができる。

#### 【社会に貢献する姿勢】(主体性・多様性・協働性・意欲・関心)

(DP6) 地域社会に関する問題を心理学的な観点から捉え、他者と協働し地域に貢献する意欲を有する。

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

人文学部心理学科臨床心理専攻は、学生が卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)で示した資質・能力を身に付けることができるように、以下の方針に基づき教育課程を編成する。

#### (CP1) 【初年次教育】

高等学校から大学への円滑な移行を図るため、能動的に学び続ける力を身に付けることができるように、全学共通教育科目として初年次教育科目を配置する。

#### (CP2) 【教養教育】

幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、全学共通教育科目として人文、社会分野を中心に教養教育科目を配置する。

#### (CP3-1) 【専門教育】

系統性と順次性を踏まえ、基礎的な知識・能力を身に付けるための科目と主体的・応用的な深い学びを実現させるための科目を配置する。

#### (CP3-2) 【専門教育】

心理学的な考え方や知識を身に付けることができるように、心理学及び関連分野の幅広い講義科目を配置する。

#### (CP3-3) 【専門教育】

実践を通して、心理学的な人間理解の視点とコミュニケーションスキルを身に付けることができるように、臨床心理学の実技に関する科目を配置する。

#### (CP3-4) 【専門教育】

データに基づいて科学的に物事を捉える能力を身に付けることができるように、心理学の研究法に関する科目を配置する。

#### (CP4-1) 【教育方法】

コミュニケーション能力や他者と協働する力の向上のため、グループワークを導入する。

#### (CP4-2) 【教育方法】

プロジェクトを用いた学習を展開し、主体的な学びを実現する。

#### (CP4-3) 【教育方法】

知識として学んだことを実践で活かすことができるように、体験を重視したフィールドワークを展開する。

#### (CP5) 【教育方法・評価方法】

CAP制により十分な学修時間を確保し、授業時間外の学習を促すことで単位の実質化を図るとともに、明確で客観的な評価基準に基づく厳格な成績評価を実施する。

### 取得を推奨する資格

- 認定心理士 ●認定心理士(心理調査) ●園芸療法士 ●カウンセリング実務士 ●実践キャリア実務士
- 社会教育主事 ●児童指導員 ●高等学校教諭一種免許状(公民)

## 人文学部 心理学科 子ども心理専攻 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

心理学科子ども心理専攻は、所定の期間在学し、所定の単位数を修得し、下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。

### 【専門知識・技能を活用する力】(知識・技能・判断力)

(DP1) 心理学領域及び幼児教育・保育領域に関する知識・技能を修得し、活用することができる。

### 【コミュニケーション能力】(思考力・表現力・主体性・多様性・協働性)

(DP2) 心理学を基盤とし、幼児教育や保育、福祉等の現場において、利用者や関係者の理解に努め、自らの考えを適切に伝えることができる。

### 【課題を発見し、解決する力】(技能・思考力・判断力・表現力・主体性)

(DP3) 幼児教育・保育の現状を分析し、目的や課題を明らかにした上で、適切な手段で計画的に課題解決に取り組むことができる。

### 【多様性の理解と協働する力】(知識・主体性・多様性・協働性・関心)

(DP4) 幼児教育・保育の場において、年齢、性別、国籍、障がいの有無などの多様性を理解し、適切な対応をすることができる。

### 【能動的に学び続ける力】(思考力・主体性・意欲)

(DP5) 教育・保育の分野において最新の情報を得る努力を怠らず、より良い教育・保育の在り方を検討し、実践、評価、改善を図りながら継続的に学ぶことができる。

### 【社会に貢献する姿勢】(主体性・多様性・協働性・意欲・関心)

(DP6) 理想の保育を求め、研究・実践に携わるリーダーとしての自覚を持ち、地域社会に貢献する姿勢を身に付け、その意欲を有する。

## 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

人文学部心理学科子ども心理専攻は、学生が卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)で示した資質・能力を身に付けることができるように、以下の方針に基づき教育課程を編成する。

### (CP1) 【初年次教育】

高等学校から大学への円滑な移行を図るため、能動的に学び続ける力を身に付けることができるように、全学共通教育科目として初年次教育科目を配置する。

### (CP2) 【教養教育】

幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、全学共通教育科目として人文、社会分野を中心に教養教育科目を配置する。

### (CP3-1) 【専門教育】

心理学領域の基礎的知識を身に付けることができるように、順次性のある体系的な科目配置を行う。

### (CP3-2) 【専門教育】

幼児教育・保育領域に関する知識・技能の修得のために、順次性のある体系的な科目配置を行う。

### (CP3-3) 【専門教育】

幼稚園教諭一種免許状及び保育士資格取得のための必修科目、選択科目を体系的に配置する。

### (CP3-4) 【専門教育】

こども音楽療育士格取得のための必修科目、選択科目を体系的に配置する。

### (CP4-1) 【教育方法】

専門知識・技能を活用する力の向上のため、保育施設等において行うフィールドワーク科目や、幼稚園教諭一種免許状及び保育士資格取得のための実習科目を配置し、実践的な学びを展開する。

### (CP4-2) 【教育方法】

課題を発見し、解決する力や、能動的に学び続ける力、社会に貢献する姿勢を養うため、PBLやグループワーク、フィールドワーク等のアクティブラーニング型の科目と座学科目を組み合わせ、主体的・対話的で深い学びを実現する。

### (CP4-3) 【教育方法】

多様性を理解する力の向上のため、障がい児(者)理解、障がい児(者)支援に関わる科目を配置する。

### (CP5) 【教育方法・評価方法】

CAP制により十分な学修時間を確保し、授業時間外の学習を促すことで単位の実質化を図るとともに、明確で客観的な評価基準に基づく厳格な成績評価を実施する。

## 取得を推奨する資格

- 幼稚園教諭一種免許状 ●保育士資格 ●認定心理士 ●こども音楽療育士
- 園芸療法士 ●社会教育主事 ●児童指導員 ●認定絵本士

## 観光学部 観光ビジネス学科

### 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

観光ビジネス科は、所定の期間在学し、所定の単位数を修得し、下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。

#### 【専門知識・技能を活用する力】(知識・技能・判断力)

(DP1) 観光ビジネスに関する専門知識・技能を修得し活用することができる。

#### 【コミュニケーション能力】(思考力・表現力・主体性・多様性・協働性)

(DP2) 観光ビジネスに関する資料の内容理解・作成・発表ができ、相手に合わせて適切に自らの考えを伝えることができる。

#### 【課題を発見し、解決する力】(技能・思考力・判断力・表現力・主体性)

(DP3) 観光ビジネスや地域社会の現状を把握し、課題を分析し、適切な手段で計画的に課題解決に取り組むことができる。

#### 【多様性の理解と協働する力】(知識・主体性・多様性・協働性・関心)

(DP4) 言語や文化等が異なる多様な人々と円滑な関係を築く力を有し、目標達成のために協調して物事に取り組むことができる。

#### 【能動的に学び続ける力】(思考力・主体性・意欲)

(DP5) 自ら計画し、行動し、評価し、改善を図りながら継続的に学ぶことができる。

#### 【社会に貢献する姿勢】(主体性・多様性・協働性・意欲・関心)

(DP6) 地域社会に貢献する活動に自発的に取り組む意欲を有する。

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

観光学部観光ビジネス学科は、学生が卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)で示した資質・能力を身に付けることができるように、以下の方針に基づき教育課程を編成する。

#### (CP1) 【初年次教育】

高等学校から大学への円滑な移行を図るため、能動的に学び続ける力を身に付けることができるように、全学共通教育科目として初年次教育科目を配置する。

#### (CP2) 【教養教育】

幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、全学共通教育科目として人文、社会分野を中心に教養教育科目を配置する。

#### (CP3-1) 【専門教育】

観光学の基礎を身に付けるために観光学部基幹科目を設置する。

#### (CP3-2) 【専門教育】

観光ビジネスの現場に即したより専門的な知識習得のために観光学部専門科目を設置する。

#### (CP4-1) 【教育方法】

他者とのコミュニケーションを円滑にするために必要なPCスキル、ICTリテラシー等を身につける機会を設ける。

#### (CP4-2) 【教育方法】

演習やフィールドワークを通して、観光ビジネスや異文化交流の現場で実践的に学ぶ機会を設ける。

#### (CP4-3) 【教育方法】

座学、PBL、インターンシップやフィールドワークといった多様で実践的な学びの機会を設ける。

#### (CP5) 【教育方法・評価方法】

CAP制により十分な学修時間を確保し、授業時間外の学習を促すことで単位の実質化を図るとともに、明確で客観的な評価基準に基づく厳格な成績評価を実施する。

### 取得を推奨する資格

観 光 系… ●国内旅行業務取扱管理者 ●総合旅行業務取扱管理者 ●ツアーコンダクター (旅程管理主任者)

●北海道観光マスター検定 ●ホテルビジネス実務検定 ●観光ビジネス実務士

ビジネス系… ●実践キャリア実務士 ●ビジネス実務マナー検定 ●サービス接客検定

●秘書能力検定 ●簿記能力検定

語 学 系… ●TOEIC、TOEFL ●観光英語検定 ●実用英語技能検定 ●旅行業英語検定 ●ビジネス英語検定

●ボランティア通訳検定 ●中国語検定 ●韓国語検定

## スポーツ人間学部 スポーツビジネス学科

### 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

スポーツビジネス学科は、所定の期間在学し、所定の単位数を修得し、下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。

#### 【専門知識・技能を活用する力】(知識・技能・判断力)

(DP1) 情報を収集、整理、活用することができる。

#### 【コミュニケーション能力】(思考力・表現力・主体性・多様性・協働性)

(DP2) 人間関係やチームワークを形成するために、自分の意見をわかりやすく伝えることができる。

#### 【課題を発見し、解決する力】(技能・思考力・判断力・表現力・主体性)

(DP3) 現状を分析し、課題を明らかにするとともに、その解決に取り組むことができる。

#### 【多様性の理解と協働する力】(知識・主体性・多様性・協働性・関心)

(DP4) 地域住民や多様な関係者と相互理解を深め、目標に向かって合意形成に取り組むことができる。

#### 【能動的に学び続ける力】(思考力・主体性・意欲)

(DP5) 計画・行動・評価・改善を図りながら、知識・技術を更新し、継続的に学ぶことができる。

#### 【社会に貢献する姿勢】(主体性・多様性・協働性・意欲・関心)

(DP6) 地域に対する高い関心を持ち、理解を深め、社会に貢献することができる。

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

スポーツ人間学部スポーツビジネス学科は、学生が卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)で示した資質・能力を身に付けることができるように、以下の方針に基づき教育課程を編成する。

#### 【CP1】 【初年次教育】

高等学校から大学への円滑な移行を図るため、能動的に学び続ける力を身に付けることができるように、全学共通教育科目として初年次教育科目を配置する。

#### 【CP2】 【教養教育】

幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、全学共通教育科目として人文、社会分野を中心に教養教育科目を配置する。

#### 【CP3-1】 【専門教育】

スポーツ・健康・スポーツビジネスに関する専門的な知識・技能を身に付けることができるように、系統性と順次性を踏まえ、期別及び学年配置を行う。

#### 【CP3-2】 【専門教育】

スポーツ・健康・スポーツビジネスを中心にすえ、さらにそれらを複合的に扱う科目を配置し、学科専門科目を展開する。

#### 【CP3-3】 【専門教育】

全学共通科目との連動を図り、基礎的知識とスポーツ現場をつなぐ往還的な科目展開をする。

#### 【CP4-1】 【教育方法】

コミュニケーション能力や他者と協働する力の向上を図るため、PBLやグループワーク等のアクティブラーニングにより、主体的・対話的で深い学びを実現する。

#### 【CP4-2】 【教育方法】

知識・技術の習得と現場での活用を往還的に展開し、学びの意欲の喚起と現場で生きる知識・技術の習得を図る。

#### 【CP4-3】 【教育方法】

国内外での実践的なフィールドワーク科目を1・2年次に配置し、専門科目の学びへの意欲を高めるとともに、現場見学、ゲストによる聴講学習等により、現場を重視した実践的な学びを展開する。

#### 【CP4-4】 【教育方法】

リーダー養成の観点から、異学年共修型のピアサポートによるPBL等のアクティブラーニング型の科目を配置し、能動的・自主的な学修の充実を図る。

#### 【CP5】 【教育方法・評価方法】

CAP制により十分な学修時間を確保し、授業時間外の学習を促すことで単位の実質化を図るとともに、明確で客観的な評価基準に基づく厳格な成績評価を実施する。

### 取得を推奨する資格

●実践キャリア実務士 ●社会教育主事

【日本レクリエーション協会認定】 ●レクリエーションインストラクター ●スポーツ・レクリエーション指導者

【日本スポーツ協会認定】 ●公認コーチングアシスタント ●アシスタントマネジャー(受験資格)

●日商リテールマーケティング(販売士)検定3級・2級、簿記3級・2級 ●フィットネスクラブ・マネジメント技能士3級

【健康・体力づくり事業財団認定】 ●健康運動指導士(受験資格)

## スポーツ人間学部 スポーツ指導学科

### 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

スポーツ指導学科は、所定の期間在学し、所定の単位数を修得し、下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。

#### 【専門知識・技能を活用する力】(知識・技能・判断力)

(DP1) 専門知識を科学的視点に基づいて理解するとともに、各種の運動・スポーツならびにその指導を行うための技能に習熟し、それらを活用することができる。

#### 【コミュニケーション能力】(思考力・表現力・主体性・多様性・協働性)

(DP2) 集団において相互理解を深め、問題や課題について情報を共有し、自らの考えを伝えることができる。

#### 【課題を発見し、解決する力】(技能・思考力・判断力・表現力・主体性)

(DP3) 科学的視点に基づいた分析・検討により課題を明らかにし、合理的な手段を用いてその解決に取り組むことができる。

#### 【多様性の理解と協働する力】(知識・主体性・多様性・協働性・関心)

(DP4) スポーツ・インテグリティに対する理解に基づき、目標達成のために他者と協働して課題に取り組むことができる。

#### 【能動的に学び続ける力】(思考力・主体性・意欲)

(DP5) 信頼性と妥当性の高い情報の収集を通じて自らの計画・行動を評価し、改善を図りながら能動的に学ぶことができる。

#### 【社会に貢献する姿勢】(主体性・多様性・協働性・意欲・関心)

(DP6) スポーツの振興ならびに生涯スポーツの実現に向けた持続可能な取り組みを通じて、地域社会に貢献しようとする意欲を有する。

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

スポーツ人間学部スポーツ指導学科は、学生が卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)で示した資質・能力を身に付けることができるように、以下の方針に基づき教育課程を編成する。

#### 【CP1】 【初年次教育】

高等学校から大学への円滑な移行を図るため、能動的に学び続ける力を身に付けることができるように、全学共通教育科目として初年次教育科目を配置する。

#### 【CP2】 【教養教育】

幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、全学共通教育科目として人文、社会分野を中心に教養教育科目を配置する。

#### 【CP3-1】 【専門教育】

学科専門科目としてスポーツ指導分野に関する基礎的知識と技能の科学的視点からの理解に関する科目を配置する。

#### 【CP3-2】 【専門教育】

学科専門科目としてスポーツパーソンシップ及びリーダーシップに基づく指導力の獲得に関する科目を配置する。

#### 【CP3-3】 【専門教育】

学科専門科目としてスポーツ指導分野の課題分析力の修得に関する科目を配置する。

#### 【CP4-1】 【教育方法】

専門的な知識及び技能、倫理的思考力の育成を目的とした科目群を編成し、実践的、能動的な学修環境の整備に繋げる。

#### 【CP4-2】 【教育方法】

演習、実習、インターンシップ等を通じた実践的・体験的な学びの機会を設け、学生の能動的な学修環境を整備する。

#### 【CP4-3】 【教育方法】

キャリア形成の観点から、学生の社会的・職業的な自立に必要な能力・態度の育成を図るために、教育過程における科目の位置づけと各科目において達成すべき目標を明示する。

#### 【CP5】 【教育方法・評価方法】

CAP制により十分な学修時間を確保し、授業時間外の学習を促すことで単位の実質化を図るとともに、明確で客観的な評価基準に基づく厳格な成績評価を実施する。

### 取得を推奨する資格

- 中学校教諭一種免許状(保健体育) ● 高等学校教諭一種免許状(保健体育) ● 社会教育主事 ● 実践キャリア実務士
- 【日本スポーツ協会認定】 ● 公認コーチングアシスタント ● ジュニアスポーツ指導員
- 【日本レクリエーション協会認定】 ● レクリエーションインストラクター ● スポーツ・レクリエーション指導者
- 【日本トレーニング指導者協会認定】 ● トレーニング指導者
- 【日本ストレングス&コンディショニング協会(NSCAジャパン)認定】
- ストレングス&コンディショニングスペシャリスト(CSCS) ● パーソナルトレーナー(NSCA-CPT)
- 【健康・体力づくり事業財団認定】 ● 健康運動指導士

## 札幌国際大学大学院のポリシー

### 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

札幌国際大学大学院は、建学の礎に則り、専門領域における学術理論および応用に関して教授研究しその深奥を究め、高度専門職業人としての実践能力を身に付け、社会・文化の進展に寄与することを目的としている。(大学院学則第1条)

この教育目的に示す通り、学生が修了までに下記に示す姿勢や能力を身に付けることを求めており、各研究科において所定の期間在学し、教育目的に沿って設定した授業科目を履修し、所定の単位数を修得して、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文または特定の課題についての研究成果の審査および試験に合格した者に学位規則に従い修士の学位を授与する。

- ①真理を探究し、自由を愛し、自らを省みる姿勢を身に付けた学生
- ②理想を求め、明日の地域社会、国際社会へ寄与する姿勢を身に付けた学生
- ③各専門領域において高度な専門知識、研究能力、技能を身に付けた学生
- ④各専門領域において高度専門職業人としての実践能力を身に付けた学生

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

札幌国際大学大学院は、建学の礎に則り、専門領域における学術理論および応用に関して教授研究しその深奥を究め、高度専門職業人としての実践能力を身に付け、社会・文化の進展に寄与することを目的としている。(大学院学則第1条)

卒業認定・学位授与の方針に示す自由、自立、自省の姿勢、地域社会、国際社会への貢献姿勢、高度な知識、技能、実践能力を身に付けた高度専門職業人を育成するため、各研究科においてこれらを達成するための教育課程を編成し実施する。

- ①教育課程を通じて自由、自立、自省の姿勢を醸成する。  
配置されている授業を通じての深い学識の修得、様々な学術分野の研究蓄積に対する接近を促し、思考力、判断力の育成に努める。
- ②演習科目等を通じて地域社会等への貢献姿勢を醸成する。  
自己の思考、判断の妥当性、信頼性を確認するため、地域社会における実践場面を提供する。
- ③各専門領域の講義、演習、実習等を適切に組み合わせる。  
専門分野に関する深い学識を修得するため、体系的に講義、演習、実習等の授業を配置し、研究科の教育目的に沿った編成となっている。
- ④各専門領域において高度な実践能力を養うため地域社会等との協同を深める。  
専門分野においては地域社会等において実践的考察を行う機会を提供しているが、こうした機会における実践的考察は地域社会等の人たちの協力の下で行われるため、協同の構えを備え、地域社会等との好ましい関係を形成することが不可欠となる。

## 観光学研究科 観光学専攻修士課程

### 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

学位:修士(観光学)

「観光文化、観光振興、観光産業・事業を研究領域とし、日本の観光産業の発展と観光を通じた地域づくりの実践に資する高度な専門職業人を養成する」という本研究科の目的を達成するため、下記の通り修士課程修了までに修得すべき能力を定める。これらの能力は研究科の所定単位修得と修士論文審査および試験の合格により、その達成を判断し、学位規則に従い修士(観光学)の学位を授与する。

#### 教育目標:修了までに修得すべき能力

- ①観光産業の発展および観光を通じた地域づくりの実践に資する高度な専門的理論および応用知識
- ②日本の観光産業および観光を通じた地域づくりに貢献し得るコミュニケーション能力
- ③高度な専門職業人として要求される汎用技能

#### 卒業認定(修了)・学位授与

下記の要件をすべて満たす学生は修士の課程を修了したものと認める。

- ①本研究科に2年以上在学すること。ただし、特に優れた業績を上げた者については、本研究科に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ②必修科目6単位、選択科目24単位以上で最低必要単位数30単位以上を修得すること。
- ③必要な研究指導を受け、修士論文を提出し、審査および試験に合格すること。

※職業を有しているなどの事情により、2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する学生がその旨を申し出た時には、長期履修学生として認める。

#### 単位修得

教育課程から、必修3科目6単位、選択科目A類・B類・C類の各区分から4単位以上、D類から6科目12単位以上、併せて30単位以上を修得することが必要である。

#### 修士論文審査

修士論文は、概ね以下のような基準により評価される。

- ①論文で用いた分析概念および研究内容に独創性がみられる。(独創性)
- ②テーマおよび問題意識ならびに論理構成および結論が明確である。(明確性)
- ③先行研究の吟味および調査研究の吟味が十分なされている。(信頼性)
- ④適切な表現、専門用語を用いていて、結論に導くまでの論文構成が妥当である。(妥当性)
- ⑤将来、観光研究の蓄積および観光事業・観光振興に寄与できる。(将来性)

#### 面接試験

面接試験は、概ね以下のような基準により評価される。

- ①論文の論旨が明確である。
- ②論文の説明がわかりやすい。
- ③質問に対して的確に答えている。

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

本研究科では、ディプロマ・ポリシー達成のため、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施する。

観光学研究科観光学専攻は、日本の観光産業の発展と観光を通じた地域づくりの実践に資する高度な専門職業人を養成することを目的としており、この目的を達成するため教育課程は「観光文化」、「観光振興」、「観光産業・事業」領域から編成されている。

#### 教育課程

- ①授業科目は「必修科目」と「選択科目」で構成されており、「必修科目」の「観光研究テーマ演習」「修士論文指導演習I・II」の3科目6単位は学生が観光学の学識を深め、研究テーマに関わる思考力を育成する上で不可欠な授業科目として位置づけている。
- ②観光学の理論に関しては選択科目のA類に、方法に関しては主として選択科目のB類、C類、D類に、応用に関しては主として選択科目のB類、D類に配置している。必修科目に配置されている3科目は修士論文または課題研究(特定の課題)作成のための個別指導に重点を置いたものであり、1年目に論文構想、2年目に論文作成といった段階的編成となっているが、長期履修(3年～5年)の場合は履修期間に応じて指導体制を整えている。
- ③観光学研究は様々な観光場면을対象としているため、D類の科目数は他類より多く配置している。
- ④学生の能動的学修の充実を図るため、適宜、学生が研究のためフィールドで学ぶ機会を用意している。D類に配置されている科目では学生の思考力、判断力の妥当性、信頼性を確認するため、フィールドワークの機会が用意されており、地域社会等との接触の中で協同する姿勢、自己の思考力、判断力を磨き、実践力を身に付けることになる。

本研究科では、成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等ならびに学則、規程等に定める所定単位修得、修士論文審査および試験により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

## 心理学研究科 臨床心理専攻修士課程

### 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

学位:修士(臨床心理)

「臨床心理学の実践を通じ、地域社会に貢献する人材を輩出する」という本研究科の目的を達成するため、下記の通り修士課程修了までに修得すべき知識と技能を定める。これらの能力(知識・技能)は研究科の教育課程による所定の単位の修得と課題研究論文審査および試験の合格により、その達成を判断し、学位規則に従い修士(臨床心理)の学位を授与する。

**教育目標:修了までに修得すべき能力**

- ①臨床心理に関する高度な知識と技能
- ②臨床心理学的研究法と観察事実の分析法
- ③自己の意見や思考を論理的に伝える論文作成能力と発表の技能
- ④現代社会の臨床心理的課題の理解

**卒業認定(修了)・学位授与**

下記の要件をすべて満たす学生は修士の課程を修了したものと認める。

- ①本研究科に2年以上在学すること。ただし、特に優れた業績を上げた者については、本研究科に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ②定められた履修要件によって必修科目・選択必修科目を含む38単位以上を履修すること。
- ③必要な研究指導を受け、課題研究論文を提出し、審査および試験に合格すること。

※職業を有しているなどの事情により、2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する学生がその旨を申し出た時には、長期履修学生として認める。

**単位修得**

- ①教育課程から、必修14科目26単位、選択科目A～E科目群からそれぞれ1科目2単位以上を含む合計12単位以上を修得することが必要である。
- ②実習科目の履修は基礎から応用の順序に従い、科目内と科目間で総合的に実施される臨床心理学的スーパーバイズを受け、カンファレンスへの出席が必須である。

**課題研究作成**

- ①研究科の定める「課題研究作成ガイド」に従い課題研究を提出する。
- ②入学者は1年目に、研究テーマと研究計画書を準備し、2年目に「課題研究指導I・II」により課題研究指導を受け、さらに本学研究科の臨床心理士の指導を適宜受け論文を執筆する。
- ③課題研究のテーマは臨床心理学に資するもので、調査研究、実践研究、実験報告、観察報告など、資料に基づく論考でなければならない。
- ④テーマおよび研究計画は本研究科研究倫理審査委員会の審査を受けなければならない。

**課題研究論文審査**

提出された課題研究について、研究目的、方法、結果、考察、今後の課題等について、構想力、実証性、構成員・表現力、論述・倫理性の観点から複数の教員により評価される。

**面接試験**

提出された論文に関し、研究目的、方法、結果、考察、今後の課題等に関連した質疑応答により、説明能力、知識、臨床能力、質疑応答能力の観点から複数の教員により評価される。

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

本研究科では、ディプロマ・ポリシー達成のため、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施する。

心理学研究科臨床心理専攻は、高度で専門的な職業能力を有し、社会の要請に応じることのできる臨床心理実務技能を有する人材を養成することを目的としており、この目的を達成するため下記の教育課程を編成している。また、本研究科は日本臨床心理士認定協会の第1種指定校として認定されており、その認定要件も満たすものとしている。

**教育課程**

- ①授業科目は「必修科目」、「選択科目」、「実習科目」から構成されており、「必修科目」は臨床心理学の基礎理論を修得する「臨床心理学特論I」から対人援助の基本となる面接の基本的考え方、心理査定の方法論等を修得する「臨床心理面接特論I」、「臨床心理査定演習I」、心理臨床の人間観、臨床の具体的技法を修得する「臨床心理基礎実習I」等が配置されている。「選択科目」は発達、認知、家族といった幅広い心理学の理論、方法等を修得する科目が配置されている。「実習科目」は心理士の実践場面等を想定し、学識と経験を高める実務型の科目が配置されている。
- ②臨床心理の理論や研究を実践する実際の体験を通じ、心理士として必要な知識と技能を培うため、選択の実習科目の履修時期は、履修者の学習計画を考慮して展開する。
- ③実習科目の履修と評価に関する「実習の手引き」を準備し、効果的な指導を行う。学生は実践、実務実習場面を通じて他者と協同する姿勢等を修得することになる。
- ④長期履修(3年)の場合は履修期間に応じて指導体制を整えている。

本研究科では、成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等ならびに学則、規程等に定める所定単位修得、課題研究論文審査および試験により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

## スポーツ健康指導研究科 スポーツ健康指導専攻修士課程

### 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

学位:修士(スポーツ健康指導)

「スポーツ健康領域における専門性の高い理論、指導技法および実践法を修得し、少子高齢化社会におけるスポーツを通じた健康の維持および増進に寄与する高い実践能力を有するスポーツ健康指導者を養成する」という本研究科の目的を達成するため、下記の通り修士課程修了までに修得すべき能力を定める。これらの能力は、研究科の所定単位修得と課題研究論文審査および試験の合格により、その達成を判断し、学位規則に従い修士(スポーツ健康指導)の学位を授与する。

**教育目標:修了までに修得すべき能力**

- ①スポーツ健康指導者に不可欠な専門的知識
- ②スポーツ健康指導者としての指導・実践能力と人間形成に関わる思考や経験知
- ③子どもおよび高齢者を対象としたスポーツ健康指導の実践能力
- ④研究テーマを考え、研究を行う一連の過程で培われる能力

**卒業認定(修了)・学位授与**

下記の要件をすべて満たす学生は修士の課程を修了したものと認める。

- ①本研究科に2年以上在学すること。ただし、特に優れた業績を上げた者については、本研究科に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ②定められた履修要件によって必修科目・選択必修科目を含む30単位以上を履修すること。
- ③必要な研究指導を受け、課題研究論文を提出し、審査および試験に合格すること。

※職業を有しているなどの事情により、2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する学生がその旨を申し出た時には、長期履修学生として認める。

**単位修得**

教育課程から、必修9科目18単位、選択科目17科目から12単位以上を含む合計30単位以上を修得することが必要である。

**課題研究作成**

<健康社会分野>、<身体構造と運動機能分野>および<スポーツ健康指導分野>のいずれかの領域の教育研究を十分に担当できる専任教員のもと、課題研究成果となる課題研究論文作成を行う。

**課題研究論文審査**

- ①課題研究論文審査委員会の設置

課題研究論文を審査するための機関として、研究科長を委員長とする課題研究論文審査委員会を研究科内に設置する。委員長は、提出された課題研究論文毎に、課題研究を担当する専任教員から審査委員2名を選出する。当該学生の研究指導者以外の委員1名を主査とし、研究指導者を副査とする。

- ②審査方法

所定の期日までに提出された課題研究論文を評価する。評価項目は、研究の独自性、構成力および表現力とする。さらに、面接審査を行い、その内容を問う。

- ③審査結果

課題研究論文の審査結果は合格、不合格または再提出とする。

- ④再提出

課題研究論文に不備がある場合には、再提出とすることがある。再提出は、指摘された問題点を修正し、2週間以内に行うものとする。再提出された課題研究論文は通常の課題研究論文審査方法に準じて評価される。

**面接試験**

提出された論文に関し、研究目的、方法、結果、考察、今後の課題等に関連した質疑応答により、研究の独自性、構成力および表現力の観点から、複数の教員によって評価される。

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

本研究科では、ディプロマ・ポリシー達成のため、またスポーツ健康領域における専門性の高い理論、指導技法および実践法を修得し、少子高齢化社会におけるスポーツを通じた健康の維持および増進に寄与する高い実践能力を有するスポーツ健康指導者を養成するという研究科の目的を達成するため、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施する。

**教育課程**

- ①「スポーツ健康基本科目」において、スポーツ健康指導者に不可欠な、現代社会における健康の諸問題や身体構造と運動機能に関する科目を配置している。ここでは「身体運動機能特論」、「人体構造学特論」、「健康社会学特論」を「必修科目」としている。
- ②「スポーツ健康指導科目」において、スポーツ健康指導に必要な理論、指導技法および実践法を修得するための科目を配置しているのみならず、自己の人間形成に関わる思考や経験知を修得するための科目を配置している。身体機能の発達とトレーニング、身体機能の老化と運動訓練の観点から指導できる指導技法および実践法を重視した科目を配置している。ここでは「コーチング特論」、「健康教育特論」を「必修科目」としている。また、研究科の特色である地域との協同を基軸とした「高齢者スポーツ演習」、「ジュニアスポーツ演習」を配置している。
- ③「研究指導演習科目」において、研究テーマを考え、研究を行い、その一連の過程で培われる能力の修得のための科目を配置している。
- ④長期履修(3年~4年)の場合は履修期間に応じて指導体制を整えている。

本研究科では、成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等ならびに学則、規程等に定める所定単位修得、課題研究論文審査および試験により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

## ナンバリング

2022年度以降入学学生用の教育課程表（カリキュラム）には科目ナンバーが付番されています。

ナンバリングとは、授業科目を分類し、個別の番号を付番することにより、科目レベルや学問分野などを明確にし、教育課程を体系的にわかりやすく明示するものです。

科目ナンバリングの導入により、科目間の関連や難易度がわかりやすくなりますので、体系的な履修計画に役立ててください。

本学のナンバリングの定義は以下の通りです。

XXX	00	0	00	X
①	②	③	④	⑤
主催区分	科目レベル	学問分野	順序性・ 整理番号	授業形態

### ① 主催区分 科目が開講する主催学科等をアルファベット3文字で示しています。

- LAS：全学共通教育科目
- LAG：人文学部国際教養学科科目
- CLP：人文学部心理学科臨床心理専攻
- PCD：人文学部心理学科子ども心理専攻
- TRM：観光学部観光ビジネス学科
- SPB：スポーツ人間学部スポーツビジネス学科
- SPI：スポーツ人間学部スポーツ指導学科
- LIC：資格・免許取得に関する科目

### ② 科目レベル 科目の水準を2桁の数字（00～09）で示しています。

- 00：リメディアル科目、大学入学前に修得すべき内容を扱う卒業要件外の科目
- 01：学士課程（全学共通教育科目：初年次教育科目）
- 02：学士課程（全学共通教育科目：教養教育科目、言語情報教育科目）
- 03：学士課程（全学共通教育科目：キャリア教育科目、体験教育科目）
- 04：学士課程（学部共通科目、学科基礎科目：基礎）
- 05：学士課程（学部共通科目、学科基礎科目：応用・発展）
- 06：学士課程（学科専門科目：基礎）
- 07：学士課程（学科専門科目：応用・発展）
- 08：学士課程（最終段階水準の科目）
- 09：学士課程（留学生科目）
- 13：教職課程に関する科目
- 14：図書館司書課程に関する科目
- 15：社会教育主事に関する科目

### ③ 学問分野 各学科等における学問分野を1桁の数字（0～9）で示しています。

**【全学共通教育科目】、【国際教養学科】、【図書館司書課程に関する科目】、【社会教育主事に関する科目】**

- 0：総記・哲学
- 1：文学・言語学
- 2：歴史学・地理学・考古学・民俗学
- 3：社会学・法学・政治学・経済学・経営学
- 4：自然科学・環境・医学
- 5：教育学・心理学
- 6：技術・工業・情報系
- 7：産業・通信
- 8：芸術・スポーツ
- 9：その他（初年次科目・卒業研究・課題解決型学習・海外研修・フィールドワーク）

## 【教職課程に関する科目】

- 1：教育の基礎的理解に関する科目
- 2：道徳、総合的な学習の時間の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目
- 3：教育実践に関する科目
- 4：各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)
- 5：大学が独自に設定する科目

## 【心理学科臨床心理専攻】

- 0：総記
- 1：ゼミナール科目
- 2：基礎科目群(a心理学概論、b心理学研究法、c心理学実験)
- 3：知覚・認知・学習心理学
- 4：生理・神経・比較心理学
- 5：教育・学校・発達心理学
- 6：臨床・人格・障害心理学
- 7：社会・集団・産業・家族心理学
- 8：医学、法律、福祉
- 9：園芸療法

## 【心理学科子ども心理専攻】

- 0：総記
- 1：ゼミナール科目
- 2：心理学基礎科目
- 3：心理学応用科目
- 4：保育・教育理論
- 5：保育内容方法
- 6：保育表現技術
- 7：実習
- 8：資格科目(園芸療法、子ども音楽療育)
- 9：その他

## 【観光ビジネス学科】

- 0：概論科目群
- 1：観光基礎科目群(観光基礎論系・外国語コミュニケーション系)
- 2：観光基礎実務科目群
- 3：ゼミナール科目群(演習)
- 4：卒業研究
- 5：観光産業ユニット(運輸系)
- 6：観光産業ユニット(宿泊系)
- 7：観光産業ユニット(旅行業系)
- 8：観光産業ユニット(総合)
- 9：グローバルユニット(総合)

## 【スポーツビジネス学科】

- 0：演習
- 1：体育社会学・体育心理学
- 2：発育発達・健康づくり
- 3：体育方法
- 4：スポーツ人類学・スポーツ政策
- 5：体育実技
- 6：スポーツビジネス
- 7：スポーツフィールドワーク

## 【スポーツ指導学科】

- 0：演習
- 1：体育社会学・体育心理学
- 2：運動生理学・発育発達
- 3：バイオメカニクス・測定評価
- 4：体育方法
- 5：保健・健康づくり・スポーツ医学
- 6：スポーツ人類学・スポーツ政策
- 7：体育実技

## ④ 順序性・整理番号 (01～99)

## ⑤ 授業形態

- L：講義
- S：演習
- E：実験
- P：実習・実技
- T：卒業論文、卒業研究、卒業制作、論文指導
- Z：その他

## 【全学共通教育科目】(札幌国際大学学則別表第1)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数		授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件
		必修	選択						
初年次教育科目	学びの技法[国際教養]	LAS01901S	2		演習	1年	春1Q 朝倉 一民 岩崎 有朋 宇留野 健太 保浦 聡		
	[臨床心理]					春1Q	朝倉 一民 岩崎 有朋 保浦 聡		
	[子ども心理]					春1Q	松浦 秀太 岩崎 有朋 須藤 宏志		
	[スポーツビジネス]					春1Q	保浦 聡 朝倉 一民 岩崎 有朋		
	[スポーツ指導]					春1Q	義明 智恵 樋原 智恵 朝倉 一民		
	[観光ビジネス]					春1Q	岩崎 有朋 朝倉 一民 河本 洋一 樋原 智恵		
	[未修得] [秋入学]					秋1Q 秋1Q	岩崎 有朋 岩崎 有朋		
学生と社会[国際教養]	LAS01902S	2		演習	1年	秋2Q 秋1Q 秋1Q 秋1Q 秋1Q 秋1Q	小内 透 吉崎 俊一郎 伊藤 桂子 遠藤 正 橋場 俊輔 河本 洋一		
基礎ゼミⅠ [国際教養]	LAS01903S	2		演習	1年	春学期 春学期 春学期 春学期 春学期 春学期 秋学期 秋学期	石田 麻英子 黄 旭暉 コクスフォード リチャード 高倉 純 武井 昭也 椿 明美 野崎 剛毅 濱田 剛一 青木 美和子 橋本 久美 松浦 秀太 吉崎 俊一郎 伊藤 桂子 須藤 宏志 田村 めぐみ 田子 大地 竹元 賢治 坪山 義明 横山 克人 阿井 英二郎 竹田 安宏 苔米地 里香 橋場 俊輔 安田 純輝 呉 泰均 金庭 香理 顔 欒蘭 斉藤 巧弥 陳 堯柏 田中 洋一郎 細野 弥恵 青木 美和子 河本 洋一		
基礎ゼミⅡ [国際教養]	LAS01904S	2		演習	1年	秋学期	石田 麻英子 黄 旭暉 コクスフォード リチャード 高倉 純 武井 昭也 椿 明美 野崎 剛毅 濱田 剛一		

## 【全学共通教育科目】(札幌国際大学学則別表第1)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数		授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件	
		必修	選択							
[臨床心理]						秋学期	青木 美和子 橋本 久美 松浦 秀太 吉崎 俊一郎			
[子ども心理]						秋学期	伊藤 桂子 須藤 宏志 田村 めぐみ			
[スポーツビジネス]						秋学期	横山 克人 竹元 賢治 坪山 義明 田子 大地			
[スポーツ指導]						秋学期	阿井 英二郎 竹田 安宏 苫米地 里香 橋場 俊輔 安田 純輝			
[観光ビジネス]						秋学期	呉 泰均 金庭 香理 顔 欒蘭 斉藤 巧弥 田中 洋一郎 陳 堯柏 細野 弥恵			
教養教育科目	人文	人間と文学		2	講義	3年	春2Q	黄 旭暉		人文、社会、日本文化、 芸術・スポーツ各分野 から1科目以上計10 単位以上修得
		人間と哲学[人文・観光] [スポーツ]	LAS02104L	2	講義	2年	春1Q 秋1Q	大小田 重夫 大小田 重夫		
		人間と心理[人文] [観光・スポーツ]	LAS02105L	2	講義	2年	春2Q 秋1Q	永井 敦 永井 敦		
		人間と歴史[人文] [観光・スポーツ]	LAS02106L	2	講義	1年	春1Q 春2Q	横川 大輔 横川 大輔		
		言語学	LAS02107L	2	講義	1年	秋1Q	細野 弥恵		
	社会	生涯学習論[人文・観光] [スポ]	LAS02301L	2	講義	2年	秋1Q 秋2Q	松井 翔惟 松井 翔惟		
		社会と経済	LAS02302L	2	講義	1年	春2Q 秋1Q	竹元 賢治 竹元 賢治		
		社会と経営	LAS02303L	2	講義	2年	春2Q	遠藤 正		
		社会と法	LAS02304L	2	講義	2年	秋1Q	渡口 紘子		
		日本国憲法[人文・観光] [スポーツ]	LAS02305L	2	講義	2年	春2Q 秋2Q	山田 哲 山田 哲		
		社会学	LAS02306L	2	講義	1年	秋1Q	小内 透		
		社会とメディアの倫理	LAS02307L	2	講義	2年	秋2Q	保浦 聡		
		日本文化	日本文化論[人文・短大] [観光・スポ]	LAS02204L	2	講義	1年	秋1Q 秋2Q	横川 大輔 横川 大輔	
	日本文化演習(茶道)		LAS02205S	2	演習	2年	春学期 秋学期	深浦 尚子 深浦 尚子 和久野 みゆき		
	日本文化演習(華道)		LAS02206S	2	演習	2年	春学期 秋学期	柏葉 弥生 柏葉 弥生		
	日本文化演習(書道)		LAS02207S	2	演習	2年	春学期 秋学期	山中 草叶 山中 草叶		
	芸術・スポーツ	芸術論Ⅰ [英語による授業]	LAS02805L	2	講義	3年	春1Q 春2Q	藤垣 エミリア 藤垣 エミリア		
		芸術論Ⅱ	LAS02806L	2	講義	3年	秋1Q	藤垣 エミリア		
		日本の音楽	LAS02807S	2	演習	1年	春2夏	須藤 宏志 竹内 亜紀		
		音楽実践	LAS02808S	2	演習	2年	秋1Q	松井 亜樹		
スポーツⅠ		LAS02801P	2	演習	1年	春学期	粟野 祐弥 金 誠 工藤 大輝 竹田 安宏 苫米地 里香 橋場 俊輔			
スポーツⅡ		LAS02802P	2	演習	1年	秋学期	粟野 祐弥 金 誠 工藤 大輝 土肥 崇史 橋場 俊輔			

## 【全学共通教育科目】(札幌国際大学学則別表第1)

授業科目名		科目 ナンバー	単位数 必修 選択	授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件
地域・国際教育科目	地域 地域探究	フィットネスⅠ	LAS02803S	2	演習	2年	春1Q	粟野 祐弥	
		フィットネスⅡ	LAS02804S	2	演習	2年	秋2Q	粟野 祐弥	
		地域学	LAS02208L	2	講義	2年	春2Q	小内 透	
		北海道学	LAS01201L	2	講義	2年	秋2Q	小内 透	
		地域アクティビティⅠ(ボランティア)	LAS01905S	2	演習	1年	春学期	新谷 弥 平塚 彰	
		地域アクティビティⅡ(清田)	LAS01906S	2	演習	1年	春1Q	平塚 彰	
	国際	地域アクティビティⅢ(北海道)	LAS02907S	2	演習	2年	春2Q	平塚 彰	
		サステナビリティ	LAS02308L	2	講義	3年	春2Q	菅井 貴子	
		多文化共生論	LAS02309L	2	講義	2年	春2Q	野崎 剛毅	
		国際事情	LAS02310L	2	講義	2年	秋2Q	吳 泰均	
		クールジャパン	LAS02311L	2	講義	1年	冬集中	濱田 剛一	
		海外ボランティア・インターンシップⅠ	LAS02908P	2	演習	2年	春2Q 秋2Q	石田 麻英子 椿 明美 濱田 剛一 石田 麻英子 椿 明美 濱田 剛一	
		海外ボランティア・インターンシップⅡ	LAS02909P	2	演習	2年	春2Q 秋2Q	石田 麻英子 椿 明美 濱田 剛一 石田 麻英子 椿 明美 濱田 剛一	
		海外研修Ⅰ	LAS02910P	2	演習	1年	春2Q	趙 恵真	
		海外研修Ⅱ	LAS02911P	2	演習	1年	春2Q	(未定)	
		海外研修Ⅲ	LAS02912P	2	演習	1年	春2Q	黄 旭暉	
		海外研修Ⅳ	LAS02913P	2	演習	1年	秋2Q	デントン ルーカス	
言語情報教育科目	言語	日本語表現入門	LAS01202S	2	演習	1年	春学期	藤田 綾 高橋 伸	必修10単位を含み16 単位以上修得
		日本語表現Ⅰ [国際教養]	LAS01101S	2	演習	1年	春学期	赤岩 輝雄 高橋 伸 森岡 毅	
		[臨床心理]				春学期	上野 直幸 東谷 一彦		
		[子ども心理]			春学期	森岡 毅 赤岩 輝雄			
		[スポーツ]			春学期	上野 直幸 赤岩 輝雄			
		[観光ビジネス]			春学期	寺山 千紗都 森岡 毅			
		[未修得] [入門スタート]			春学期 秋学期	宇留野 健太 金庭 香理 東谷 一彦 高橋 伸 藤田 綾 高橋 伸			
		日本語表現Ⅱ [国際教養]	LAS01102S	2	演習	1年	秋学期	赤岩 輝雄 高橋 伸 森岡 毅	
		[臨床心理]			秋学期	上野 直幸 東谷 一彦			
		[子ども心理]			秋学期	森岡 毅 赤岩 輝雄			
[スポーツ]			秋学期	上野 直幸 赤岩 輝雄					
[観光ビジネス]			秋学期	寺山 千紗都 森岡 毅					
[未修得] [入門スタート]			秋学期 秋学期 秋学期	宇留野 健太 金庭 香理 東谷 一彦 森岡 毅 藤田 綾 高橋 伸 藤田 綾 高橋 伸					
日本語表現Ⅲ	LAS01203S	2	演習	2年	未開講				

## 【全学共通教育科目】(札幌国際大学学則別表第1)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数 必修 選択	授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件
英語Ⅰ[人文]  [スポーツ]  [観光]  [多文化] [未修得]	LAS02108L	2	演習	1年	春学期  春学期  春学期  春学期 春学期	石田 麻英子 吉岐 朱花 ウン ファーリン 佐々木 朋子 フレナー テイビット 佐々木 朋子 デントン ルーカス フレナー テイビット マーフィー マーティン ジョーセフ 佐々木 朋子 デントン ルーカス 陳 堯柏 マーフィー マーティン ジョーセフ コクスフォード リチャード 陳 堯柏		
英語Ⅱ[人文]  [スポーツ]  [観光]  [多文化] [未修得]	LAS02109L	2	演習	1年	秋学期  秋学期  秋学期  秋学期 秋学期	石田 麻英子 吉岐 朱花 ウン ファーリン 佐々木 朋子 フレナー テイビット 佐々木 朋子 デントン ルーカス フレナー テイビット マーフィー マーティン ジョーセフ 佐々木 朋子 陳 堯柏 デントン ルーカス マーフィー マーティン ジョーセフ コクスフォード リチャード 陳 堯柏		
英語Ⅲ	LAS02110L	2	演習	2年	春1Q	コクスフォード リチャード		
英語Ⅳ	LAS02111L	2	演習	2年	秋1Q	コクスフォード リチャード		
ConversationⅠ	LAS02112L	2	演習	1年	春1Q	デントン ルーカス		
ConversationⅡ [多文化]	LAS02113L	2	演習	1年	秋1Q 夏集中	デントン ルーカス デントン ルーカス		
CLILⅠ(英語で文化を学ぶ)	LAS02114L	2	演習	3年	春2Q	デントン ルーカス		
CLILⅡ(英語で文化を学ぶ)	LAS02115L	2	演習	3年	秋2Q	コクスフォード リチャード		
TOEICⅠ	LAS02116L	2	講義	2年	秋1Q	富田 敏明		
TOEICⅡ	LAS02117L	2	講義	3年	春1Q	富田 敏明		
中国語Ⅰ[人文(春)] [スポーツ(春)] [観光(春)] [(秋)]	LAS02118L	2	演習	1年	春学期 春学期 春学期 秋学期	張 琴琴 崔 鵬 崔 鵬 崔 鵬 張 琴琴		
中国語Ⅱ[人文(秋)] [観光・スポ(秋)] [2年生以上]	LAS02119L	2	演習	1年	秋学期 秋学期 春学期	張 琴琴 崔 鵬 張 琴琴		
中国語Ⅲ	LAS02120L	2	演習	2年	春学期	顔 樂蘭		
中国語Ⅳ	LAS02121L	2	演習	2年	秋学期	顔 樂蘭		
韓国語Ⅰ[人文(春)] [スポーツ(春)] [観光(春)] [(春2Q)] [人文(秋)] [スポーツ・観光(秋)]	LAS02122L	2	演習	1年	春1Q 春1Q 春1Q 春2Q 秋1Q 秋1Q	韓 然善 趙 惠真 呉 泰均 趙 惠真 趙 惠真 韓 然善		
韓国語Ⅱ[人文(春)] [スポーツ・観光(春)] [人文(秋)] [スポーツ・観光(秋)]	LAS02123L	2	演習	1年	春2Q 春2Q 秋2Q 秋2Q	韓 然善 趙 惠真 趙 惠真 韓 然善		
韓国語Ⅲ	LAS02124L	2	演習	2年	秋1Q	趙 惠真		
韓国語Ⅳ	LAS02125L	2	演習	2年	秋2Q	趙 惠真		
情報機器操作[国際教養]  [臨床心理]  [子ども心理]	LAS02601S	2	演習	1年	春2Q  春2Q  春2Q	朝倉 一民 前多 香織 安井 政樹 朝倉 一民 前多 香織 安井 政樹 安井 政樹 前多 香織		

## 【全学共通教育科目】(札幌国際大学学則別表第1)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数 必修 選択	授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件
[スポーツビジネス]					春2Q	朝倉 一民 樋原 智恵		
[スポーツ指導]					春2Q	安井 政樹 朝倉 一民		
[観光ビジネス]					春2Q	樋原 智恵 安井 政樹		
[秋入生] [未修得]					秋2Q 冬集中	朝倉 一民 樋原 智恵 安井 政樹 岩崎 有朋 安井 政樹		
表計算	LAS02602S	2	演習	1年	秋1Q	朝倉 一民 岩崎 有朋		
文書作成	LAS02603S	2	演習	1年	秋2Q	朝倉 一民 安井 政樹		
プロジェクトマネジメント	LAS02604L	2	演習	1年	秋学期	工藤 敦		
AI・データサイエンス	LAS02605S	2	演習	2年	春2Q	朝倉 一民 岩崎 有朋		
ITパスポート演習	LAS02606S	2	演習	2年	春2Q	岩崎 有朋		
文系のための数学入門	LAS02607L	2	演習	1年	秋2Q	菅原 和良		
キャリア形成論[国際教養] [臨床心理] [子ども心理] [スポーツビジネス] [スポーツ指導] [観光ビジネス]	LAS03312L	2	講義	1年	秋2Q 秋2Q 秋2Q 秋2Q 秋2Q 秋2Q	榎 明美 榎 明美 新谷 弥 原 一将 平塚 彰 平塚 彰		必修4単位を含み8単位以上修得
キャリアデザイン[国際教養] [臨床心理] [子ども心理] [スポーツビジネス] [スポーツ指導] [観光ビジネス]	LAS03313L	2	演習	2年	秋1Q 秋1Q 秋1Q 秋1Q 秋1Q 秋1Q	榎 明美 榎 明美 愛下 啓恵 原 一将 原 一将 平塚 彰		
キャリア研究[人文] [スポーツ] [観光]	LAS03314S	2	演習	3年	春学期 春学期 春学期	平塚 彰 原 一将 平塚 彰		
新聞で読む社会事情	LAS03315L	2	講義	3年	春2Q	平塚 彰		
SIU 特講	LAS03316L	2	講義	2年	秋2Q	原 一将		
ビジネス実務総論	LAS03317L	2	講義	2年	春1Q	榎 明美		
ビジネス実務演習[人文・観光] [スポ]	LAS03318S	2	演習	2年	秋1Q 秋2Q	平塚 彰 平塚 彰		
ビジネス日本語	LAS03319S	2	演習	2年	春1Q	榎 明美 金庭 香理		
インターンシップⅠ	LAS03320P	2	実習	1年	春学期  秋学期	遠藤 正 河本 洋一 新谷 弥 竹島 鉄也 田中 洋一郎 榎 明美 野崎 剛毅 平塚 彰 増山 由香里 遠藤 正 河本 洋一 新谷 弥 竹島 鉄也 田中 洋一郎 榎 明美 野崎 剛毅 平塚 彰 増山 由香里		
インターンシップⅡ	LAS03321P	2	実習	1年	春学期	遠藤 正 河本 洋一 新谷 弥 竹島 鉄也 田中 洋一郎 榎 明美 野崎 剛毅 平塚 彰 増山 由香里		

## 【全学共通教育科目】(札幌国際大学学則別表第1)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数		授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件	
		必修	選択							
インターンシップⅢ	LAS03322P	4		実習	1年	秋学期	遠藤 正 河本 洋一 新谷 弥 竹島 鉄也 田中 洋一郎 椿 明美 野崎 剛毅 平塚 彰 増山 由香里			
						春学期	遠藤 正 河本 洋一 新谷 弥 竹島 鉄也 田中 洋一郎 椿 明美 野崎 剛毅 平塚 彰 増山 由香里 山田 芳之			
留学生教育科目	日本事情Ⅰ		2	講義	2年	春1Q	飯嶋 美知子			
	日本事情Ⅱ		2	講義	2年	秋2Q	飯嶋 美知子			
	日本語Ⅰ		2	演習	1年	春学期	石 屹 顔 樂蘭			
	日本語Ⅱ	LAS09129S	2		演習	1年	秋学期	石 屹		
							春学期 秋学期	石 屹 顔 樂蘭		
	日本語Ⅲ	LAS09130S	2		演習	1年	春学期	宇留野 健太 金庭 香理 細野 弥恵		
							秋学期	細野 弥恵		
	日本語Ⅳ	LAS09131S	2		演習	1年	春学期	細野 弥恵		
秋学期							宇留野 健太 金庭 香理 細野 弥恵			
日本語Ⅴ[N1] [N1]	LAS09132S	2		演習	1年	春1Q	清水 孝俊			
						秋1Q	清水 孝俊			
日本語Ⅵ[ビジ] [ビジ]	LAS09133S	2		演習	1年	春学期	金庭 香理			
						秋学期	金庭 香理			

## 【人文学部国際教養学科科目】(札幌国際大学学則別表第2)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数		授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件	
		必修	選択							
学部共通科目	人文学概論	LAG04001L	2		講義	1年	春1Q	小内 透 武井 昭也 山内 太郎		学部共通科目から必修14単位を含み14単位以上修得
	基礎演習Ⅰ	LAG04201S	2		演習	2年	春学期	小内 透 黄 旭暉 新谷 弥 坂梨 夏代 野崎 剛毅 武井 昭也		
	基礎演習Ⅱ	LAG04202S	2		演習	2年	秋学期	小内 透 黄 旭暉 新谷 弥 坂梨 夏代 野崎 剛毅 武井 昭也		
	応用演習Ⅰ	LAG05215S	2		演習	3年	春学期	宇留野 健太 黄 旭暉 コクスフォード リチャード 趙 恵真 坂梨 夏代 新谷 弥 高倉 純 野崎 剛毅 デントン ルーカス 横川 大輔		
	応用演習Ⅱ	LAG05216S	2		演習	3年	秋学期	宇留野 健太 黄 旭暉 コクスフォード リチャード 趙 恵真 坂梨 夏代 新谷 弥 高倉 純 野崎 剛毅 デントン ルーカス 横川 大輔		
	テーマ研究Ⅰ	LAG05217S	2		演習	4年	春学期	宇留野 健太 小内 透 黄 旭暉 坂梨 夏代 新谷 弥 高倉 純 趙 恵真 デントン ルーカス 濱田 剛一		
	テーマ研究Ⅱ	LAG05218S	2		演習	4年	秋学期	宇留野 健太 小内 透 黄 旭暉 坂梨 夏代 新谷 弥 高倉 純 趙 恵真 デントン ルーカス 濱田 剛一		
	卒業研究	LAG08236S		4		演習	4年	通年	宇留野 健太 小内 透 黄 旭暉 坂梨 夏代 新谷 弥 高倉 純 デントン ルーカス 趙 恵真 濱田 剛一	
学科基礎科目	現代文化論	LAG04203L		2	講義	3年	春1Q	横川 大輔	○	学科基礎科目から10単位以上修得
	比較文化論	LAG04204L		2	講義	1年	秋1Q	小内 透	○	
	文化人類学	LAG04205L		2	講義	1年	秋1Q	小坂 みゆき	○	
	博物館概論	LAG04206L		2	講義	1年	秋1Q	中島 宏一		
	考古学	LAG04207L		2	講義	2年	秋1Q	高倉 純	○	
	世界遺産	LAG04208L		2	講義	2年	春1Q	村本 周三		
	日本文学	LAG04110L		2	講義	3年	秋2Q	黄 旭暉	○	
	日本近現代史	LAG04209L		2	講義	2年	秋1Q	横川 大輔	○	
	世界近現代史	LAG04210L		2	講義	3年	春1Q	横川 大輔		
	アニメ文化論	LAG04211L		2	講義	4年	秋1Q	かじ さやか		
ポップカルチャー	LAG04212L		2	講義	4年	春2Q	横川 大輔	○		

○：他学科学生履修「可」

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【人文学部国際教養学科科目】(札幌国際大学学則別表第2)

授業科目名		科目 ナンバー	単位数 必修 選択	授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件	
学科専門科目	国際・産業社会	地域研究Ⅰ(アジアの文化)	2	講義	1年	秋1Q	坂口 可奈		学科専門科目から 26 単位以上修得	
		地域研究Ⅱ(米州の文化)	2	講義	2年	未開講		○		
		地域研究Ⅲ(欧州の文化)	2	講義	2年	秋2Q	横川 大輔	○		
		国際関係論	2	講義	2年	春2Q	坂口 可奈	○		
		SDGs 特講	2	講義	2年	春1Q	菅井 貴子	○		
		グローバルリズムと地域経済	2	講義	1年	春1Q	濱田 剛一	○		
		地域産業論	2	講義	2年	秋1Q	黄 旭暉			
		国際ビジネス事情Ⅰ	2	講義	2年	秋1Q	濱田 剛一	○		
		国際ビジネス事情Ⅱ	2	講義	3年	春2Q	濱田 剛一	○		
		アントレプレナー論	2	講義	2年	春2Q	濱田 剛一	○		
		事例で学ぶマネジメント	2	講義	3年	秋2Q	濱田 剛一	○		
		事例で学ぶマーケティング	2	講義	1年	秋1Q	新谷 弥	○		
		グローバルマーケティング	2	講義	3年	秋2Q	新谷 弥	○		
		国際ビジネス演習	2	講義	2年	秋1Q	濱田 剛一	○		
		スキルアップ総合演習	2	講義	1年	春2Q	新谷 弥			
		言語	Reading SkillsⅠ	2	演習	1年	春2Q	コクスフォード リチャード		
			Reading SkillsⅡ	2	演習	1年	秋2Q	コクスフォード リチャード		
			Reading SkillsⅢ	2	演習	2年	秋1Q	コクスフォード リチャード		
	English CommunicationⅠ		2	演習	1年	春2Q	ウン ファアリー			
	English CommunicationⅡ		2	演習	1年	秋1Q	ウン ファアリー			
	English CommunicationⅢ		2	演習	2年	春2Q	コクスフォード リチャード			
	Introduction to Literature		2	演習	3年	春2Q	石田 麻英子	○		
	Introduction to Linguistics		2	演習	3年	秋2Q	石田 麻英子	○		
	Academic Skills		2	演習	2年	春1Q	コクスフォード リチャード			
	Academic Writing		2	演習	2年	秋2Q	コクスフォード リチャード			
	Gender Studies		2	演習	2年	秋1Q	斉藤 巧弥	○		
	Language and Culture		2	演習	3年	未開講		○		
	中国語特講		2	演習	3年	春1Q	中村 真衣佳	○		
	中国文化概論		2	講義	2年	春2Q	黄 旭暉	○		
	中国語学概論		2	講義	2年	秋1Q	中村 真衣佳	○		
	韓国語特講		2	演習	3年	春2Q	趙 恵真	○		
	韓国文化概論	2	講義	2年	春2Q	趙 恵真	○			
	韓国語学概論	2	講義	2年	秋2Q	趙 恵真	○			
	短期学外学修	3	演習	1年	秋1Q	石田 麻英子 黄 旭暉 コクスフォード リチャード				
長期学外学修	4	演習	2年	秋2Q	趙 恵真					
文化・地域	先史文化論	2	講義	1年	春1Q	坂梨 夏代	○			
	文化資源学	2	講義	2年	春2Q	坂梨 夏代	○			
	考古学実習	2	実習	3年	春2Q	坂梨 夏代 高倉 純				
	史料演習	2	演習	4年	春1Q	高倉 純				
	北海道の民俗学	2	講義	1年	秋2Q	林 美枝子				
	北海道の文化Ⅰ(歴史と文化遺産)	2	講義	1年	秋2Q	高倉 純	○			
	北海道の文化Ⅱ(食と生活)	2	講義	2年	春2Q	黄 旭暉	○			
	北海道の文化Ⅲ(芸術と文学)	2	講義	2年	秋2Q	武井 昭也	○			
	北海道の文化Ⅳ(環境と産業)	2	講義	3年	春1Q	新谷 弥				
	まちづくりと北海道	2	講義	1年	秋2Q	中根 宏樹				
	地域学習Ⅰ	2	講義	2年	春1Q	高倉 純				
	地域学習Ⅱ	2	講義	2年	秋1Q	野崎 剛毅	○			
	地域探究Ⅰ	2	演習	2年	春2Q	高倉 純	○			
	地域探究Ⅱ	2	演習	2年	秋2Q	野崎 剛毅				
	コミュニケーション	コミュニケーション論	2	講義	1年	秋1Q	高橋 伸			
		コミュニケーション演習	2	講義	1年	秋1Q	椿 明美			
		異文化コミュニケーションⅠ	2	講義	2年	春1Q	野崎 剛毅	○		
		異文化コミュニケーションⅡ	2	講義	2年	秋1Q	野崎 剛毅	○		
組織とコミュニケーション		2	講義	3年	秋1Q	保浦 聡	○			
心理言語学		2	講義	2年	秋1Q	宇留野 健太	○			
社会言語学		2	講義	2年	秋2Q	宇留野 健太	○			
言語学特論		2	講義	2年	秋2Q	金庭 香理	○			
日本語教育概論		2	講義	1年	春2Q	宇留野 健太	○			
日本語教育文法Ⅰ		2	講義	1年	秋2Q	細野 弥恵	○			
日本語教育文法Ⅱ		2	講義	2年	春2Q	細野 弥恵	○			
日本語教授法Ⅰ		2	講義	1年	秋1Q	金庭 香理	○			
日本語教授法Ⅱ		2	講義	2年	春2Q	金庭 香理	○			

○：他学科学生履修「可」

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【人文学部国際教養学科科目】(札幌国際大学学則別表第2)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数		授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件
		必修	選択						
日本語教育実習	LAG02109P		2	講義	2年	冬集中	宇留野 健太 金庭 香理 細野 弥恵	○	
学芸員	博物館資料論		2	講義	2年	春2Q	工藤 義衛		
	博物館資料保存論	LAG06229L		2	講義	2年	秋2Q	志賀 健司	
	博物館経営論	LAG07232L		2	講義	3年	冬集中	坂梨 夏代	
	博物館展示論	LAG07233L		2	講義	3年	春1Q	坂梨 夏代	
	博物館教育論	LAG07234L		2	講義	3年	秋1Q	高倉 純	
	博物館情報・メディア論	LAG07235L		2	講義	3年	秋2Q	水崎 禎	
	博物館実習	LAG08237P		3	実習	4年	通年	坂梨 夏代 高倉 純	
	北海道ミュージアム	LAG04214L		2	講義	1年	秋1Q	坂梨 夏代	

○：他学科学生履修「可」

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【人文学部心理学科臨床心理専攻科目】(札幌国際大学学則別表第3)

授業科目名		科目 ナンバー	単位数 必修 選択	授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件	
学部共通科目	人文学概論	CLP04001L	2	講義	1年	春1Q	小内 透 武井 昭也 山内 太郎		必修14単位を含み14 単位以上修得	
	基礎演習Ⅰ	CLP04101S	2	演習	2年	春学期	青木 美和子 荒関 守 品川 ひろみ 永井 敦 高野 創子 山内 太郎			
	基礎演習Ⅱ	CLP04102S	2	演習	2年	秋学期	青木 美和子 荒関 守 品川 ひろみ 永井 敦 高野 創子 山内 太郎			
	応用演習Ⅰ	CLP05103S	2	演習	3年	春学期	青木 美和子 荒関 守 岡田 顕宏 品川 ひろみ 高野 創子 永井 敦 橋本 久美 松浦 秀太 吉崎 俊一郎			
	応用演習Ⅱ	CLP05104S	2	演習	3年	秋学期	青木 美和子 荒関 守 岡田 顕宏 品川 ひろみ 高野 創子 永井 敦 橋本 久美 松浦 秀太 吉崎 俊一郎			
	テーマ研究Ⅰ	CLP05105S	2	演習	4年	春学期	青木 美和子 荒関 守 岡田 顕宏 品川 ひろみ 高野 創子 永井 敦 橋本 久美 松浦 秀太 吉崎 俊一郎			
	テーマ研究Ⅱ	CLP05106S	2	演習	4年	秋学期	青木 美和子 荒関 守 岡田 顕宏 品川 ひろみ 高野 創子 永井 敦 橋本 久美 松浦 秀太 吉崎 俊一郎 青木 美和子 荒関 守 岡田 顕宏 品川 ひろみ 高野 創子 永井 敦 橋本 久美 松浦 秀太 吉崎 俊一郎			
	[認定心理士(心理調査)]									
	卒業研究	CLP08107T		4	演習	4年	通年	青木 美和子 荒関 守 岡田 顕宏 品川 ひろみ 高野 創子 永井 敦 橋本 久美 松浦 秀太 吉崎 俊一郎		
学科基礎科目	心理学概論	CLP04201L	2	講義	1年	春2Q	岡田 顕宏		必修2単位を含み、計 12単位以上修得	
	教育・学校心理学	CLP04501L	2	講義	2年	春2Q	高野 創子	○		
	知覚・認知心理学	CLP04302L	2	講義	2年	秋2Q	岡田 顕宏	○		
	発達心理学	CLP04502L	2	講義	2年	秋1Q	榎本 光邦			
	学習・言語心理学	CLP04301L	2	講義	2年	春2Q	柳内 景太	○		

○：他学科学生履修「可」

子心：心理学科臨床子ども心理専攻のみ履修「可」

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【人文学部心理学科臨床心理専攻科目】(札幌国際大学学則別表第3)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数		授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件
		必修	選択						
感情・人格心理学	CLP04303L		2	講義	2年	未開講		○	
社会福祉論	CLP04801L		2	講義	1年	秋1Q	山内 太郎	○	
社会・集団・家族心理学(社会・集団心理学)	CLP04702L		2	講義	3年	春1Q	永井 敦	○	
社会・集団・家族心理学(家族心理学)	CLP04703L		2	講義	3年	秋1Q	鈴木 憲治	○	
色彩心理学	CLP04903L		2	講義	2年	春2Q	高橋 文代	○	
心理調査概論	CLP05206L		2	講義	3年	秋1Q	岡田 顕宏	○	
心理学実験Ⅰ(基礎)	CLP04203E		2	実習	1年	秋学期	岡田 顕宏 高橋 文代 永井 敦		
心理学実験Ⅱ(応用)	CLP05205E		2	実習	2年	秋学期	岡田 顕宏 長内 清春		
心理学研究法	CLP04202L		2	講義	1年	秋2Q	永井 敦		
心理学統計法	CLP05204L		2	講義	2年	春1Q	岡田 顕宏		
障害者・障害児心理学	CLP05601L		2	講義	2年	春2Q	青木 美和子		
対人関係論	CLP04701L		2	講義	2年	秋2Q	日下部 春野	○	
発達心理診断法	CLP05602L		2	講義	4年	秋1Q	渡邊 紀子		
ガーデニング演習	CLP04901S		2	演習	1年	春学期	吉崎 俊一郎	○	
生活と園芸	CLP04902L		2	講義	1年	秋1Q	吉崎 俊一郎	○	
臨床心理専攻専門科目	臨床心理学概論	CLP06603L	2	講義	1年	秋1Q	高野 創子	○	必修6単位を含み、計 18単位以上修得
	社会心理学概論	CLP06705L	2	講義	2年	春1Q	高橋 文代	○	
	心理学的支援法	CLP06604L	2	講義	2年	春1Q	高野 創子	○	
	力動的心理学	CLP07615L	2	講義	3年	秋2Q	松浦 秀太		
	精神疾患とその治療	CLP06804L	2	講義	2年	夏集中	鎌田 隼輔		
	健康・医療心理学	CLP07614L	2	講義	3年	秋1Q	山田 威仁	○	
	福祉心理学	CLP07611L	2	講義	3年	秋2Q	青木 美和子	○	
	司法・犯罪心理学	CLP07609L	2	講義	2年	春2Q	鈴木 憲治	○	
	心理的アセスメントⅠ(質問紙法)	CLP07608L	2	講義	2年	春2Q	荒関 守	子心	
	心理的アセスメントⅡ(投映法)	CLP07612L	2	講義	3年	春2Q	澤田 信也	○	
	カウンセリング演習	CLP06605S	2	演習	2年	秋1Q	松浦 秀太	子心	
	カウンセリング実習	CLP07618P	2	実習	3年	春学期	永井 敦		
	心理演習	CLP07619S	2	演習	4年	夏集中	荒関 守 澤田 信也		
	認知行動療法	CLP07610L	2	講義	2年	秋1Q	橋本 久美	子心	
	心理実習Ⅰ(施設実習)	CLP07613P	2	実習	3年	春学期	青木 美和子 鈴木 憲治		
	心理実習Ⅱ(施設実習)	CLP07617P	2	実習	3年	秋学期	鈴木 憲治 澤田 信也		
	遊戯・芸術療法	CLP07616L	2	講義	3年	春2Q	松浦 秀太		
	心理実習指導Ⅰ	CLP06606S	1	演習	2年	秋1Q	鈴木 憲治 橋本 久美		
	心理実習指導Ⅱ	CLP06607S	1	演習	2年	秋2Q	鈴木 憲治 橋本 久美		
	文献講読演習Ⅰ	CLP06805S	2	演習	3年	春1Q	岡田 顕宏	○	
	文献講読演習Ⅱ	CLP06806S	2	演習	3年	春2Q	岡田 顕宏	○	
	公認心理師の職責	CLP06802L	2	講義	1年	秋2Q	橋本 久美		
	人体の構造と機能及び疾病	CLP06803L	2	講義	1年	秋1Q	樋口 善英		
	関係行政論	CLP07807L	2	講義	3年	秋1Q	佐藤 千裕	○	
	神経・生理心理学	CLP07401L	2	講義	3年	春2Q	橋本 久美		
	産業・組織心理学	CLP06706L	2	講義	2年	夏集中	渡邊 良平	○	
	生命と倫理	CLP06809L	2	講義	4年	春2Q	大小田 重夫		
	宗教学	CLP06808L	2	講義	3年	秋1Q	鈴木 廣隆	○	
	集団心理療法	CLP07707L	2	演習	3年	夏集中	山本 創	○	
	グループワーク	CLP06704S	2	演習	1年	秋1Q	品川 ひろみ 永井 敦	子心	
園芸療法論	CLP06904L	2	講義	1年	秋2Q	吉崎 俊一郎	○		
イネーブルガーデン実習	CLP07907P	2	実習	2年	通 年	津田 智恵子 吉崎 俊一郎	○		
アロマセラピー	CLP06906S	2	演習	1年	冬集中	瀬川 桂子	○		
フラワーアレンジメント	CLP06905S	2	演習	1年	春学期	佐藤 義光	○		

○：他学科学生履修「可」

子心：心理学科臨床子ども心理専攻のみ履修「可」

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【人文学部心理学科子ども心理専攻科目】(札幌国際大学学則別表第3)

授業科目名		科目 ナンバー	単位数 必修 選択	授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件
学部 共通科目	人文学概論	PCD04001L	2		講義	1年 春1Q	小内 透 武井 昭也 山内 太郎		必修14単位を含み14 単位以上修得
	基礎演習Ⅰ	PCD04101S	2		演習	2年 春学期	愛下 啓恵 小岩 季之 林 二士		
	基礎演習Ⅱ	PCD04102S	2		演習	2年 秋学期	愛下 啓恵 小岩 季之 林 二士		
	応用演習Ⅰ	PCD05103S	2		演習	3年 春学期	愛下 啓恵 伊藤 桂子 小岩 季之 須藤 宏志 田村 めぐみ 林 二士 増山 由香里		
	応用演習Ⅱ	PCD05104S	2		演習	3年 秋学期	愛下 啓恵 伊藤 桂子 小岩 季之 須藤 宏志 田村 めぐみ 林 二士 増山 由香里		
	テーマ研究Ⅰ	PCD05105S	2		演習	4年 春学期	愛下 啓恵 榎本 光邦 須藤 宏志 林 二士 増山 由香里		
	テーマ研究Ⅱ	PCD05106S	2		演習	4年 秋学期	愛下 啓恵 榎本 光邦 須藤 宏志 林 二士 増山 由香里		
	[認定心理士(心理調査)]					秋学期	愛下 啓恵 榎本 光邦 須藤 宏志 林 二士 増山 由香里		
	卒業研究	PCD08107T		4	演習	4年 通年	愛下 啓恵 榎本 光邦 須藤 宏志 林 二士 増山 由香里		
学科 基礎科目	心理学概論	PCD04201L	2		講義	1年 春2Q	岡田 顕宏		必修2単位を含み、計 12単位以上修得
	教育・学校心理学	PCD04307L	2		講義	2年 春2Q	高野 創子	○	
	知覚・認知心理学	PCD04308L	2		講義	2年 秋2Q	岡田 顕宏		
	発達心理学	PCD04302L	2		講義	2年 秋1Q	榎本 光邦		
	学習・言語心理学	PCD04303L	2		講義	2年 春2Q	柳内 景太	○	
	感情・人格心理学	PCD04310L	2		講義	2年 秋2Q	(未開講)		
	社会福祉論	PCD04301L	2		講義	1年 秋1Q	山内 太郎	○	
	社会・集団・家族心理学(社会・集団心理学)	PCD04309L	2		講義	3年 春1Q	永井 敦	○	
	社会・集団・家族心理学(家族心理学)	PCD04311L	2		講義	3年 秋1Q	鈴木 憲治	○	
	色彩心理学	PCD04304L	2		講義	2年 春2Q	高橋 文代	○	
	心理調査概論	PCD05206L	2		講義	3年 秋1Q	岡田 顕宏	○	
	心理学実験Ⅰ(基礎)	PCD04203E	2		実習	1年 秋学期	岡田 顕宏 高橋 文代 永井 敦		
	心理学実験Ⅱ(応用)	PCD05205E	2		実習	2年 秋学期	岡田 顕宏 長内 清春		
	心理学研究法	PCD04202L	2		講義	1年 秋2Q	永井 敦		
	心理学統計法	PCD05204L	2		講義	2年 春1Q	岡田 顕宏	○	
	障害者・障害児心理学	PCD05305L	2		講義	2年 春2Q	青木 美和子	○	
	対人関係論	PCD04306L	2		講義	2年 秋2Q	日下部 春野	○	
	発達心理診断法	PCD05312L	2		講義	4年 秋1Q	渡邊 紀子		
	ゲーテニング演習	PCD04801S	2		演習	1年 春学期	吉崎 俊一郎	○	
生活と園芸	PCD04802L	2		講義	1年 秋1Q	吉崎 俊一郎	○		
門 科 専 攻 専 門 心 理 学 科 子 ど も 心 理 学	教育課程論Ⅰ	PCD06411L	2		講義	3年 春2Q	小川 久恵		合計18単位以上修得
	教育課程論Ⅱ	PCD07415L	2		講義	4年 秋1Q	小岩 季之		
	保育内容指導法	PCD06703L	2		講義	2年 秋学期	愛下 啓恵 田村 めぐみ		

○：他学科履修「可」

臨心：心理学臨床心理専攻のみ履修「可」

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【人文学部心理学科子ども心理専攻科目】(札幌国際大学学則別表第3)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数		授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件
		必修	選択						
子ども理解の理論と方法	PCD07413L		2	講義	4年	春1Q	増山 由香里		
保育の心理学	PCD06401L		2	講義	1年	春2Q	増山 由香里		
子ども家庭支援の心理学	PCD06406L		2	講義	2年	秋2Q	深浦 尚子		
子どもの理解と援助	PCD06403S		1	演習	1年	秋2Q	愛下 啓恵		
児童文化	PCD06404L		2	講義	1年	未開講			
子ども家庭福祉	PCD06409L		2	講義	2年	秋2Q	品川 ひろみ	臨心	
保育原理	PCD06407L		2	講義	2年	春1Q	小川 久恵		
教職入門	PCD06402L		2	講義	1年	秋2Q	東 重満		
教育原理	PCD06405L		2	講義	1年	春2Q	小岩 季之		
教育行財政	PCD07416L		2	講義	4年	春2Q	東 重満		
教育方法論	PCD06505L		2	講義	2年	春1Q	田村 めぐみ		
子どもの保健	PCD06506L		2	講義	2年	春2Q	照井 レナ		
子どもの健康と安全	PCD07512S		1	演習	2年	秋1Q	照井 レナ		
子どもの食と栄養(基礎)	PCD06518S		1	演習	3年	春2Q	和久田 紗恵子		
子どもの食と栄養(応用)	PCD07519S		1	演習	3年	秋2Q	和久田 紗恵子		
子ども家庭支援論	PCD06410L		2	講義	2年	春2Q	品川 ひろみ		
子ども心理フィールドワークⅠ	PCD06701S		2	演習	1年	春1Q	愛下 啓恵 林 二士		
子ども心理フィールドワークⅡ	PCD07702S		2	演習	1年	秋1Q	愛下 啓恵 小岩 季之		
音楽Ⅰ(歌唱・理論基礎)	PCD06602S		1	演習	1年	春学期	須藤 宏志		
音楽Ⅰ(歌唱・理論応用)	PCD07610S		1	演習	3年	秋2Q	須藤 宏志		
音楽Ⅱ(ピアノ基礎)	PCD06604S		1	演習	2年	秋学期	伊藤 桂子 澤田 昌子 新堀 聡子 須藤 宏志 高橋 幹子		
音楽Ⅱ(ピアノ応用)	PCD07607S		1	演習	3年	春学期	伊藤 桂子 澤田 昌子 新堀 聡子 須藤 宏志 高橋 幹子		
子どもの図画工作(基礎)	PCD06603S		1	演習	1年	秋学期	朝地 信介		
子どもの図画工作(応用)	PCD07605S		1	演習	2年	春2Q	梅田 真紀		
運動Ⅰ	PCD06606S		1	演習	2年	秋1Q	林 二士		
運動Ⅱ	PCD07608S		1	演習	3年	春1Q	林 二士		
レクリエーション理論(子ども)	PCD06609L		2	講義	2年	未開講			
レクリエーション実技(子ども)	PCD07611S		2	演習	3年	未開講			
レクリエーション実習(子ども)	PCD07612P		1	実習	4年	未開講			
保育表現(身体・言葉)	PCD06601S		1	演習	1年	秋2Q	愛下 啓恵 林 二士		
保育内容総論	PCD06501S		1	演習	1年	春1Q	小川 久恵		
幼児と人間関係	PCD06507L		2	講義	2年	春1Q	増山 由香里		
保育内容(人間関係)	PCD07515S		1	演習	3年	秋1Q	増山 由香里		
幼児と健康	PCD06502L		2	講義	1年	春2Q	蔵満 保幸 林 二士		
保育内容(健康)	PCD07520S		1	演習	3年	秋1Q	林 二士		
幼児と環境	PCD06503L		2	講義	1年	秋1Q	増山 由香里		
保育内容(環境)	PCD07521S		1	演習	3年	秋1Q	増山 由香里		
幼児と言葉	PCD06508L		2	講義	2年	春1Q	森岡 毅		
保育内容(言葉)	PCD07516S		1	演習	3年	春2Q	森岡 毅		
幼児と表現	PCD06511L		2	講義	2年	秋2Q	伊藤 桂子		
保育内容(表現)	PCD07517S		1	演習	3年	春1Q	伊藤 桂子		
乳児保育Ⅰ	PCD06509L		2	講義	2年	春2Q	増山 由香里		
乳児保育Ⅱ	PCD07513S		1	演習	2年	秋1Q	藤戸 純子		
社会的養護Ⅰ	PCD06408L		2	講義	2年	秋1Q	山内 太郎		
社会的養護Ⅱ	PCD07412S		1	演習	3年	春1Q	山内 太郎		
子育て支援	PCD07414S		1	演習	3年	秋2Q	田村 めぐみ		
障がい児保育Ⅰ	PCD06510S		1	演習	1年	春2Q	愛下 啓恵		
障がい児保育Ⅱ	PCD07514S		1	演習	2年	秋2Q	愛下 啓恵		
教育相談	PCD07417L		2	講義	4年	春2Q	榎本 光邦		
特別支援教育	PCD06504L		2	講義	4年	未開講			
保育・教職実践演習(幼稚園)	PCD08712S		2	演習	4年	秋学期	須藤 宏志 小岩 季之		
幼稚園実習指導	PCD07710S		1	演習	4年	春学期	小岩 季之 愛下 啓恵		

○：他学科学生履修「可」

臨心：心理学科臨床心理専攻のみ履修「可」

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【人文学部心理学科子ども心理専攻科目】(札幌国際大学学則別表第3)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数		授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件
		必修	選択						
幼稚園実習	PCD07711P		4	実習	4年	夏集中	須藤 宏志 増山 由香里 林 二士 伊藤 桂子 小岩 季之 田村 めぐみ 愛下 啓恵		
保育実習指導Ⅰ	PCD07704S		2	演習	3年	春2Q	増山 由香里 田村 めぐみ		
保育実習指導Ⅱ	PCD07706S		1	演習	3年	秋1Q	田村 めぐみ 愛下 啓恵		
保育実習指導Ⅲ	PCD07707S		1	演習	3年	秋1Q	田村 めぐみ 愛下 啓恵		
保育実習Ⅰ	PCD07705P		4	実習	3年	夏集中	須藤 宏志 増山 由香里 林 二士 伊藤 桂子 小岩 季之 田村 めぐみ 愛下 啓恵		
保育実習Ⅱ	PCD07708P		2	実習	3年	冬集中	須藤 宏志 増山 由香里 林 二士 伊藤 桂子 小岩 季之 田村 めぐみ 愛下 啓恵		
保育実習Ⅲ	PCD07709P		2	実習	3年	冬集中	須藤 宏志 増山 由香里 林 二士 伊藤 桂子 小岩 季之 田村 めぐみ 愛下 啓恵		
保育英語(基礎)	PCD06902S		2	演習	2年	未開講			
保育英語(応用)	PCD07903S		2	演習	2年	未開講			
多文化保育論	PCD06901S		2	講義	2年	春1Q	品川 ひろみ		
保育フィールドワーク(海外研修)	PCD07904S		2	演習	2年	秋2Q	須藤 宏志		
子ども音楽療育概論	PCD06803L		2	講義	3年	未開講			
子ども音楽療育演習	PCD07805S		1	演習	3年	春学期	村中 幸子		
子ども音楽療育実習	PCD07804P		1	実習	3年	未開講			
絵本の世界Ⅰ	PCD07806L		2	講義	1年	秋2Q	増山 由香里 武井 昭也		
絵本の世界Ⅱ	PCD07807L		2	講義	2年	春1Q	青木 美和子 増山 由香里 武井 昭也 小丹枝 江里子 笹山 愉香		

○：他学科学学生履修「可」

臨心：心理学科臨床心理専攻のみ履修「可」

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【観光学部観光ビジネス学科科目】(札幌国際大学学則別表第6)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数		授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件
		必修	選択						
観光学部 基幹科目	観光概論	TRM04001L	2		講義	1年 春1Q	新海 茜 田村 こずえ		必修 18 単位を含み、 38 単位以上修得
	インバウンド概論	TRM04002L	2		講義	2年 春1Q	藤岡 誠		
	観光事業論	TRM04003L	2		講義	1年 春2Q	河本 洋一 藤崎 達也		
	2年演習(基礎)	TRM06301S	2		演習	2年 春学期	呉 泰均 金庭 香理 顔 欒蘭 齋藤 修 斉藤 巧弥 新海 茜 竹島 鉄也 陳 堯柏 横田 久貴		
	[秋入学生用]					秋学期	河本 洋一		
	2年演習(応用)	TRM06302S	2		演習	2年 秋学期	呉 泰均 金庭 香理 顔 欒蘭 齋藤 修 斉藤 巧弥 新海 茜 竹島 鉄也 陳 堯柏 横田 久貴		
	3年演習(基礎)	TRM06303S	2		演習	3年 春学期	荒木 智 池見 真由 河本 洋一 齋藤 修 新海 茜 田中 洋一郎 田村 こずえ 藤崎 達也 山田 芳之 横田 久貴		
	[秋入学生用]					秋学期	齋藤 修		
	3年演習(応用)	TRM06304S	2		演習	3年 秋学期	荒木 智 池見 真由 河本 洋一 齋藤 修 新海 茜 田中 洋一郎 田村 こずえ 藤崎 達也 山田 芳之 横田 久貴		
	4年演習(基礎)	TRM06305S	2		演習	4年 春学期	荒木 智 呉 泰均 池見 真由 河本 洋一 齋藤 修 藤崎 達也 竹島 鉄也 田中 洋一郎 田村 こずえ 山田 芳之 横田 久貴		
4年演習(応用)	TRM06306S	2		演習	4年 秋学期	荒木 智 呉 泰均 池見 真由 河本 洋一 齋藤 修 藤崎 達也 竹島 鉄也 田中 洋一郎 田村 こずえ 山田 芳之 横田 久貴			
観光地理	TRM04101L	2		講義	1年 春2Q	齋藤 修			
観光文化論	TRM04102L	2		講義	1年 秋2Q	池見 真由	○		
観光交通	TRM04103L	2		講義	1年 秋1Q	齋藤 修			
観光経済論	TRM04104L	2		講義	1年 秋1Q	新海 茜			
ホスピタリティ論	TRM04105L	2		講義	2年 春1Q	河本 洋一	○		

○：他学科学生履修「可」

スポ：スポーツ人間学部のみ履修「可」

国教：国際教養学科のみ履修「可」

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【観光学部観光ビジネス学科科目】(札幌国際大学学則別表第6)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数		授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件	
		必修	選択							
国内観光資源	TRM04106L		2	講義	1年	春2Q	藤岡 誠			
観光論特別講義	TRM04107L		2	講義	1年	秋1Q	荒木 智 河本 洋一 藤崎 達也			
観光ビジネスマナー	TRM04108L		2	講義	2年	春1Q	荒木 智	○		
観光マーケティング	TRM04109L		2	講義	2年	春1Q	藤崎 達也			
観光統計	TRM04110L		2	講義	2年	春2Q	斉藤 巧弥	○		
ビジネスコミュニケーション	TRM04111L		2	講義	3年	春2Q	荒木 智	○		
リスクマネジメント	TRM04112L		2	演習	2年	秋1Q	五十嵐 誠	○		
観光クリエイティブ	TRM04113L		2	講義	3年	秋2Q	河本 洋一	○		
観光調査法入門	TRM04114L		2	講義	2年	秋2Q	斉藤 巧弥	○		
観光情報	TRM04115L		2	講義	2年	春1Q	五十嵐 誠	○		
観光政策行政	TRM04116L		2	講義	2年	春2Q	新海 茜	○		
観光と MICE	TRM04117L		2	講義	2年	春2Q	田中 洋一郎			
観光と心のケア	TRM04118L		2	講義	3年	未開講				
観光と歴史文化	TRM04119L		2	講義	3年	夏集中	齋藤 修	○		
海外旅行実務	TRM05201L		2	講義	1年	秋2Q	田中 洋一郎			
観光産業と起業	TRM05202L		2	講義	3年	秋1Q	藤崎 達也			
海外観光研修	TRM05203S		2	演習	1年	冬集中	呉 泰均			
国内観光研修	TRM05204S		2	演習	2年	秋1Q	荒木 智			
観光英会話	TRM07120L		2	講義	2年	未開講				
観光英語	TRM07121L		2	講義	2年	春1Q 秋1Q	陳 堯柏 陳 堯柏	○		
観光中国語	TRM07122L		2	講義	2年	未開講				
観光韓国語	TRM07123L		2	講義	2年	春2Q	呉 泰均	○		
インストラクター演習Ⅰ	TRM07205S		2	演習	2年	夏集中	藤崎 達也 安田 純輝	スポ		
インストラクター演習Ⅱ	TRM07206S		2	演習	2年	秋学期	新野 和也 石塚 慶如 藤崎 達也	スポ		
温泉学概論	TRM07124L		2	講義	3年	秋2Q	小野寺 淳子	○		
インバウンド政策	TRM07207L		2	講義	2年	秋2Q	藤岡 誠			
卒業研究	TRM08401T		4	演習	4年	通 年	荒木 智 呉 泰均 池見 真由 河本 洋一 齋藤 修 藤崎 達也 竹島 鉄也 田中 洋一郎 田村 こずえ 山田 芳之 横田 久貴 田中 洋一郎			
[秋入学生用]						通 年				
観光学部専門科目	添乗演習	TRM04701S		2	演習	1年	春1Q	田中 洋一郎 進藤 靖雄		30 単位以上修得
	国内旅行実務	TRM04702L		2	講義	1年	秋1Q	藤岡 誠		
	観光サービス論	TRM04801L		2	講義	2年	春2Q	山田 芳之	○	
	観光企業研究	TRM04802L		2	講義	1年	秋2Q	荒木 智 田中 洋一郎 山田 芳之		
	旅行演習	TRM04803S		2	演習	2年	冬集中	田中 洋一郎		
	インターネット旅行情報	TRM04804L		2	講義	3年	未開講			
	旅行業法・約款	TRM05703L		2	講義	1年	春2Q	菊池 志保		
	ホテルビジネス実務	TRM05601L		2	講義	2年	春1Q	竹島 鉄也	○	
	宿泊経営概論	TRM05602L		2	講義	2年	秋1Q	山田 芳之		
	ホテル開発概論	TRM05603L		2	講義	3年	春1Q	山田 芳之		
	旅行ビジネス実務	TRM07704L		2	講義	1年	春1Q	菊池 志保		
	ホテル演習	TRM07604S		2	演習	2年	夏集中	山田 芳之		
	航空演習	TRM07501S		2	演習	2年	冬集中	塚本 英喜 横田 久貴	国教	
	航空ビジネス実務	TRM07502L		2	講義	2年	秋2Q	荒木 智		
	観光実践演習	TRM07805S		4	演習	2年	冬集中	山田 芳之		
グランドスタッフ実務	TRM07503L		2	講義	2年	秋学期	一林 史也 本間 史也 横田 久貴	国教		
キャビンアテンダント実務	TRM07504L		2	講義	2年	秋2Q	栗林 由美子	国教		

○：他学科学生履修「可」

スポ：スポーツ人間学部のみ履修「可」

国教：国際教養学科のみ履修「可」

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【観光学部観光ビジネス学科科目】(札幌国際大学学則別表第6)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数		授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件
		必修	選択						
添乗員実務論	TRM07705L		2	講義	2年	秋1Q	菊池 志保 田中 洋一郎		
オンライントラベル演習	TRM07806S		2	演習	3年	未開講			
ホテル商品企画	TRM07605L		2	講義	2年	秋2Q	竹島 鉄也	○	
旅人学	TRM04901S		2	演習	1年	春1Q	河本 洋一	○	
観光ビジネス論	TRM04902L		2	講義	2年	春1Q	荒木 智		
ニューツーリズム概論	TRM04903L		2	講義	2年	秋1Q	藤崎 達也		
世界の観光地	TRM05904L		2	講義	1年	秋1Q	齋藤 修		
リゾート概論	TRM05905L		2	講義	1年	夏集中	斉藤 巧弥 田村 こずえ	○	
北海道観光	TRM05906L		2	講義	2年	秋1Q	横田 久貴		
観光とスポーツ	TRM05907L		2	講義	2年	春2Q	横田 久貴		
観光まちづくり論	TRM05908L		2	講義	2年	秋2Q	中根 宏樹	○	
食と観光	TRM05909L		2	講義	3年	秋1Q	小野寺 淳子	○	
観光まちづくり演習	TRM07910S		2	演習	3年	夏集中	田村 こずえ	○	
インバウンド演習	TRM07911S		2	演習	2年	未開講			
北海道観光政策	TRM07912L		2	講義	3年	秋2Q	田村 こずえ	○	
観光ガイドⅠ	TRM07913S		2	演習	2年	春学期	鈴木 宏紀 藤崎 達也	○	
観光ガイドⅡ	TRM07914S		2	演習	3年	夏集中	鈴木 宏紀	○	

○：他学科学生履修「可」

スポ：スポーツ人間学部のみ履修「可」

国教：国際教養学科のみ履修「可」

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【スポーツ人間学部スポーツビジネス学科科目】(札幌国際大学学則別表第4)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数		授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件
		必修	選択						
学部共通科目	体カトレーニング論	SPB04301L	2		講義	1年 秋1Q	阿南 浩司		必修 14 単位を含み、 合計 40 単位以上修得
	オリンピック論	SPB04401L		2	講義	1年 夏集中	新井 貢 斗澤 由香子		
	スポーツ心理学	SPB05101L	2		講義	3年 秋1Q	阿井 英二郎		
	スポーツ傷害と予防	SPB05201L	2		講義	2年 春1Q	後藤 ゆり		
	栄養学	SPB04202L	2		講義	1年 秋1Q	和久田 紗恵子		
	発育発達論	SPB04203L	2		講義	1年 秋2Q	佐藤 文亮		
	生涯スポーツ論	SPB04402L	2		講義	1年 春1Q	新井 貢		
	生涯スポーツ演習	SPB05403S	2		演習	2年 秋学期	新井 貢		
	スポーツ政策・行政論	SPB05404L	2		講義	4年 春1Q	竹元 賢治		
	スポーツ社会学	SPB05102L	2		講義	1年 春2Q	新井 貢		
	コーチング論	SPB05302L	2		講義	2年 春1Q	横山 克人		
	レクリエーション理論	SPB05204L	2		講義	2年 春1Q	本多 理紗		
	レクリエーション実技	SPB05205S	2		演習	2年 通 年	本多 理紗		
	レクリエーション実習	SPB05206P	2		実習	3年 通 年	本多 理紗		
	テニス	SPB05501P	2		演習	2年 春学期	佐藤 文亮		
	ハンドボール	SPB05502P	2		演習	3年 秋1Q 秋2Q	横山 克人 横山 克人		
	サッカー	SPB05503P	2		演習	3年 春学期	金澤 孝憲 原 一将		
	バレーボール	SPB05504P	2		演習	3年 秋学期	志手 典之		
	バスケットボール	SPB05505P	2		演習	3年 秋学期	後藤 ゆり 矢代 直美		
	スキー	SPB05506P	2		演習	2年 冬集中	遠藤 正 平澤 芳明		
	スノーボード	SPB05507P	2		演習	2年 冬集中	遠藤 正 平澤 芳明		
	野球・ソフトボール	SPB05508P	2		演習	2年 春学期	阿南 浩司 駒井 博和		
	卓球	SPB05509P	2		演習	2年 秋学期	国田 賢治		
	野外活動理論・演習	SPB05510P		2	演習	2年 秋学期	新井 貢		
	リーダー演習	SPB05001S		2	演習	2年 春学期	新井 貢		
	基礎演習Ⅰ	SPB05002S	2		演習	2年 春学期	粟野 祐弥 遠藤 正 竹元 賢治 田子 大地 坪山 義明 原 一将 平澤 芳明 横山 克人		
	基礎演習Ⅱ	SPB05003S	2		演習	2年 秋学期	粟野 祐弥 遠藤 正 竹元 賢治 田子 大地 坪山 義明 原 一将 平澤 芳明 横山 克人		
	応用演習Ⅰ	SPB05004S	2		演習	3年 春学期	粟野 祐弥 遠藤 正 竹元 賢治 田子 大地 坪山 義明 原 一将 平澤 芳明 横山 克人		
	応用演習Ⅱ	SPB05005S	2		演習	3年 秋学期	粟野 祐弥 遠藤 正 竹元 賢治 田子 大地 坪山 義明 原 一将 平澤 芳明 横山 克人		
	テーマ研究Ⅰ	SPB08006S	2		演習	4年 春学期	粟野 祐弥 竹元 賢治 田子 大地 坪山 義明 原 一将		

○：他学科学生履修「可」

ス指：スポーツ指導学科のみ履修「可」

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【スポーツ人間学部スポーツビジネス学科科目】(札幌国際大学学則別表第4)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数		授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件	
		必修	選択							
テーマ研究 II	SPB08007S	2		演習	4年	秋学期	平澤 芳明 横山 克人 粟野 祐弥 竹元 賢治 田子 大地 坪山 義明 原 一将 平澤 芳明 横山 克人			
卒業研究	SPB08008T		4	演習	4年	通年	粟野 祐弥 竹元 賢治 田子 大地 坪山 義明 原 一将 平澤 芳明 横山 克人			
学科専門科目	北海道とスポーツ I	SPB06601S	2	演習	1年	春学期	遠藤 正 平澤 芳明 田子 大地 横山 克人		必修 8 単位を含み、 合計 20 単位以上修得	
	北海道とスポーツ II	SPB06602S	2	演習	1年	秋学期	遠藤 正 原 一将 平澤 芳明 横山 克人			
	スポーツビジネス論 I	SPB06603L	2		講義	1年	秋 1 Q	平澤 芳明		
	スポーツビジネス論 II	SPB07604L	2		講義	2年	春 1 Q	田子 大地		
	スポーツマーケティング	SPB07605L	2		講義	2年	春 2 Q	竹元 賢治		○
	スポーツコマース	SPB07606L	2		講義	2年	秋 1 Q	田子 大地		○
	プロスポーツ経営論	SPB07607L	2		講義	3年	春 2 Q	田子 大地 平澤 芳明		○
	スポーツ情報戦略 I	SPB07608L	2		講義	3年	秋 1 Q	横山 克人		
	スポーツ情報戦略 II	SPB07609S	2		演習	3年	秋 2 Q	横山 克人		
	スポーツビジネス演習 I	SPB07610S	2		演習	2年	秋 2 Q	田子 大地 平澤 芳明		○
	スポーツビジネス演習 II	SPB07611S	2		演習	3年	春 2 Q	田子 大地 平澤 芳明		○
	健康運動論	SPB07612L	2		講義	2年	秋 1 Q	粟野 祐弥		○
	健康産業論	SPB07613L	2		講義	3年	秋 1 Q	粟野 祐弥		ス指
	フィットネス演習	SPB07614S	2		演習	3年	秋 1 Q	田子 大地		ス指
	スポーツツーリズム	SPB07615L	2		講義	4年	春 1 Q	遠藤 正		
	ヘルスプロモーション	SPB07616S	2		演習	4年	春 2 Q	粟野 祐弥		
	スポーツフィールドワーク I	SPB06701S	2		演習	1年	夏集中	遠藤 正 原 一将		
	スポーツフィールドワーク II	SPB07702S	2		演習	2年	夏集中	坪山 義明		
	e スポーツ概論	SPB06617L	2		講義	1年	秋 1 Q	坪山 義明		
	e スポーツベーシック演習	SPB06618S	2		演習	1年	秋 2 Q	坪山 義明		
e スポーツリテラシー	SPB06619L	2		講義	2年	春 1 Q	坪山 義明			
e スポーツメディア	SPB06620S	2		演習	2年	春 2 Q	坪山 義明			
スポーツとインバウンドビジネス	SPB07617S	2		演習	3年	秋 2 Q	遠藤 正			

○：他学科学生履修「可」

ス指：スポーツ指導学科のみ履修「可」

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【スポーツ人間学部スポーツ指導学科科目】(札幌国際大学学則別表第5)

学部 共通科目	授業科目名	科目 ナンバー	単位数		授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件
			必修	選択						
学部 共通科目	体力トレーニング論	SPI04401L	2		講義	1年	秋1Q	阿南 浩司		必修 14 単位を含み、 合計 40 単位以上修得
	オリンピック論	SPI04603L		2	講義	1年	夏集中	新井 貢 斗澤 由香子		
	スポーツ心理学	SPI05102L		2	講義	3年	秋1Q	阿井 英二郎		
	スポーツ傷害と予防	SPI05504L		2	講義	2年	春1Q	後藤 ゆり		
	栄養学	SPI04502L		2	講義	1年	秋2Q	和久田 紗恵子		
	発育発達論	SPI04201L		2	講義	1年	秋2Q	佐藤 文亮		
	生涯スポーツ論	SPI04601L		2	講義	1年	春1Q	新井 貢		
	生涯スポーツ演習	SPI05605S		2	演習	2年	秋学期	新井 貢		
	スポーツ政策・行政論	SPI05604L		2	講義	4年	春1Q	竹元 賢治		
	スポーツ社会学	SPI05101L		2	講義	1年	春2Q	新井 貢		
	コーチング論	SPI05402L		2	講義	2年	春2Q	阿南 浩司		
	レクリエーション理論	SPI05505L		2	講義	2年	春1Q	本多 理紗		
	レクリエーション実技	SPI05507S		2	演習	2年	通 年	本多 理紗		
	レクリエーション実習	SPI05512P		2	実習	3年	通 年	本多 理紗		
	テニス	SPI05708P		2	演習	2年	春学期	橋場 俊輔		
	ハンドボール	SPI05705P		2	演習	3年	秋1Q 秋2Q	横山 克人 横山 克人		
	サッカー	SPI05706P		2	演習	3年	春学期	原 一将 金澤 孝憲		
	バレーボール	SPI05707P		2	演習	3年	秋学期	志手 典之		
	バスケットボール	SPI05704P		2	演習	3年	秋学期	後藤 ゆり 矢代 直美		
	スキー	SPI05715P		2	演習	2年	冬集中	平澤 芳明 遠藤 正		
	スノーボード	SPI05716P		2	演習	2年	冬集中	平澤 芳明 遠藤 正		
	野球・ソフトボール	SPI05710P		2	演習	2年	春学期	阿南 浩司 駒井 博和		
	卓球	SPI05709P		2	演習	2年	秋学期	国田 賢治		
	野外活動理論・演習	SPI05717P		2	演習	2年	秋学期	新井 貢		
	リーダー演習	SPI05003S		2	演習	2年	春学期	新井 貢		
	基礎演習Ⅰ	SPI05001S	2		演習	2年	春学期	阿井 英二郎 阿南 浩司 駒井 博和 後藤 ゆり 国田 賢治 佐藤 文亮 竹田 安宏 斗澤 由香子 苫米地 里香 橋場 俊輔 樋口 善英 本多 理紗 安田 純輝		
	基礎演習Ⅱ	SPI05002S	2		演習	2年	秋学期	阿井 英二郎 阿南 浩司 駒井 博和 後藤 ゆり 国田 賢治 佐藤 文亮 竹田 安宏 斗澤 由香子 苫米地 里香 橋場 俊輔 樋口 善英 本多 理紗 安田 純輝		
	応用演習Ⅰ	SPI05004S	2		演習	3年	春学期	阿井 英二郎 阿南 浩司 駒井 博和 後藤 ゆり 国田 賢治 佐藤 文亮 竹田 安宏 斗澤 由香子 苫米地 里香 橋場 俊輔 樋口 善英 本多 理紗 安田 純輝		

○：他学科学生履修「可」

スピ：スポーツビジネス学科のみ履修「可」

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【スポーツ人間学部スポーツ指導学科科目】(札幌国際大学学則別表第5)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数		授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件
		必修	選択						
応用演習Ⅱ	SPI05005S	2		演習	3年	秋学期	阿井 英二郎 阿南 浩司 駒井 博和 後藤 ゆり 国田 賢治 佐藤 文亮 竹田 安宏 斗澤 由香子 苫米地 里香 橋場 俊輔 樋口 善英 本多 理紗 安田 純輝		
テーマ研究Ⅰ	SPI08006S	2		演習	4年	春学期	阿井 英二郎 阿南 浩司 駒井 博和 後藤 ゆり 国田 賢治 佐藤 文亮 竹田 安宏 斗澤 由香子 苫米地 里香 橋場 俊輔 樋口 善英 本多 理紗 安田 純輝		
テーマ研究Ⅱ	SPI08007S	2		演習	4年	秋学期	阿井 英二郎 阿南 浩司 駒井 博和 後藤 ゆり 国田 賢治 佐藤 文亮 竹田 安宏 斗澤 由香子 苫米地 里香 橋場 俊輔 樋口 善英 本多 理紗 安田 純輝		
卒業研究	SPI08008T		4	演習	4年	通年	阿井 英二郎 阿南 浩司 駒井 博和 後藤 ゆり 国田 賢治 佐藤 文亮 竹田 安宏 斗澤 由香子 苫米地 里香 橋場 俊輔 樋口 善英 本多 理紗 安田 純輝		
学科専門科目	人のからだと健康	SPI06501L	2	講義	1年	夏集中	樋口 善英 大塚 吉則 尾崎 威文	スビ	必修 10 単位を含み、 合計 20 単位以上修得
	スポーツ理論	SPI06602L	2	講義	1年	春1Q	斗澤 由香子	スビ	
	運動生理学	SPI07203L	2	講義	2年	春1Q	国田 賢治	スビ	
	人体構造基礎	SPI06202L	2	講義	1年	春1Q	樋口 善英	スビ	
	運動機能と救急処置	SPI06503L	2	講義	1年	秋1Q	樋口 善英	スビ	
	学校保健	SPI07508L	2	講義	3年	春1Q	駒井 博和	スビ	
	衛生学及び公衆衛生学	SPI07506L	2	講義	2年	秋1Q	後藤 ゆり	スビ	
	測定と評価	SPI07302S	2	演習	2年	春2Q	斗澤 由香子	スビ	
	スポーツ統計学	SPI07303L	2	講義	2年	秋1Q	斗澤 由香子	スビ	
	地域社会と健康	SPI07509L	2	講義	3年	春2Q	林 美枝子	スビ	
	スポーツ医学と運動処方	SPI07510L	2	講義	3年	冬集中	野呂 昇平	スビ	
	バイオメカニクス	SPI06301L	2	講義	1年	秋1Q	阿南 浩司	スビ	
	ストレンクス・コンディショニング	SPI07404P	2	講義	2年	春学期	工藤 大輝	スビ	
	ストレンクス・コンディショニング実習	SPI07405P	2	実習	3年	未開講		スビ	
	体カトレーニング演習	SPI07403S	2	演習	2年	秋2Q	工藤 大輝	スビ	
	運動生理学演習	SPI07204S	2	演習	2年	秋学期	国田 賢治 佐藤 文亮		
体づくり・器械運動	SPI07701P	2	演習	3年	春学期	安田 純輝			

○：他学科学生履修「可」

スビ：スポーツビジネス学科のみ履修「可」

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【スポーツ人間学部スポーツ指導学科科目】(札幌国際大学学則別表第5)

授業科目名	科目 ナンバー	単位数		授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	他学科 等受入	履修要件
		必修	選択						
陸上競技	SPI07702P		2	演習	3年	春学期	粟野 祐弥		
水泳	SPI07703P		2	演習	3年	冬集中	安田 純輝		
ダンス	SPI07713P		2	演習	2年	秋学期	苫米地 里香		
柔道	SPI07711P		2	演習	3年	夏集中	堀川 政彦		
剣道	SPI07712P		2	演習	3年	秋1Q	林 満章		
冬季スポーツ	SPI07714P		2	演習	2年	冬集中	新井 貢 斗澤 由香子		
健康運動指導演習	SPI07511S		2	演習	3年	秋学期	後藤 ゆり 本多 理紗	スピ	
教職特殊研究 A	SPI07001S		1	演習	3年	秋1Q	駒井 博和 竹田 安宏 苫米地 里香		
教職特殊研究 B	SPI07002S		1	演習	3年	秋2Q	駒井 博和 竹田 安宏 苫米地 里香		

○：他学科学生履修「可」

スピ：スポーツビジネス学科のみ履修「可」

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【教職課程に関する科目】(札幌国際大学学則別表第7)

科目分類	学則科目名称	科目 ナンバー	単位数			授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	履修要件
			必修	選択	自由					
教職課程に関する科目	教師論	LIC13102L			2	講義	1年	秋2Q	平田 嘉宏	
	教育原理	LIC13101L			2	講義	1年	秋1Q	苫米地 里香	
	特別支援教育	LIC13105L			2	講義	3年	春1Q	小岩 季之	
	発達心理学	LIC13104L			2	講義	3年	春1Q	深浦 尚子	
	教育行財政	LIC13103L			2	講義	2年	秋1Q	平田 嘉宏	
	教育課程論	LIC13106L			2	講義	2年	春1Q	平田 嘉宏	
	道徳教育の理論と指導	LIC13201L			2	講義	2年	秋学期	安井 政樹	
	保健体育科指導法Ⅰ	LIC13402L			2	講義	2年	秋1Q	安田 純輝 竹田 安宏	
	保健体育科指導法Ⅱ	LIC13403L			2	講義	2年	秋2Q	安田 純輝 竹田 安宏	
	保健体育科指導法Ⅲ	LIC13404L			2	講義	3年	春学期	安田 純輝 竹田 安宏	
	保健体育科指導法Ⅳ	LIC13405L			2	講義	3年	秋学期	安田 純輝 竹田 安宏	
	総合的な学習の時間	LIC13202L			2	講義	2年	春2Q	横田 久貴	
	特別活動	LIC13203L			2	講義	1年	秋学期	安井 政樹	
	教育方法論	LIC13204L			2	講義	2年	秋2Q	苫米地 里香	
	ICTを活用した教育	LIC13207L			1	講義	2年	春1Q	安井 政樹 朝倉 一民	
	生徒指導・進路指導	LIC13205L			3	講義	2年	秋2Q	武井 昭也	
	教育相談(カウンセリングを含む)	LIC13206L			2	講義	2年	春2Q	榎本 光邦	
	教職実践演習(中・高)	LIC13304S			2	演習	4年	秋学期	安田 純輝 竹田 安宏 駒井 博和	
	教育実習(事前事後指導)	LIC13301P			1	実習	4年	通 年	佐藤 文亮 竹田 安宏 駒井 博和	
	教育実習Ⅰ	LIC13302P			2	実習	4年	通 年	佐藤 文亮 竹田 安宏 駒井 博和	
	教育実習Ⅱ	LIC13403P			2	実習	4年	通 年	佐藤 文亮 竹田 安宏 駒井 博和	
	介護等体験	LIC13501P			2	実習	3年	春学期	駒井 博和 池森 康裕	

## 【図書館司書課程に関する科目】(札幌国際大学学則別表第8)

科目分類	学則科目名称	科目 ナンバー	単位数			授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	履修要件
			必修	選択	自由					
図書館司書課程に関する科目	図書館概論	LIC14001L			2	講義	1年	春1Q	武井 昭也	
	図書館制度・経営論	LIC14005L			2	講義	1年	夏集中	河村 芳行	
	図書館情報技術論	LIC14006L			2	講義	1年	夏集中	河村 芳行	
	図書館サービス概論	LIC14003L			2	講義	1年	冬集中	浅野 隆夫	
	情報サービス論	LIC14008L			2	講義	2年	春2Q	田中 貴美子	
	児童サービス論	LIC14009L			2	講義	2年	秋学期	小丹枝 江里子	
	情報サービス演習Ⅰ	LIC14002S			1	演習	1年	秋学期	笹山 愉香	
	情報サービス演習Ⅱ	LIC14013S			1	演習	2年	秋学期	今 尚之	
	図書館情報資源概論	LIC14007L			2	講義	1年	秋学期	笹山 愉香	
	情報資源組織論	LIC14004L			2	講義	1年	秋1Q	桑原 裕子	
	情報資源組織演習Ⅰ	LIC14012S			1	演習	2年	夏集中	笹山 愉香	
	情報資源組織演習Ⅱ	LIC14016S			1	演習	2年	冬集中	武井 昭也	
	図書館基礎特論	LIC14014L			1	講義	2年	春1Q	小丹枝 江里子	
	図書館情報資源特論	LIC14011L			1	講義	2年	冬集中	今 尚之	
	図書・図書館史	LIC14015L			1	講義	2年	秋1Q	横川 大輔	

## 【社会教育主事に関する科目】(札幌国際大学学則別表第9)

科目分類	学則科目名称	科目 ナンバー	単位数			授業 方法	配当 年次	開講期	教員氏名	履修要件
			必修	選択	自由					
社会教育主事に関する科目	社会教育論	LIC15301L			2	講義	1年	夏集中	佐久間 章	
	生涯学習支援論Ⅰ	LIC15302L			2	講義	2年	夏集中	佐久間 章	
	生涯学習支援論Ⅱ	LIC15303L			2	講義	2年	冬集中	佐久間 章	
	社会教育経営論Ⅰ	LIC15307L			2	講義	3年	夏集中	松浦 賢一	
	社会教育経営論Ⅱ	LIC15308L			2	講義	3年	冬集中	松浦 賢一	
	社会教育実習	LIC15305P			1	実習	2年	通年	新井 貢	
	社会教育演習Ⅰ	LIC15304S			1	演習	2年	通年	新井 貢	
	社会教育演習Ⅱ	LIC15306S			2	演習	3年	通年	新井 貢	

【観光学研究科教育課程表】(札幌国際大学大学院学則別表1)

授業科目名		単位数		授業方法	配当年次	開講期	教員氏名	他学科等受入	履修要件
		必修	選択						
必修科目	修士論文指導演習Ⅰ	2		演習	2年	春学期 秋学期	呉 泰均 池見 真由 顔 欒蘭 齋藤 修 斉藤 巧弥 新海 茜 田村 こずえ 藤崎 達也 横田 久貴 呉 泰均 池見 真由 斉藤 巧弥 田村 こずえ		必修科目6単位選択科目A類・B類・C類の各区分から4単位以上、D類から12単位以上、併せて30単位以上を修得し、かつ修士論文を提出し審査に合格すること。ただし、当該課程の目的に応じ適当と認められるときは、特定の課題についての研究の審査をもって、修士論文の審査に代えることができる。
	修士論文指導演習Ⅱ	2		演習	2年	春学期 秋学期	池見 真由 斉藤 巧弥 新海 茜 田村 こずえ 呉 泰均 池見 真由 顔 欒蘭 齋藤 修 斉藤 巧弥 新海 茜 田村 こずえ 藤崎 達也 横田 久貴		
	観光研究テーマ演習 [秋入生]	2		演習	1年	秋学期 春学期	横田 久貴 斉藤 巧弥		
選択科目	A類		2	講義	1年	春学期	池見 真由		
			2	講義	1年	秋学期	新海 茜		
			2	講義	1年	春学期	呉 泰均		
	B類		2	演習	1年	春学期	池見 真由		
			2	演習	1年	春学期	田村 こずえ		
			2	演習	1年	秋学期	顔 欒蘭		
	C類		2	演習	1年	秋学期	池見 真由		
			2	演習	1年	春学期	新海 茜		
			2	演習	1年	春学期	新海 茜		
	D類		2	講義	1年	冬集中	横田 久貴		
			2	講義	1年	未開講			
			2	講義	1年	春学期	藤崎 達也		
			2	講義	1年	未開講			
			2	講義	1年	秋学期	顔 欒蘭		
			2	講義	1年	夏集中	池見 真由		
			2	演習	1年	秋学期	斉藤 巧弥		
			2	講義	1年	春学期	斉藤 巧弥		
		2	演習	1年	秋学期	田村 こずえ			
		2	演習	1年	秋学期	池見 真由			
		2	講義	1年	未開講				

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【心理学研究科教育課程表】(札幌国際大学大学院学則別表2) [2026年度入学生]

	授業科目名	単位数		授業方法	配当年次	開講期	教員氏名	他学科等受入	履修要件	
		必修	選択							
選択科目	臨床心理学特論Ⅰ	2		講義	1年	春学期	橋本 久美		必修科目 18 単位を含み合計 38 単位以上を修得し、かつ課題研究を提出し審査に合格すること。	
	臨床心理学特論Ⅱ	2		講義	1年	秋学期	高野 創子			
	臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践)	2		講義	1年	春学期	高野 創子			
	臨床心理面接特論Ⅱ	2		講義	1年	秋学期	松浦 秀太			
	A類	心理学研究法特論		2	講義	1年	秋学期	岡田 顕宏		
		臨床心理学研究法特論		2	講義	1年	未開講			
	B類	発達心理学特論		2	講義	1年	春学期	青木 美和子		
		認知心理学特論		2	講義	1年	未開講			
	C類	家族心理学特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)		2	講義	1年	秋学期	鈴木 憲治		
		臨床心理関連行政論		2	講義	1年	秋学期	佐藤 千裕		
	D類	精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)		2	講義	1年	秋学期	米島 広明		
		障害者心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)		2	講義	1年	冬集中	山本 創		
		投映法特論		2	講義	1年	秋学期	佐々木 淑子		
	E類	学校臨床心理学特論		2	講義	1年	未開講			
	実践心理群	教育分野に関する理論と支援の展開		2	講義	1年	春学期	本間 芳文		
司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開			2	講義	1年	春学期	鈴木 憲治			
産業・労働分野に関する理論と支援の展開			2	講義	1年	春学期	荒関 守			
心の健康教育に関する理論と実践			2	講義	1年	秋学期	橋本 久美			
科目		臨床心理査定演習Ⅰ (心理的アセスメントに関する理論と実践)	2		講義	1年	春学期	澤田 信也		
実習科目		臨床心理査定演習Ⅱ	2		演習	1年	秋学期	岡田 顕宏		
		臨床心理基礎実習Ⅰ	1		実習	1年	春学期	澤田 信也 松浦 秀太		
		臨床心理基礎実習Ⅱ	1		実習	1年	秋学期	荒関 守 澤田 信也		
		臨床心理実習Ⅰ (心理実践実習Ⅲ)		2	実習	2年	未開講			
		臨床心理実習Ⅱ		6	実習	2年	未開講			
		心理実践実習Ⅰ		4	実習	1年	通年	青木 美和子 榎本 光邦 本間 芳文		
		心理実践実習Ⅱ		4	実習	2年	未開講			
課題研究	課題研究指導Ⅰ [長期履修]	2		演習	2年	春学期 春学期	榎本 光邦 荒関 守 澤田 信也			
	課題研究指導Ⅱ [長期履修]	2		演習	2年	秋学期 秋学期	榎本 光邦 荒関 守 澤田 信也			

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【心理学研究科教育課程表】(札幌国際大学大学院学則別表2) [2025年度入学生 以前]

授業科目名		単位数		授業方法	配当年次	開講期	教員氏名	他学科等受入	履修要件		
		必修	選択								
選択科目	必修	臨床心理学特論Ⅰ	2	講義	1年	春学期	橋本 久美		必修科目26単位、及びA、B、C、D、Eの各科目群から、それぞれ1単位以上を計38単位以上を修得し、かつ課題研究を提出し合格すること。		
		臨床心理学特論Ⅱ	2	講義	1年	秋学期	高野 創子				
		臨床心理面接特論Ⅰ	2	講義	1年	未開講					
		臨床心理面接特論Ⅱ	2	講義	1年	秋学期	松浦 秀太				
	A類	心理学研究法特論		2	講義	1年	秋学期	岡田 顕宏			
		臨床心理学研究法特論		2	講義	1年	未開講				
	B類	発達心理学特論		2	講義	1年	春学期	青木 美和子			
		認知心理学特論		2	講義	1年	未開講				
	C類	家族心理学特論		2	講義	1年	未開講				
		臨床心理関連行政論		2	講義	1年	秋学期	佐藤 千裕			
	D類	精神医学特論		2	講義	1年	未開講				
		障害者心理学特論		2	講義	1年	未開講				
	E類	投映法特論		2	講義	1年	秋学期	佐々木 淑子			
		学校臨床心理学特論		2	講義	1年	未開講				
	実践心理群		保健医療分野に関する理論と支援の展開		2	講義	1年	秋学期		米島 広明	
			福祉分野に関する理論と支援の展開		2	講義	1年	冬集中		山本 創	
		教育分野に関する理論と支援の展開		2	講義	1年	春学期	本間 芳文			
		司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開		2	講義	1年	春学期	鈴木 憲治			
		産業・労働分野に関する理論と支援の展開		2	講義	1年	春学期	荒関 守			
		心理的アセスメントに関する理論と実践		2	講義	1年	未開講				
		心理支援に関する理論と実践		2	講義	1年	未開講				
		家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践		2	講義	1年	秋学期	鈴木 憲治			
		心の健康教育に関する理論と実践		2	講義	1年	秋学期	橋本 久美			
演習科目			臨床心理査定演習Ⅰ	2	演習	1年	未開講				
		臨床心理査定演習Ⅱ	2	演習	1年	秋学期	岡田 顕宏				
		臨床心理演習		2	演習	1年	未開講				
		臨床事例指導Ⅰ	2	演習	2年	春学期	佐々木 淑子 松浦 秀太				
		臨床事例指導Ⅱ	2	演習	2年	秋学期	佐々木 淑子 松浦 秀太				
実習科目		臨床心理基礎実習Ⅰ	1	実習	1年	春学期	澤田 信也 松浦 秀太				
		臨床心理基礎実習Ⅱ	1	実習	1年	秋学期	荒関 守 澤田 信也				
		臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅳ)	2	実習	2年	春学期	榎本 光邦 鈴木 憲治				
		臨床心理実習Ⅱ	2	実習	2年	通年	荒関 守 高野 創子				
		心理実践実習Ⅰ		2	実習	1年	未開講				
		心理実践実習Ⅱ		2	実習	1年	未開講				
		心理実践実習Ⅲ		2	実習	2年	通年	榎本 光邦 橋本 久美			
		心理実践実習Ⅴ		2	実習	2年	春学期	榎本 光邦 鈴木 憲治			
課題研究		課題研究指導Ⅰ [長期履修]	2	演習	2年	春学期 春学期	榎本 光邦 荒関 守 澤田 信也				
		課題研究指導Ⅱ [長期履修]	2	演習	2年	秋学期 秋学期	榎本 光邦 荒関 守 澤田 信也				

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 【スポーツ健康指導研究科教育課程表】(札幌国際大学大学院学則別表3)

授業科目名	単位数		授業方法	配当年次	開講期	教員氏名	他学科等受入	履修要件
	必修	選択						
スポーツ健康基本科目	身体運動機能特論	2		講義	1年	秋1Q	国田 賢治	必修科目18単位。選択科目から12単位以上の合計30単位以上を修得すること。さらに、課題研究論文の審査に合格すること。
	人体構造学特論	2		講義	1年	冬集中	樋口 善英	
	健康社会学特論	2		講義	1年	春1Q	後藤 ゆり	
	スポーツ栄養学特論		2	講義	1年	春2Q	和久田 紗恵子	
	健康運動学特論		2	講義	1年	秋2Q	阿南 浩司	
	運動発達特論		2	講義	1年	春2Q	佐藤 文亮	
	健康体力特論		2	講義	1年	夏集中	小林 秀紹	
	人間学特論		2	講義	1年	春2Q	塚本 智宏	
解析統計学演習		2	演習	1年	冬集中	小林 秀紹		
スポーツ健康指導科目	コーチング特論	2		講義	1年	秋学期	阿井 英二郎	
	健康教育特論	2		講義	1年	秋1Q	後藤 ゆり	
	保健体育科教育特論		2	講義	1年	夏集中	安田 純輝	
	地域調査法		2	講義	1年	春学期	河田 真清	
	健康施策特論		2	講義	1年	冬集中	桑原 ゆみ	
	スポーツ組織マネジメント特論		2	講義	1年	秋学期	阿井 英二郎 竹元 賢治	
	キャリア形成特論		2	講義	1年	秋2Q	原 一将	
	身体運動指導演習		2	演習	1年	春学期	国田 賢治	
	体力評価演習		2	演習	1年	未開講		
	運動技術演習		2	演習	2年	春学期	阿南 浩司	
	高齢者スポーツ演習		2	演習	1年	冬集中	国田 賢治	
	ジュニアスポーツ演習		2	演習	1年	秋学期	阿南 浩司	
	健康増進プログラム演習		2	演習	1年	春2Q	後藤 ゆり	
	キャリア形成演習		2	演習	2年	未開講		
スポーツデータアナリティクス演習		2	演習	1年	秋学期	阿井 英二郎 竹元 賢治		
研究指導演習科目	スポーツ健康テーマ演習Ⅰ	2		演習	1年	春学期 秋学期	阿井 英二郎 阿南 浩司 佐藤 文亮 国田 賢治 後藤 ゆり 竹元 賢治 樋口 善英 安田 純輝 阿井 英二郎 阿南 浩司 佐藤 文亮 国田 賢治 後藤 ゆり 竹元 賢治 樋口 善英 安田 純輝	
	スポーツ健康テーマ演習Ⅱ	2		演習	1年	春学期 秋学期	阿井 英二郎 阿南 浩司 佐藤 文亮 国田 賢治 後藤 ゆり 竹元 賢治 樋口 善英 安田 純輝 阿井 英二郎 阿南 浩司 佐藤 文亮 国田 賢治 後藤 ゆり 竹元 賢治 樋口 善英 安田 純輝	
	課題研究Ⅰ	2		演習	2年	春学期	後藤 ゆり 国田 賢治 樋口 善英	
	課題研究Ⅱ	2		演習	2年	春学期 秋学期	樋口 善英 後藤 ゆり 国田 賢治 樋口 善英	
							樋口 善英	

※他学科受入欄に記載のない場合は、他学科および他専攻の学生は履修できません。

## 学校法人札幌国際大学の沿革

12

沿革

年 月 日	事 項
大正 11 年 4 月 1 日	札幌区立女子職業学校同窓会（静修会）の活動によって札幌静修会女学校の許可を得て開校。
昭和 8 年 1 月 24 日	職業学校規程により札幌静修会女学校から札幌静修女学校と改める。
昭和 9 年 4 月 30 日	文部大臣から財団法人札幌静修女学校として認可され法人組織に改める。
昭和 21 年 3 月 30 日	札幌静修女学校を廃止、札幌静修高等女学校設置を許可される。
昭和 22 年 4 月 1 日	新学制に基づき札幌静修中学校を併置して発足する。
昭和 23 年 3 月 31 日	新制高等学校の制度がしかれ北海道知事認可により札幌静修高等学校に改称する。
昭和 26 年 3 月 10 日	財団法人札幌静修女学校を学校法人札幌静修学園と改める。
昭和 44 年 2 月 8 日	札幌静修短期大学（家政学科入学定員100人、幼児教育学科入学定員50人）の設置を認可される。
昭和 44 年 2 月 8 日	札幌静修中学校廃止を認可される。
昭和 44 年 4 月 1 日	札幌静修短期大学を開学する。
昭和 45 年 1 月 13 日	家政学科及び幼児教育学科入学定員の変更（家政学科100人を150人、幼児教育学科50人を100人）を受理される。 (昭和45年 4 月 1 日施行)
昭和 45 年 2 月 7 日	厚生省より保母を養成する学校として指定を受ける。
昭和 46 年 3 月 10 日	幼児教育学科を児童教育学科（初等教育専攻入学定員50人、幼児教育専攻入学定員50人）に変更を認可される。
昭和 46 年 3 月 10 日	札幌静修短期大学付属幼稚園園児総定員60人2学級設置を認可される。
昭和 46 年 3 月 31 日	幼児教育学科を廃止することを認可される。 (昭和46年 4 月 1 日施行)
昭和 46 年 11 月 10 日	付属幼稚園総定員60人2学級から90人3学級に変更。
昭和 47 年 1 月 28 日	児童教育学科幼児教育専攻入学定員の変更（50人を100人）を受理される。 (昭和47年 4 月 1 日施行)
昭和 49 年 1 月 10 日	教養学科（入学定員100人）の設置を認可される。
昭和 49 年 3 月 25 日	図書館司書講習の担当科目の単位を認可される。 (昭和49年 4 月 1 日施行)
昭和 49 年 9 月 1 日	付属幼稚園園児総定員120人3学級に変更。
昭和 50 年 9 月 22 日	法人の住所変更認可となる。
昭和 50 年 9 月 22 日	家政学科の名称変更（家政学科を生活科学科）を認可される。
昭和 50 年 12 月 6 日	法人名の変更（札幌静修学園から静修学園）を認可される。
昭和 51 年 1 月 14 日	学校法人静修学園から高等学校を除く。
昭和 51 年 1 月 14 日	校名の変更（札幌静修短期大学から静修短期大学）を受理される。
昭和 51 年 1 月 14 日	静修短期大学名称変更に伴い、静修短期大学付属幼稚園に名称変更を受理される。 (昭和51年 4 月 1 日施行)
昭和 51 年 4 月 1 日	聴講生課程設置を認可される。
昭和 53 年 3 月 1 日	短期大学開学10年を迎え、新たに校章・スクールカラーを定める。
昭和 55 年 4 月 1 日	北海道生活研究所を設置する。
昭和 58 年 1 月 17 日	秘書科（入学定員100人）の設置を認可される。 (昭和58年 4 月 1 日施行)
昭和 63 年 12 月 22 日	英語学科（入学定員100人）の設置を認可される。 (平成元年 4 月 1 日施行)
平成 元年 4 月 1 日	児童教育学科初等教育専攻（入学定員50人）を募集停止する。
平成 元年 11 月 27 日	静修短期大学付属幼稚園定員160人4学級に変更認可される。
平成 2 年 1 月 22 日	秘書科の名称変更（秘書科を秘書学科）を受理される。 (平成 2 年 4 月 1 日施行)
平成 2 年 12 月 21 日	平成3年度から平成11年度まで入学定員の増加（生活科学科150人を200人、教養学科200人を300人、秘書学科100人を150人）を認可される。
平成 2 年 12 月 21 日	児童教育学科入学定員の変更（150人を100人）を認可される。
平成 2 年 12 月 21 日	児童教育学科の名称変更（児童教育学科を幼児教育学科）を受理される。 (平成 3 年 4 月 1 日施行)
平成 3 年 11 月 25 日	付属幼稚園園児総定員240人6学級に変更認可される。 (平成 4 年 4 月 1 日施行)

## 学校法人札幌国際大学の沿革

年 月 日	事 項
平成 4 年 4 月 21 日	北海道生活研究所を北海道環境文化研究センターに名称変更。
平成 4 年 12 月 21 日	静修女子大学(人文・社会学部 国際文化学科入学定員150人、社会学部入学定員100人)の設置を認可される。
平成 4 年 12 月 21 日	生活科学科及び教養学科の入学定員の変更(生活科学科200人を150人、教養学科300人を200人)を認可される。 (平成 5 年 4 月 1 日施行)
平成 5 年 4 月 1 日	静修女子大学を開学する。
平成 8 年 12 月 19 日	静修短期大学の名称変更(静修短期大学から札幌国際大学短期大学部)を受理される。
平成 8 年 12 月 19 日	静修女子大学大学院(地域社会研究科地域社会専攻入学定員10人)の設置を認可される。
平成 9 年 3 月 25 日	静修女子大学の名称変更(静修女子大学から札幌国際大学)を受理される。
平成 9 年 3 月 25 日	静修女子大学大学院の名称変更(静修女子大学大学院から札幌国際大学大学院)を受理される。
平成 9 年 3 月 25 日	法人名の変更(学校法人静修学園から学校法人札幌国際大学)を認可される。 (平成 9 年 4 月 1 日施行)
平成 9 年 3 月 25 日	校名変更に伴い「建学の礎」、「教育の基本的考え方」、「ロゴマーク」、「スクールカラー」を定める。
平成 10 年 2 月 5 日	付属幼稚園の学級増(6学級から7学級)を受理される。 (平成10年 4 月 1 日施行)
平成 10 年 12 月 22 日	札幌国際大学観光学部(入学定員200人)の設置を認可される。
平成 10 年 12 月 22 日	札幌国際大学の男女共学化を受理される。
平成 10 年 12 月 22 日	生活科学科及び教養学科の入学定員の変更(生活科学科150人を100人、教養学科200人を150人)を認可される。
平成 10 年 12 月 22 日	札幌国際大学短期大学部専攻科幼児教育専攻(入学定員10人)の設置を受理される。
平成 11 年 2 月 10 日	札幌国際大学短期大学部専攻科幼児教育専攻の課程認定を受ける。(学位授与機構) (平成11年 4 月 1 日施行)
平成 12 年 3 月 31 日	札幌国際大学短期大学部秘書学科閉科
平成 12 年 12 月 21 日	札幌国際大学大学院観光学研究科の設置を認可される。
平成 12 年 12 月 21 日	札幌国際大学人文・社会学部心理学科の設置を認可される。
平成 12 年 12 月 21 日	札幌国際大学短期大学部英語学科の入学定員100人から50人に認可される。
平成 12 年 12 月 21 日	札幌国際大学人文・社会学部、観光学部の教職課程設置を認可される。 (平成13年 4 月 1 日施行)
平成 13 年 8 月 30 日	札幌国際大学短期大学部英語学科の名称を英語コミュニケーション学科に変更認可される。
平成 13 年 10 月 30 日	札幌国際大学人文・社会学部メディアコミュニケーション学科 入学定員100人の設置を認可される。 (平成14年 4 月 1 日施行)
平成 14 年 3 月 11 日	札幌国際大学人文・社会学部メディアコミュニケーション学科の教職課程設置を認可される。
平成 14 年 7 月 30 日	札幌国際大学人文学部、社会学部の設置を認可される。 (平成15年 4 月 1 日施行)
平成 15 年 3 月 5 日	札幌国際大学人文学部、社会学部の教職課程設置を認可される。
平成 15 年 7 月 31 日	札幌国際大学短期大学部幼児教育学科の名称を幼児教育保育学科に変更し、入学定員100人から140人に認可される。 (平成16年 4 月 1 日施行)
平成 16 年 4 月 1 日	札幌国際大学社会学部社会学科の名称をビジネス社会学科に変更する。
平成 16 年 5 月 15 日	札幌国際大学人文学部国際文化学科定員100人、収容定員400人、社会学部ビジネス社会学科入学定員75人、収容定員300人、社会学部メディアコミュニケーション学科入学定員75人、収容定員300人、観光学部観光学科入学定員150人、収容定員600人に変更を届出する。
平成 17 年 1 月 28 日	札幌国際大学大学院心理学研究科の設置を認可される。 (平成17年 4 月 1 日施行)
平成 17 年 5 月 16 日	札幌国際大学人文学部国際文化学科の名称変更(人文学部現代文化学科)、社会学部の名称変更(現代社会学部)、社会学部ビジネス社会学科の名称変更(現代社会学部ビジネス実務学科)、社会学部メディアコミュニケーション学科の名称変更(現代社会学部マスコミュニケーション学科)を届出する。 (平成18年 4 月 1 日施行)

年 月 日	事 項
平成 18 年 11 月 29 日	札幌国際大学付属幼稚園の定員 210 人 7 学級に変更認可される。 (平成 19 年 4 月 1 日施行)
平成 19 年 5 月 10 日	札幌国際大学人文学部現代文化学科定員 75 人、収容定員 300 人、現代社会学部ビジネス実務学科定員 70 人、収容定員 280 人、現代社会学部マスコミュニケーション学科定員 50 人、収容定員 200 人に変更を届出する。
平成 19 年 6 月 22 日	札幌国際大学人文学部心理学科子ども心理専攻の設置を届出する。 (平成 20 年 4 月 1 日施行)
平成 20 年 4 月 15 日	札幌国際大学現代社会学部ビジネス実務学科、マスコミュニケーション学科、ならびに観光学部観光学科の募集停止を届出する。
平成 20 年 4 月 28 日	札幌国際大学スポーツ人間学部スポーツビジネス学科 (入学定員 60 人) の設置を届出する。
平成 20 年 5 月 30 日	札幌国際大学観光学部観光ビジネス学科 (入学定員 90 人)、観光経済学科 (入学定員 60 人) の設置を届出する。
平成 20 年 10 月 31 日	札幌国際大学スポーツ人間学部スポーツ指導学科 (入学定員 60 人) の設置を認可される。
平成 20 年 12 月 24 日	札幌国際大学スポーツ人間学部スポーツ指導学科の教職課程設置を認可される。
平成 21 年 1 月 15 日	札幌国際大学人文学部心理学科子ども心理専攻が、厚生労働省北海道厚生局長より指定保育士養成施設の指定を受ける。 (平成 21 年 4 月 1 日施行)
平成 22 年 5 月 31 日	札幌国際大学大学院地域社会研究科の募集停止を届出する。
平成 22 年 10 月 8 日	札幌国際大学大学院心理学研究科臨床心理実務専攻の名称変更 (臨床心理専攻) を届出する。 (平成 23 年 4 月 1 日施行)
平成 24 年 4 月 2 日	札幌国際大学観光学部観光経済学科の名称変更 (観光学部国際観光学科) を届出する。 (平成 25 年 4 月 1 日施行)
平成 24 年 4 月 9 日	札幌国際大学短期大学部総合生活学科の名称変更 (総合生活キャリア学科)、 入学定員 100 人、収容定員 200 人に変更を届出する。 (平成 25 年 4 月 1 日施行)
平成 24 年 4 月 9 日	札幌国際大学短期大学部英語コミュニケーション学科の募集停止を届出する。
平成 25 年 4 月 8 日	札幌国際大学短期大学部総合生活キャリア学科入学定員 50 人、収容定員 100 人に変更を届出する。 (平成 26 年 4 月 1 日施行)
平成 26 年 5 月 22 日	札幌国際大学短期大学部専攻科の募集停止を届出する。
平成 27 年 8 月 31 日	札幌国際大学大学院スポーツ健康指導研究科の設置を認可される。
平成 27 年 11 月 24 日	札幌国際大学大学院スポーツ健康指導研究科の教職課程設置を認可される。 (平成 28 年 4 月 1 日施行)
平成 28 年 6 月 15 日	札幌国際大学人文学部現代文化学科入学定員 60 人、収容定員 240 人 観光学部国際観光学科入学定員 50 人、収容定員 200 人に変更を届出する。 (平成 29 年 4 月 1 日施行)
令和 元年 5 月 22 日	札幌国際大学人文学部心理学科臨床心理専攻入学定員 50 人、収容定員 200 人および スポーツ人間学部スポーツ指導学科入学定員 80 人、収容定員 320 人に変更を届出する。 (令和 2 年 4 月 1 日施行)
令和 3 年 4 月 1 日	札幌国際大学付属幼稚園を廃止する。
令和 3 年 4 月 1 日	札幌国際大学付属認定こども園を開園する。
令和 3 年 5 月 18 日	札幌国際大学観光学部観光ビジネス学科入学定員 140 人、収容定員 560 人に変更を届出する。
令和 3 年 7 月 8 日	札幌国際大学観光学部国際観光学科の募集停止を届出する。
令和 3 年 7 月 9 日	札幌国際大学人文学部現代文化学科の募集停止を届出する。
令和 3 年 7 月 26 日	札幌国際大学人文学部国際教養学科 (入学定員 60 人) の設置を届出する。 (令和 4 年 4 月 1 日施行)
令和 5 年 4 月 1 日	札幌国際大学短期大学部を男女共学に移行。 (令和 5 年 4 月 1 日施行)
令和 5 年 8 月 24 日	札幌国際大学人文学部心理学科臨床心理専攻入学定員 80 人、収容定員 320 人および 観光学部観光ビジネス学科入学定員 110 人、収容定員 440 人に変更を届出する。 (令和 6 年 4 月 1 日施行)
令和 5 年 8 月 24 日	札幌国際大学短期大学部総合生活キャリア学科入学定員 40 人、収容定員 80 人および 幼児教育保育学科入学定員 80 人、収容定員 160 人に変更を届出する。 (令和 6 年 4 月 1 日施行)
令和 7 年 2 月 3 日	札幌国際大学短期大学部総合生活キャリア学科、幼児教育保育学科の募集停止を届出する。

## 1 | 学則・規程

学則・規程については下記二次元コードからご確認いただけます。

札幌国際大学学則・規程



## 2 | 2026年度 研究室一覧

2026年度 研究室一覧については下記二次元コードからご確認いただけます。

札幌国際大学研究室一覧







2026年度 春学期（春1Q） 履修登録票

学科学年 \_\_\_\_\_ 学科 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_

学生番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

※科目名、担当者名を記入してください。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1講目 (9:00~10:45)						
2講目 (10:55~12:40)						
3講目 (13:20~15:05)						
4講目 (15:15~17:00)						
5講目 (17:10~18:55)						
集中講義等	①	②	③	④	⑤	⑥

アドバイザー確認欄

--

2026年度 春学期（春2Q） 履修登録票

学科学年 \_\_\_\_\_ 学科 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_

学生番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

※科目名、担当者名を記入してください。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1講目 (9:00~10:45)						
2講目 (10:55~12:40)						
3講目 (13:20~15:05)						
4講目 (15:15~17:00)						
5講目 (17:10~18:55)						
集中講義等	①	②	③	④	⑤	⑥

アドバイザー確認欄

--

2026年度 秋学期（秋1Q） 履修登録票

学科学年 \_\_\_\_\_ 学科 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_

学生番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

※科目名、担当者名を記入してください。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1講目 (9:00~10:45)						
2講目 (10:55~12:40)						
3講目 (13:20~15:05)						
4講目 (15:15~17:00)						
5講目 (17:10~18:55)						
集中講義等	①	②	③	④	⑤	⑥

アドバイザー確認欄

--

2026年度 秋学期（秋2Q） 履修登録票

学科学年 \_\_\_\_\_ 学科 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_

学生番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

※科目名、担当者名を記入してください。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1講目 (9:00~10:45)						
2講目 (10:55~12:40)						
3講目 (13:20~15:05)						
4講目 (15:15~17:00)						
5講目 (17:10~18:55)						
集中講義等	①	②	③	④	⑤	⑥

アドバイザー確認欄

--





〒004-8602札幌市清田区清田4条1丁目4番1号

TEL.011-881-8844 FAX.011-885-3370

URL <https://www.siu.ac.jp>

